

豊明市公共施設カルテ

平成 27 年 3 月

■施設別カルテの見方①

A 豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ				調査年度	平成26年度		
施設名		豊明市役所					
従たる施設の場合、主たる施設名		-					
大分類	行政系施設	中分類	庁舎等	施設番号	1		
所管部課		総務防災課					
1 土地データ							
所在地 (小学校地区)	新田町子持松1番地1 (中央小学校)			敷地面積	11,523 m ²		
				うち借地面積	- m ²		
2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)							
構成施設	庁舎(本館)、南倉庫、南車庫、公用車庫、庁舎(東館)						
複合・併設施設	中央公民館(028)			建築年度	昭和47年度		
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	10,802 m ²	経過年数	42年		
階数(地上)	5階	階数(地下)	1階	避難所指定	指定無し		
概算更新コスト※1	4,321,200,000円	更新時期※2	18年以内	年積立必要額※3	240,066,667円		
市民1人当たり更新コスト	63,131円/人	市民1人当たり年積立必要額	3,507円/人				
3 管理運営データ							
利用状況※4	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
	-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト※5 (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト※6 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト※7 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)	
	取 入	利用料等		-	①施設維持コスト	人件費(賞金含)	11,970,100
		国費		20,717,667		修繕料	5,005,324
		県費		-		火災保険料	135,044
		その他		265,392		維持管理委託料	33,620,730
		市費(一般財源)		102,788,191		敷地借上料	4,388,733
	合計			123,771,250	工事請負費	6,533,208	
	施設外観				その他維持費	-	
					小計	61,653,139	
					②施設運営コスト	人件費(賞金含)	27,930,233
				光熱水費	26,552,205		
				その他委託料	4,450,128		
				その他運営費(事業費)	3,185,545		
				小計	62,118,111		
				合計(①+②)	123,771,250		
コスト計算	利用者1人当たり	市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人※8	1,808円/人※9	11,458円/m ² ※10				
負担額	-円/人※11	1,502円/人※12					
市民1人当たり負担額計	5,009円/人	(市民1人当たり年積立必要額3507円/人+市民1人当たり管理運営負担額1502円/人)					

A 公共施設の基礎データを表しています。

B 管理運営データを表しています。

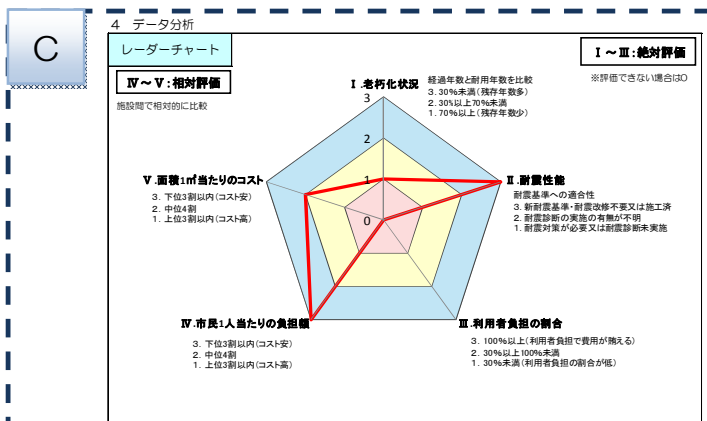
・ファシリティコスト(=施設コスト)の支出は、H24~26年度の平均で算定しています。

①施設維持コスト(建物を良好に保つために必要なコスト)

②施設運営コスト(公共サービスを提供するために必要なコスト(事業費等))

・コスト計算では、ファシリティコストに対する、利用者1人当たりの負担額(総ファシリティコスト/平均利用者数)、利用していない市民も含めた市民全体の1人当たりの負担額(総ファシリティコスト/市民数68,448人)を算出しています。また、延床面積1m²当たりのコスト(総ファシリティコスト/延床面積)は、施設間で、コスト比較の参考になります。

■施設別カルテの見方②



C レーダーチャートを表しています。

ここでは、施設を大きく2つの側面から分析しています。建物自体が持つ能力を示す絶対評価（I.老朽化状況、II.耐震性能、III.利用者負担の割合）と、施設間での比較を示す相対評価（IV.市民1人当たりの負担額、V.m²当たりのコスト）です。

相対評価は、あくまで市全体の中で序列を比較しているもので、1であっても必ずしも高いから悪いというわけではありません。

レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率 ^{※13} を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)×100%の値が算出される。算出値が100%未満の場合は主な建物で算出 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	84 (%)
II. 耐震性能	建物の耐震安全性を示す 耐震性能あり：新耐震基準 ^{※14} で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(88,448人) 数値が高いほど、市民一人当たりが負担する金額が大きくなっている。	1,502 (円/人)
V. 面積1㎡当たりのコスト	延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	11,458 (円/㎡)
総合評価	経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。	

D レーダーチャートで用いた5つの指標については、次のとおりです。

【絶対評価】建物自体が持つ能力について評価しました。

I.老朽化状況：法定耐用年数から見た建物建設からの経過年数を比率化したものです。経過年数が短いほど、数値は低く、老朽化していないと予測しています。

II.耐震性能：耐震性能の有無と対策の必要性を示します。

III.利用者負担の割合：利用料等（利用者負担）とファシリティコスト（施設の維持と運営にかかるコスト）とを比較しています。

【相対評価】運営方法や設置目的などが異なる公共施設にはコストや利用状況の絶対的な評価基準がないため、次の指標については、施設間の数値を順位付けして相対的に評価しました。

IV.市民1人当たりの負担額：市民1人当たりの市費（一般財源）の負担額を示したもので、施設間で比較した指標を用いています。

V.m²当たりのコスト：施設の単位面積当たりの施設維持・運営コストを示したもので、施設間で比較した指標を用いています。

■施設別カルテ：注意事項について

※1	概算更新コスト	建設から 60 年後に現在と同面積で建て替える と仮定した場合の概算工事費であり、実際の工 事費とは異なる。
※2	更新時期	建替の時期を建設から 60 年後とした場合の残 り年数
※3	年積立必要額	更新コストを更新時期までに積み立てる場合に 1 年あたりに必要な金額（概算更新コスト÷更 新時期）
※4	利用状況	人数は施設の年間延べ利用人数。学校・幼稚 園・保育園は在籍児童生徒数。市営住宅は入居 戸数（世帯数）で記載。
※5	ファシリティコスト (Facility cost)	ここでは、公共施設の維持・運営・管理に直 接または間接に要する費用の意味で使用して いる。ファシリティコストを施設維持コスト と施設運営コストに区分して掲載している。
※6	施設維持コスト	施設に要するコスト（ファシリティコスト）の 中で、施設の維持管理に必要な改修、修繕など のコストのことを指す。
※7	施設運営コスト	施設に要するコスト（ファシリティコスト）の 中で、施設での事業を運営するために必要な光 熱水費や人件費などのコストのことを指す。
※8	利用者 1 人当たりコスト	ファシリティコスト÷利用者数（3箇年平均）
※9	市民 1 人当たりコスト	ファシリティコスト÷人口（平成 26 年 4 月 1 日現在の 68,448 人）
※10	延床面積 1 m ² 当たりコスト	ファシリティコスト÷延床面積
※11	利用者 1 人当たり負担額	利用料等÷利用者数（3箇年平均）
※12	市民 1 人当たり負担額	市費（一般財源）÷人口（平成 26 年 4 月 1 日現在の 68,448 人）
※13	老朽化率	建設からの経過年数を法定耐用年数で除した比 率。 法定耐用年数（処分制限期間）：建物またはそ の一部が使用に耐えられなくなるまでの年数を 「耐用年数」と言い、固定資産の減価償却費を 算出するために税法で定められた耐用年数を法 定耐用年数と言う。公共事業ではこれを建替更 新の目安にすることが多い。
※14	新耐震基準	昭和 56 年 6 月の建築基準法改正以降に建設 された建物の耐震基準（マグニチュード 8 以上 の大地震に対する耐震性が確保されている）の こと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築 物」と呼ばれる。

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市役所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	庁舎等	施設番号	1
-----	-------	-----	-----	------	---

所管部課	総務防災課
------	-------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町子持松1番地1	敷地面積	11,523 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

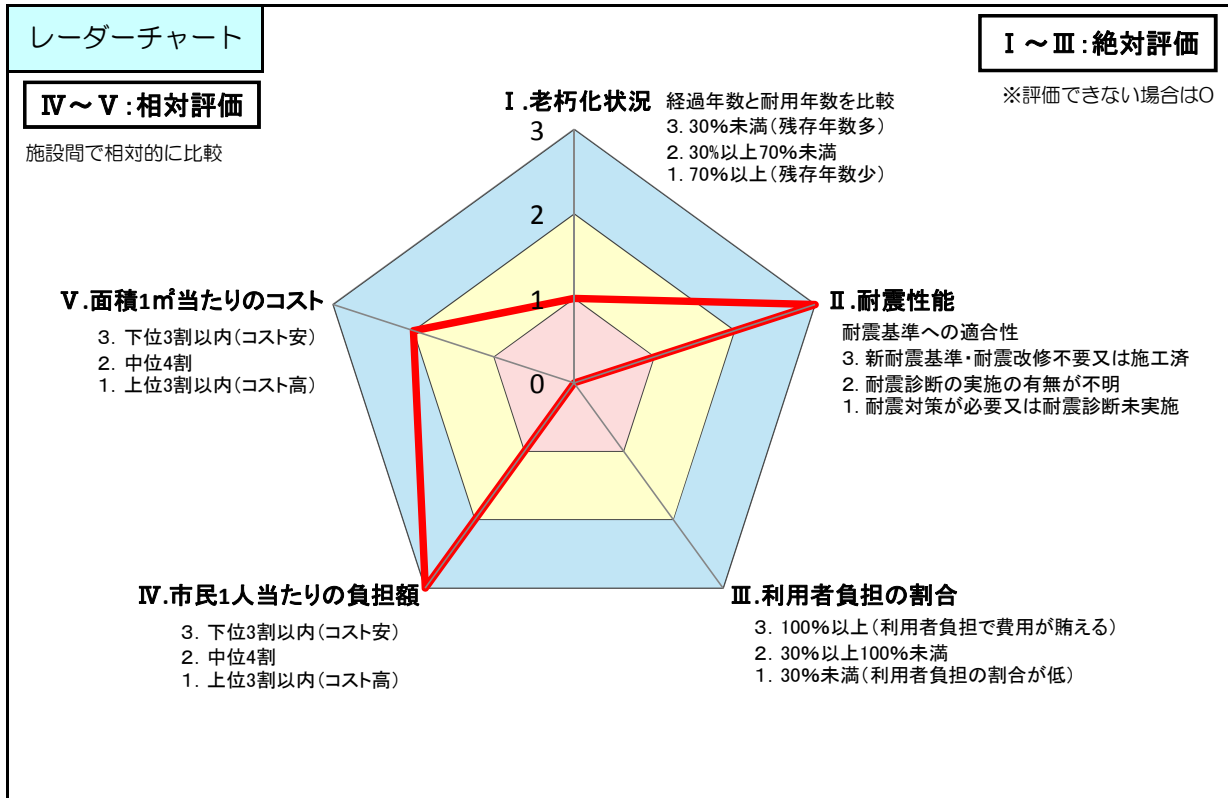
構成施設	庁舎(本館)、南倉庫、南車庫、公用車庫、庁舎(東館)				
複合・併設施設	中央公民館(028)		建築年度	昭和47年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	10,802 m ²	経過年数	42年
階数(地上)	5階	階数(地下)	1階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	4,321,200,000円	更新時期 ^{※2}	18年以内	年積立必要額 ^{※3}	240,066,667円
市民1人当たり更新コスト	63,131円/人	市民1人当たり年積立必要額	3,507円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト)	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国費		20,717,667		人件費(賃金含)	11,970,100
		県費		-		修繕料	5,005,324
		その他		265,392		火災保険料	135,044
		市費(一般財源)		102,788,191		維持管理委託料	33,620,730
	合計		123,771,250	敷地借上料		4,388,733	
	施設外観					工事請負費	6,533,208
	①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費					その他維持費	-
	+					小計	61,653,139
②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費				②施設運営コスト			
				人件費(賃金含)	27,930,233		
				光熱水費	26,552,205		
				その他委託料	4,450,128		
				その他運営費(事業費)	3,185,545		
				小計	62,118,111		
				合計(①+②)	123,771,250		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		1,808 円/人 ^{※9}		11,458 円/m ² ^{※10}		
負担額	- 円/人 ^{※11}		1,502 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	5,009 円/人	(市民1人当たり年積立必要額3507円/人+市民1人当たり管理運営負担額1502円/人)
-------------	-----------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I .老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	84 (%)
II .耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III .利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV .市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,502 (円/㎡)
V .面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	11,458 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市役所分庁舎		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	庁舎等	施設番号	2
-----	-------	-----	-----	------	---

所管部課	総務防災課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	三崎町中ノ坪5番地10	敷地面積	2,044 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

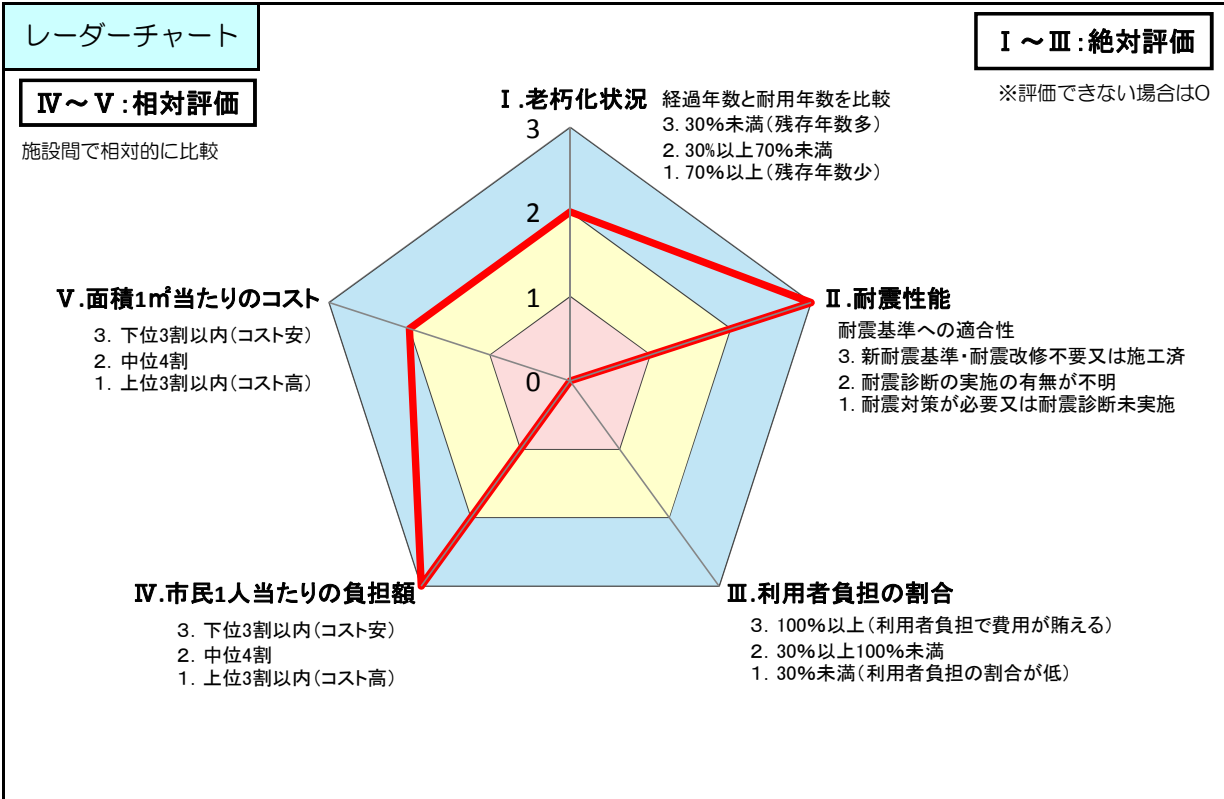
構成施設	分庁舎				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和57年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	665 m ²	経過年数	32年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	266,000,000円	更新時期 ^{※2}	28年以内	年積立必要額 ^{※3}	9,500,000円
市民1人当たり更新コスト	3,886円/人	市民1人当たり年積立必要額	139円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	587,800
		国費		-		修繕料	367,136	
		県費		-		火災保険料	13,697	
		その他		1,537,953		維持管理委託料	2,537,500	
		市費(一般財源)		4,157,384		敷地借上料	-	
	合計		5,695,337	工事請負費		571,900		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		4,078,033		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		-		
			光熱水費	1,516,435				
			その他委託料	100,869				
			その他運営費(事業費)	-				
			小計	1,617,304				
			合計(①+②)	5,695,337				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		83円/人 ^{※9}		8,564円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		61円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	200円/人	(市民1人当たり年積立必要額139円/人+市民1人当たり管理運営負担額61円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	64（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	-（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	61（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	8,564（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	消防庁舎		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	3
-----	-------	-----	------	------	---

所管部課	消防総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町宿234番地 (沓掛小学校)	敷地面積	6,619 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

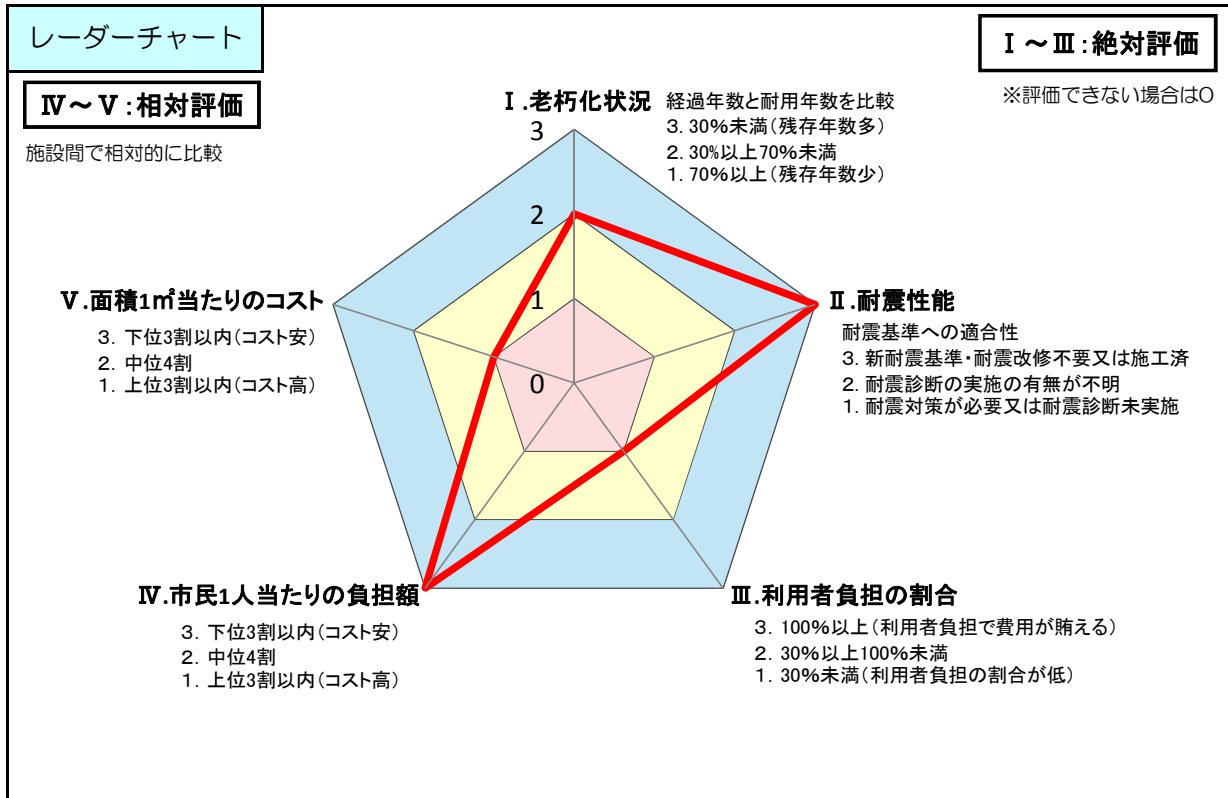
構成施設	消防庁舎				
複合・併設施設	-		建築年度	平成10年度	
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	3,781 m ²	経過年数	16年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	1,512,400,000円	更新時期 ^{※2}	44年以内	年積立必要額 ^{※3}	34,372,727円
市民1人当たり更新コスト	22,096円/人	市民1人当たり年積立必要額	502円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		956,373	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,878,000
		国費		666,661		修繕料	2,785,527	
		県費		723,333		火災保険料	122,284	
		その他		8,240,968		維持管理委託料	14,239,011	
		市費(一般財源)		548,536,117		敷地借上料	-	
	合計			559,123,452		工事請負費	694,907	
	施設外観					その他維持費	562,800	
						小計	24,282,529	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	415,209,379
				光熱水費		9,622,186		
				その他委託料	3,125,377			
				その他運営費(事業費)	106,883,981			
				小計	534,840,923			
				合計(①+②)	559,123,452			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		8,169円/人 ^{※9}		147,877円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		8,014円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	8,516円/人	(市民1人当たり年積立必要額502円/人+市民1人当たり管理運営負担額8014円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	32 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	0 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	8,014 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	147,877 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	消防署南部出張所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	4
-----	-------	-----	------	------	---

所管部課	消防総務課
------	-------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新栄町三丁目376番地2	敷地面積	1,289 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

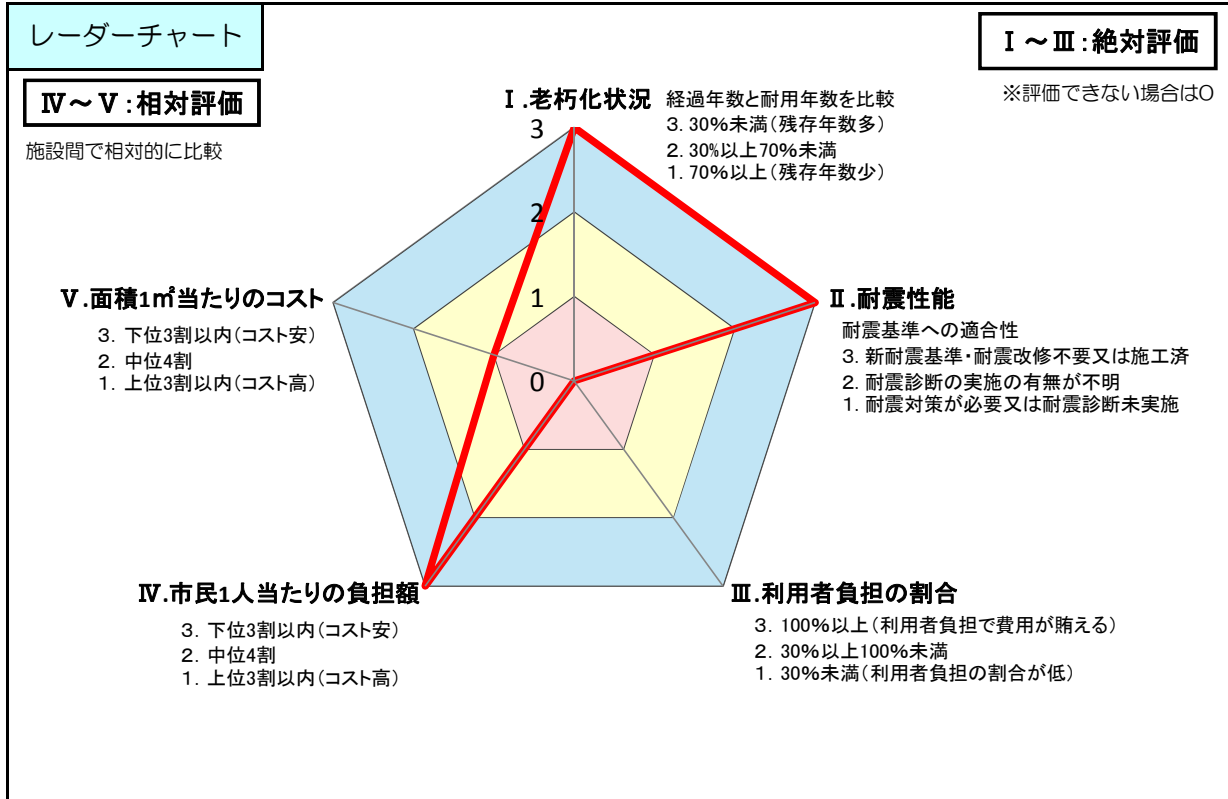
構成施設	消防署南部出張所				
複合・併設施設	-		建築年度	平成21年度	
建物構造	鉄骨造	延床面積	599 m ²	経過年数	5年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	239,600,000円	更新時期 ^{※2}	55年以内	年積立必要額 ^{※3}	4,356,364円
市民1人当たり更新コスト	3,500円/人	市民1人当たり年積立必要額	64円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,175,600
		国費		-		修繕料	530,577	
		県費		-		火災保険料	21,454	
		その他		-		維持管理委託料	2,712,193	
		市費(一般財源)		49,197,042		敷地借上料	-	
	合計		49,197,042	工事請負費		132,363		
	施設外観					その他維持費	107,200	
						小計	4,679,387	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	22,336,400
				光熱水費		1,226,244		
				その他委託料	595,309			
				その他運営費(事業費)	20,359,702			
				小計	44,517,655			
				合計(①+②)	49,197,042			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		719 円/人 ^{※9}		82,132 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		719 円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	783 円/人	(市民1人当たり年積立必要額64円/人+市民1人当たり管理運営負担額719円/人)
-------------	---------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	16 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	719 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	82,132 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市消防団第1分団詰所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	5
-----	-------	-----	------	------	---

所管部課	消防総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町上高根116番地1	敷地面積	148 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	148 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

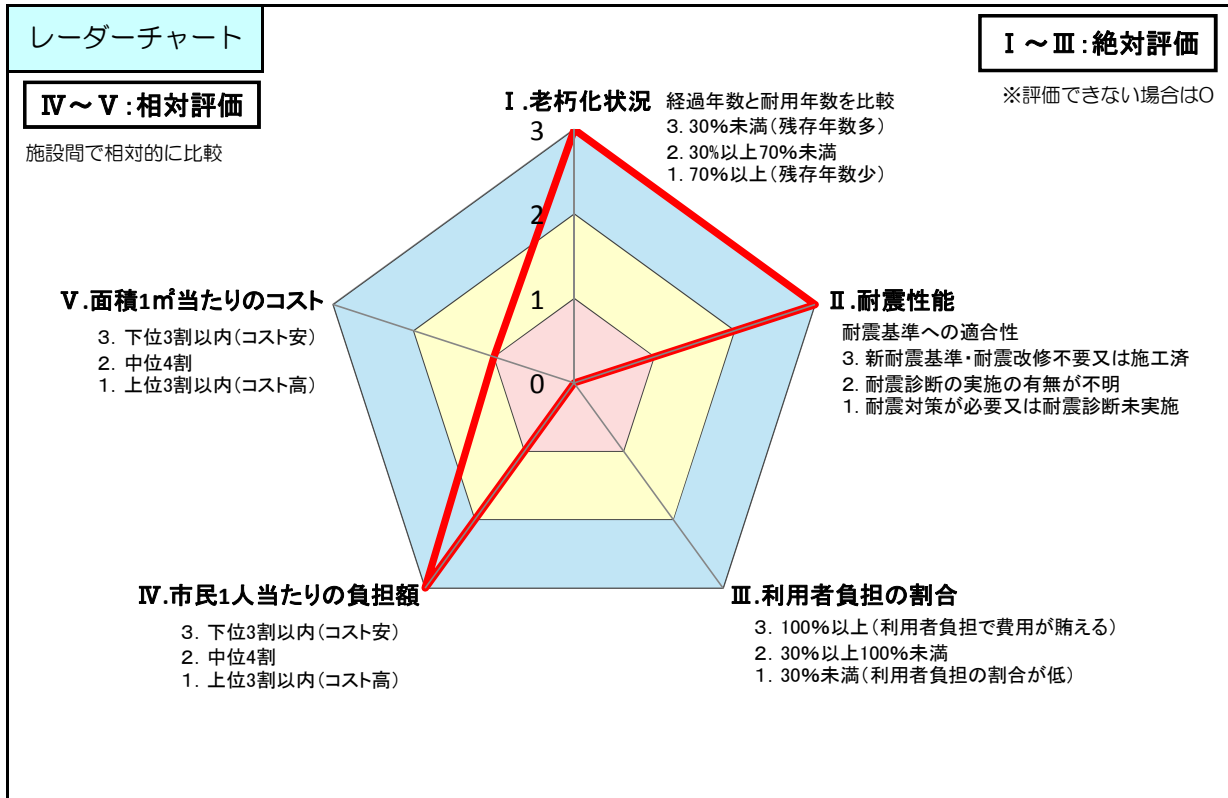
構成施設	消防団第1分団詰所				
複合・併設施設	-			建築年度	平成24年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	90 m ²	経過年数	2年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	36,000,000円	更新時期 ^{※2}	58年以内	年積立必要額 ^{※3}	620,690円
市民1人当たり更新コスト	526円/人	市民1人当たり年積立必要額	9円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	11,006
		国費		-		修繕料	28,027	
		県費		-		火災保険料	4,100	
		その他		-		維持管理委託料	994,000	
		市費(一般財源)		15,379,981		敷地借上料	-	
	合計		15,379,981	工事請負費		8,995,700		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	10,032,833	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	1,363,360
				光熱水費		104,959		
				その他委託料	163,772			
				その他運営費(事業費)	3,715,057			
				小計	5,347,148			
				合計(①+②)	15,379,981			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		225円/人 ^{※9}		170,889円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		225円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	234円/人	(市民1人当たり年積立必要額9円/人+市民1人当たり管理運営負担額225円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	6 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	225 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	170,889 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市消防団第2分団詰所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	6
-----	-------	-----	------	------	---

所管部課	消防総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町東本郷122番地3 (沓掛小学校)	敷地面積	280 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

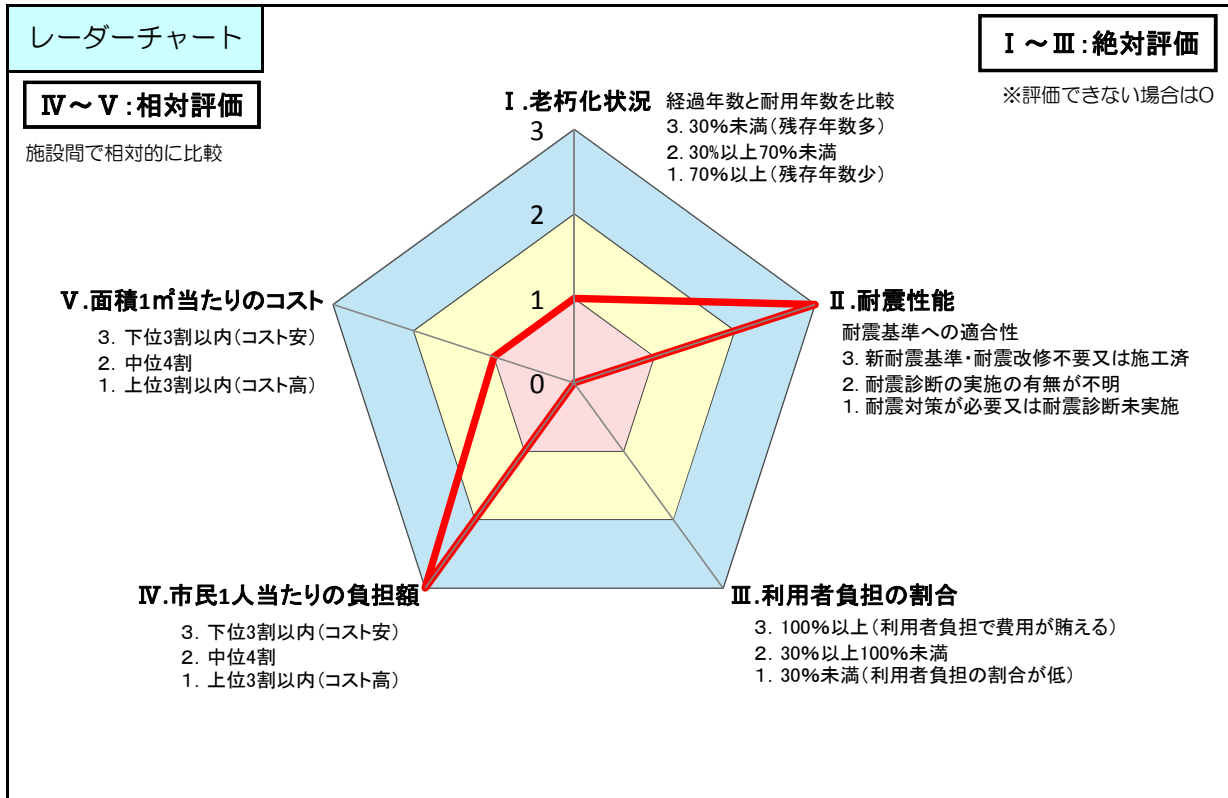
構成施設	消防団第2分団詰所				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和60年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	70 m ²	経過年数	29年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	28,000,000円	更新時期 ^{※2}	31年以内	年積立必要額 ^{※3}	903,226円
市民1人当たり更新コスト	409円/人	市民1人当たり年積立必要額	13円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	8,259
		国費		-		修繕料	21,896	
		県費		-		火災保険料	1,486	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		4,489,555		敷地借上料	-	
	合計		4,489,555	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			31,641				
	②施設運営コスト			4,457,914				
合計(①+②)			4,489,555					
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		66円/人 ^{※9}	64,137円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		66円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	79円/人	(市民1人当たり年積立必要額13円/人+市民1人当たり管理運営負担額66円/人)
-------------	-------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	94 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	66 (円/㎡)
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	64,137 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市消防団第3分団詰所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	7
-----	-------	-----	------	------	---

所管部課	消防総務課
------	-------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町吉池18番地7	敷地面積	113 m ²
	(中央小学校地区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

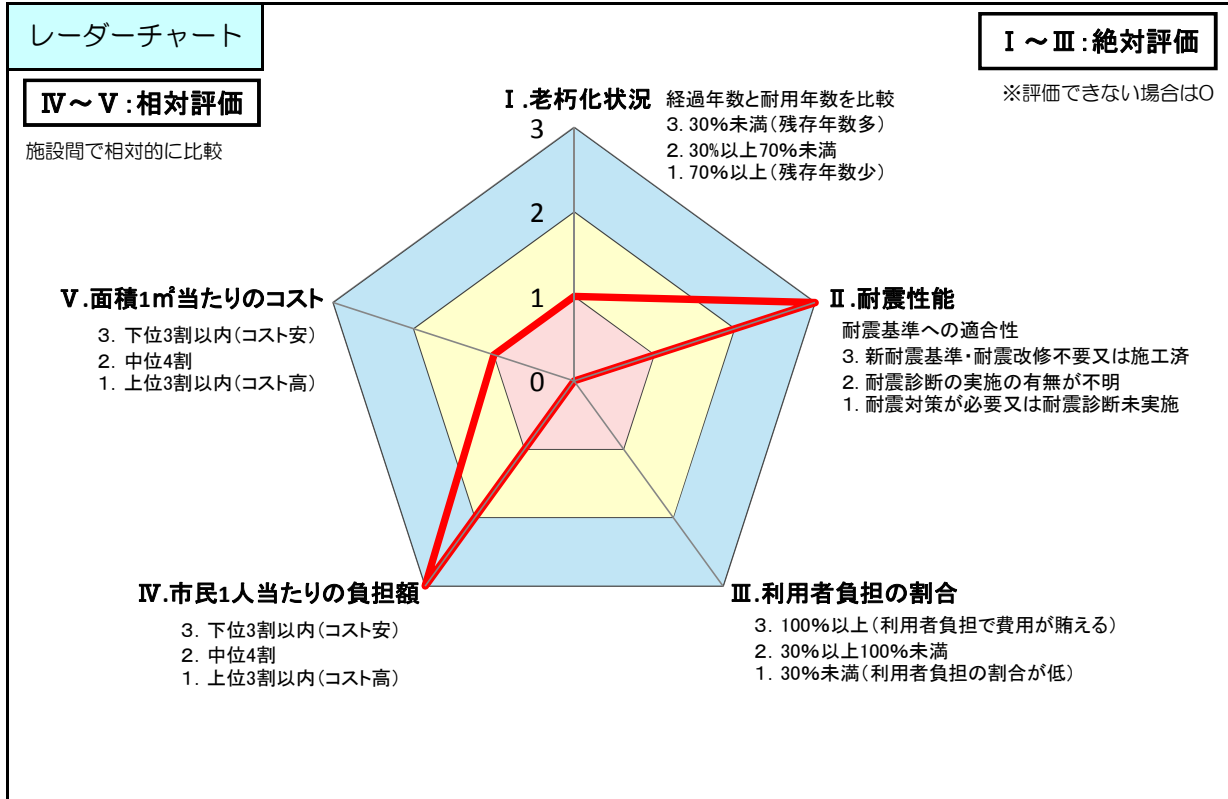
構成施設	消防団第3分団詰所				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和63年度	
建物構造	鉄骨造	延床面積	70 m ²	経過年数	26年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	28,000,000円	更新時期 ^{※2}	34年以内	年積立必要額 ^{※3}	823,529円
市民1人当たり更新コスト	409円/人	市民1人当たり年積立必要額	12円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	8,979
		国費		-		修繕料	21,896	
		県費		-		火災保険料	2,453	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		4,518,129		敷地借上料	-	
	合計		4,518,129	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		33,328		
	②施設運営コスト			小計		4,484,801		
合計(①+②)			合計(①+②)	4,518,129				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		66円/人 ^{※9}		64,545円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		66円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	78円/人	(市民1人当たり年積立必要額12円/人+市民1人当たり管理運営負担額66円/人)
-------------	-------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	84 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	66 (円/㎡)
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	64,545 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市消防団第4分団詰所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	8
-----	-------	-----	------	------	---

所管部課	消防総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	阿野町寺内56番地4	敷地面積	202 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	202 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

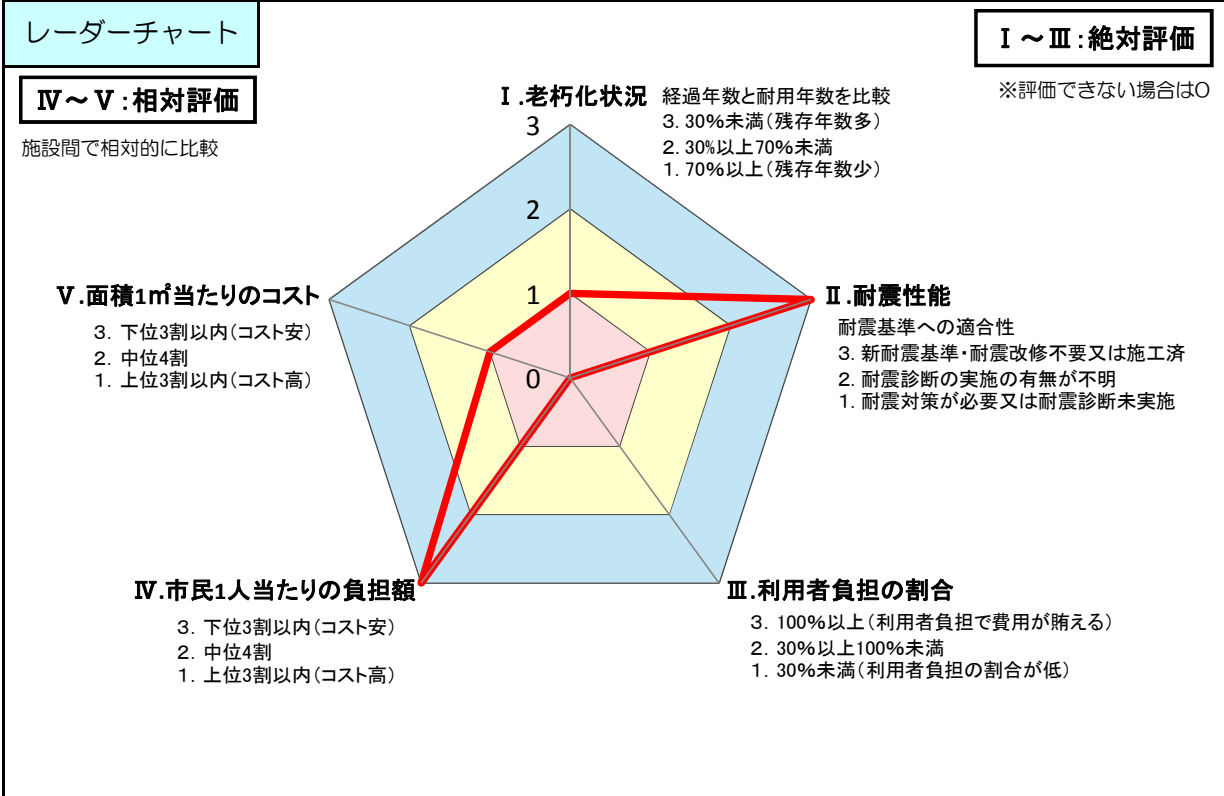
構成施設	消防団第4分団詰所				
複合・併設施設	-		建築年度	平成4年度	
建物構造	鉄骨造	延床面積	87 m ²	経過年数	22年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	34,800,000円	更新時期 ^{※2}	38年以内	年積立必要額 ^{※3}	915,789円
市民1人当たり更新コスト	508円/人	市民1人当たり年積立必要額	13円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	10,798
		国費		-		修繕料	27,150	
		県費		-		火災保険料	3,312	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		5,627,890		敷地借上料	-	
	合計		5,627,890	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		41,260		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		1,320,618		
			光熱水費	98,348				
			その他委託料	158,654				
			その他運営費(事業費)	4,009,010				
			小計	5,586,630				
			合計(①+②)	5,627,890				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		82円/人 ^{※9}		64,688円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		82円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	95円/人	(市民1人当たり年積立必要額13円/人+市民1人当たり管理運営負担額82円/人)
-------------	-------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	71 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	82 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	64,688 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市消防団第5分団詰所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	9
-----	-------	-----	------	------	---

所管部課	消防総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町下原3番地1	敷地面積	330 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	330 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

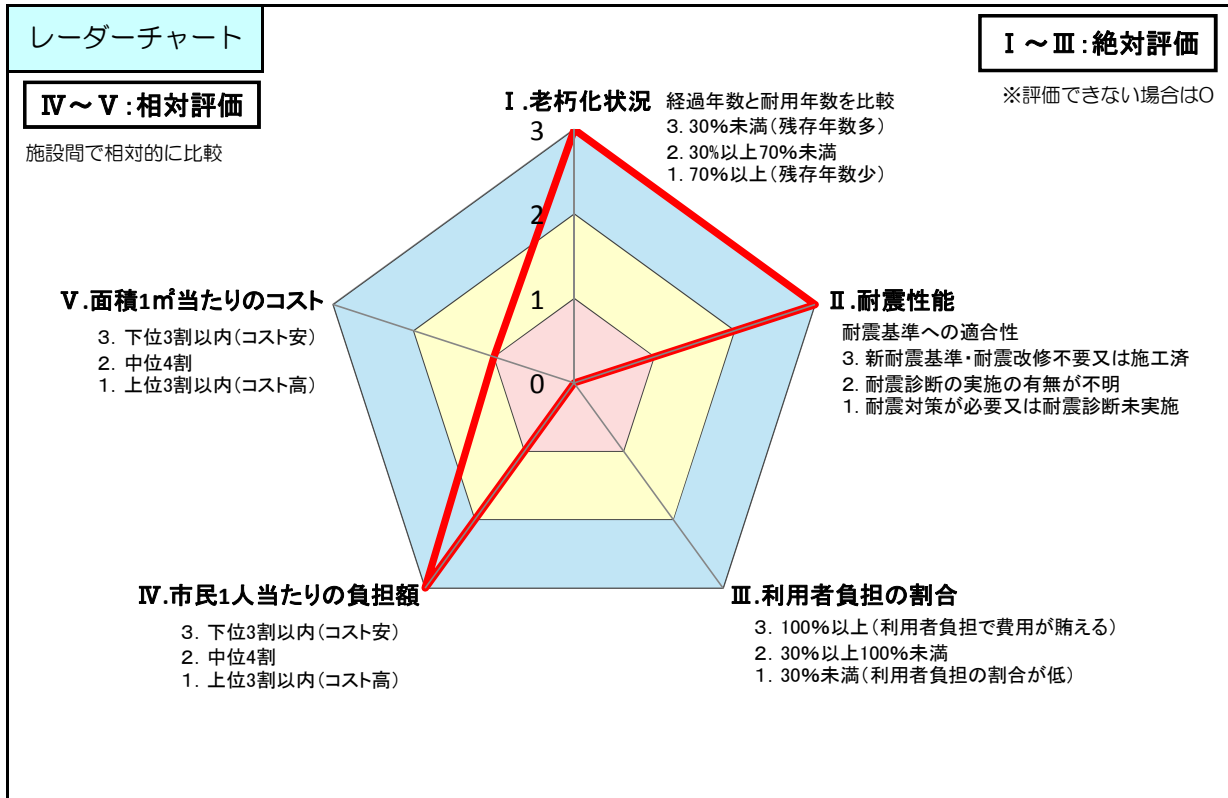
構成施設	消防団第5分団詰所				
複合・併設施設	-			建築年度	平成18年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	84 m ²	経過年数	8年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,600,000円	更新時期 ^{※2}	52年以内	年積立必要額 ^{※3}	646,154円
市民1人当たり更新コスト	491円/人	市民1人当たり年積立必要額	9円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	10,308
		国 費		-		修繕料	26,275	
		県 費		-		火災保険料	4,122	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		5,507,343		敷地借上料	-	
	合 計		5,507,343	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	-	
						小 計	40,705	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	1,278,161
				光熱水費		101,982		
				その他委託料	153,536			
				その他運営費(事業費)	3,932,959			
				小 計	5,466,638			
				合 計(①+②)	5,507,343			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		80 円/人 ^{※9}		65,564 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		80 円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	89 円/人	(市民1人当たり年積立必要額9円/人+市民1人当たり管理運営負担額80円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	26 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	80 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	65,564 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市消防団第6分団詰所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	10
-----	-------	-----	------	------	----

所管部課	消防総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	前後町善江1718番地1	敷地面積	95 m ²
	(大宮小学校)	うち借地面積	95 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

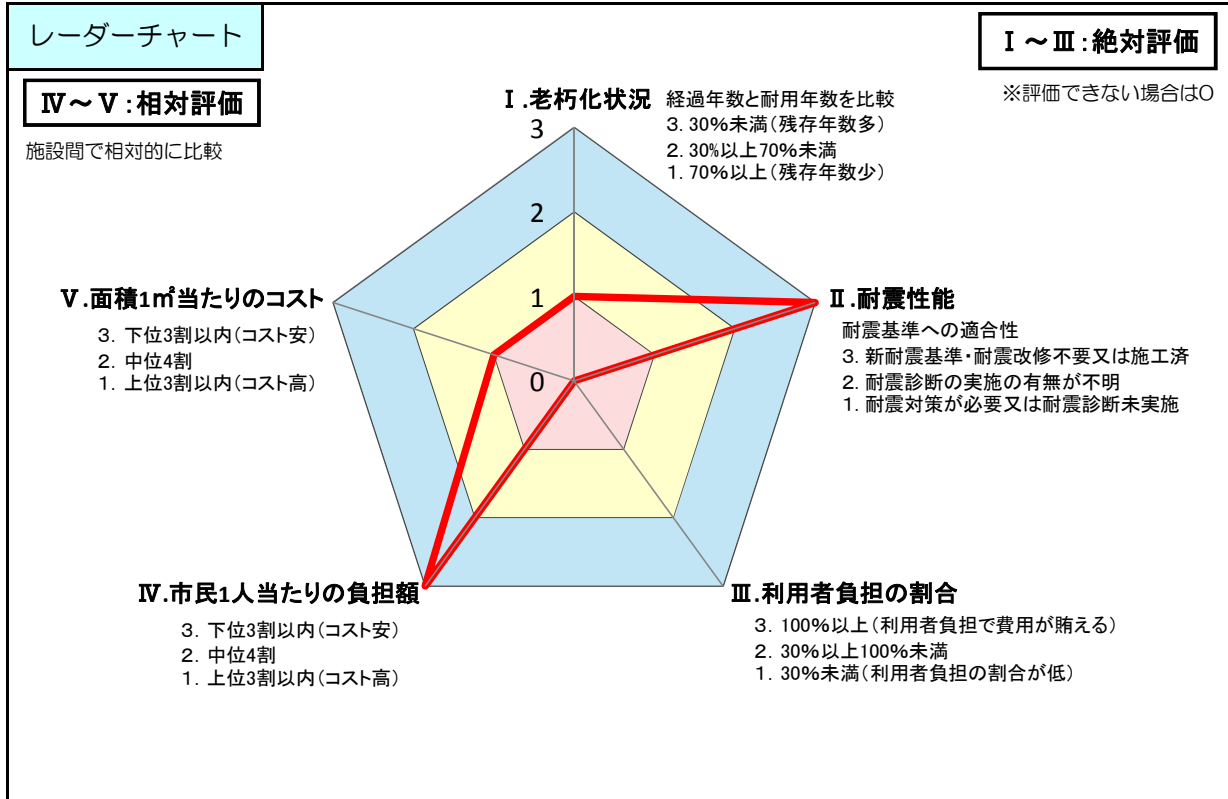
構成施設	消防団第6分団詰所				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和63年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	70 m ²	経過年数	26年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	28,000,000円	更新時期 ^{※2}	34年以内	年積立必要額 ^{※3}	823,529円
市民1人当たり更新コスト	409円/人	市民1人当たり年積立必要額	12円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	8,590
		国費		-		修繕料	21,896	
		県費		-		火災保険料	2,279	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		4,460,374		敷地借上料	-	
	合計		4,460,374	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		32,765		
	②施設運営コスト			小計		1,065,134		
人件費(賃金含)			光熱水費	82,475				
その他委託料			その他運営費(事業費)	3,152,053				
小計			小計	4,427,609				
合計(①+②)			合計(①+②)	4,460,374				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		65円/人 ^{※9}		63,720円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		65円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	77円/人	(市民1人当たり年積立必要額12円/人+市民1人当たり管理運営負担額65円/人)
-------------	-------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	84 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	65 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	63,720 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市消防団第7分団詰所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	消防施設	施設番号	11
-----	-------	-----	------	------	----

所管部課	消防総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町館21番地4	敷地面積	159 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

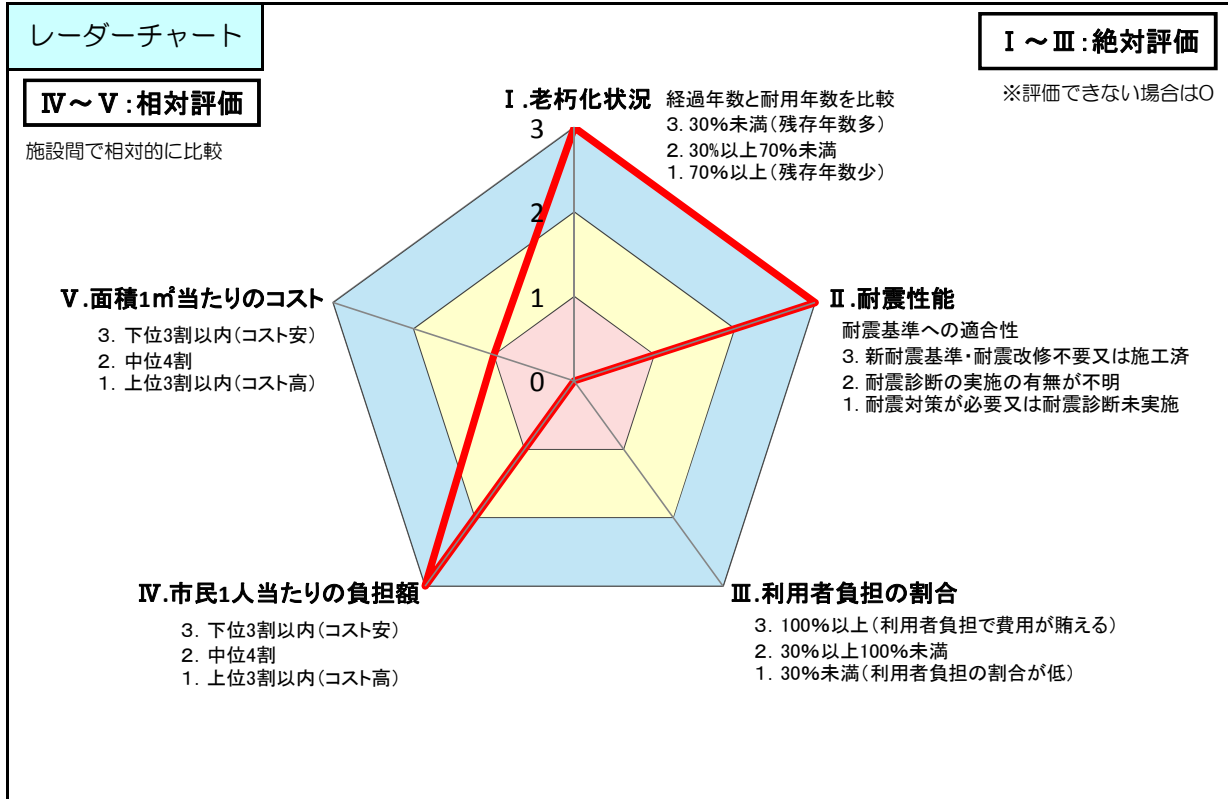
構成施設	消防団第7分団詰所				
複合・併設施設	-			建築年度	平成25年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	90 m ²	経過年数	1年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	36,000,000円	更新時期 ^{※2}	59年以内	年積立必要額 ^{※3}	610,169円
市民1人当たり更新コスト	526円/人	市民1人当たり年積立必要額	9円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	10,572
		国費		5,965,659		修繕料	28,027	
		県費		-		火災保険料	2,166	
		その他		-		維持管理委託料	1,241,968	
		市費(一般財源)		11,340,301		敷地借上料	-	
	合計		17,305,960	工事請負費		10,689,350		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		11,972,083		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		1,363,794		
小計			光熱水費	97,595				
合計(①+②)			その他委託料	163,772				
			その他運営費(事業費)	3,708,716				
			小計	5,333,877				
			合計(①+②)	17,305,960				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		253 円/人 ^{※9}	192,288 円/m ² ^{※10}				
負担額	- 円/人 ^{※11}		166 円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	175 円/人	(市民1人当たり年積立必要額9円/人+市民1人当たり管理運営負担額166円/人)
-------------	---------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	3 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	166 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	192,288 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市立豊明中学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	12
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町横井4番地1	敷地面積	41,261 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

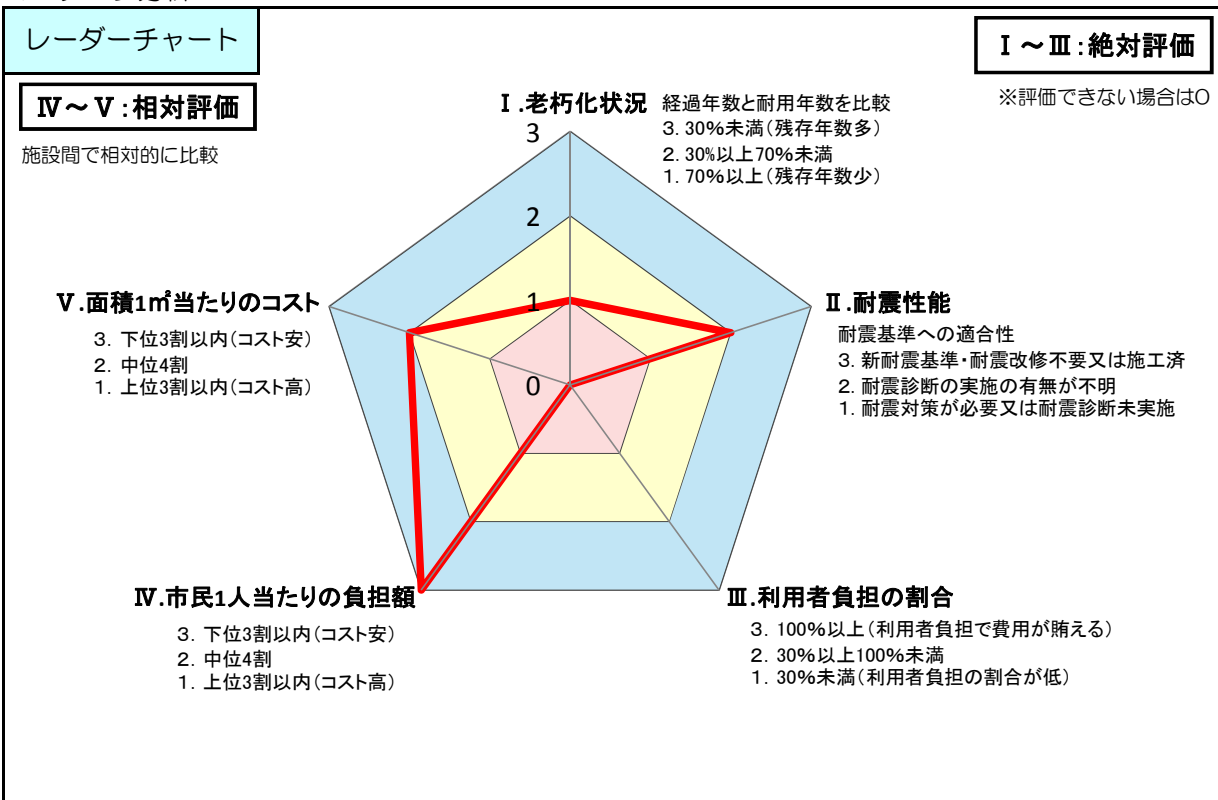
構成施設	校舎1-1、校舎1-2、校舎2-1、校舎2-2、校舎3-1、屋内運動場、屋内運動場(付属棟)、校舎12-1、校舎12-2、校舎14、校舎17、部室18、武道場、校舎20、校舎21、部室22、校舎23(プール付属棟)、屋内プール				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和39年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	14,828 m ²	経過年数	50年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	4,893,240,000円	更新時期 ^{※2}	10年以内	年積立必要額 ^{※3}	489,324,000円
市民1人当たり更新コスト	71,488円/人	市民1人当たり年積立必要額	7,149円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態	
		-人	-人	-人	-人	直営
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		
	収	入	利用料等	-	支	①施設維持コスト
		国費	7,106,109	人件費(賃金含)		1,912,153
		県費	150,578	修繕料		4,619,696
		その他	12,151	火災保険料		-
		市費(一般財源)	70,063,344	維持管理委託料		1,161,750
	合計	77,332,182	敷地借上料	-		
	施設外観			工事請負費		17,680,478
				その他維持費		50,285
				小計		25,424,362
			②施設運営コスト			
			人件費(賃金含)	3,428,833		
			光熱水費	9,294,533		
			その他委託料	21,555,365		
			その他運営費(事業費)	17,629,089		
			小計	51,907,820		
			合計(①+②)	77,332,182		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,130円/人 ^{※9}	5,215円/m ² ^{※10}		
負担額	-円/人 ^{※11}		1,024円/人 ^{※12}			

市民1人当たり負担額計	8,173円/人	(市民1人当たり年積立必要額7149円/人+市民1人当たり管理運営負担額1024円/人)
-------------	----------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	106（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	-（％）
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	1,024（円/㎡）
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	5,215（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市立栄中学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	13
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町殿ノ山50番地	敷地面積	35,389 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

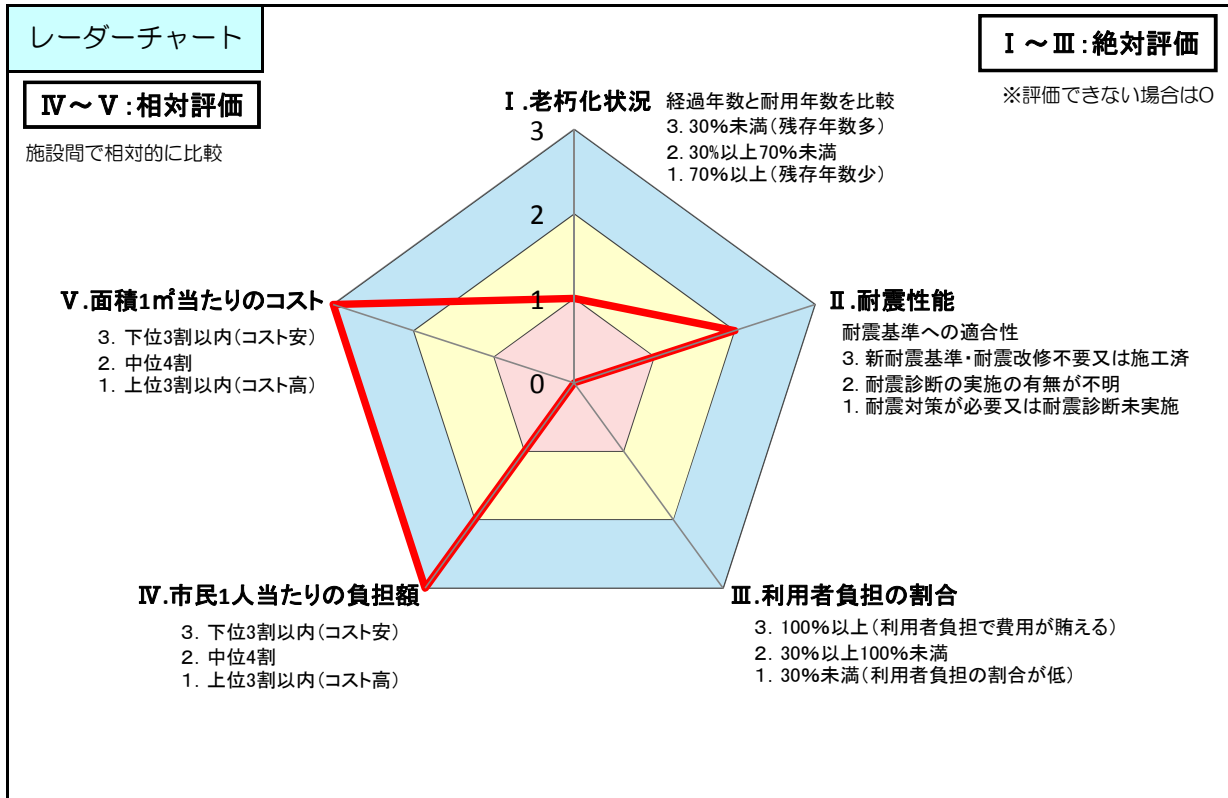
構成施設	校舎1-1、校舎1-2、部室2、屋内運動場4-1、屋内運動場4-2、校舎5-1、校舎5-2、校舎6(プール付属棟)、校舎7(プール付属棟)、部室8、武道場、校舎12、屋内プール				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和50年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	11,396 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	4階	階数(地下)	1階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	3,760,680,000円	更新時期 ^{※2}	21年以内	年積立必要額 ^{※3}	179,080,000円
市民1人当たり更新コスト	54,942円/人	市民1人当たり年積立必要額	2,616円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国 費		6,644,221		人件費(賃金含)	1,912,153
		県 費		141,125		修繕料	4,081,571
		その他		11,309		火災保険料	-
		市費(一般財源)		31,966,394		維持管理委託料	433,750
	合 計		38,763,049	敷地借上料		-	
	施設外観			工事請負費		3,263,667	
				その他維持費		46,625	
				小 計		9,737,766	
			②施設運営コスト				
			人件費(賃金含)	3,428,833			
			光熱水費	5,983,820			
			その他委託料	5,046,986			
			その他運営費(事業費)	14,565,644			
			小 計	29,025,283			
			合 計(①+②)	38,763,049			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		566 円/人 ^{※9}	3,401 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		467 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	3,083 円/人	(市民1人当たり年積立必要額2616円/人+市民1人当たり管理運営負担額467円/人)
-------------	-----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	83（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	-（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	467（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	3,401（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市立沓掛中学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	14
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町下山1番地	敷地面積	37,398 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

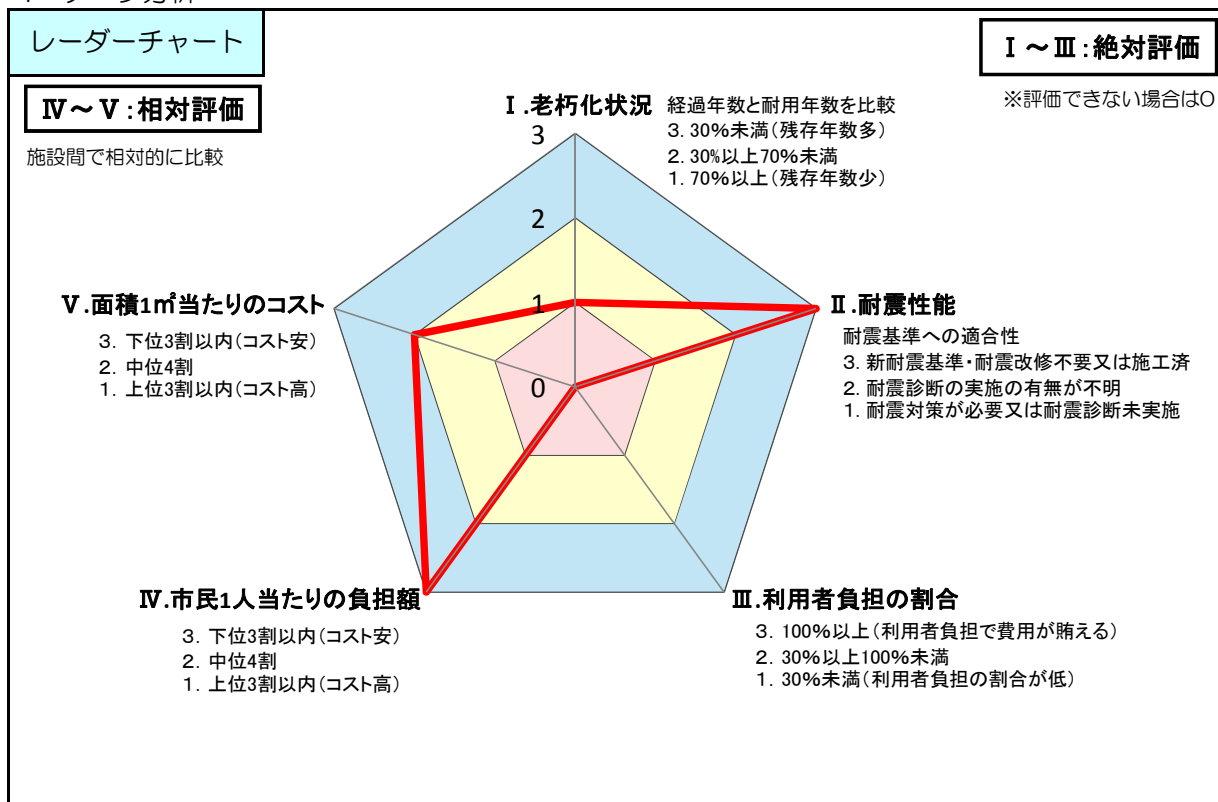
構成施設	校舎1-1、校舎1-2、屋内運動場、校舎3(プール付属棟)、校舎4、部室5、校舎6、校舎7、武道場、校舎9、屋内プール				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和56年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	11,407 m ²	経過年数	33年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	3,764,310,000円	更新時期 ^{※2}	27年以内	年積立必要額 ^{※3}	139,418,889円
市民1人当たり更新コスト	54,995円/人	市民1人当たり年積立必要額	2,037円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,912,153
		国費		7,794,180		修繕料	4,329,126	
		県費		166,004		火災保険料	-	
		その他		13,283		維持管理委託料	2,508,750	
		市費(一般財源)		71,809,643		敷地借上料	-	
	合計			79,783,110		工事請負費	37,091,950	
	施設外観					その他維持費	53,667	
						小計	45,895,646	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	3,428,833
				光熱水費		7,682,674		
				その他委託料	5,861,016			
				その他運営費(事業費)	16,914,941			
				小計	33,887,464			
				合計(①+②)	79,783,110			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,166円/人 ^{※9}		6,994円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		1,049円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	3,086円/人	(市民1人当たり年積立必要額2037円/人+市民1人当たり管理運営負担額1049円/人)
-------------	----------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	70 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,049 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	6,994 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立豊明小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	15
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	阿野町茶屋浦29番地	敷地面積	14,077 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	1,179 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	校舎1-1、校舎1-2、屋内運動場、校舎20-1、校舎20-3				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和39年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	5,306 m ²	経過年数	50年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	1,750,980,000円	更新時期 ^{※2}	10年以内	年積立必要額 ^{※3}	175,098,000円
市民1人当たり更新コスト	25,581円/人	市民1人当たり年積立必要額	2,558円/人		

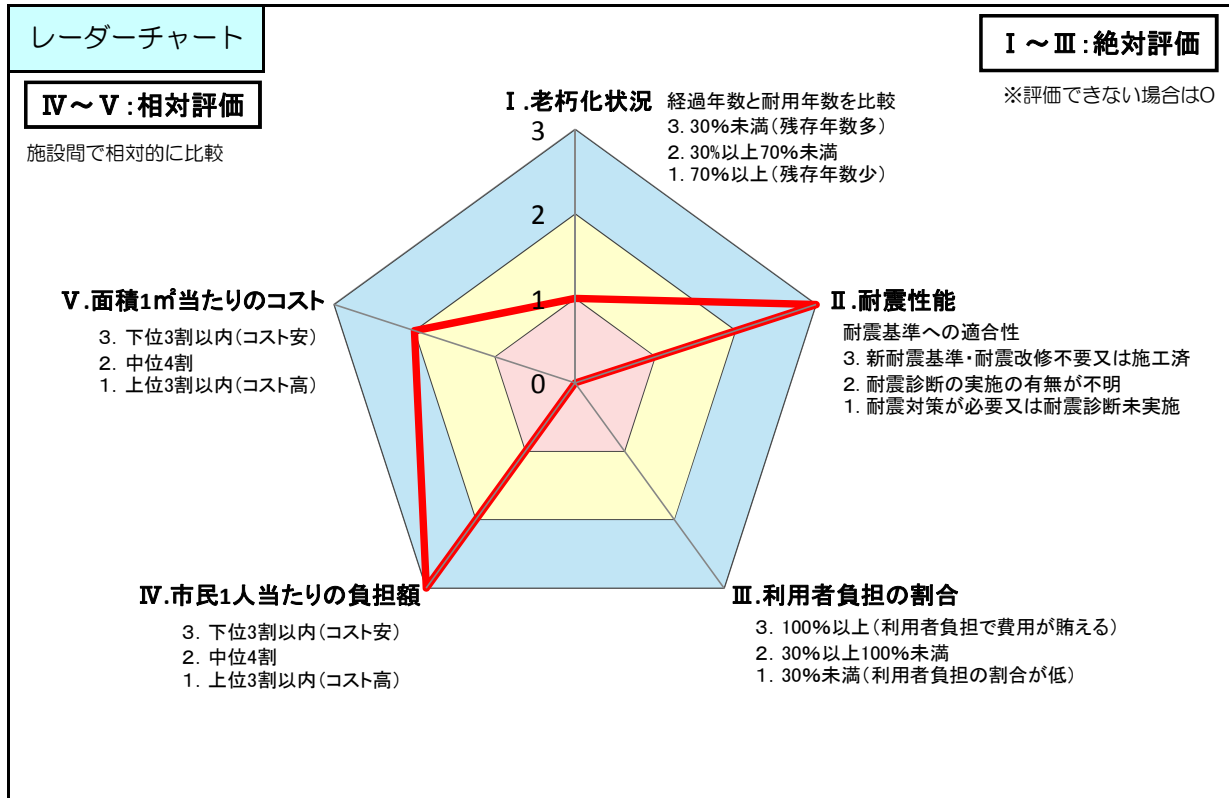
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,912,153
		国費		6,935,293		修繕料	2,604,167	
		県費		73,500		火災保険料	-	
		その他		5,741		維持管理委託料	319,893	
		市費(一般財源)		28,664,704		敷地借上料	766,703	
	合計		35,679,238	工事請負費		4,553,347		
				その他維持費		27,027		
				小計		10,183,290		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	3,428,833	
				光熱水費		4,063,661		
				その他委託料	2,672,890			
				その他運営費(事業費)	15,330,564			
				小計	25,495,948			
				合計(①+②)	35,679,238			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		521円/人 ^{※9}		6,724円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		419円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	2,977円/人	(市民1人当たり年積立必要額2558円/人+市民1人当たり管理運営負担額419円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	106（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	419（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	6,724（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立中央小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	16
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町西筋38番地	敷地面積	23,292 m ²
	(中央小学校地区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

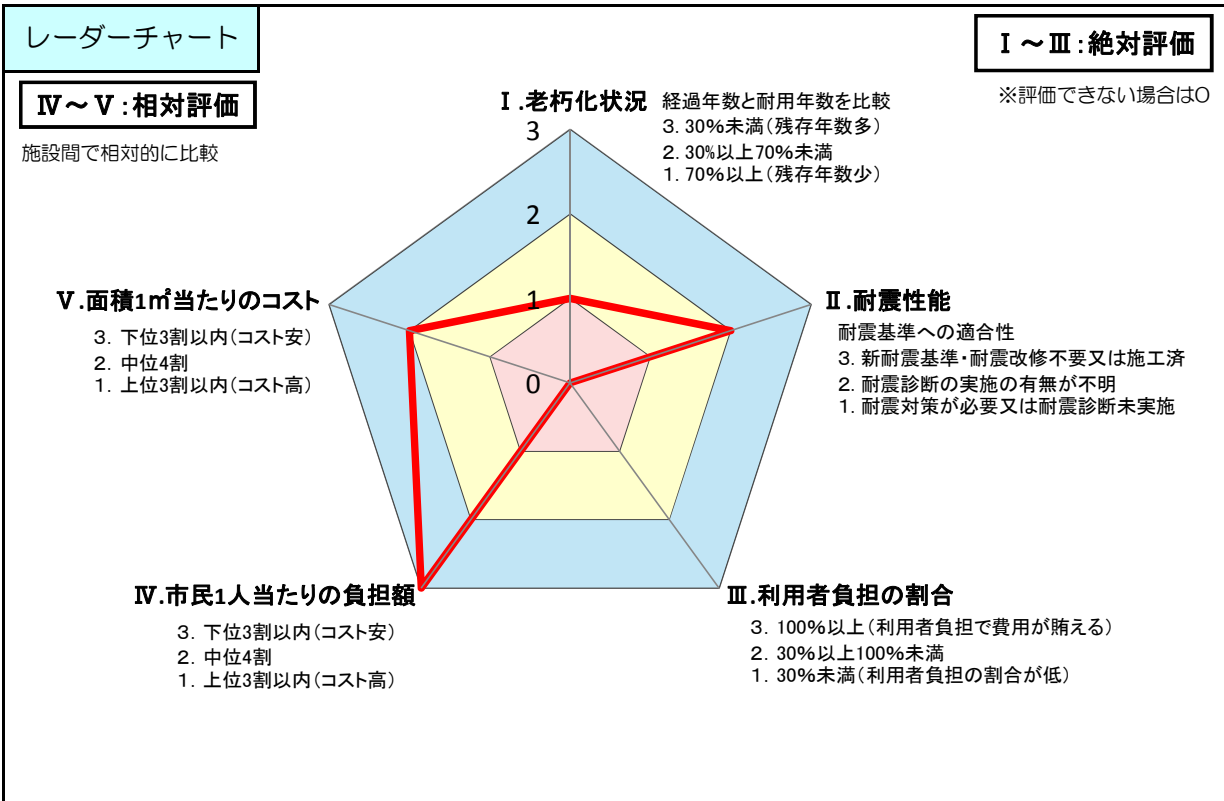
構成施設	校舎8-1、校舎8-2、校舎8-3、校舎9、校舎11-1、屋内運動場、校舎19、校舎20、校舎22				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和39年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	7,517 m ²	経過年数	50年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	2,480,610,000円	更新時期 ^{※2}	10年以内	年積立必要額 ^{※3}	248,061,000円
市民1人当たり更新コスト	36,241円/人	市民1人当たり年積立必要額	3,624円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,912,153
		国費		8,745,955		修繕料	4,514,028	
		県費		186,766		火災保険料	-	
		その他		14,871		維持管理委託料	2,702,039	
		市費(一般財源)		65,661,502		敷地借上料	14,092	
	合計		74,609,094	工事請負費		8,678,905		
	施設外観					その他維持費	59,783	
						小計	17,881,000	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	3,428,833
						光熱水費	8,012,242	
					その他委託料	6,709,483		
					その他運営費(事業費)	38,577,536		
					小計	56,728,094		
				合計(①+②)	74,609,094			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,090円/人 ^{※9}		9,925円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		959円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	4,583円/人	(市民1人当たり年積立必要額3624円/人+市民1人当たり管理運営負担額959円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	106（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	959（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	9,925（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市立沓掛小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	17
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町一之御前16番地	敷地面積	24,058 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

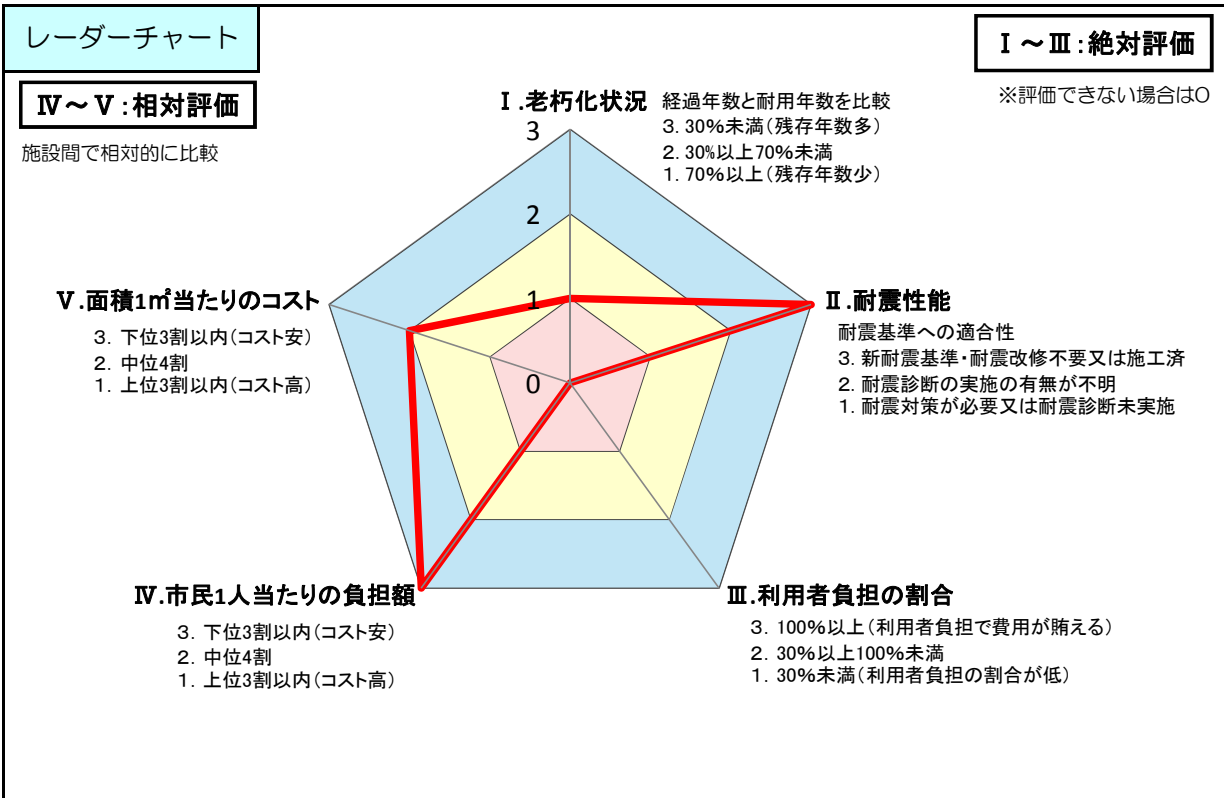
構成施設	校舎10-1、校舎10-2、校舎16-1、校舎16-2、屋内運動場、校舎20、校舎24				
複合・併設施設	北部児童館分室(019)		建築年度	昭和36年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	7,480 m ²	経過年数	53年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	2,468,400,000円	更新時期 ^{※2}	7年以内	年積立必要額 ^{※3}	352,628,571円
市民1人当たり更新コスト	36,062円/人	市民1人当たり年積立必要額	5,152円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト)	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,912,153
		国費		5,680,666		修繕料	3,034,352	
		県費		122,721		火災保険料	-	
		その他		9,463		維持管理委託料	517,205	
		市費(一般財源)		46,458,261		敷地借上料	-	
	合計			52,271,111		工事請負費	8,881,567	
	施設外観					その他維持費	42,627	
						小計	14,387,904	
	②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費					②施設運営コスト	人件費(賃金含)	3,428,833
						光熱水費	5,727,193	
					その他委託料	4,279,064		
					その他運営費(事業費)	24,448,117		
					小計	37,883,207		
				合計(①+②)	52,271,111			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		764円/人 ^{※9}		6,988円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		679円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	5,831円/人	(市民1人当たり年積立必要額5152円/人+市民1人当たり管理運営負担額679円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	113（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	679（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	6,988（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立栄小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	18
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新栄町二丁目295番地	敷地面積	22,889 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

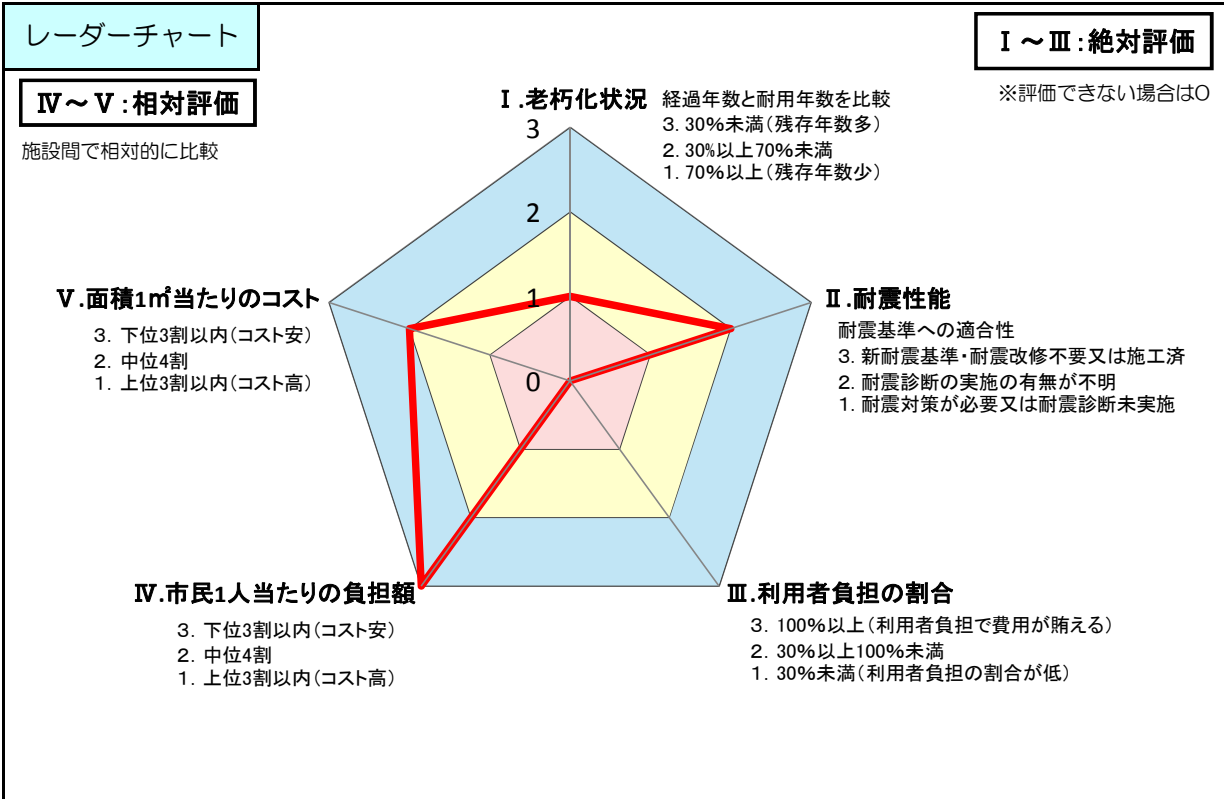
構成施設	校舎1-1、校舎1-2、校舎1-3、校舎2、校舎3-1、校舎3-2、屋内運動場、校舎7、校舎8				
複合・併設施設	図書館栄分室(021)		建築年度	昭和45年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	8,903 m ²	経過年数	44年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	2,937,990,000円	更新時期 ^{※2}	16年以内	年積立必要額 ^{※3}	183,624,375円
市民1人当たり更新コスト	42,923円/人	市民1人当たり年積立必要額	2,683円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト)	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国 費		6,597,099		人件費(賃金含)	1,912,153
		県 費		140,273		修繕料	3,390,230
		その他		11,250		火災保険料	-
		市費(一般財源)		57,802,476		維持管理委託料	1,570,826
	合 計			64,551,098		敷地借上料	-
	施設外観					工事請負費	4,844,414
	①施設維持コスト ^{※6}					その他維持費	48,979
	建物を良好に保つために要する経費					小 計	11,766,602
+				②施設運営コスト			
②施設運営コスト ^{※7}				人件費(賃金含)	3,428,833		
公共サービスを提供するために要する経費				光熱水費	6,285,805		
				その他委託料	5,048,792		
				その他運営費(事業費)	38,021,066		
				小 計	52,784,496		
				合 計(①+②)	64,551,098		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		943 円/人 ^{※9}		7,250 円/m ² ^{※10}		
負担額	- 円/人 ^{※11}		844 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	3,527 円/人	(市民1人当たり年積立必要額2683円/人+市民1人当たり管理運営負担額844円/人)
-------------	-----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	94（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	844（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	7,250（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市立双峰小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	19
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	二村台7丁目3番地 (双峰小学校)	敷地面積	21,692 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

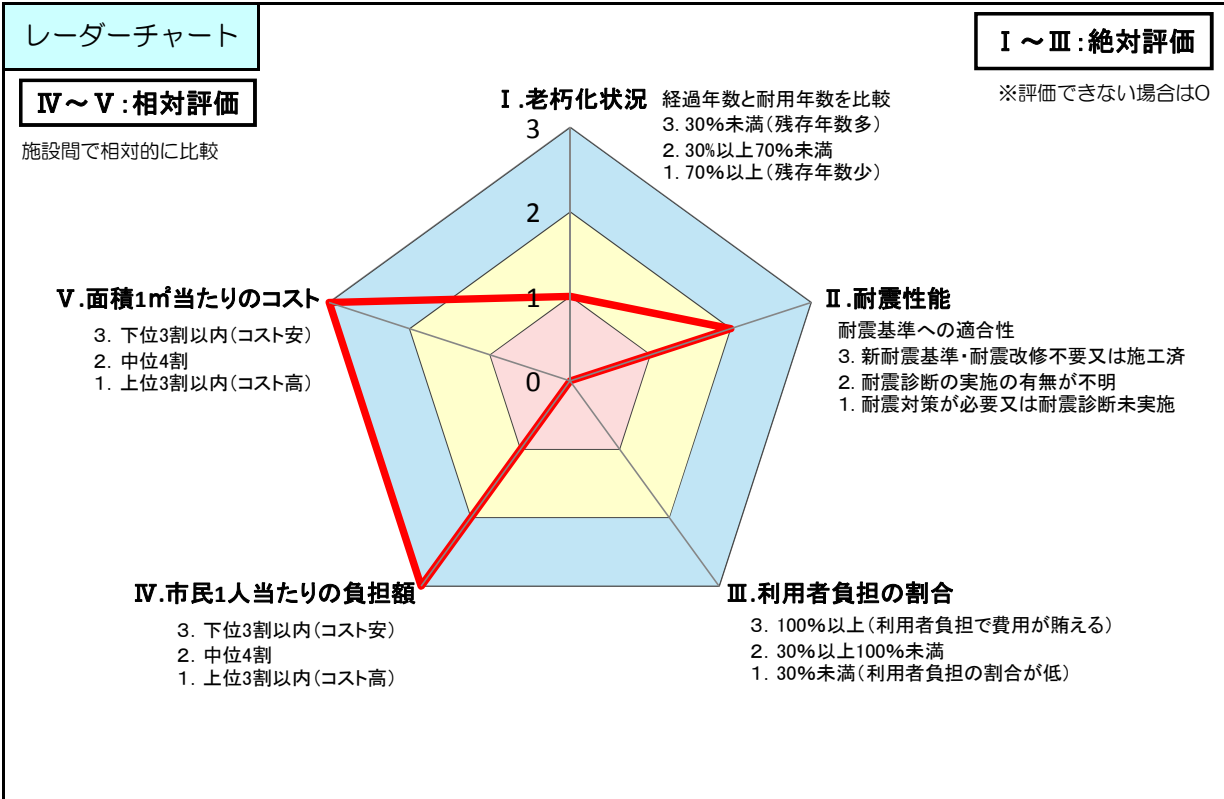
構成施設	校舎1-1、校舎1-2、校舎1-3、校舎3、校舎4-1、校舎4-2、校舎4-3、校舎4-4、屋内運動場、校舎8-1				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和46年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	7,753 m ²	経過年数	43年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	2,558,490,000円	更新時期 ^{※2}	17年以内	年積立必要額 ^{※3}	150,499,412円
市民1人当たり更新コスト	37,379円/人	市民1人当たり年積立必要額	2,199円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,912,153
		国費		2,400,756		修繕料	1,759,010	
		県費		51,168		火災保険料	-	
		その他		4,059		維持管理委託料	332,776	
		市費(一般財源)		26,207,701		敷地借上料	-	
	合 計			28,663,684		工事請負費	4,138,302	
	施設外観					その他維持費	23,333	
						小 計	8,165,574	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	3,428,833
				光熱水費		5,066,973		
				その他委託料	1,781,927			
				その他運営費(事業費)	10,220,377			
				小 計	20,498,110			
				合 計(①+②)	28,663,684			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		419 円/人 ^{※9}	3,697 円/m ² ^{※10}				
負担額	- 円/人 ^{※11}		383 円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	2,582 円/人	(市民1人当たり年積立必要額2199円/人+市民1人当たり管理運営負担額383円/人)
-------------	-----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率 ^{※13} を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	91 (%)
II. 耐震性能	建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準 ^{※14} で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	一部不明
III. 利用者負担の割合	ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	383 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	3,697 (円/㎡)
総合評価	経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能が不明(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立大宮小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	20
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	前後町大狭間1475番地	敷地面積	18,473 m ²
	(大宮小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

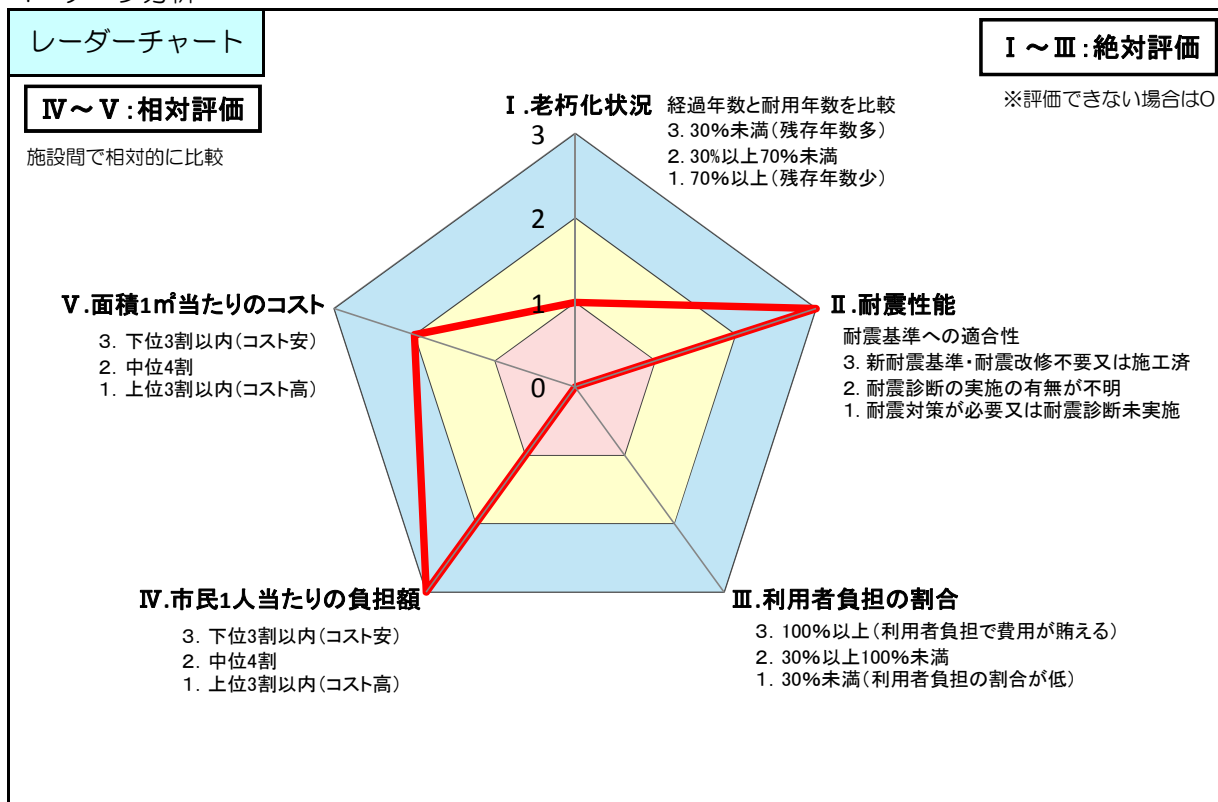
構成施設	校舎1-1、校舎1-2、校舎1-3、校舎1-5、屋内運動場				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和50年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	4,590 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	1,514,700,000円	更新時期 ^{※2}	21年以内	年積立必要額 ^{※3}	72,128,571円
市民1人当たり更新コスト	22,129円/人	市民1人当たり年積立必要額	1,054円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,912,153
		国費		2,521,619		修繕料	2,091,995	
		県費		53,575		火災保険料	-	
		その他		4,253		維持管理委託料	162,539	
		市費(一般財源)		23,734,247		敷地借上料	-	
	合計			26,313,694		工事請負費	3,247,595	
	施設外観					その他維持費	22,963	
						小計	7,437,245	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	3,428,833
						光熱水費	3,445,312	
					その他委託料	1,781,927		
					その他運営費(事業費)	10,220,377		
				小計	18,876,449			
				合計(①+②)	26,313,694			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		384円/人 ^{※9}		5,733円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		347円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	1,401円/人	(市民1人当たり年積立必要額1054円/人+市民1人当たり管理運営負担額347円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	83 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	347 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	5,733 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立唐竹小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	21
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	二村台1丁目27番地 (唐竹小学校)	敷地面積	16,979 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

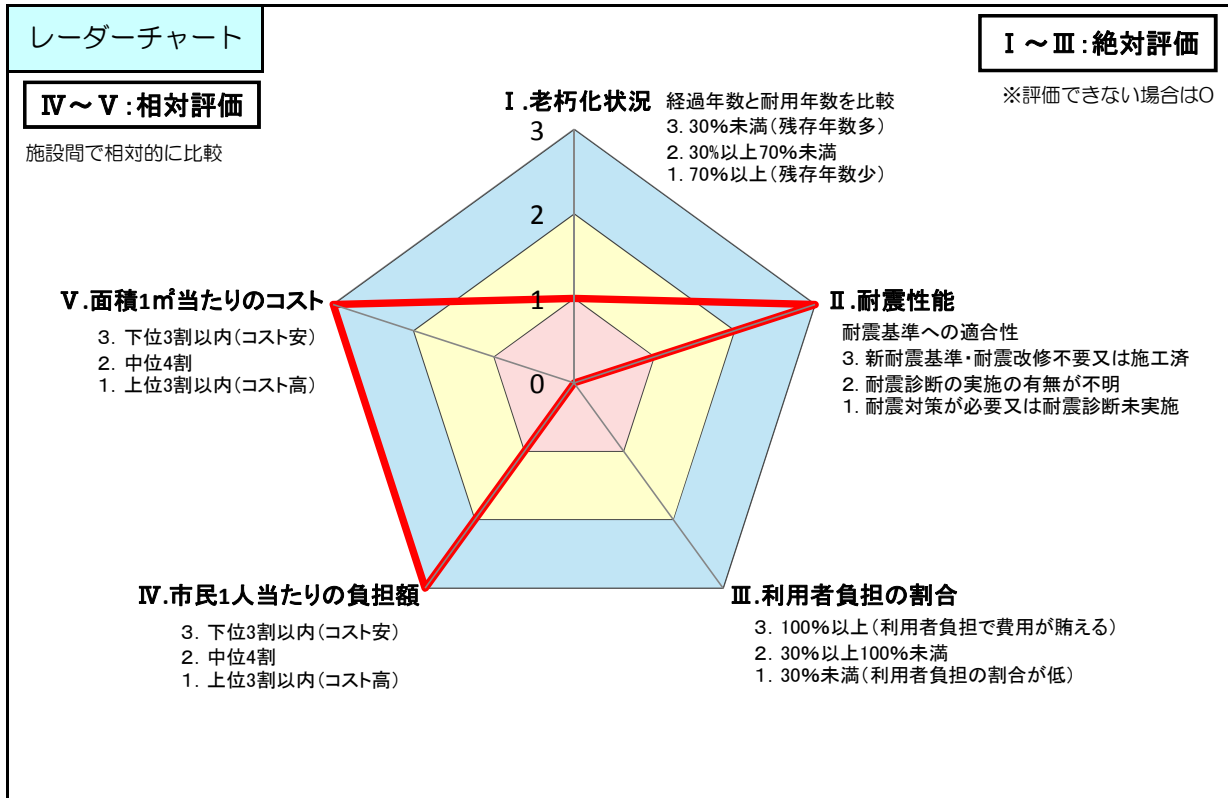
構成施設	校舎1-1、校舎1-2、屋内運動場、校舎4				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和50年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	6,485 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	2,140,050,000円	更新時期 ^{※2}	21年以内	年積立必要額 ^{※3}	101,907,143円
市民1人当たり更新コスト	31,265円/人	市民1人当たり年積立必要額	1,489円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,912,153
		国費		2,101,430		修繕料	1,640,704	
		県費		44,936		火災保険料	-	
		その他		3,516		維持管理委託料	332,776	
		市費(一般財源)		24,706,462		敷地借上料	-	
	合計			26,856,344		工事請負費	5,299,272	
	施設外観					その他維持費	20,665	
						小計	9,205,570	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	3,428,833
				光熱水費		4,220,022		
				その他委託料	1,484,939			
				その他運営費(事業費)	8,516,980			
				小計	17,650,774			
				合計(①+②)	26,856,344			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		392円/人 ^{※9}		4,141円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		361円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	1,850円/人	(市民1人当たり年積立必要額1489円/人+市民1人当たり管理運営負担額361円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	83 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	361 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	4,141 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立三崎小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	22
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	三崎町三崎2番地1	敷地面積	19,111 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	7,693 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

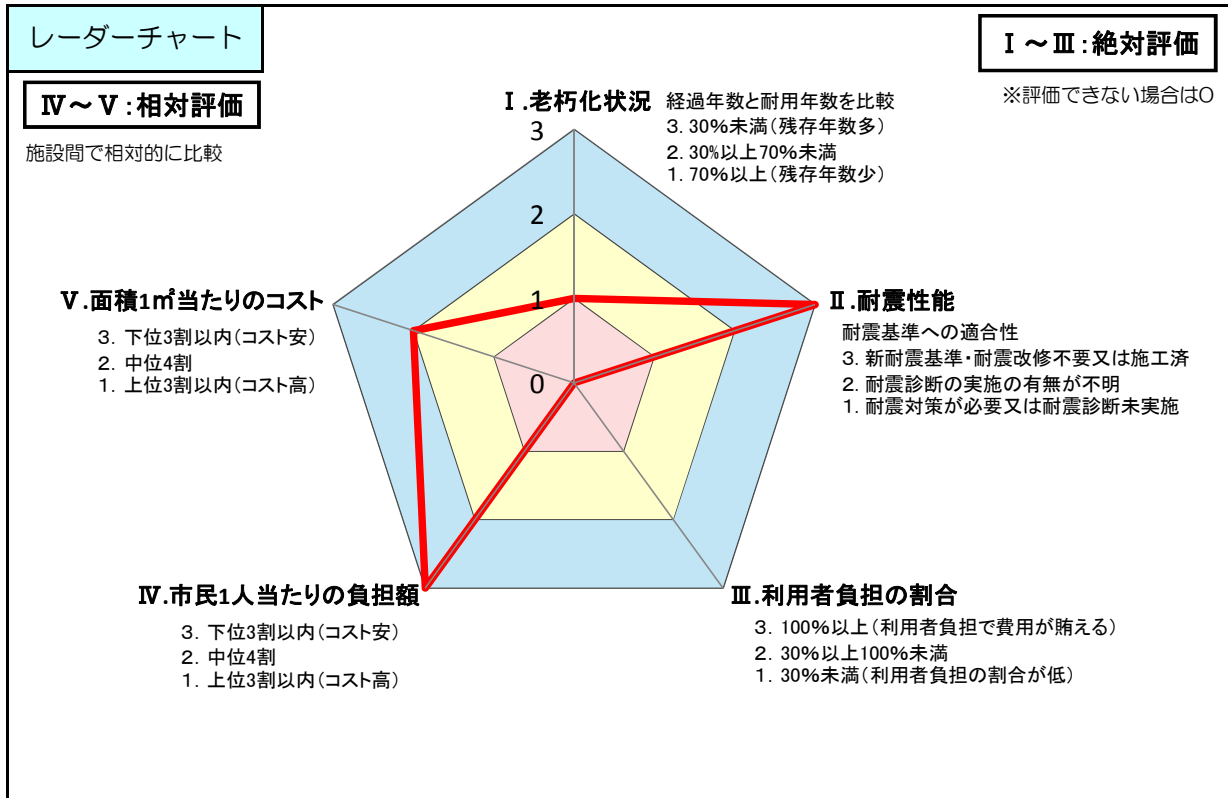
構成施設	校舎1-1、校舎1-2、校舎1-4、校舎3-1、校舎3-2、屋内運動場、校舎7-1、校舎7-2				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和52年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	6,849 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	2,260,170,000円	更新時期 ^{※2}	23年以内	年積立必要額 ^{※3}	98,268,261円
市民1人当たり更新コスト	33,020円/人	市民1人当たり年積立必要額	1,436円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト)	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,912,153
		国費		4,630,781		修繕料	2,414,502	
		県費		99,674		火災保険料	-	
		その他		7,761		維持管理委託料	1,312,539	
		市費(一般財源)		40,801,173		敷地借上料	5,489,453	
	合計			45,539,389		工事請負費	2,464,864	
	施設外観					その他維持費	36,530	
	①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費					小計	13,630,041	
	②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費					②施設運営コスト	人件費(賃金含)	3,428,833
				光熱水費		4,476,660		
				その他委託料	3,563,853			
				その他運営費(事業費)	20,440,002			
				小計	31,909,348			
				合計(①+②)	45,539,389			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		665円/人 ^{※9}	6,649円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		596円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	2,032円/人	(市民1人当たり年積立必要額1436円/人+市民1人当たり管理運営負担額596円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	79（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	596（円/㎡）
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	6,649（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立館小学校		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	学校	施設番号	23
-----	---------	-----	----	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町南館3番地758	敷地面積	20,895 m ²
	(館小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

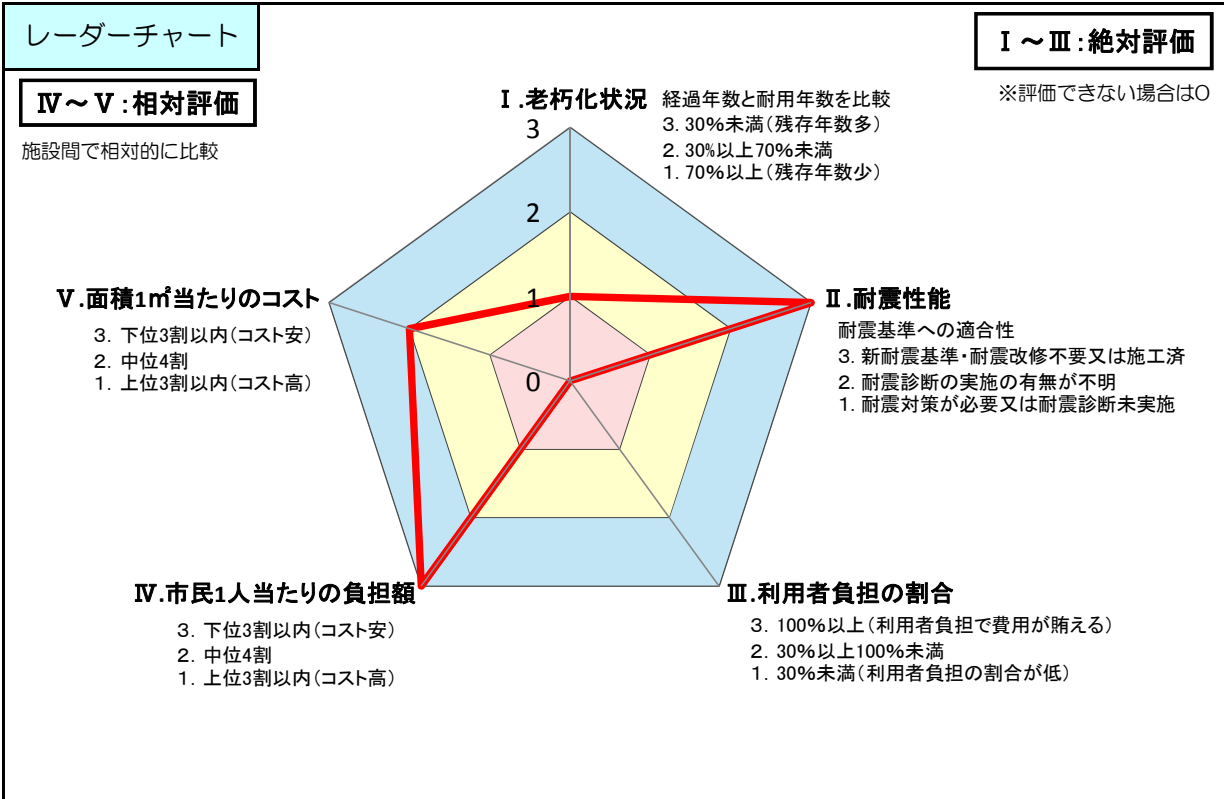
構成施設	校舎1-1、校舎1-2、屋内運動場、校舎3-2				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和54年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	5,268 m ²	経過年数	35年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	1,738,440,000円	更新時期 ^{※2}	25年以内	年積立必要額 ^{※3}	69,537,600円
市民1人当たり更新コスト	25,398円/人	市民1人当たり年積立必要額	1,016円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト)	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国 費		3,353,978		人件費(賃金含)	1,912,153
		県 費		71,762		修繕料	2,337,952
		その他		5,693		火災保険料	-
		市費(一般財源)		28,990,937		維持管理委託料	176,539
	合 計		32,422,370	敷地借上料		-	
	①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	施設外観				工事請負費	2,988,817
						その他維持費	29,108
				小 計		7,444,569	
②施設運営コスト							
人件費(賃金含)				3,428,833			
光熱水費	5,545,898						
			その他委託料	2,375,902			
			その他運営費(事業費)	13,627,168			
			小 計	24,977,801			
			合 計(①+②)	32,422,370			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		474 円/人 ^{※9}	6,155 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		424 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	1,440 円/人	(市民1人当たり年積立必要額1016円/人+市民1人当たり管理運営負担額424円/人)
-------------	-----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	74（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	424（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	6,155（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立学校給食センター（中央調理場）		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	その他教育施設	施設番号	24
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町子持松前2番地1	敷地面積	3,315 m ²
	(中央小学校地区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

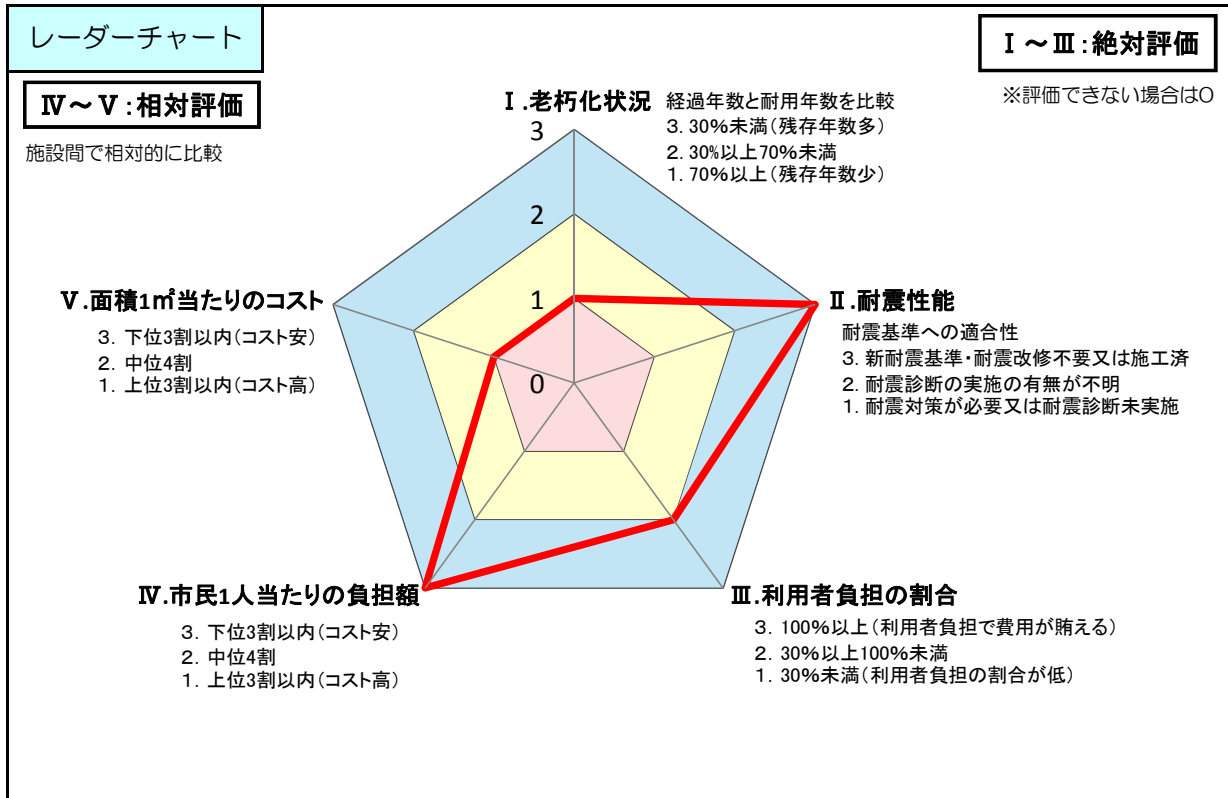
構成施設	中央調理場				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和45年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	1,157 m ²	経過年数	44年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	381,810,000円	更新時期 ^{※2}	16年以内	年積立必要額 ^{※3}	23,863,125円
市民1人当たり更新コスト	5,578円/人	市民1人当たり年積立必要額	349円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等	149,702,914		支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,878,000
		国費	639,667			修繕料	4,720,385	
		県費	-			火災保険料	77,630	
		その他	92,636			維持管理委託料	5,632,562	
		市費(一般財源)	187,145,576			敷地借上料	-	
	合計	337,580,793		工事請負費		13,852,900		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	30,161,477	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	82,960,893
				光熱水費		18,324,455		
				その他委託料	17,642,800			
				その他運営費(事業費)	188,491,168			
				小計	307,419,316			
				合計(①+②)	337,580,793			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4,932円/人 ^{※9}		291,773円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		2,734円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	3,083円/人	(市民1人当たり年積立必要額349円/人+市民1人当たり管理運営負担額2734円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	116（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	44（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	2,734（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	291,773（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは一部対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立学校給食センター（栄調理場）		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	学校教育系施設	中分類	その他教育施設	施設番号	25
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	学校教育課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町殿ノ山72番地1	敷地面積	2,893 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	栄調理場				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和53年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	1,195 m ²	経過年数	36年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	394,350,000円	更新時期 ^{※2}	24年以内	年積立必要額 ^{※3}	16,431,250円
市民1人当たり更新コスト	5,761円/人	市民1人当たり年積立必要額	240円/人		

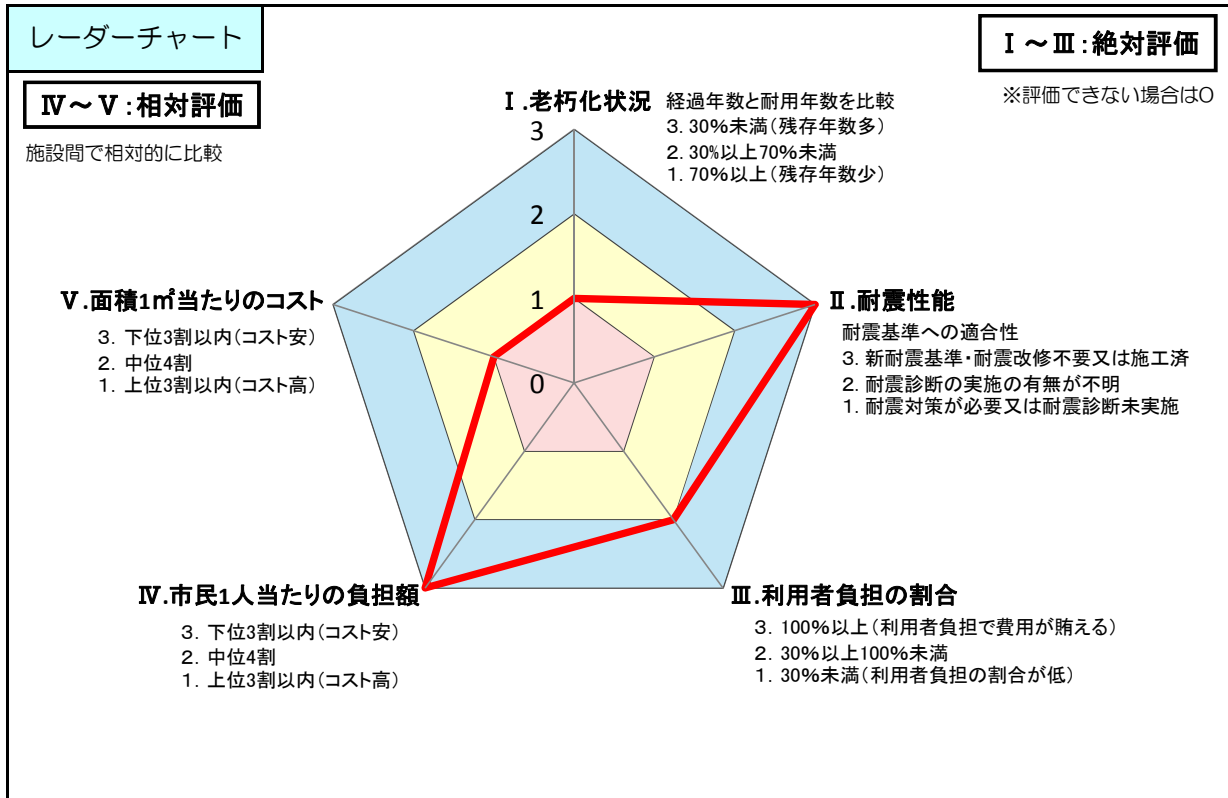
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		128,316,784	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,878,000
		国費		-		修繕料	3,147,590	
		県費		-		火災保険料	51,753	
		その他		-		維持管理委託料	3,876,375	
		市費(一般財源)		117,401,862		敷地借上料	-	
	合計		245,718,646	工事請負費		9,152,433		
						その他維持費	-	
						小計	22,106,151	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	69,022,595
						光熱水費	14,651,705	
					その他委託料	11,761,867		
					その他運営費(事業費)	128,176,328		
					小計	223,612,495		
				合計(①+②)		245,718,646		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		3,590 円/人 ^{※9}	205,622 円/m ² ^{※10}				
負担額	- 円/人 ^{※11}		1,715 円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	1,955 円/人	(市民1人当たり年積立必要額240円/人+市民1人当たり管理運営負担額1715円/人)
-------------	-----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	95 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	52 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,715 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	205,622 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは一部対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立図書館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	社会教育系施設	中分類	図書館	施設番号	26
-----	---------	-----	-----	------	----

所管部課	図書館
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町横井4番地11	敷地面積	5,359 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

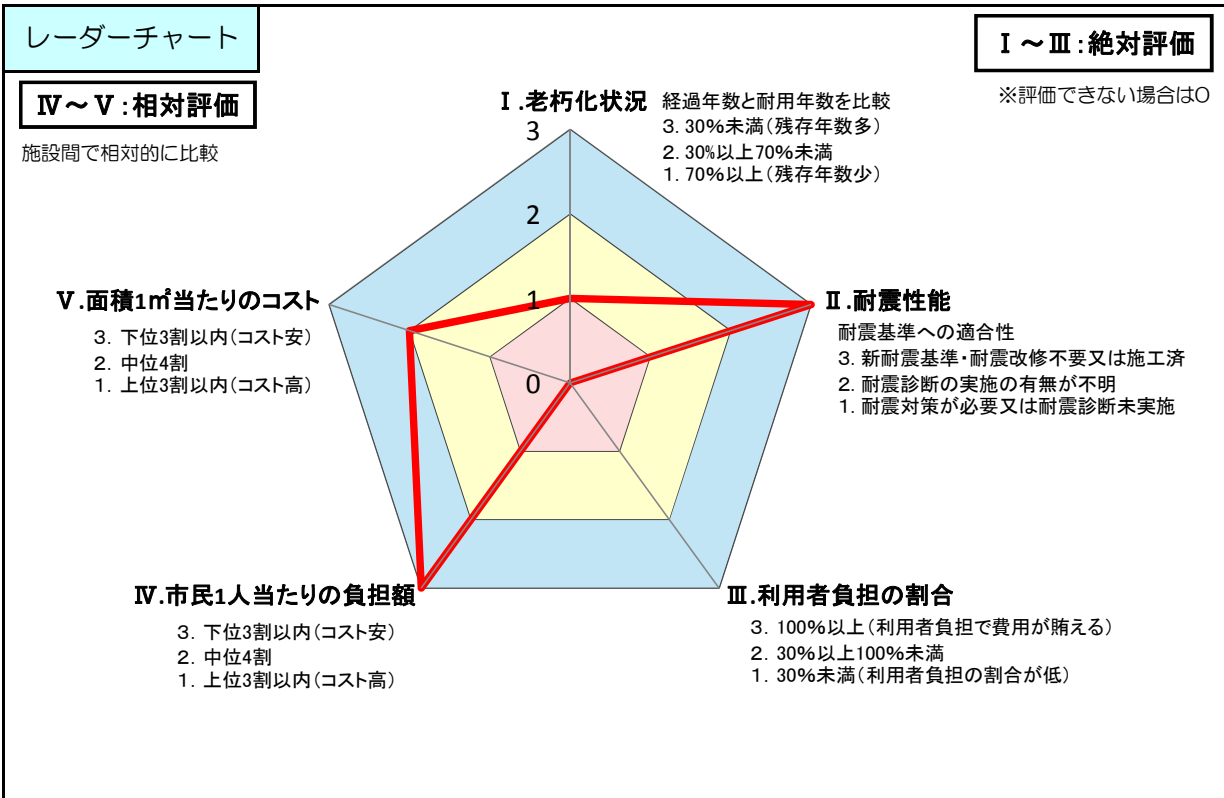
構成施設	図書館				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和54年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,923 m ²	経過年数	35年
階数(地上)	2階	階数(地下)	1階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	1,169,200,000円	更新時期 ^{※2}	25年以内	年積立必要額 ^{※3}	46,768,000円
市民1人当たり更新コスト	17,082円/人	市民1人当たり年積立必要額	683円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,878,000
		国費		273,000		修繕料	800,297	
		県費		-		火災保険料	17,219	
		その他		71,248		維持管理委託料	11,551,762	
		市費(一般財源)		105,805,198		敷地借上料	-	
	合計			106,149,446		工事請負費	6,026,203	
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	24,273,481	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	51,969,690
				光熱水費		7,384,101		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	22,522,174			
				小計	81,875,965			
				合計(①+②)	106,149,446			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		1,551 円/人 ^{※9}		36,315 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		1,546 円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	2,229 円/人	(市民1人当たり年積立必要額683円/人+市民1人当たり管理運営負担額1546円/人)
-------------	-----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	70 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,546 (円/㎡)
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	36,315 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市立図書館栄分室		
従たる施設の場合、主たる施設名	豊明市立栄小学校（18）		

大分類	社会教育系施設	中分類	図書館	施設番号	27
-----	---------	-----	-----	------	----

所管部課	図書館
------	-----


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新栄町二丁目295番地	敷地面積	- m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	456 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

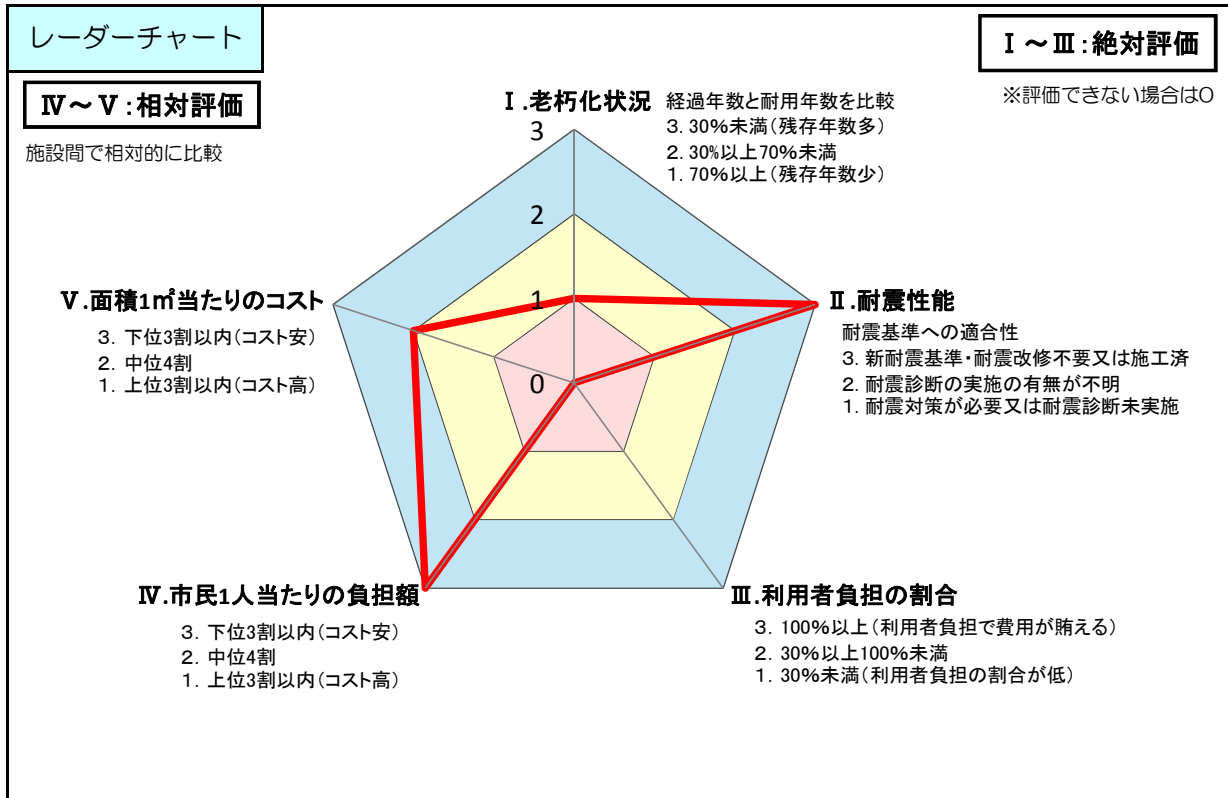
構成施設	校舎1-3				
複合・併設施設	栄小学校(020)		建築年度	昭和46年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	197 m ²	経過年数	43年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	78,800,000円	更新時期 ^{※2}	17年以内	年積立必要額 ^{※3}	4,635,294円
市民1人当たり更新コスト	1,151円/人	市民1人当たり年積立必要額	68円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳				
	収 入	利用料等		-	支 出	人件費(賃金含)	-	
		国 費		-		①施設維持コスト	修繕料	83,967
		県 費		-		火災保険料	-	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		5,911,519		敷地借上料	501,733	
	合計		5,911,519	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
				小 計		585,700		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	3,611,100	
				光熱水費		59,415		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	1,655,304			
				小 計	5,325,819			
				合計(①+②)	5,911,519			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		86 円/人 ^{※9}		30,008 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		86 円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	154 円/人	(市民1人当たり年積立必要額68円/人+市民1人当たり管理運営負担額86円/人)
-------------	---------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率 ^{※13} を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	91 (%)
II. 耐震性能	建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準 ^{※14} で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	86 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	30,008 (円/㎡)
総合評価	経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立中央公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	豊明市役所(1)		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	28
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町子持松1番地1	敷地面積	-	m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	-	m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	中央公民館				
複合・併設施設	豊明市役所(001)		建築年度	昭和47年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	932 m ²	経過年数	42年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	372,800,000円	更新時期 ^{※2}	18年以内	年積立必要額 ^{※3}	20,711,111円
市民1人当たり更新コスト	5,446円/人	市民1人当たり年積立必要額	303円/人		

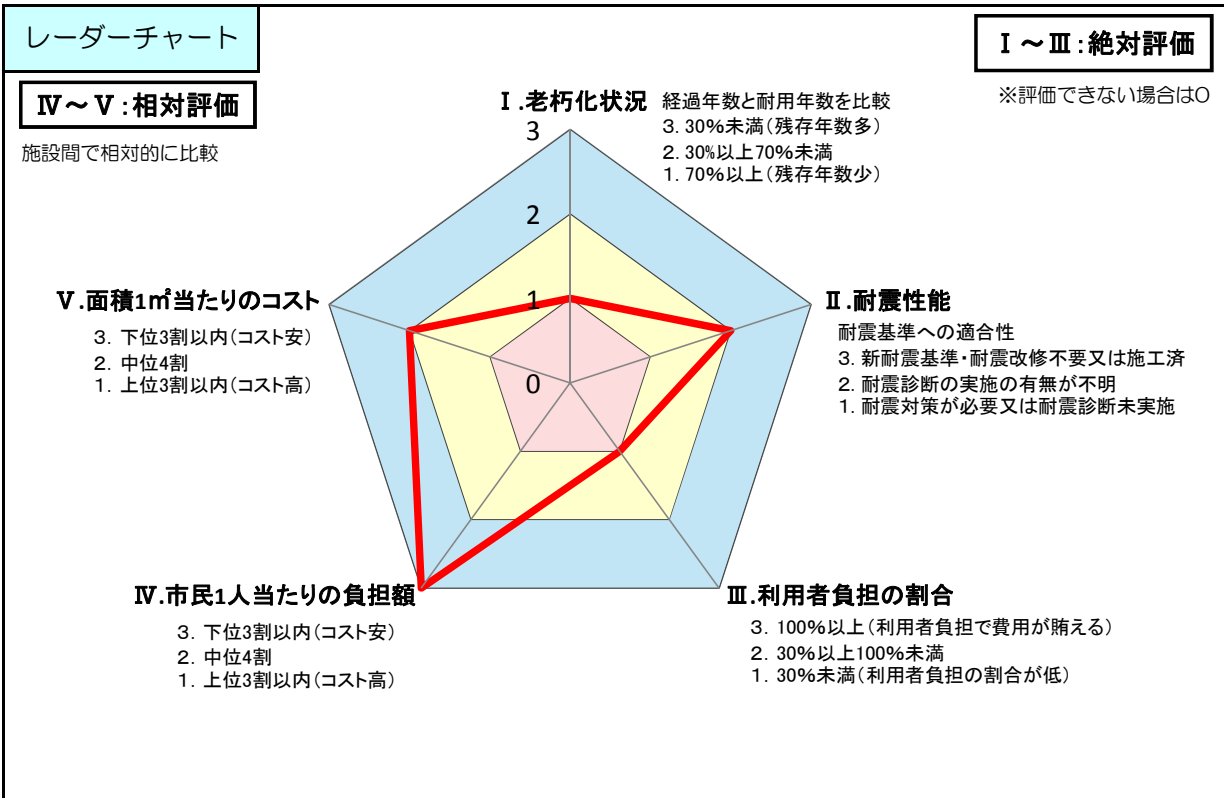
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		38,837人	37,346人	22,304人	32,829人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)		内訳		金額(円)	
	収 入	利用料等		1,258,863	①施設維持コスト	人件費(賃金含)		1,175,600
		国費		-		修繕料		98,517
		県費		-		火災保険料		-
		その他		-		維持管理委託料		-
		市費(一般財源)		5,994,439		敷地借上料		-
	合計		7,253,302		支 出	工事請負費		-
						その他維持費		-
						小計		1,274,117
						②施設運営コスト		5,878,000
				人件費(賃金含)			5,878,000	
				光熱水費		-		
				その他委託料		-		
				その他運営費(事業費)		101,185		
				小計		5,979,185		
				合計(①+②)		7,253,302		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	221円/人 ^{※8}		106円/人 ^{※9}		7,783円/m ² ^{※10}			
負担額	38円/人 ^{※11}		88円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	391円/人	(市民1人当たり年積立必要額303円/人+市民1人当たり管理運営負担額88円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	84（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	17（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	88（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	7,783（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	勅使会館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	29
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町勅使1番地1	敷地面積	1,000 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	勅使会館				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和54年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	540 m ²	経過年数	35年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	216,000,000円	更新時期 ^{※2}	25年以内	年積立必要額 ^{※3}	8,640,000円
市民1人当たり更新コスト	3,156円/人	市民1人当たり年積立必要額	126円/人		

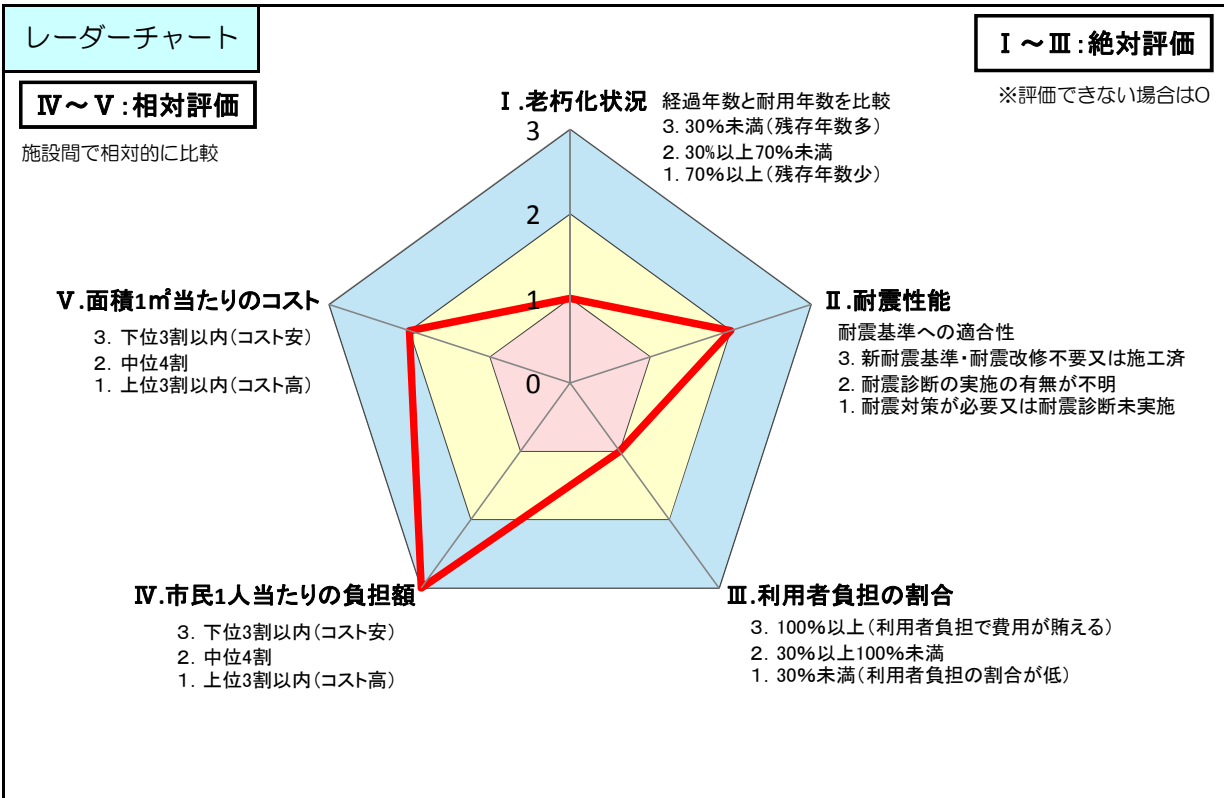
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		2,780人	2,253人	2,470人	2,501人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		276,253	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	489,833
		国費		-		修繕料	148,707	
		県費		-		火災保険料	10,689	
		その他		37,154		維持管理委託料	1,799,693	
		市費(一般財源)		10,021,085		敷地借上料	-	
	合計		10,334,492	工事請負費		547,710		
				その他維持費		-		
				小計		2,996,632		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	685,767	
				光熱水費		1,950,436		
				その他委託料	4,538,998			
				その他運営費(事業費)	162,659			
				小計	7,337,860			
				合計(①+②)	10,334,492			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	4,132円/人 ^{※8}		151円/人 ^{※9}		19,138円/m ² ^{※10}			
負担額	110円/人 ^{※11}		146円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	272円/人	(市民1人当たり年積立必要額126円/人+市民1人当たり管理運営負担額146円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	70 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	3 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	146 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	19,138 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能が不明(II)。 バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明文化広場グラウンド管理棟		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	中分類	スポーツ施設	施設番号	30
-----	------------------	-----	--------	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町勅使1番地63	敷地面積	243 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

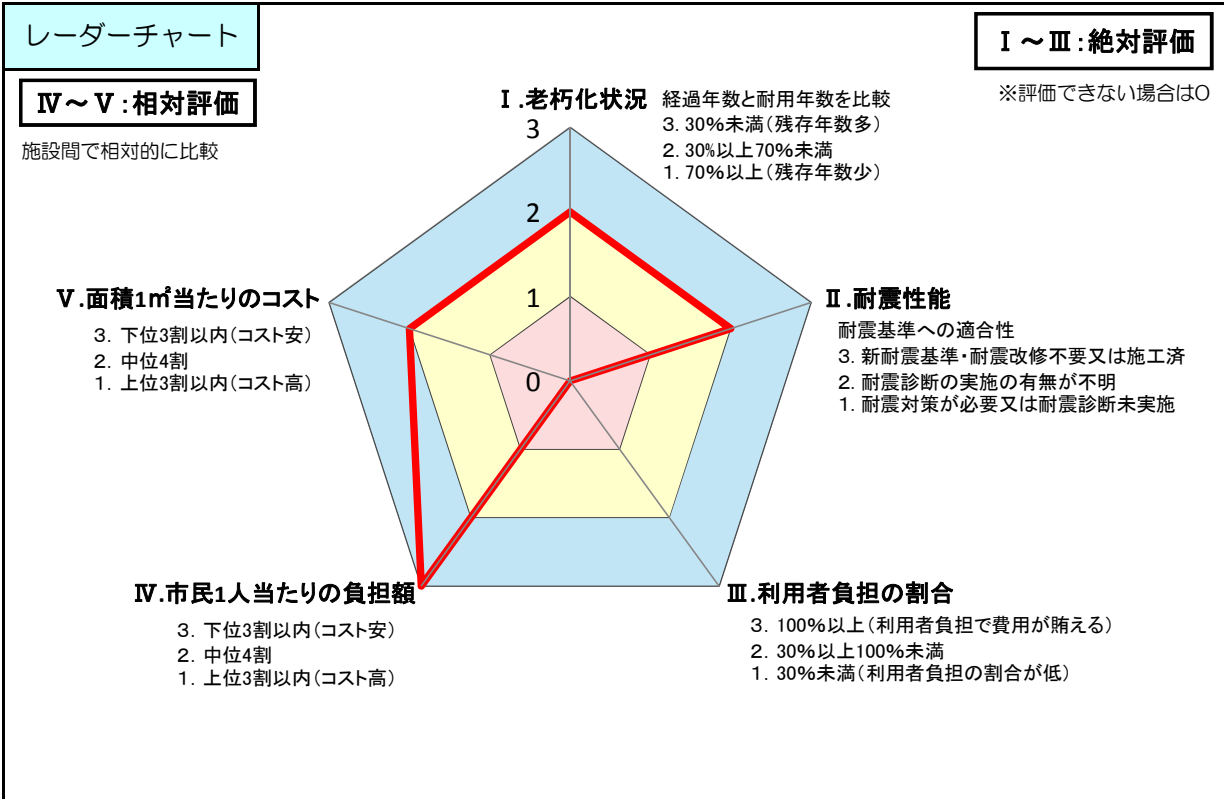
構成施設	管理棟				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和58年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	243 m ²	経過年数	31年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	87,480,000円	更新時期 ^{※2}	29年以内	年積立必要額 ^{※3}	3,016,552円
市民1人当たり更新コスト	1,278円/人	市民1人当たり年積立必要額	44円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	指定管理(混合)		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳				
	収	利用料等		-	支	人件費(賃金含)	-	
		国費		-		①施設維持コスト	修繕料	-
		県費		-		火災保険料	2,086	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		3,869,147		敷地借上料	-	
	合計		3,869,147	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	2,086	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	-
				光熱水費		3,867,061		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	-			
				小計	3,867,061			
				合計(①+②)	3,869,147			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		57円/人 ^{※9}		15,922円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		57円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	101円/人	(市民1人当たり年積立必要額44円/人+市民1人当たり管理運営負担額57円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	62 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	57 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	15,922 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能が不明(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市福祉体育館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	中分類	スポーツ施設	施設番号	31
-----	------------------	-----	--------	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町笹原26番地1	敷地面積	9,828 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

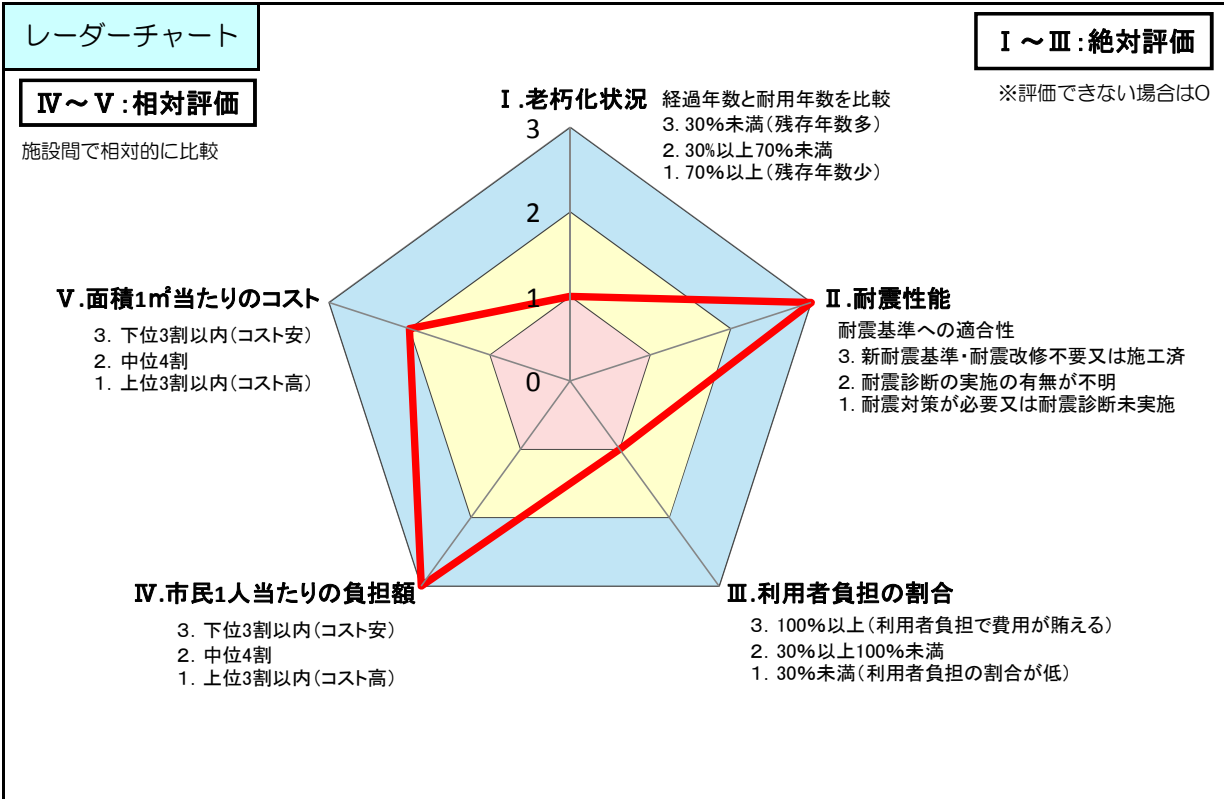
構成施設	豊明市福祉体育館				
複合・併設施設	老人センター(033),中央児童館(034)		建築年度	昭和52年度	
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	6,259 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	2,253,240,000円	更新時期 ^{※2}	23年以内	年積立必要額 ^{※3}	97,966,957円
市民1人当たり更新コスト	32,919円/人	市民1人当たり年積立必要額	1,431円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		113,380人	121,427人	82,920人	105,909人	指定管理(混合)		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		15,462,313	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	7,837,333
		国費		-		修繕料	3,819,950	
		県費		-		火災保険料	75,272	
		その他		-		維持管理委託料	9,562,527	
		市費(一般財源)		59,252,606		敷地借上料	-	
	合計		74,714,919	工事請負費		24,782,051		
	施設外観			その他維持費		1,746,261		
				小計		47,823,394		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	8,372,803	
			光熱水費	12,616,686				
			その他委託料	1,645,000				
			その他運営費(事業費)	4,257,036				
			小計	26,891,525				
			合計(①+②)	74,714,919				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	705円/人 ^{※8}		1,092円/人 ^{※9}	11,937円/m ² ^{※10}				
負担額	146円/人 ^{※11}		866円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	2,297円/人	(市民1人当たり年積立必要額1431円/人+市民1人当たり管理運営負担額866円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	79 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	21 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	866 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	11,937 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市農村環境改善センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	産業系施設	中分類	産業系施設	施設番号	32
-----	-------	-----	-------	------	----

所管部課	産業振興課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町石畑141番地	敷地面積	4,400 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

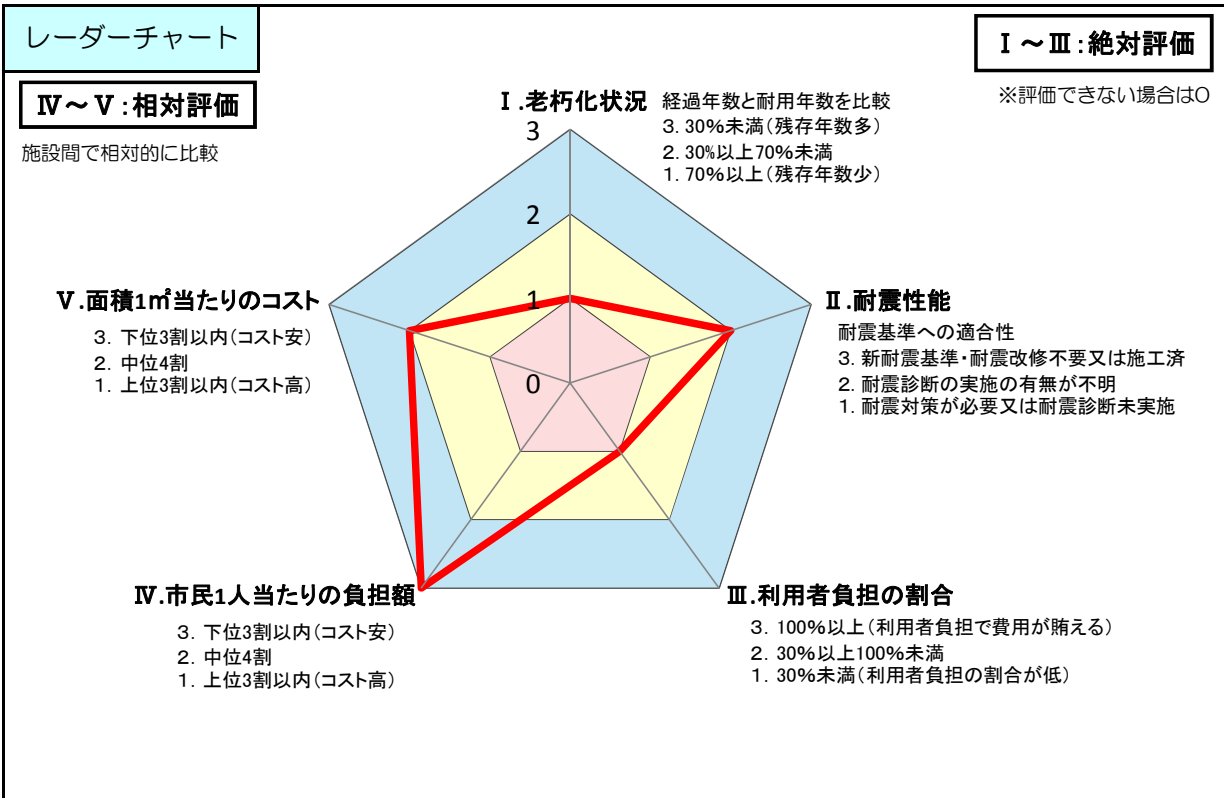
構成施設	豊明市農村環境改善センター				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和52年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	750 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	300,000,000円	更新時期 ^{※2}	23年以内	年積立必要額 ^{※3}	13,043,478円
市民1人当たり更新コスト	4,383円/人	市民1人当たり年積立必要額	191円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		10,163人	10,538人	12,975人	11,225人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		953,023	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国費		-		修繕料	470,488	
		県費		-		火災保険料	28,223	
		その他		-		維持管理委託料	1,233,150	
		市費(一般財源)		5,676,839		敷地借上料	-	
	合計		6,629,862	工事請負費		1,000,000		
	施設外観					その他維持費	20,830	
						小計	2,752,691	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	-
						光熱水費	1,781,164	
					その他委託料	1,783,917		
					その他運営費(事業費)	312,090		
					小計	3,877,171		
				合計(①+②)	6,629,862			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	591円/人 ^{※8}		97円/人 ^{※9}		8,840円/m ² ^{※10}			
負担額	85円/人 ^{※11}		83円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	274円/人	(市民1人当たり年積立必要額191円/人+市民1人当たり管理運営負担額83円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	74（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か対策実施済。</p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	14（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	83（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	8,840（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	沓掛浄化センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	供給処理施設	中分類	供給処理施設	施設番号	33
-----	--------	-----	--------	------	----

所管部課	都市計画課
------	-------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町下山152番地	敷地面積	2,783 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

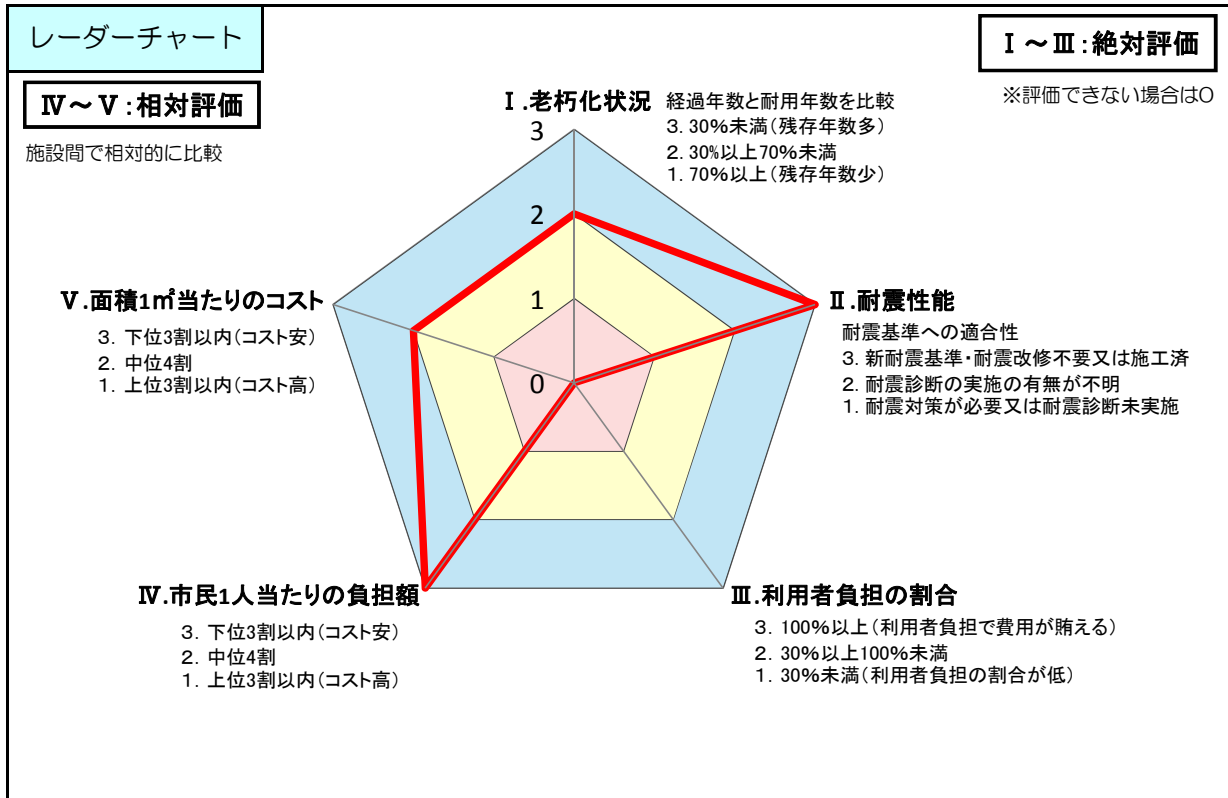
構成施設	沓掛浄化センター				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和56年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,610 m ²	経過年数	33年
階数(地上)	2階	階数(地下)	2階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	939,600,000円	更新時期 ^{※2}	27年以内	年積立必要額 ^{※3}	34,800,000円
市民1人当たり更新コスト	13,727円/人	市民1人当たり年積立必要額	508円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	包括委託	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国費		-		人件費(賃金含)	1,175,600
		県費		-		修繕料	1,455,490
		その他		-		火災保険料	-
		市費(一般財源)		37,683,268		維持管理委託料	-
	合計		37,683,268	敷地借上料		-	
	施設外観					工事請負費	3,284,747
						その他維持費	9,307,013
						小計	15,222,850
				②施設運営コスト			
				人件費(賃金含)	1,763,400		
				光熱水費	7,191,017		
				その他委託料	13,218,753		
				その他運営費(事業費)	287,248		
				小計	22,460,418		
				合計(①+②)	37,683,268		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		551 円/人 ^{※9}		14,438 円/m ² ^{※10}		
負担額	- 円/人 ^{※11}		551 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	1,059 円/人	(市民1人当たり年積立必要額508円/人+市民1人当たり管理運営負担額551円/人)
-------------	-----------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	66 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	551 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	14,438 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	大久伝排水機場		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	その他行政系施設	施設番号	34
-----	-------	-----	----------	------	----

所管部課	産業振興課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	大久伝町中76番地	敷地面積	2,356 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

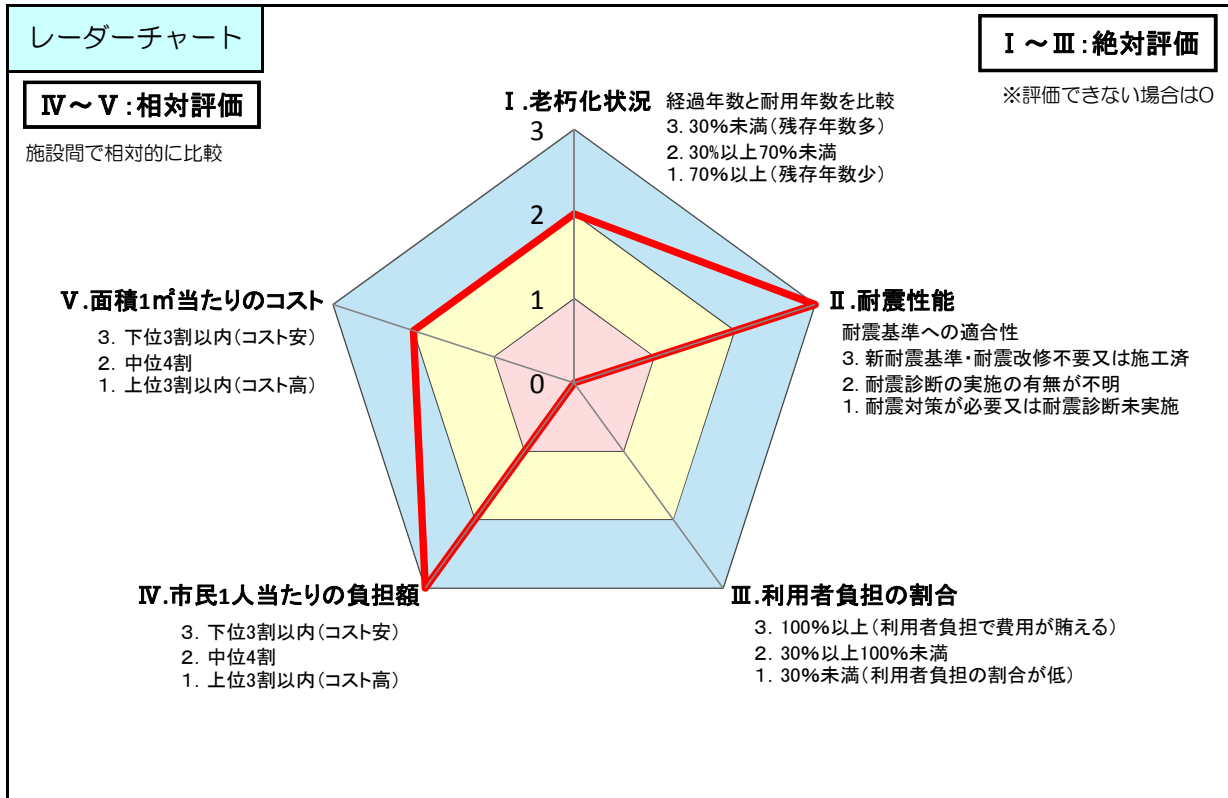
構成施設	大久伝排水機場				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和55年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	246 m ²	経過年数	34年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	98,400,000円	更新時期 ^{※2}	26年以内	年積立必要額 ^{※3}	3,784,615円
市民1人当たり更新コスト	1,438円/人	市民1人当たり年積立必要額	55円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人			
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,333
		国費		-		修繕料	19,333	
		県費		-		火災保険料	21,608	
		その他		-		維持管理委託料	844,333	
		市費(一般財源)		1,899,544		敷地借上料	-	
	合計		1,899,544	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	36,667	
						小計	980,274	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	-
						光熱水費	600,741	
					その他委託料	-		
					その他運営費(事業費)	318,529		
					小計	919,270		
				合計(①+②)	1,899,544			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		28円/人 ^{※9}	7,722円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		28円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	83円/人	(市民1人当たり年積立必要額55円/人+市民1人当たり管理運営負担額28円/人)
-------------	-------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	68（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV.市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	28（円/㎡）
V.面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	7,722（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	大脇排水機場		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	その他行政系施設	施設番号	35
-----	-------	-----	----------	------	----

所管部課	産業振興課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町舟田75番地2	敷地面積	2,708 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

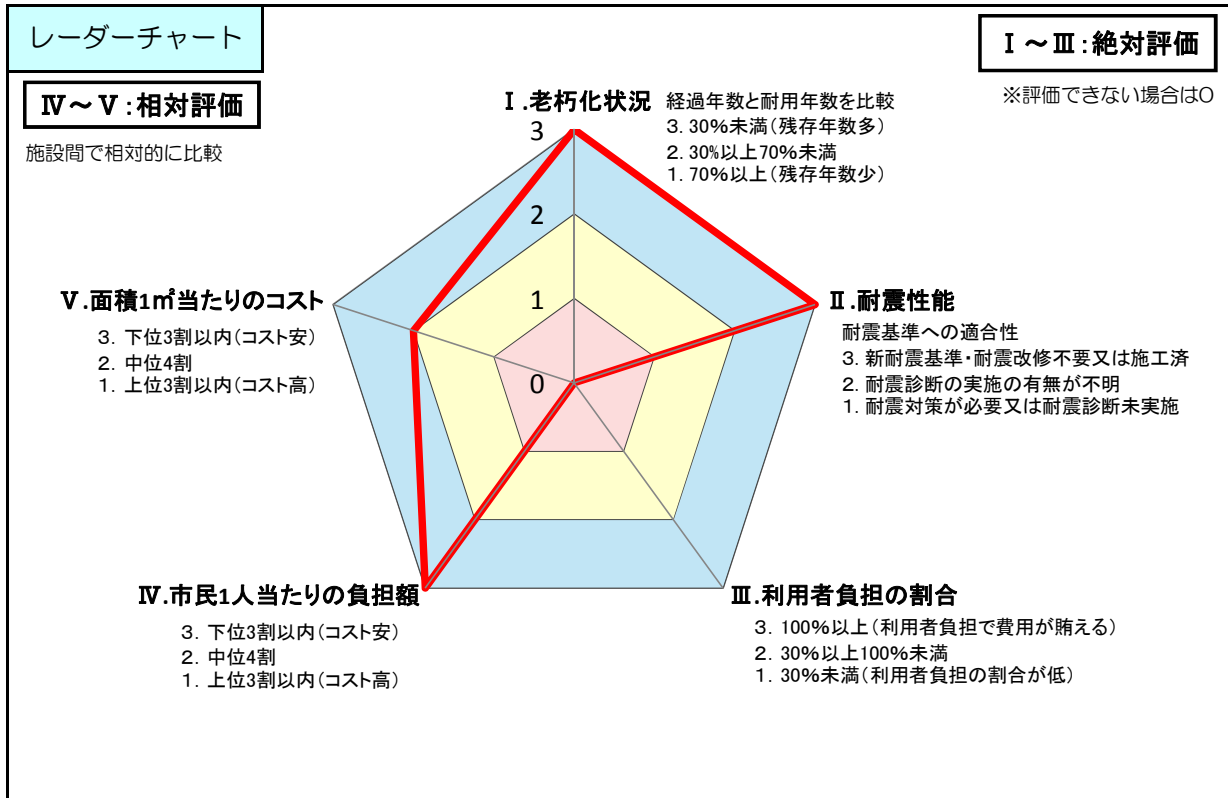
構成施設	大脇排水機場				
複合・併設施設	-		建築年度	平成13年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	157 m ²	経過年数	13年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	62,800,000円	更新時期 ^{※2}	47年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,336,170円
市民1人当たり更新コスト	917円/人	市民1人当たり年積立必要額	20円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人			
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,333
		国費		-		修繕料	6,667	
		県費		-		火災保険料	9,816	
		その他		-		維持管理委託料	844,333	
		市費(一般財源)		2,369,052		敷地借上料	-	
	合計		2,369,052	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		22,000		
				小計		941,149		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	-	
			光熱水費	1,191,962				
			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	235,941				
			小計	1,427,903				
			合計(①+②)	2,369,052				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		35円/人 ^{※9}	15,090円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		35円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	55円/人	(市民1人当たり年積立必要額20円/人+市民1人当たり管理運営負担額35円/人)
-------------	-------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	26 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	35 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	15,090 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	阿野排水機場		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	その他行政系施設	施設番号	36
-----	-------	-----	----------	------	----

所管部課	産業振興課
------	-------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	阿野町正戸73番地	敷地面積	3,256 m ²
	(中央小学校地区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

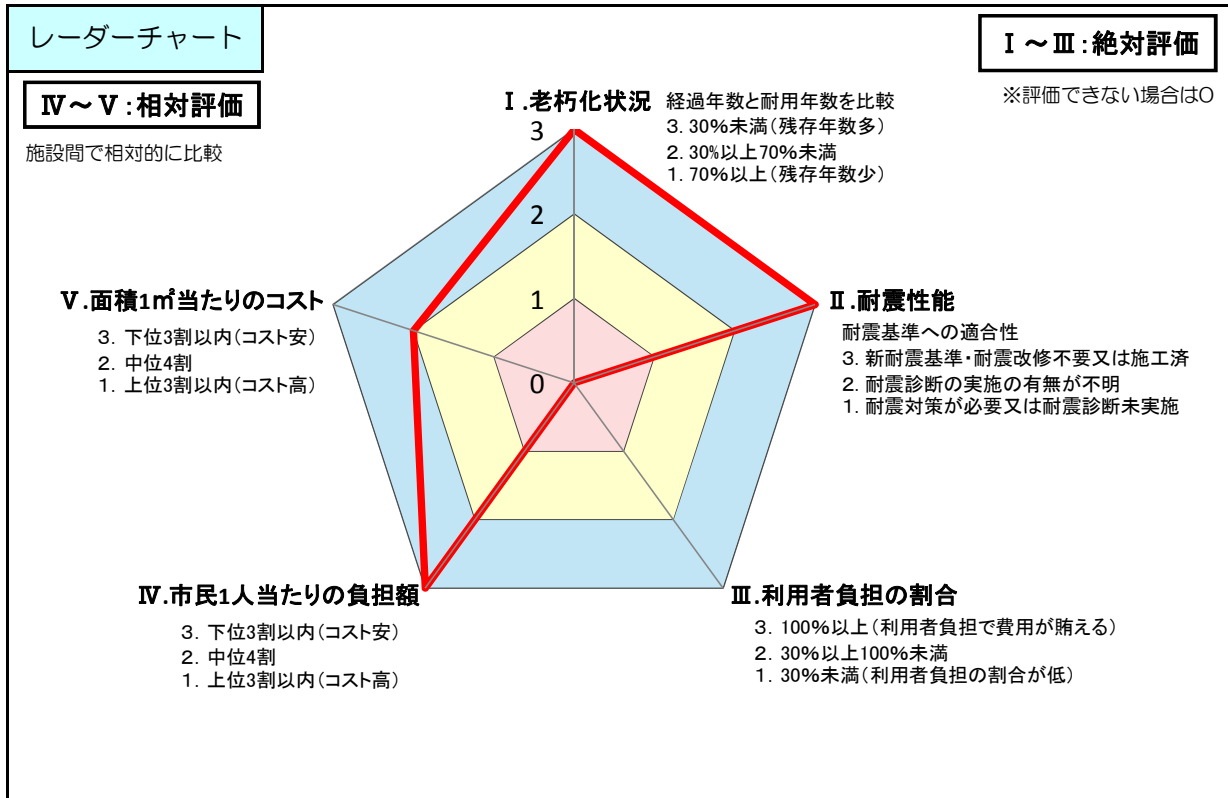
構成施設	阿野排水機場				
複合・併設施設	-		建築年度	平成15年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	167 m ²	経過年数	11年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	66,800,000円	更新時期 ^{※2}	49年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,363,265円
市民1人当たり更新コスト	976円/人	市民1人当たり年積立必要額	20円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人				
コスト計算 ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,333
		国費		-		修繕料	6,667	
		県費		-		火災保険料	10,286	
		その他		-		維持管理委託料	844,333	
		市費(一般財源)		2,121,366		敷地借上料	-	
	合計		2,121,366	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	22,000	
						小計	941,619	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	-
				光熱水費		960,167		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	219,580			
				小計	1,179,747			
				合計(①+②)	2,121,366			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		31円/人 ^{※9}	12,703円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		31円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	51円/人	(市民1人当たり年積立必要額20円/人+市民1人当たり管理運営負担額31円/人)
-------------	-------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	22（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	31（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	12,703（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	敷田小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	37
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	間米町敷田1225番地3	敷地面積	372 m ²
	(大宮小学校)	うち借地面積	372 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

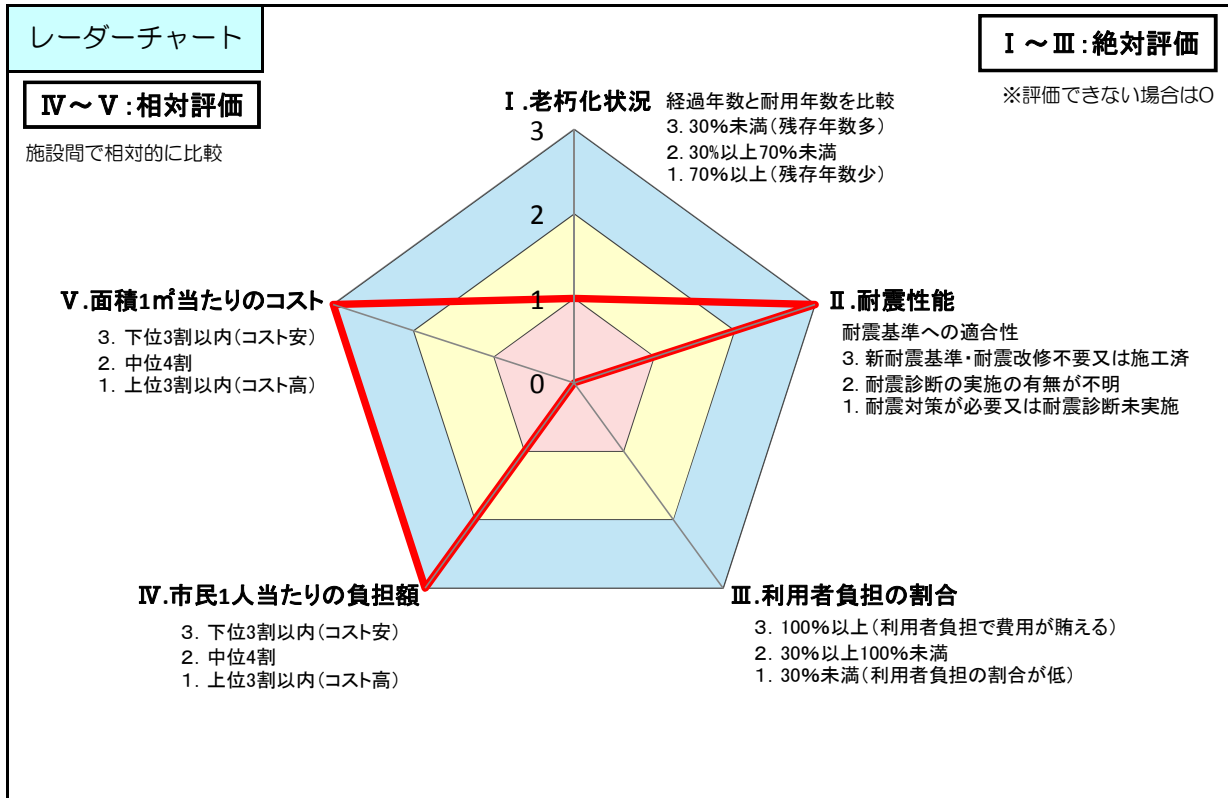
構成施設	敷田小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和50年度
建物構造	木造	延床面積	93 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	21年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,594,286円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	23円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳				
	収	利用料等		-	支	人件費(賃金含)	58,780	
		国費		-		①施設維持コスト	修繕料	28,117
		県費		46,200		火災保険料	4,428	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		270,389		敷地借上料	-	
	合計		316,589	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	91,325	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	58,780
				光熱水費		-		
				その他委託料	116,467			
				その他運営費(事業費)	50,017			
				小計	225,264			
				合計(①+②)	316,589			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		5円/人 ^{※9}		3,404円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	27円/人	(市民1人当たり年積立必要額23円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	163 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,404 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	館小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	38
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町西大根30番地276	敷地面積	235 m ²
	(館小学校)	うち借地面積	235 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

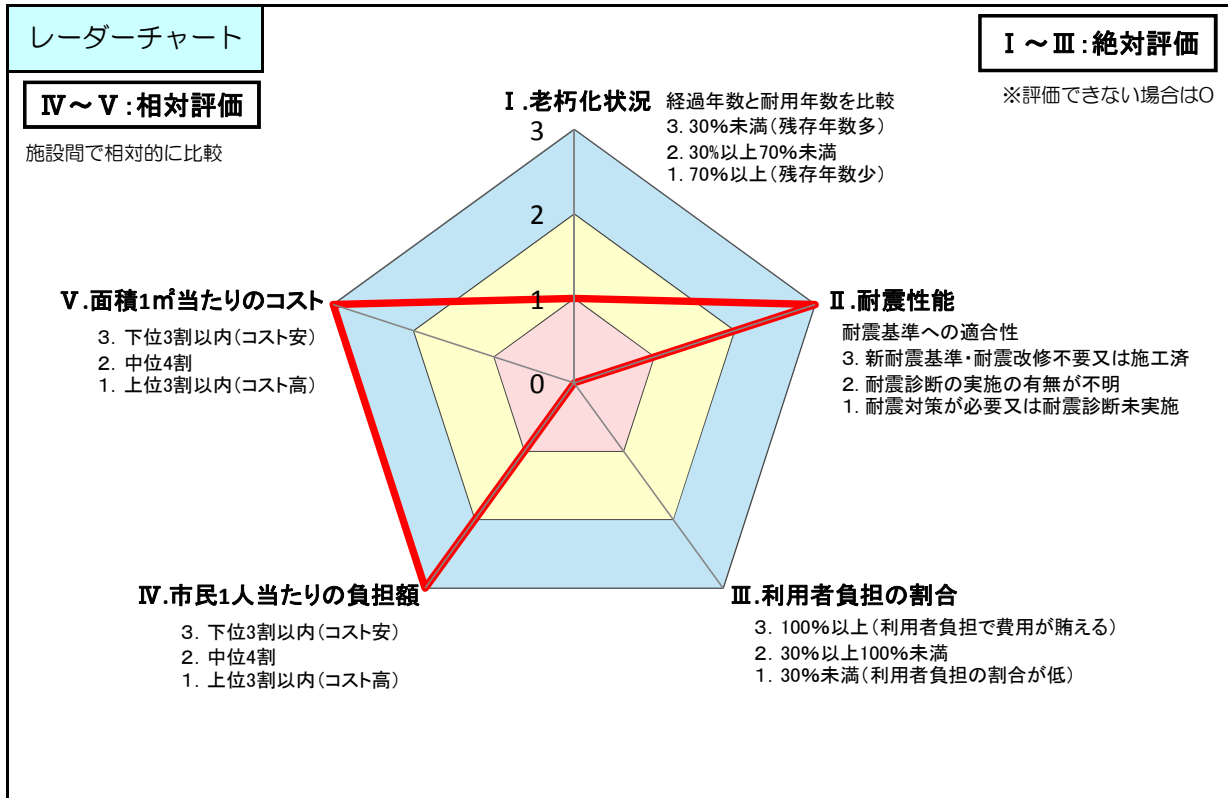
構成施設	館小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和50年度
建物構造	木造	延床面積	93 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	21年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,594,286円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	23円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	包括委託	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国費		-		人件費(賃金含)	58,780
		県費		46,200		修繕料	30,217
		その他		-		火災保険料	4,489
		市費(一般財源)		272,550		維持管理委託料	-
	合計		318,750	敷地借上料		-	
	施設外観			工事請負費		-	
				その他維持費		-	
				小 計		93,486	
			②施設運営コスト	人件費(賃金含)		58,780	
				光熱水費	-		
				その他委託料	116,467		
				その他運営費(事業費)	50,017		
				小 計	225,264		
				合計(①+②)	318,750		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		5 円/人 ^{※9}	3,427 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		4 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	27 円/人	(市民1人当たり年積立必要額23円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	163 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,427 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	唐竹小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	39
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	二村台五丁目1番地1	敷地面積	256 m ²
	(双峰小学校)	うち借地面積	256 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

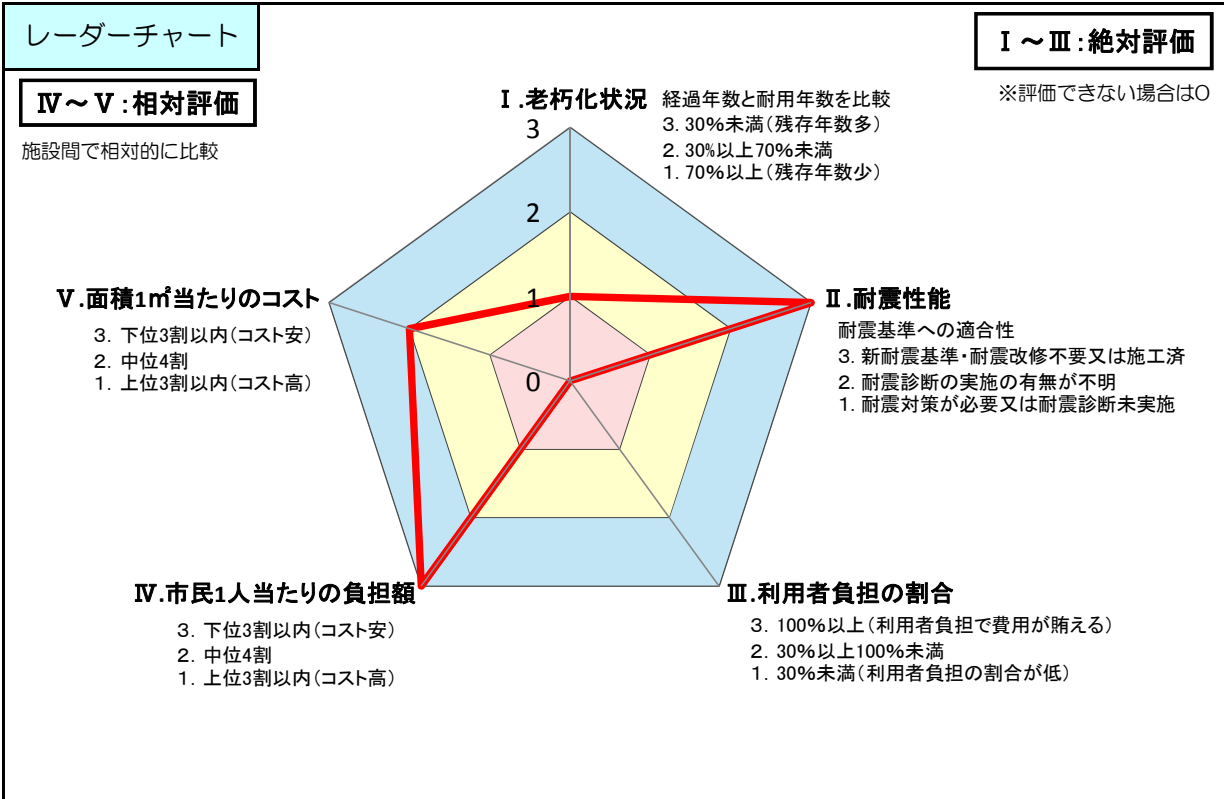
構成施設	唐竹小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和50年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	21年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,594,286円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	23円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	31,302	
		県費		46,200		火災保険料	1,894	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		312,373		敷地借上料	-	
	合計		358,573	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
				小計		91,976		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	58,780	
			光熱水費	-				
			その他委託料	157,800				
			その他運営費(事業費)	50,017				
			小計	266,597				
			合計(①+②)	358,573				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		5円/人 ^{※9}		3,856円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		5円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	28円/人	(市民1人当たり年積立必要額23円/人+市民1人当たり管理運営負担額5円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	78（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	5（円/㎡）
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	3,856（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	上高根小規模老人の家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	40
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町住吉3番地 (沓掛小学校)	敷地面積	240 m ²
		うち借地面積	240 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

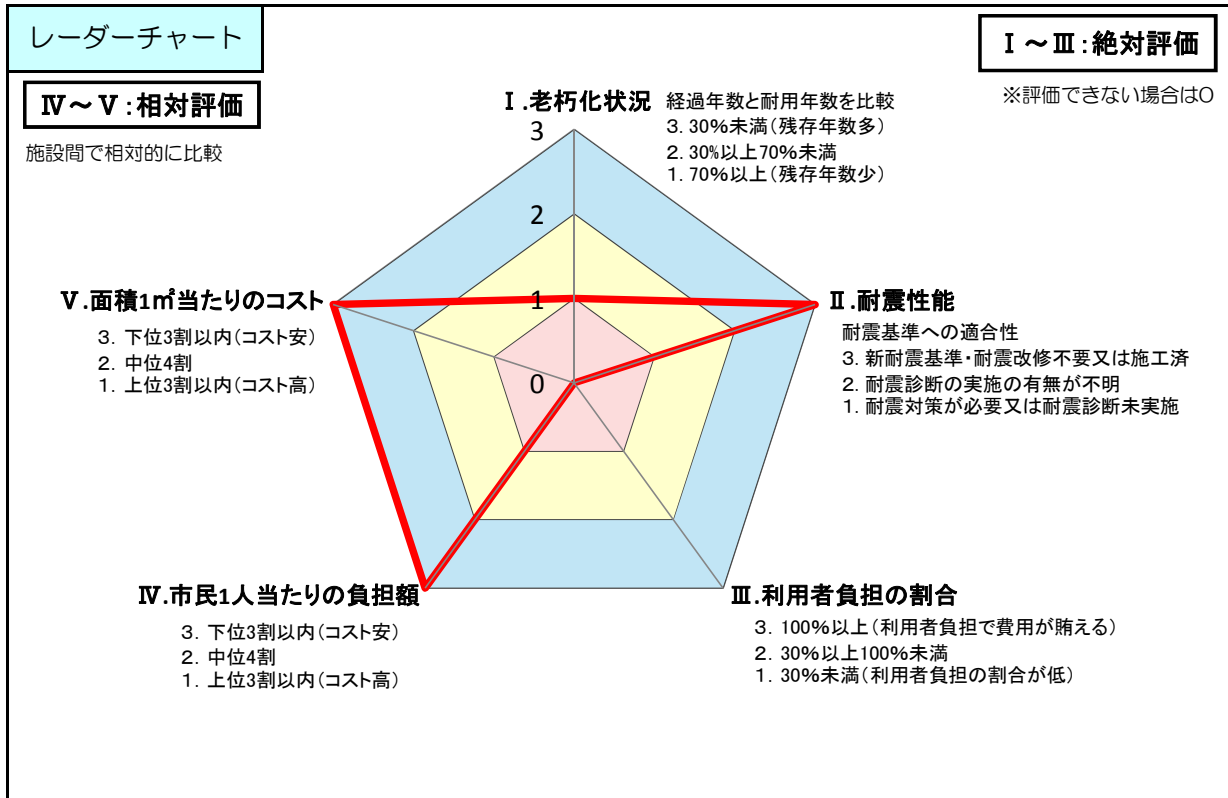
構成施設	上高根小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和51年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	38年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	22年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,521,818円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	22円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	11,667	
		県費		46,200		火災保険料	1,700	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		240,727		敷地借上料	-	
	合計		286,927	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		72,147		
	②施設運営コスト			②施設運営コスト		人件費(賃金含)	58,780	
			光熱水費	-				
			その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	46,200				
			小計	214,780				
			合計(①+②)	286,927				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}	3,085円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	26円/人	(市民1人当たり年積立必要額22円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	76（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	4（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	3,085（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	西川小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	41
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町善波1番地12	敷地面積	250 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	250 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

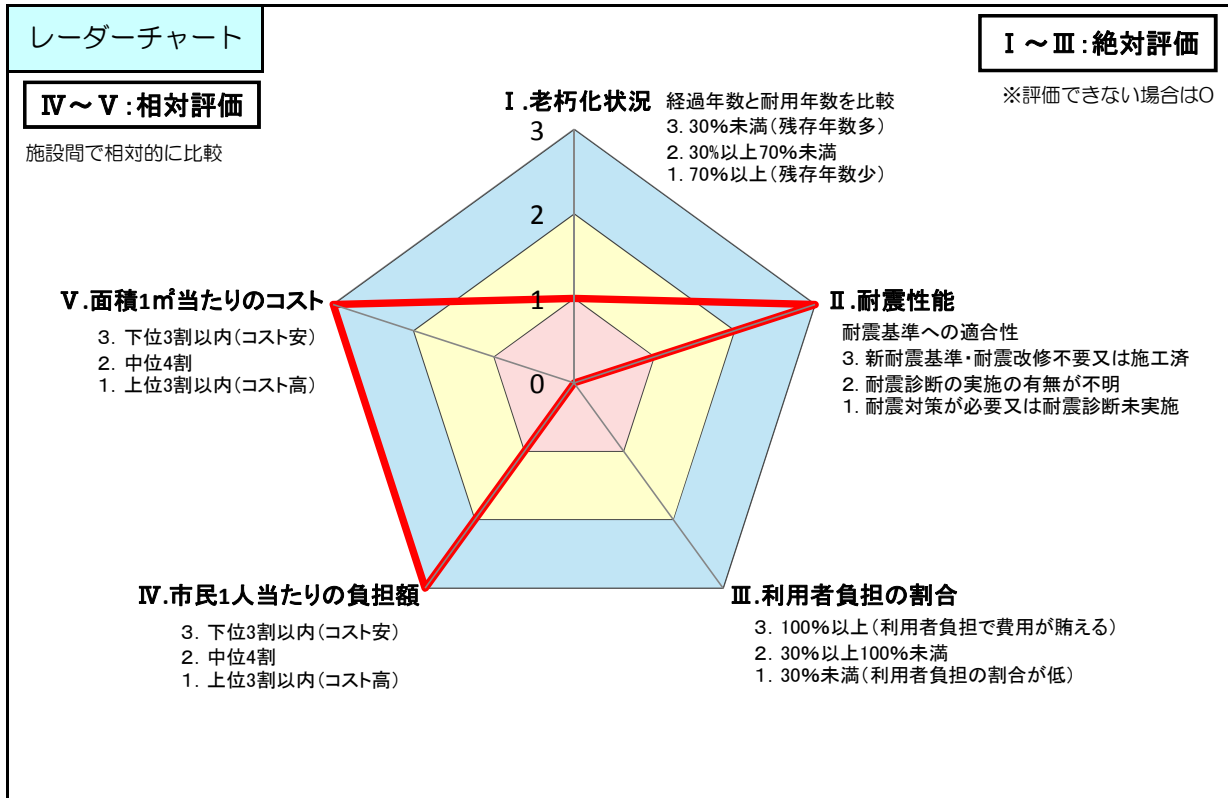
構成施設	西川小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和51年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	38年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	22年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,521,818円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	22円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	14,467	
		県費		46,200		火災保険料	1,744	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		247,388		敷地借上料	-	
	合計		293,588	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計		74,991	②施設運営コスト		人件費(賃金含)	58,780	
	小計		218,597	光熱水費		-		
合計(①+②)		293,588	その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	50,017				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}	3,157円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	26円/人	(市民1人当たり年積立必要額22円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	76（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	4（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	3,157（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	徳田小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	42
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町徳田76番地	敷地面積	225 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	225 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

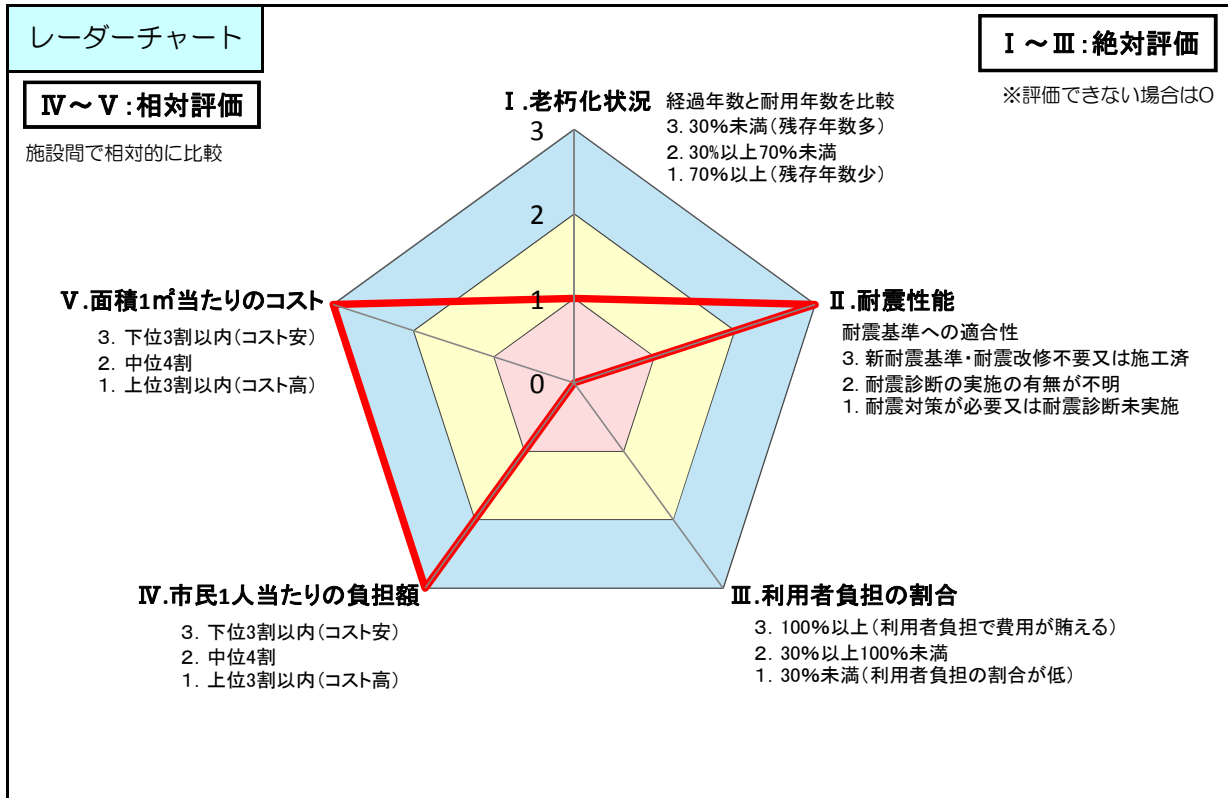
構成施設	徳田小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和52年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	23年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,455,652円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	21円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	包括委託	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国 費		-		人件費(賃金含)	58,780
		県 費		46,200		修繕料	23,217
		その他		-		火災保険料	1,804
		市費(一般財源)		256,198		維持管理委託料	-
	合 計		302,398	敷地借上料		-	
	施設外観			工事請負費		-	
				その他維持費		-	
				小 計		83,801	
			②施設運営コスト				
			人件費(賃金含)	58,780			
			光熱水費	-			
			その他委託料	109,800			
			その他運営費(事業費)	50,017			
			小 計	218,597			
			合 計(①+②)	302,398			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		4 円/人 ^{※9}		3,252 円/m ² ^{※10}		
負担額	- 円/人 ^{※11}		4 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	25 円/人	(市民1人当たり年積立必要額21円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	74 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,252 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	三崎小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	43
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	三崎町社7番地13	敷地面積	200 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	200 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

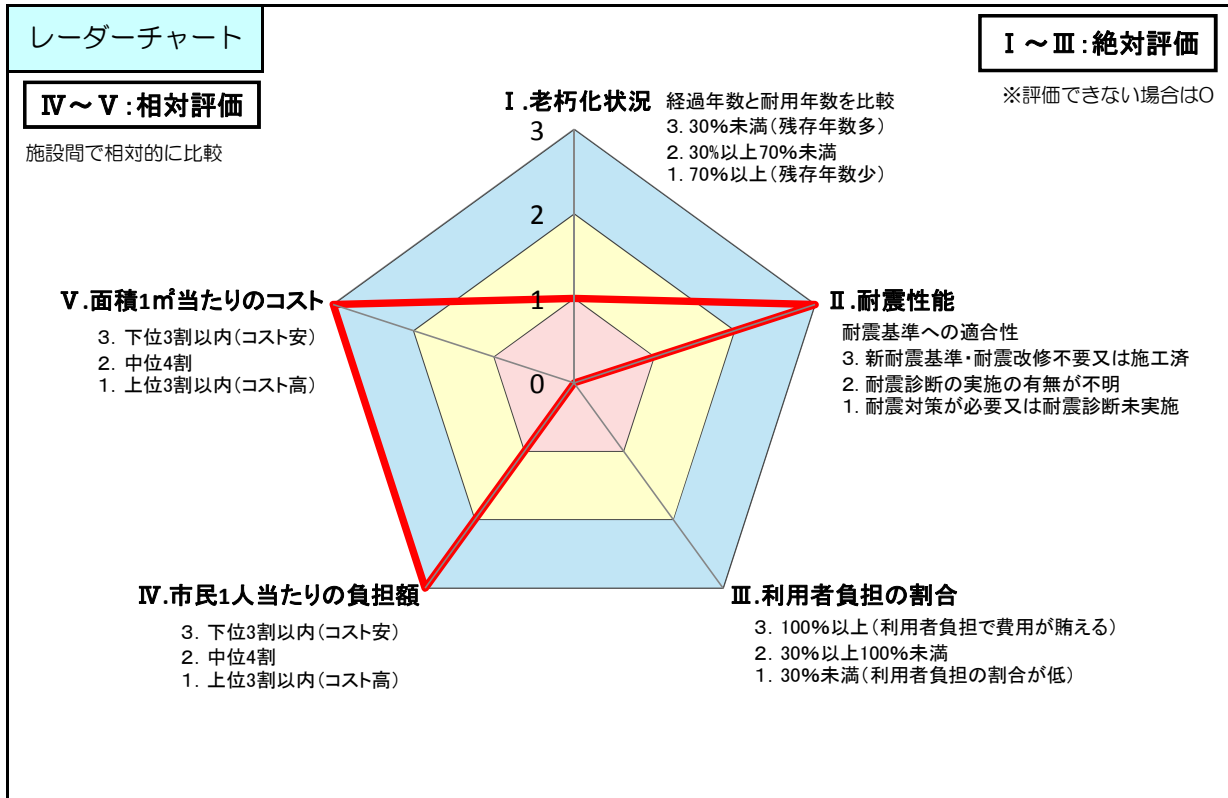
構成施設	三崎小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和52年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	23年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,455,652円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	21円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	包括委託	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国費		-		人件費(賃金含)	58,780
		県費		-		修繕料	97,767
		その他		-		火災保険料	1,778
		市費(一般財源)		330,722		維持管理委託料	-
	合計		330,722	敷地借上料		-	
	施設外観					工事請負費	-
						その他維持費	-
						小 計	158,325
				②施設運営コスト			
				人件費(賃金含)	58,780		
				光熱水費	-		
				その他委託料	109,800		
				その他運営費(事業費)	3,817		
				小 計	172,397		
				合計(①+②)	330,722		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		5 円/人 ^{※9}		3,556 円/m ² ^{※10}		
負担額	- 円/人 ^{※11}		5 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	26 円/人	(市民1人当たり年積立必要額21円/人+市民1人当たり管理運営負担額5円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	74 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	5 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,556 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	本郷小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	44
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町森元5番地2	敷地面積	205 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	205 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

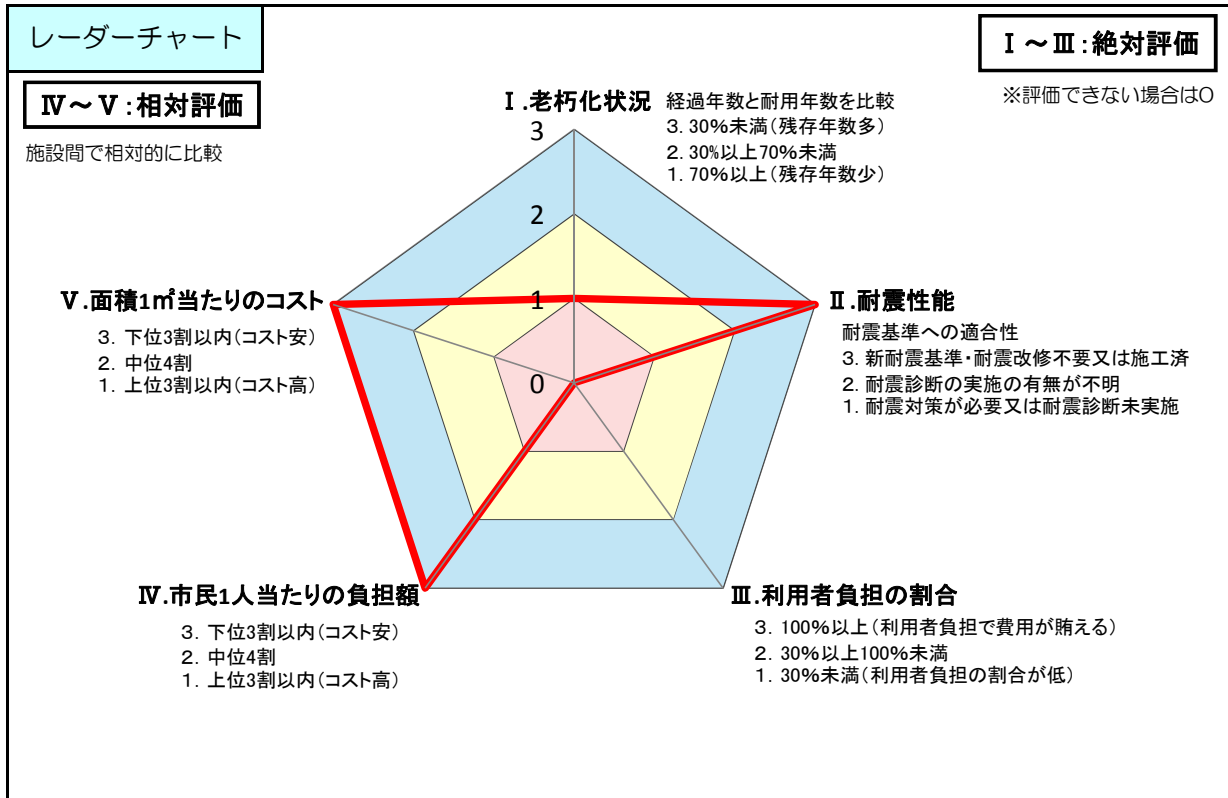
構成施設	本郷小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和52年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	23年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,455,652円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	21円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	11,667	
		県費		46,200		火災保険料	1,869	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		244,713		敷地借上料	-	
	合計		290,913	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	72,316	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	58,780
				光熱水費		-		
				その他委託料	109,800			
				その他運営費(事業費)	50,017			
				小計	218,597			
				合計(①+②)	290,913			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		3,128円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	25円/人	(市民1人当たり年積立必要額21円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	74（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	4（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	3,128（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	桶狭間小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	45
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町山ノ神22番地7	敷地面積	230 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	230 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

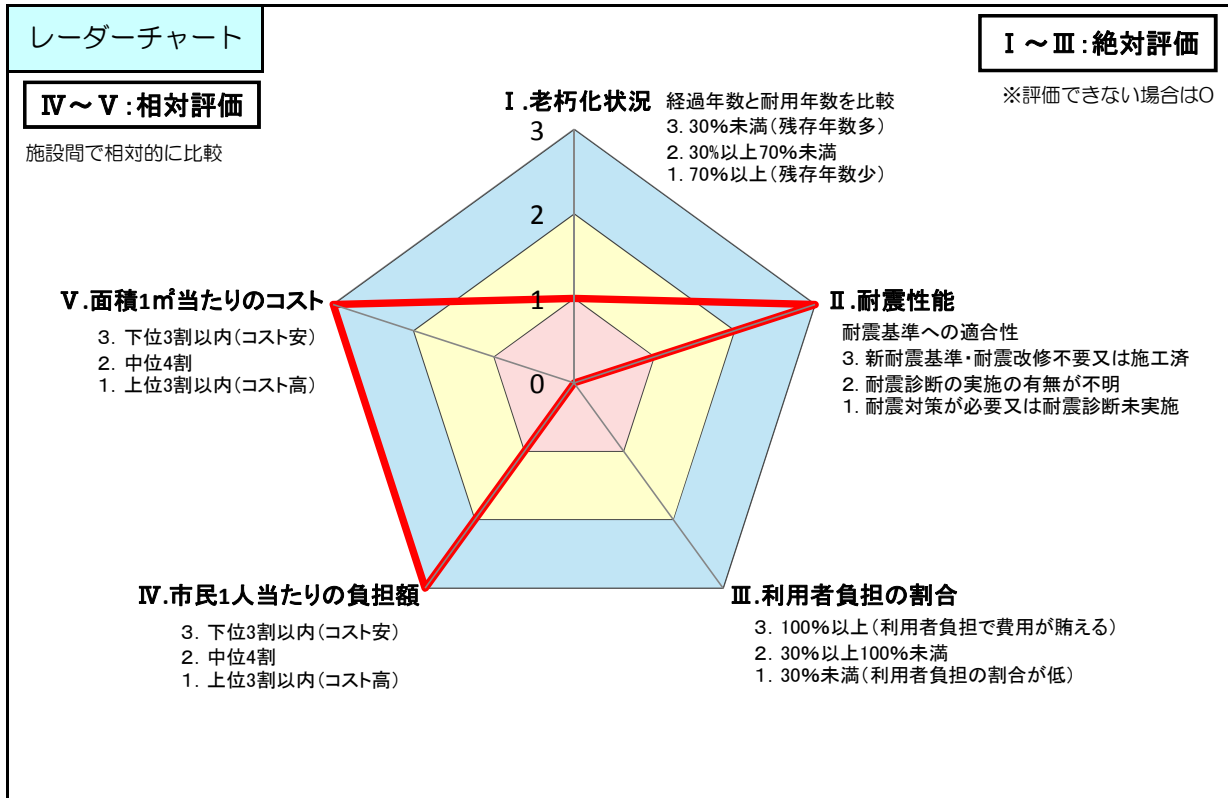
構成施設	桶狭間小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和53年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	36年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	24年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,395,000円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	20円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	包括委託	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国 費		-		人件費(賃金含)	58,780
		県 費		46,200		修繕料	52,547
		その他		-		火災保険料	1,796
		市費(一般財源)		285,520		維持管理委託料	-
	合計		331,720	敷地借上料		-	
	施設外観			工事請負費		-	
				その他維持費		-	
				小 計		113,123	
			②施設運営コスト				
			人件費(賃金含)	58,780			
			光熱水費	-			
			その他委託料	109,800			
			その他運営費(事業費)	50,017			
			小 計	218,597			
			合計(①+②)	331,720			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		5 円/人 ^{※9}	3,567 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		4 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	24 円/人	(市民1人当たり年積立必要額20円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	72 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,567 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	阿野小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	46
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	阿野町林ノ内14番地5	敷地面積	230 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	230 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

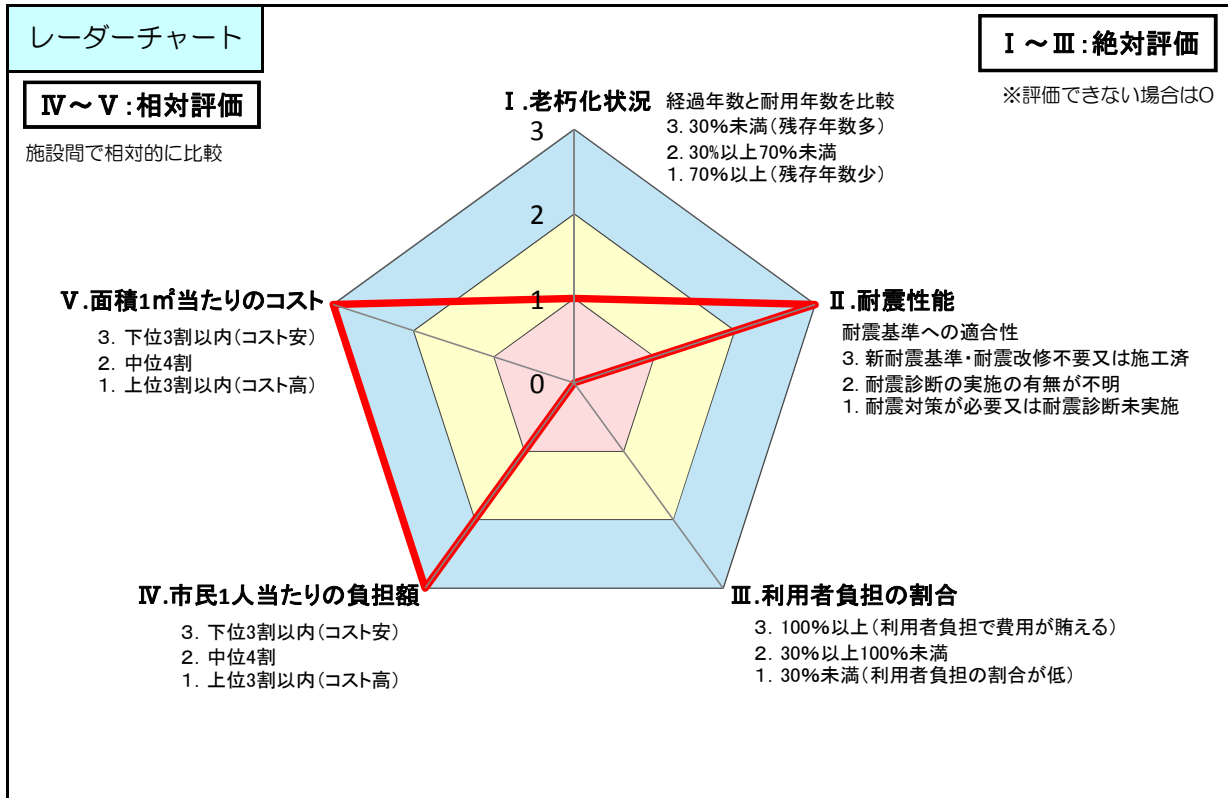
構成施設	阿野小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和53年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	36年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	24年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,395,000円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	20円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	11,667	
		県費		46,200		火災保険料	1,809	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		244,653		敷地借上料	-	
	合計		290,853	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
				小計		72,256		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	58,780	
			光熱水費	-				
			その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	50,017				
			小計	218,597				
			合計(①+②)	290,853				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}	3,127円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	24円/人	(市民1人当たり年積立必要額20円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	72（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	4（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	3,127（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	小所小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	47
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町泉153番地6	敷地面積	200 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	200 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

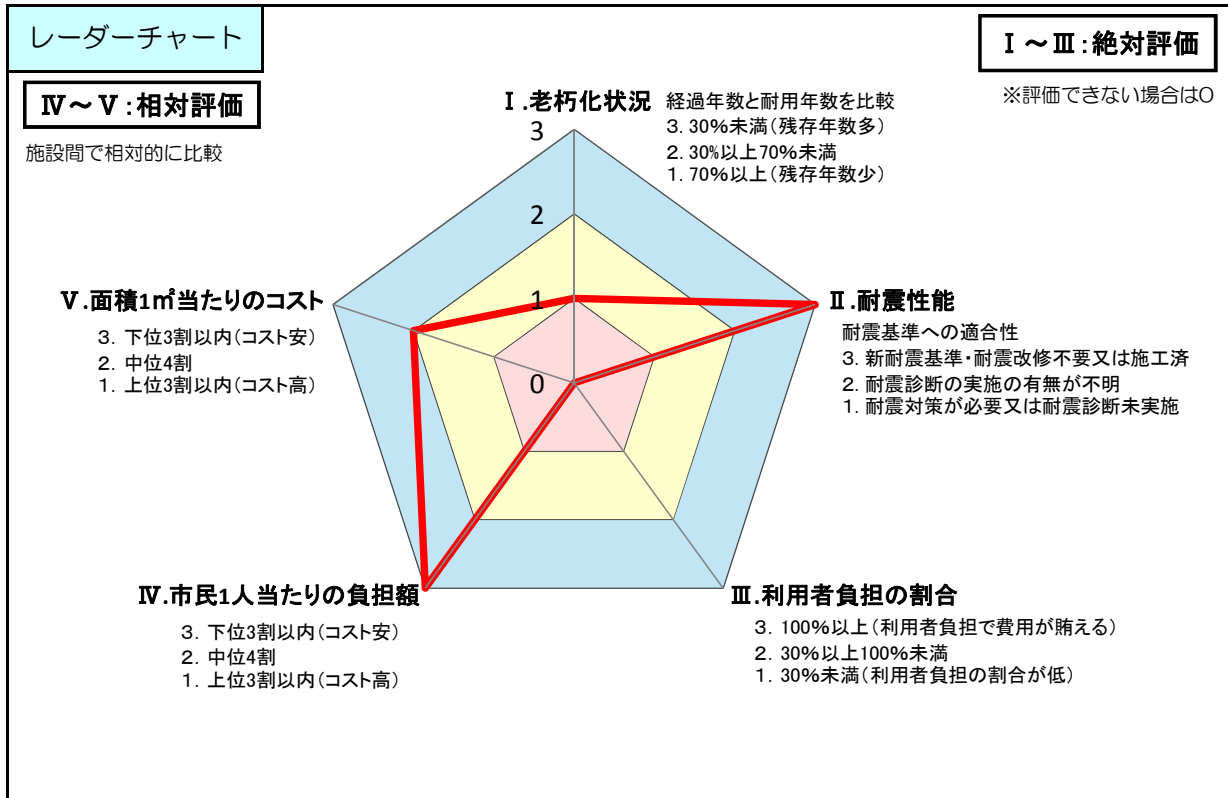
構成施設	小所小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和53年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	36年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	24年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,395,000円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	20円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	220,431	
		県費		46,200		火災保険料	1,821	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		453,429		敷地借上料	-	
	合計		499,629	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		281,032		
	②施設運営コスト			小計		218,597		
合計(①+②)			合計(①+②)	499,629				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		7円/人 ^{※9}	5,372円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		7円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	27円/人	(市民1人当たり年積立必要額20円/人+市民1人当たり管理運営負担額7円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	72（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	7（円/㎡）
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	5,372（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	宿小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	48
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町宿74番地	敷地面積	210 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	210 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

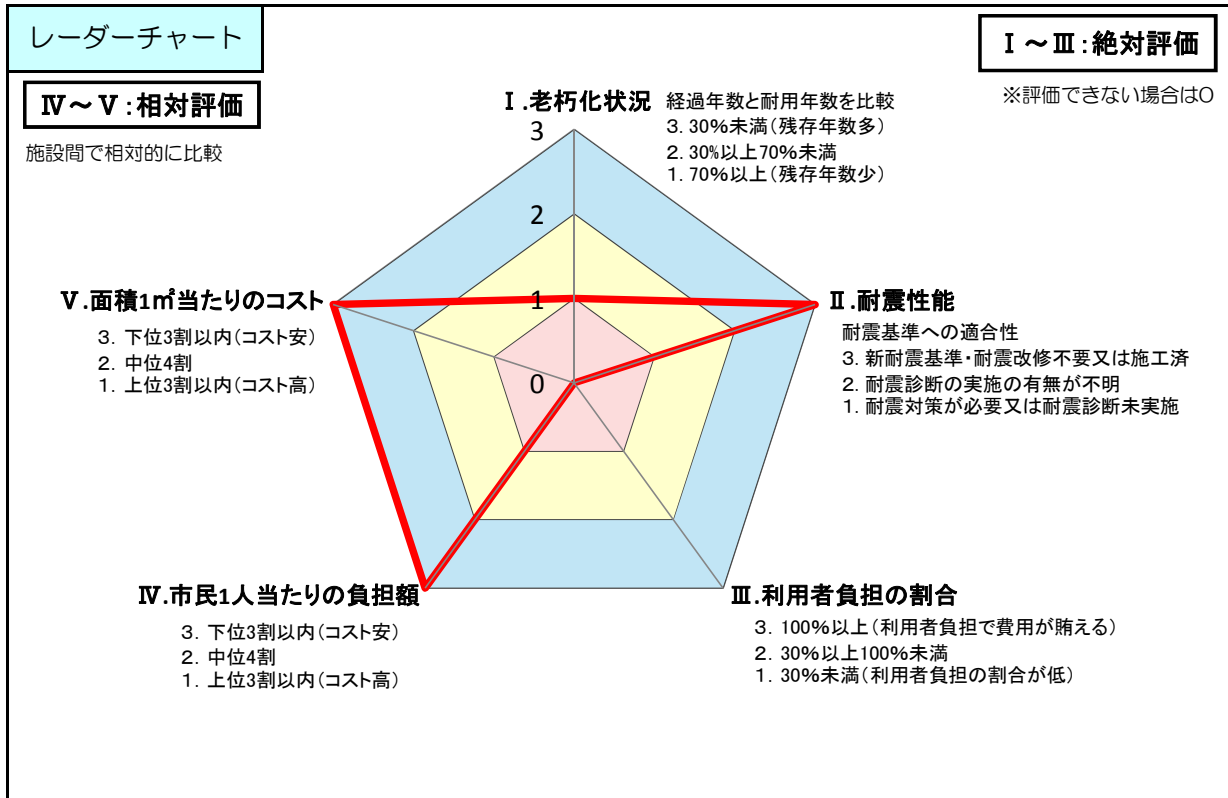
構成施設	宿小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和54年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	35年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	25年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,339,200円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	20円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	11,667	
		県費		46,200		火災保険料	1,600	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		244,444		敷地借上料	-	
	合計		290,644	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			72,047				
	②施設運営コスト			218,597				
合計(①+②)			290,644					
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}	3,125円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	24円/人	(市民1人当たり年積立必要額20円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	70 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,125 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	中島小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	49
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町森西13番地1	敷地面積	230 m ²
	(中央小学校地区)	うち借地面積	230 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

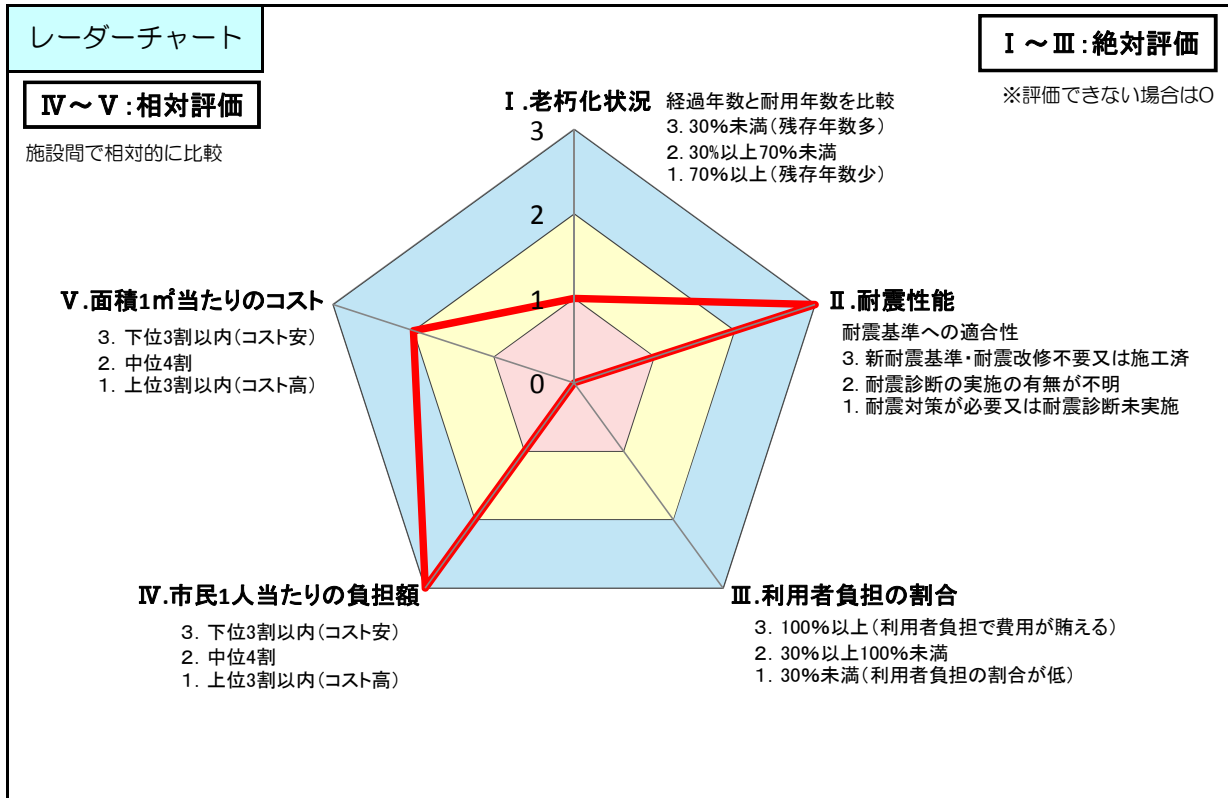
構成施設	中島小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和54年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	35年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	25年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,339,200円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	20円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	153,181	
		県費		46,200		火災保険料	1,589	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		385,947		敷地借上料	-	
	合計		432,147	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		213,550		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		58,780		
			光熱水費	-				
			その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	50,017				
			小計	218,597				
			合計(①+②)	432,147				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		6円/人 ^{※9}	4,647円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		6円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	26円/人	(市民1人当たり年積立必要額20円/人+市民1人当たり管理運営負担額6円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	70（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	-（％）
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	6（円/㎡）
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	4,647（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	吉池団地小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	50
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町広長23番地28	敷地面積	212 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	212 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

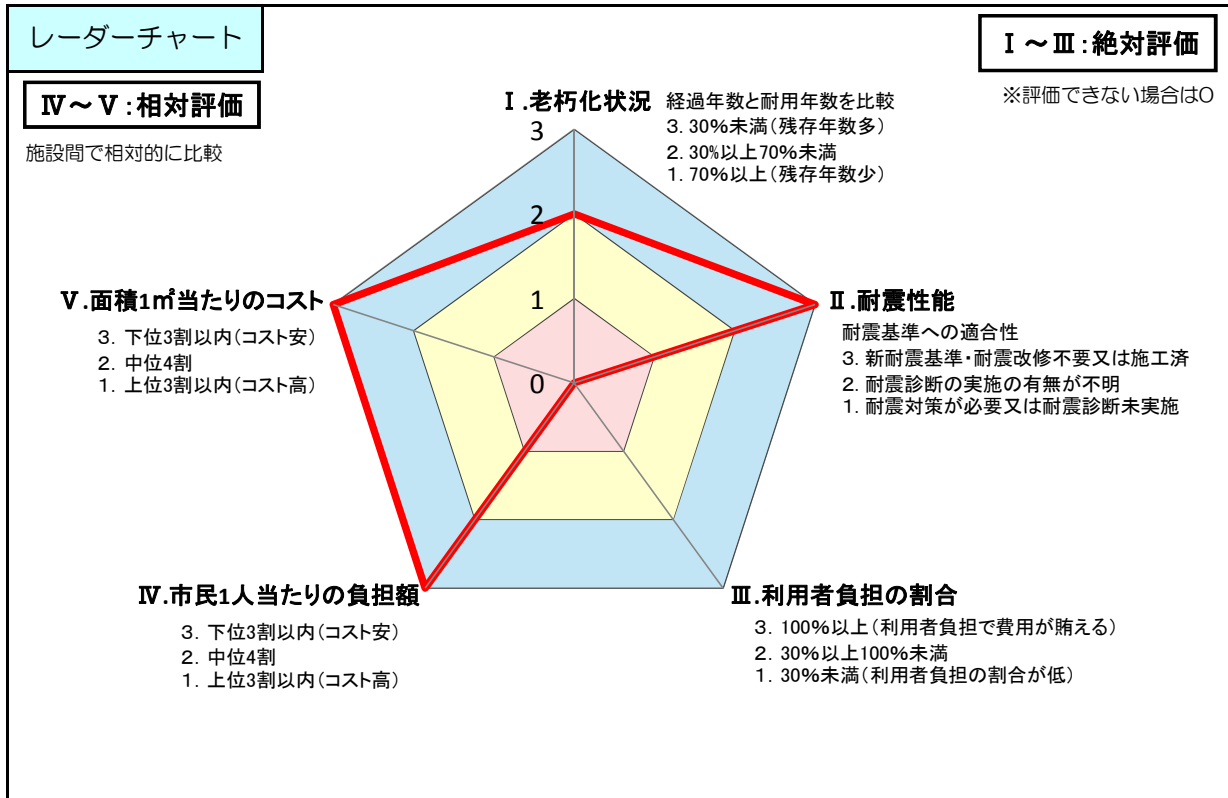
構成施設	吉池団地小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和55年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	34年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	26年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,287,692円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	19円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	11,667	
		県費		-		火災保険料	1,854	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		244,698		敷地借上料	-	
	合計		244,698	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	72,301	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	58,780
				光熱水費		-		
				その他委託料	109,800			
				その他運営費(事業費)	3,817			
				小計	172,397			
				合計(①+②)	244,698			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		2,631円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	23円/人	(市民1人当たり年積立必要額19円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	68 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	2,631 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	大久伝小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	51
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	大久伝町南19番地7	敷地面積	215 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	215 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

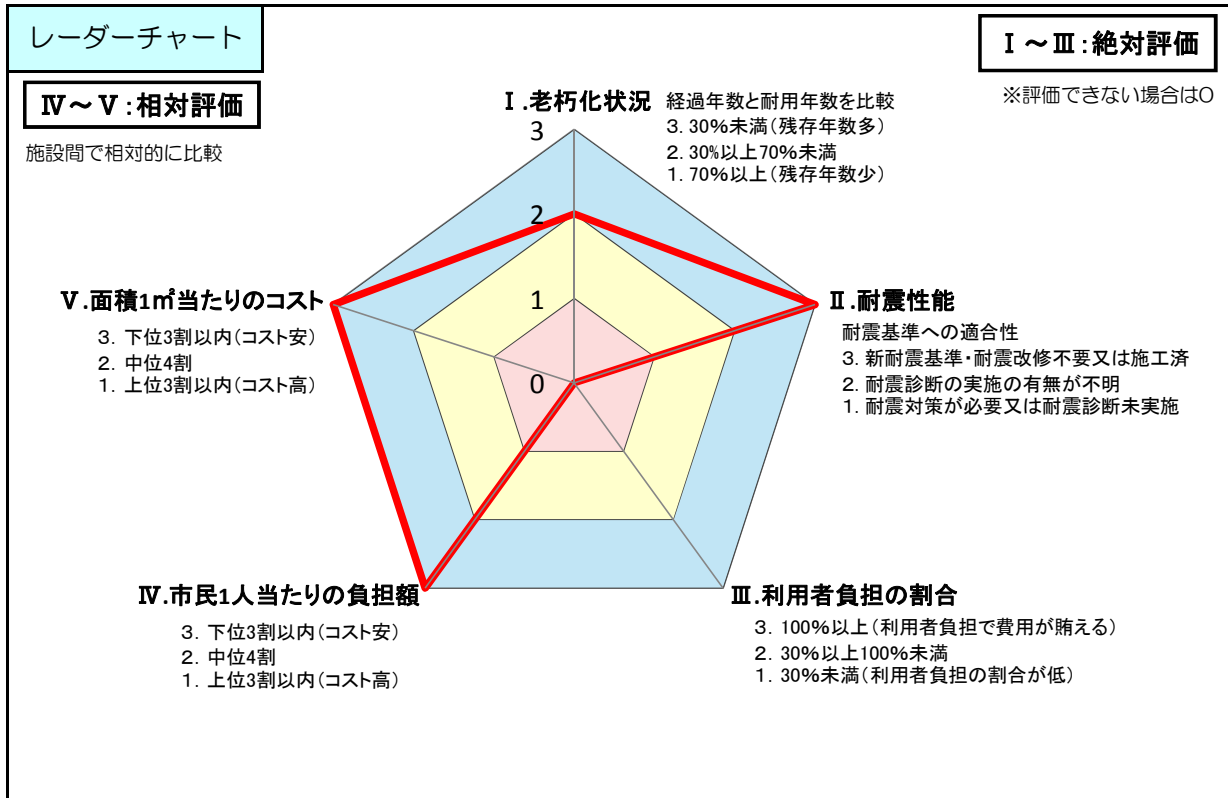
構成施設	大久伝小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和57年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	32年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	28年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,195,714円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	17円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	33,542	
		県費		46,200		火災保険料	1,883	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		266,602		敷地借上料	-	
	合計		312,802	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		94,205		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		58,780		
			光熱水費	-				
			その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	50,017				
			小計	218,597				
			合計(①+②)	312,802				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		5円/人 ^{※9}	3,363円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	21円/人	(市民1人当たり年積立必要額17円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率 ^{※13} を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	64 (%)
II. 耐震性能	建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準 ^{※14} で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	3,363 (円/㎡)
総合評価	経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	前後小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	52
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	前後町宮前1504番地2	敷地面積	235 m ²
	(大宮小学校)	うち借地面積	235 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

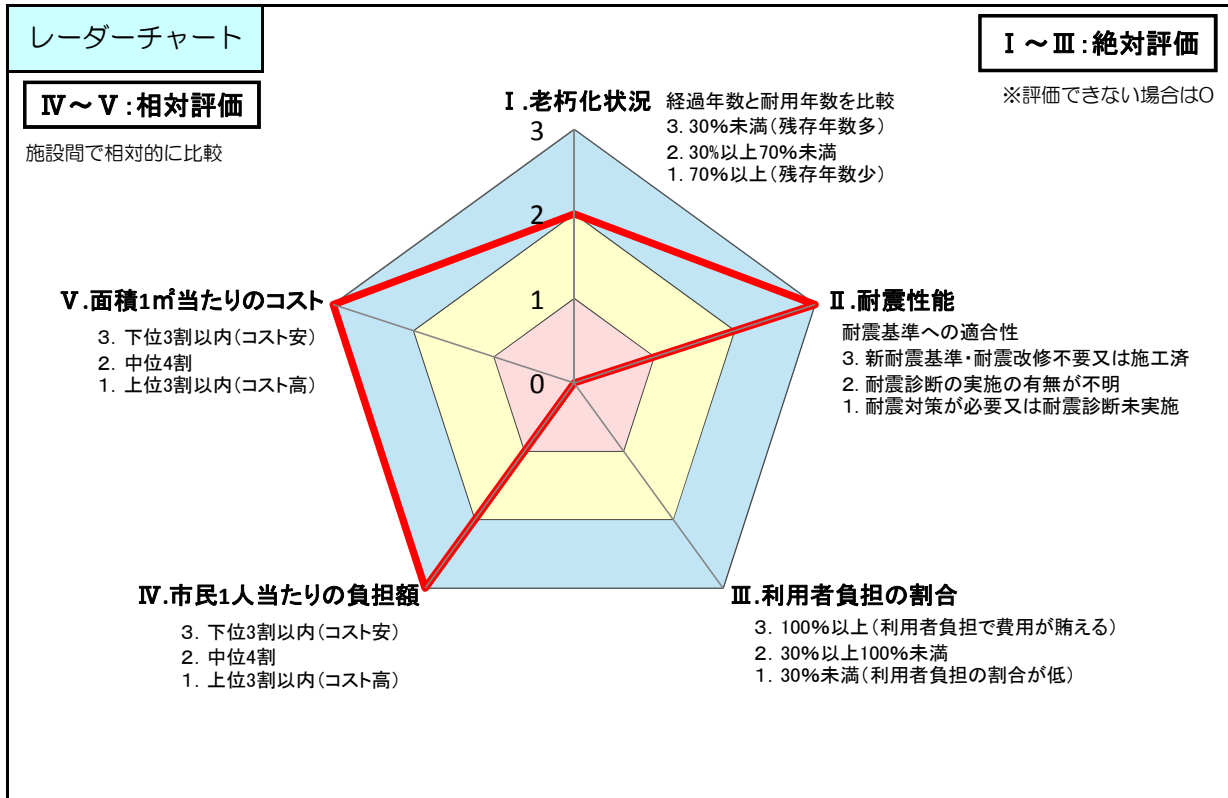
構成施設	前後小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和58年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	31年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	29年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,154,483円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	17円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	11,667	
		県費		46,200		火災保険料	2,103	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		244,947		敷地借上料	-	
	合計		291,147	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		72,550		
	②施設運営コスト			②施設運営コスト		人件費(賃金含)	58,780	
			光熱水費	-				
			その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	50,017				
			小計	218,597				
			合計(①+②)	291,147				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		3,131円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	21円/人	(市民1人当たり年積立必要額17円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	62（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	4（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	3,131（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	下高根小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	53
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町下高根315番地2	敷地面積	245 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	245 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

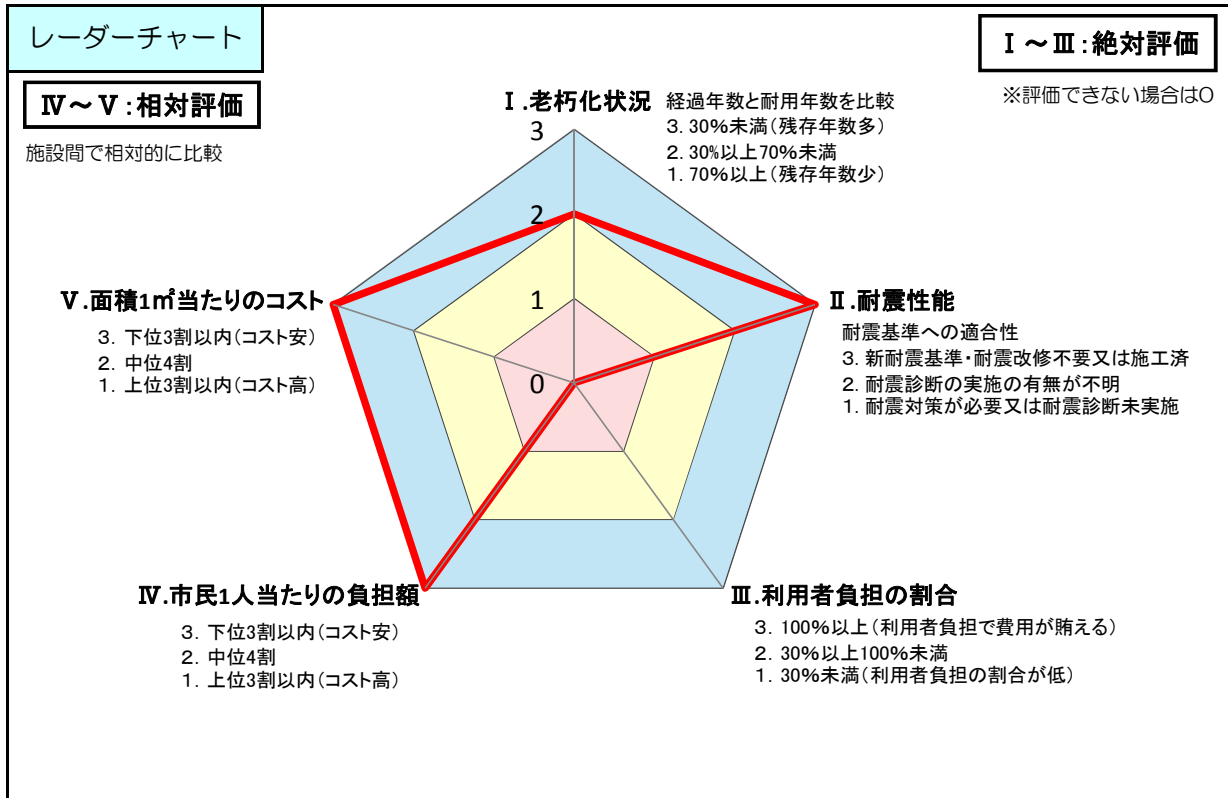
構成施設	下高根小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和59年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	30年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	30年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,116,000円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	16円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態				
		-人	-人	-人	-人	包括委託			
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)			
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780	
		国費		-		修繕料	11,667		
		県費		46,200		火災保険料	2,359		
		その他		-		維持管理委託料	-		
		市費(一般財源)		241,386		敷地借上料	-		
	合計		287,586	工事請負費		-			
	施設外観					その他維持費	-	小計	72,806
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	58,780	
						光熱水費	-		
				その他委託料		109,800			
				その他運営費(事業費)	46,200				
				小計	214,780	合計(①+②)	287,586		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		3,092円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}						

市民1人当たり負担額計	20円/人	(市民1人当たり年積立必要額16円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	60 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,092 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	錦小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	54
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町錦10番地31	敷地面積	210 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	210 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

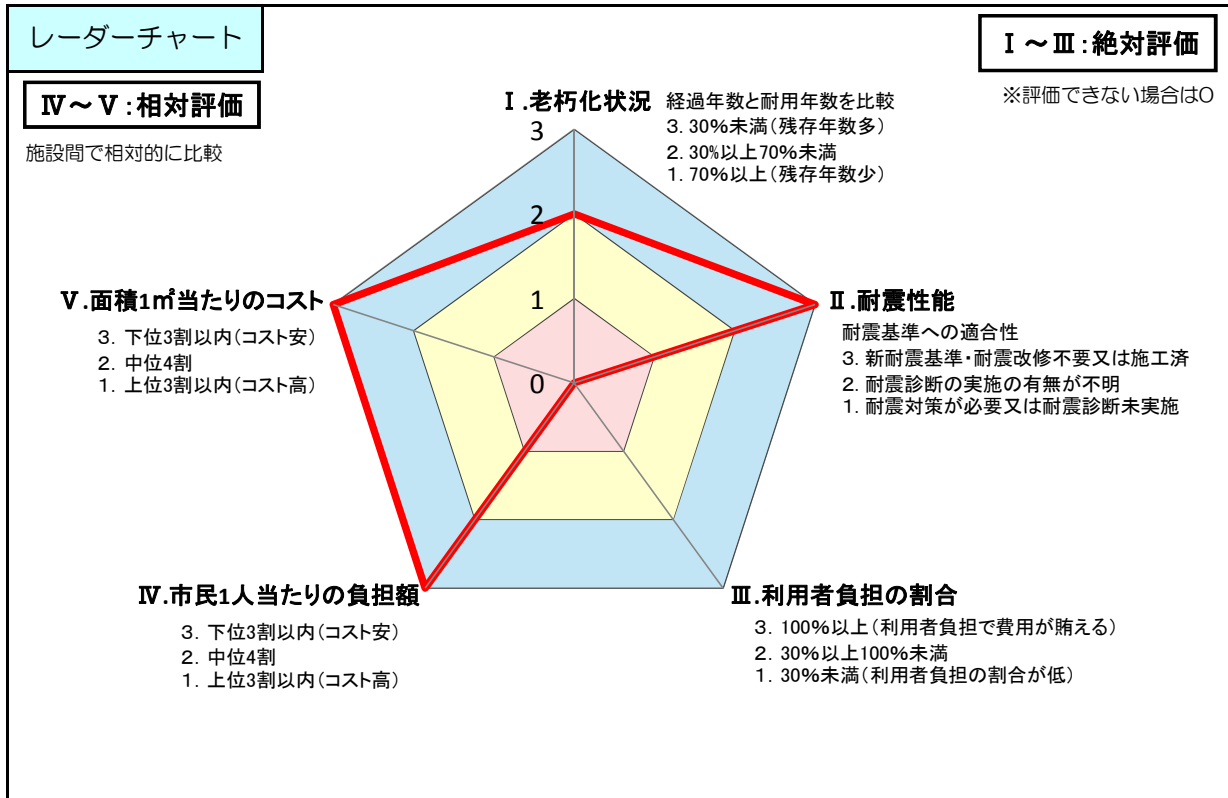
構成施設	錦小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和60年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	29年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	31年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,080,000円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	16円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	包括委託	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国費		-		人件費(賃金含)	58,780
		県費		46,200		修繕料	32,650
		その他		-		火災保険料	2,111
		市費(一般財源)		265,938		維持管理委託料	-
	合計		312,138	敷地借上料		-	
	施設外観			工事請負費		-	
				その他維持費		-	
				小計		93,541	
			②施設運営コスト				
			人件費(賃金含)	58,780			
			光熱水費	-			
			その他委託料	109,800			
			その他運営費(事業費)	50,017			
			小計	218,597			
			合計(①+②)	312,138			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		5 円/人 ^{※9}	3,356 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		4 円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	20 円/人	(市民1人当たり年積立必要額16円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	58 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,356 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	内山小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	55
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町大原80番地6	敷地面積	225 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	225 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

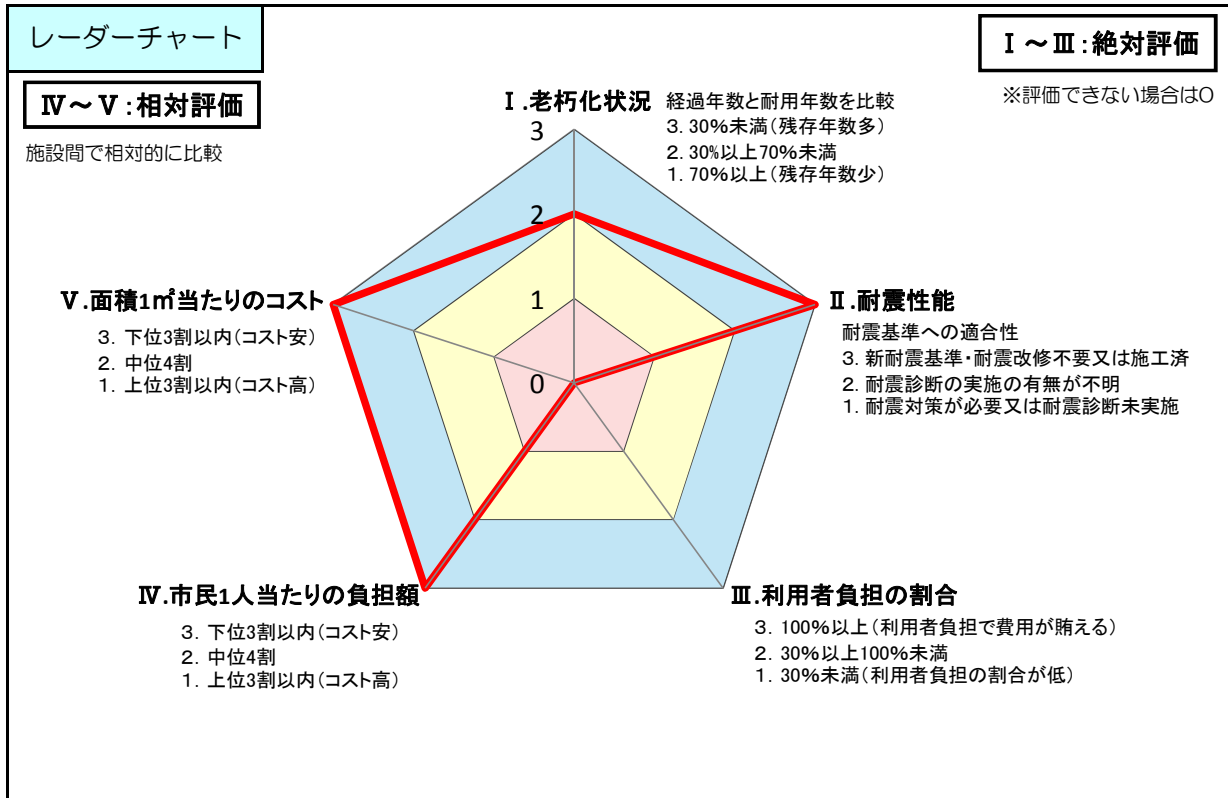
構成施設	内山小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和60年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	29年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	31年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,080,000円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	16円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		-人	-人	-人	-人	包括委託	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	
		国費		-		人件費(賃金含)	58,780
		県費		-		修繕料	17,967
		その他		-		火災保険料	2,851
		市費(一般財源)		251,995		維持管理委託料	-
	合計		251,995	敷地借上料		-	
	施設外観					工事請負費	-
						その他維持費	-
						小 計	79,598
				②施設運営コスト			
				人件費(賃金含)	58,780		
				光熱水費	-		
				その他委託料	109,800		
				その他運営費(事業費)	3,817		
				小 計	172,397		
				合計(①+②)	251,995		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		2,710円/m ² ^{※10}		
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	20円/人	(市民1人当たり年積立必要額16円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	58（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	4（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	2,710（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	間米小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	56
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	間米町峠下62番地	敷地面積	235 m ²
	(双峰小学校)	うち借地面積	235 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

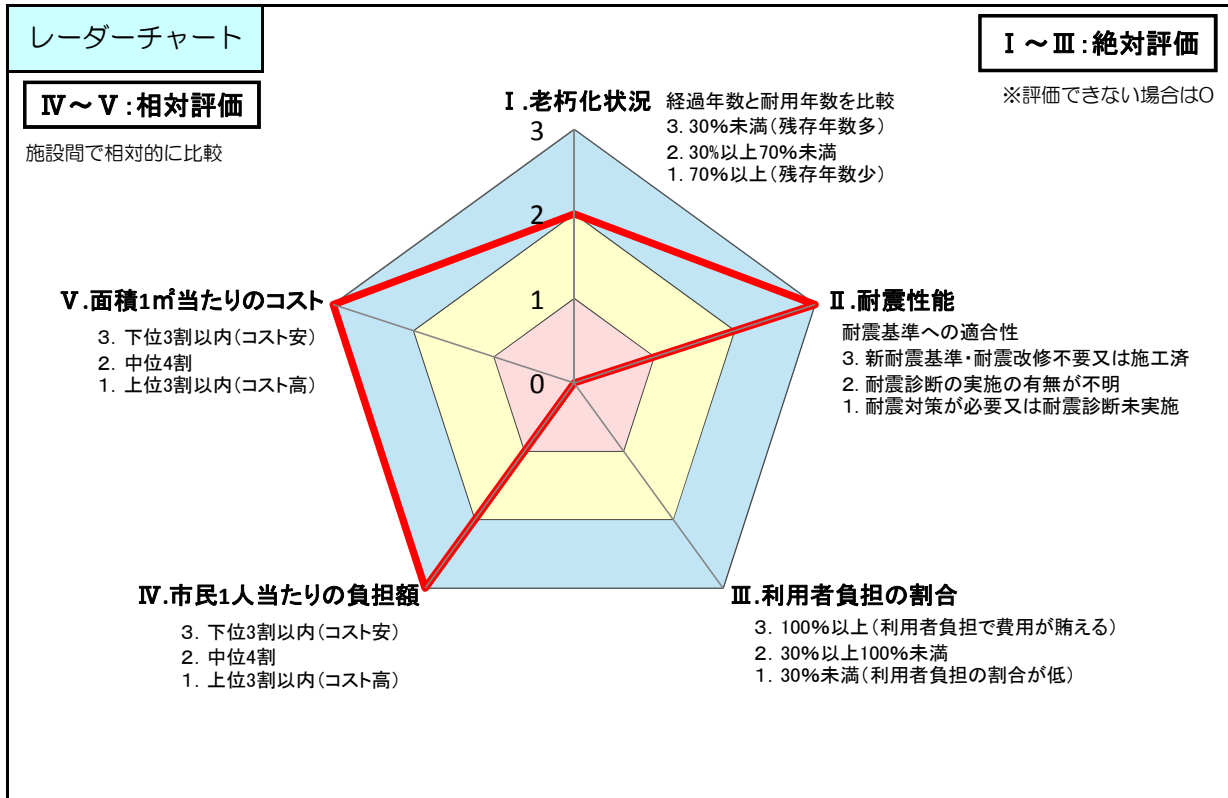
構成施設	間米小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和61年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	28年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	32年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,046,250円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	15円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	63,992	
		県費		46,200		火災保険料	2,565	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		297,734		敷地借上料	-	
	合計		343,934	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		125,337		
	②施設運営コスト			②施設運営コスト		人件費(賃金含)	58,780	
				光熱水費		-		
				その他委託料	109,800			
				その他運営費(事業費)	50,017			
				小計	218,597			
				合計(①+②)	343,934			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		5円/人 ^{※9}	3,698円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	19円/人	(市民1人当たり年積立必要額15円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％） 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 （経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	56（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	－（％）
IV.市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4（円/㎡）
V.面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,698（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。 バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	坂部小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	57
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	前後町鎗ヶ名1867番地	敷地面積	235 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	235 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

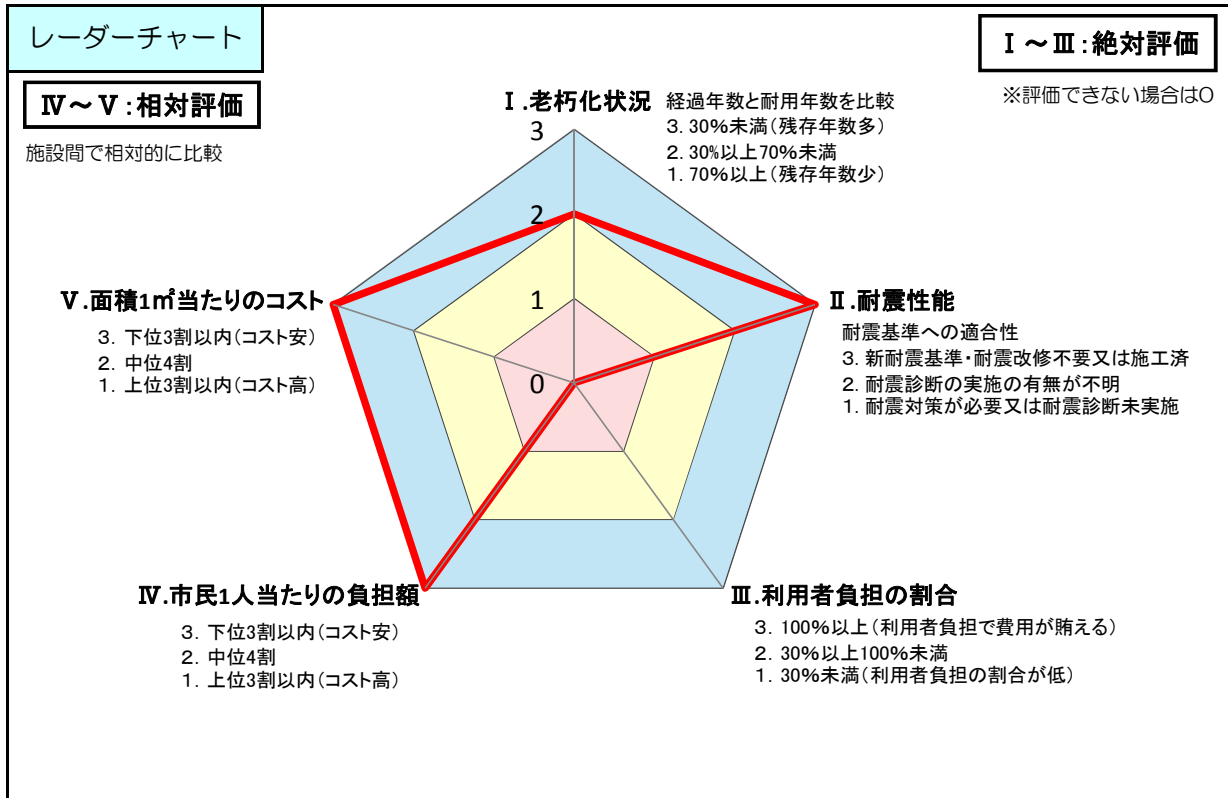
構成施設	坂部小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和62年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	94 m ²	経過年数	27年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,840,000円	更新時期 ^{※2}	33年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,025,455円
市民1人当たり更新コスト	494円/人	市民1人当たり年積立必要額	15円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	13,361	
		県費		46,200		火災保険料	2,970	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		245,599		敷地借上料	-	
	合計		291,799	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		75,111		
	②施設運営コスト			②施設運営コスト		人件費(賃金含)	58,780	
			光熱水費	-				
			その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	48,108				
			小計	216,688				
			合計(①+②)	291,799				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		3,104円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	19円/人	(市民1人当たり年積立必要額15円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率 ^{*13} を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	54 (%)
II. 耐震性能	建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準 ^{*14} で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	3,104 (円/㎡)
総合評価	経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	大脇小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	58
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町大脇8番地	敷地面積	214 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	214 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

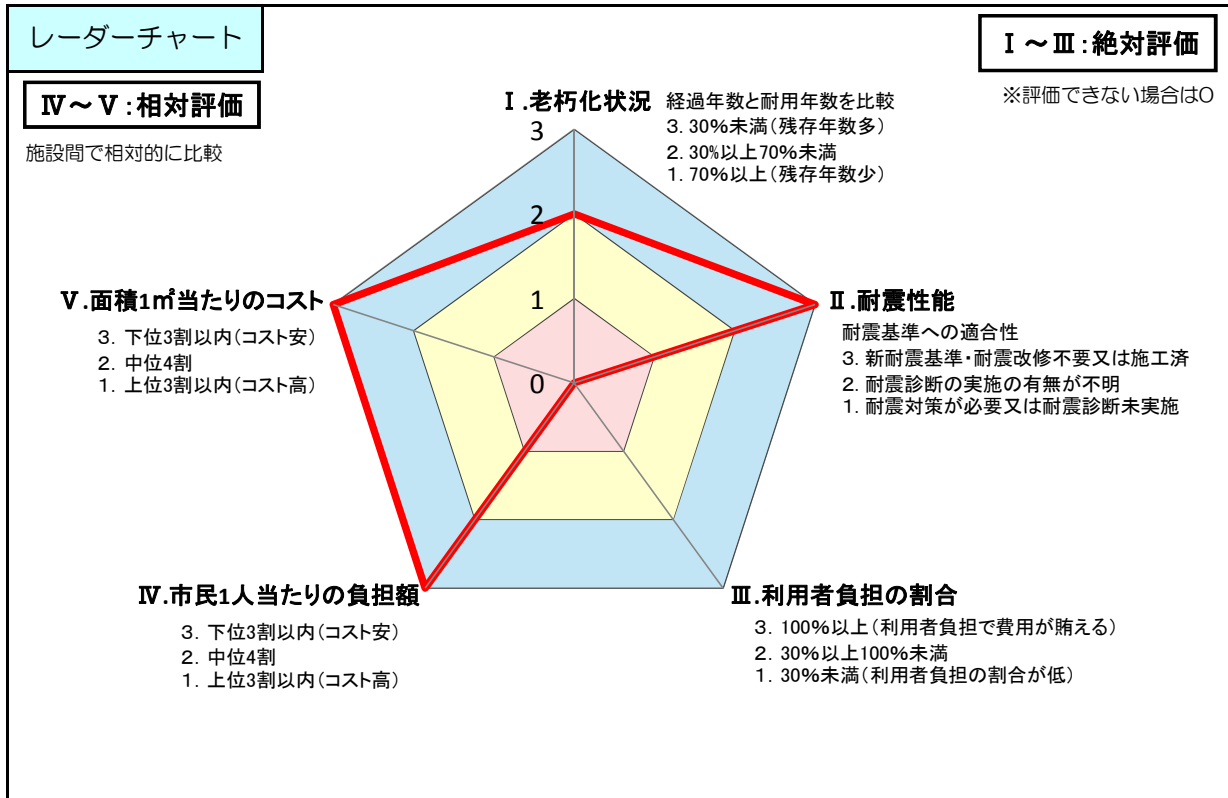
構成施設	大脇小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和63年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	26年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	34年以内	年積立必要額 ^{※3}	984,706円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	14円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳				
	収	利用料等		-	支	人件費(賃金含)	58,780	
		国費		-		①施設維持コスト	修繕料	11,667
		県費		23,100		火災保険料	2,723	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		245,567		敷地借上料	-	
	合計		268,667	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	73,170	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	58,780
				光熱水費		-		
				その他委託料	109,800			
				その他運営費(事業費)	26,917			
				小計	195,497			
				合計(①+②)	268,667			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		2,889円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	18円/人	(市民1人当たり年積立必要額14円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	52（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	4（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	2,889（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	荒井小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	59
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町荒井8番地4	敷地面積	236 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	236 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

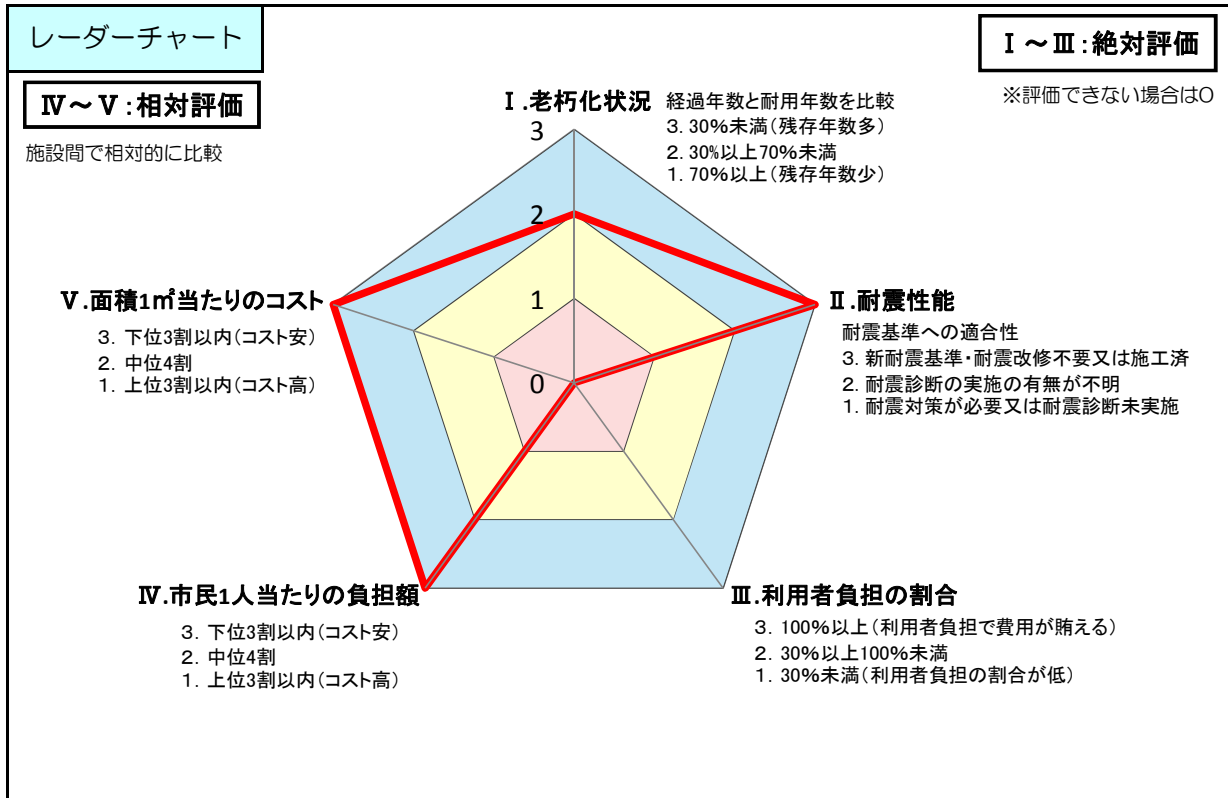
構成施設	荒井小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	平成2年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	24年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	36年以内	年積立必要額 ^{※3}	930,000円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	14円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	11,667	
		県費		46,200		火災保険料	2,955	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		243,890		敷地借上料	-	
	合計		290,090	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		73,402		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		58,780		
			光熱水費	-				
			その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	48,108				
			小計	216,688				
			合計(①+②)	290,090				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		3,119円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	18円/人	(市民1人当たり年積立必要額14円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	48（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	4（円/㎡）
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	3,119（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	勅使小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	60
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町勅使8番地53	敷地面積	220 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	220 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

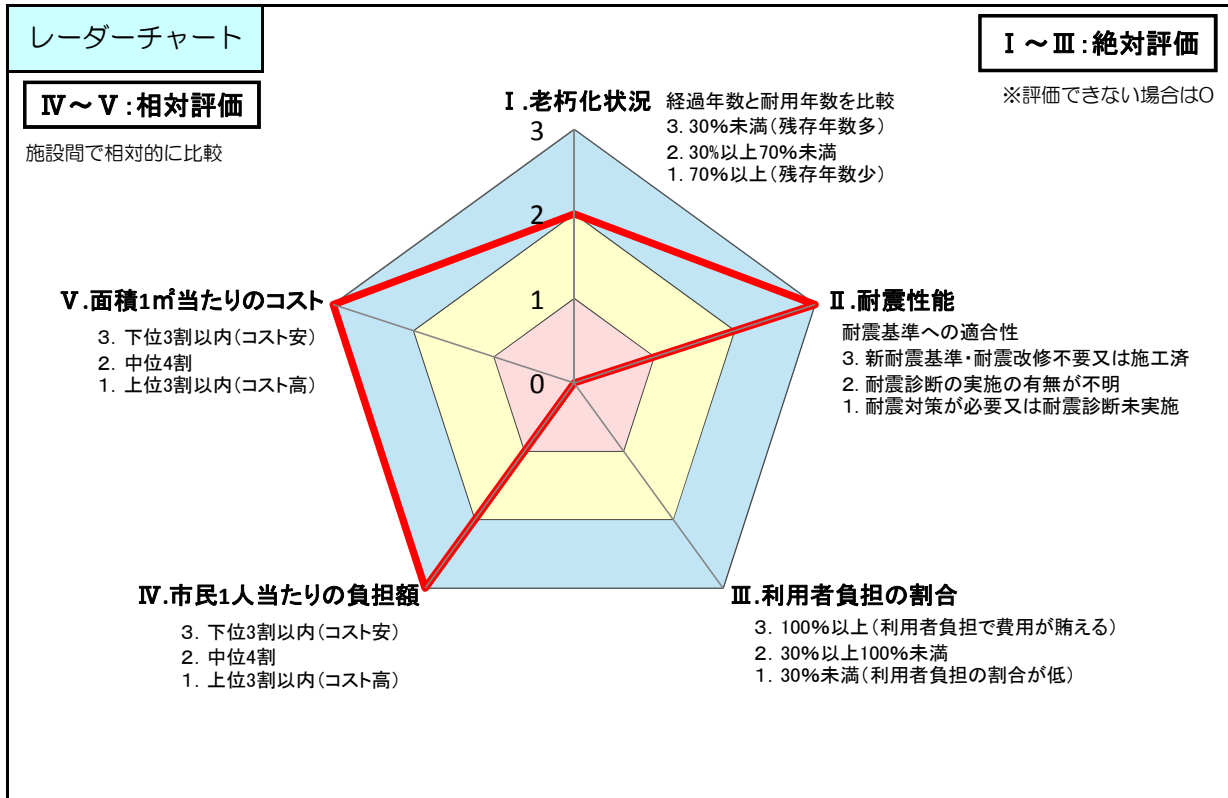
構成施設	勅使小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-			建築年度	平成3年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	23年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	37年以内	年積立必要額 ^{※3}	904,865円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	13円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	11,667	
		県費		46,200		火災保険料	3,462	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		246,306		敷地借上料	-	
	合計		292,506	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		73,909		
	②施設運営コスト			小計		218,597		
合計(①+②)			合計(①+②)	292,506				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}	3,145円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	17円/人	(市民1人当たり年積立必要額13円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率 ^{※13} を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	46 (%)
II. 耐震性能	建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準 ^{※14} で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	3,145 (円/㎡)
総合評価	経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	八ツ屋小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	61
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	二村台一丁目14番地3	敷地面積	210 m ²
	(唐竹小学校)	うち借地面積	210 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

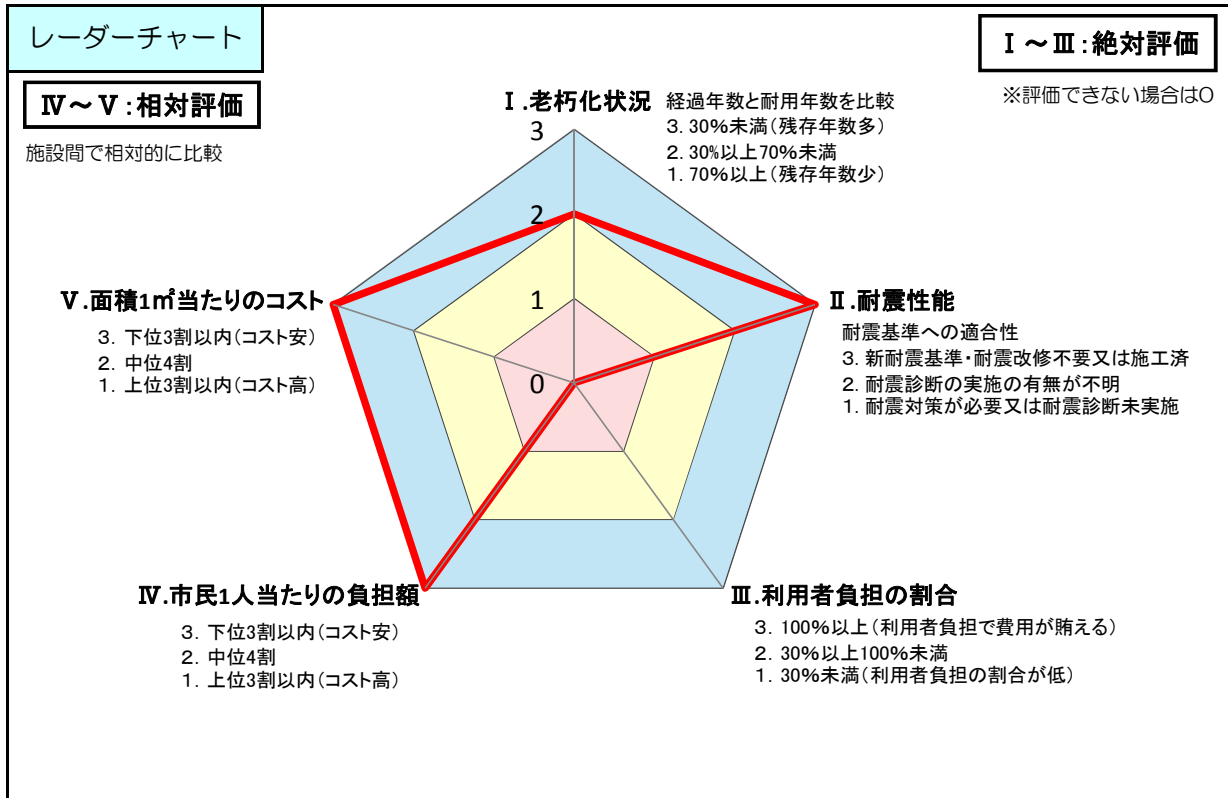
構成施設	八ツ屋小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	平成4年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	22年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	38年以内	年積立必要額 ^{※3}	881,053円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	13円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	24,897	
		県費		23,100		火災保険料	3,880	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		259,954		敷地借上料	-	
	合計		283,054	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		87,557		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		58,780		
			光熱水費	-				
			その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	26,917				
			小計	195,497				
			合計(①+②)	283,054				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		3,044円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	17円/人	(市民1人当たり年積立必要額13円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	44 (%)
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV.市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V.面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,044 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	横井小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	62
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町横井4番地15	敷地面積	235 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	235 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

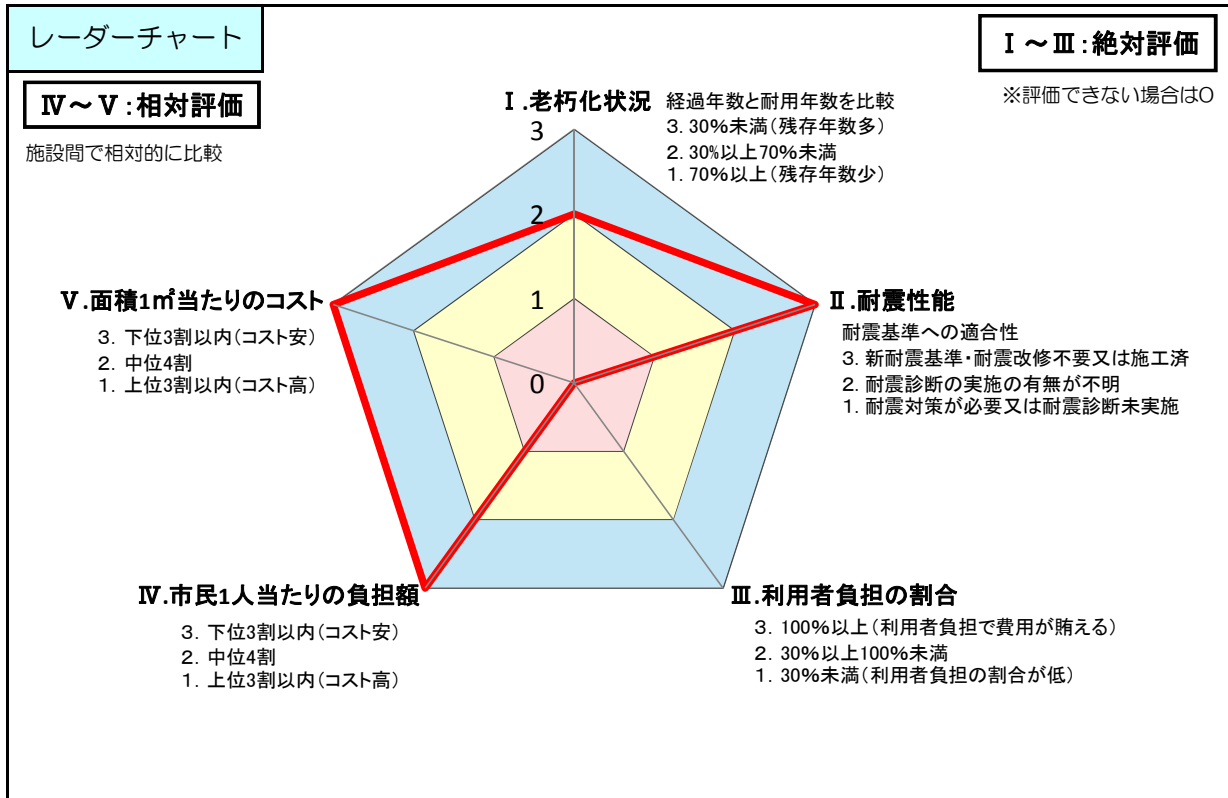
構成施設	横井小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	平成5年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	21年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	39年以内	年積立必要額 ^{※3}	858,462円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	13円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態				
		-人	-人	-人	-人	包括委託			
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)			
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780	
		国費		-		修繕料	11,667		
		県費		46,200		火災保険料	3,904		
		その他		-		維持管理委託料	-		
		市費(一般財源)		246,748		敷地借上料	-		
	合計		292,948	工事請負費		-			
	施設外観					その他維持費	-	小計	74,351
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	58,780	
						光熱水費	-		
				その他委託料		109,800			
				その他運営費(事業費)	50,017	小計	218,597		
				合計(①+②)		292,948			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		4円/人 ^{※9}		3,150円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}						

市民1人当たり負担額計	17円/人	(市民1人当たり年積立必要額13円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I .老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	42 (%)
II .耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III .利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV .市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V .面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	3,150 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	荒巻小規模老人憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	63
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町荒巻2番地3	敷地面積	220 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	220 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

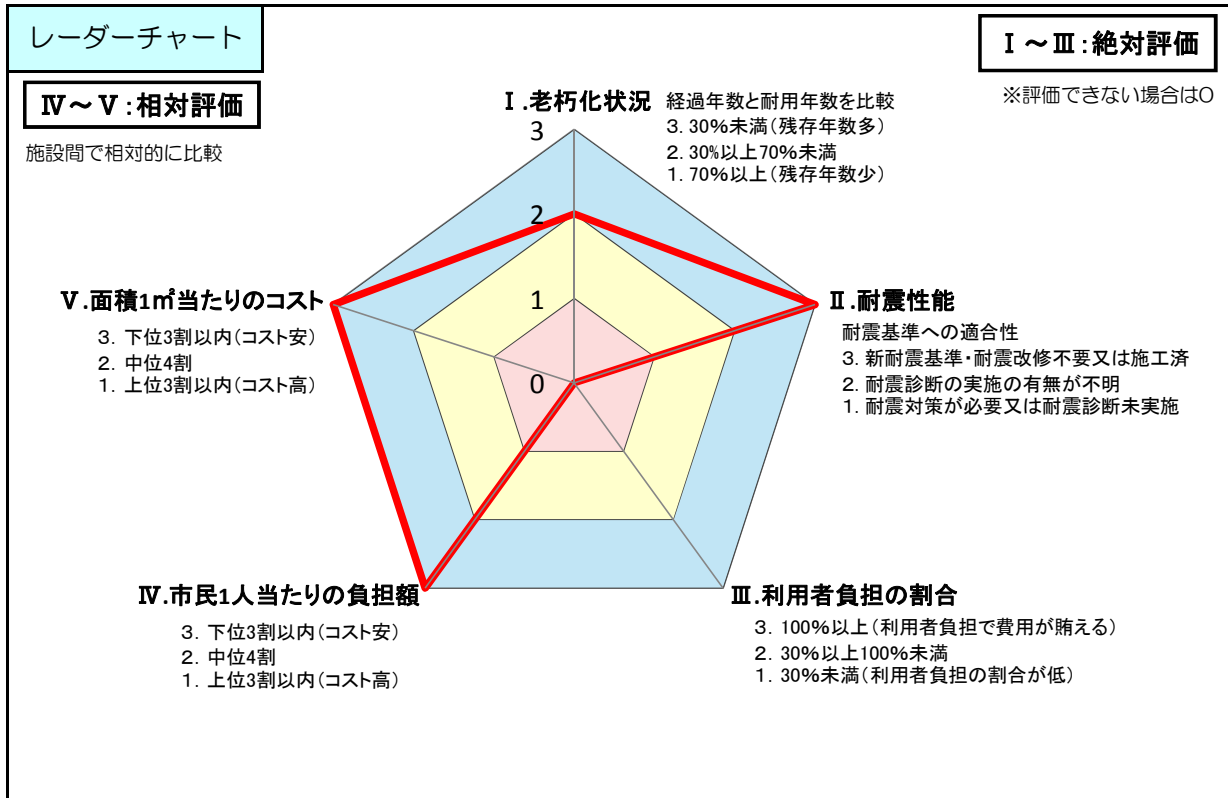
構成施設	荒巻小規模老人憩いの家				
複合・併設施設	-		建築年度	平成5年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	93 m ²	経過年数	21年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	33,480,000円	更新時期 ^{※2}	39年以内	年積立必要額 ^{※3}	858,462円
市民1人当たり更新コスト	489円/人	市民1人当たり年積立必要額	13円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	58,780
		国費		-		修繕料	28,042	
		県費		46,200		火災保険料	3,950	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		263,169		敷地借上料	-	
	合計		309,369	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		90,772		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		58,780		
			光熱水費	-				
			その他委託料	109,800				
			その他運営費(事業費)	50,017				
			小計	218,597				
			合計(①+②)	309,369				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		5円/人 ^{※9}		3,327円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		4円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	17円/人	(市民1人当たり年積立必要額13円/人+市民1人当たり管理運営負担額4円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	42（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV.市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	4（円/㎡）
V.面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	3,327（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市老人福祉センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	豊明市福祉体育館(31)		

大分類	保健・福祉施設	中分類	高齢福祉施設	施設番号	64
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部課	高齢者福祉課
------	--------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町笹原26番地1	敷地面積	-	m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	-	m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

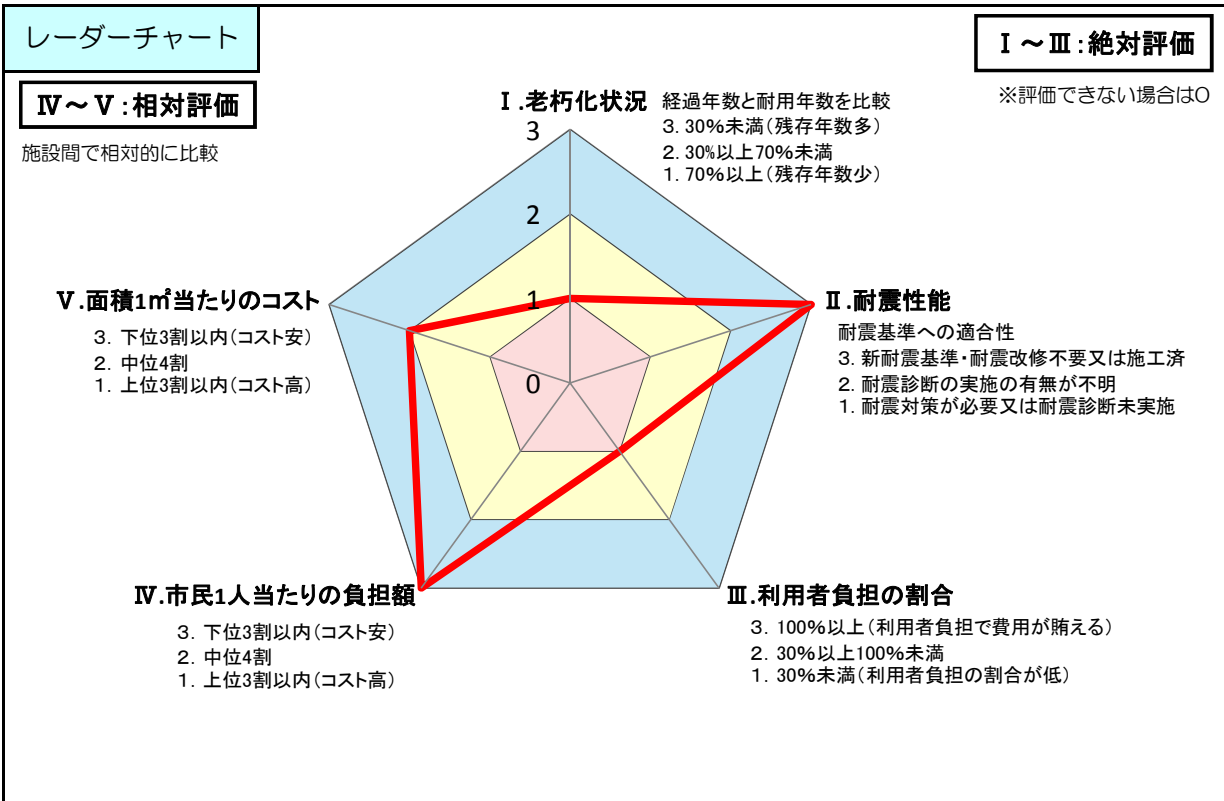
構成施設	豊明市老人福祉センター				
複合・併設施設	福祉体育館(032),中央児童館(034)		建築年度	昭和52年度	
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	1,213 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	436,680,000円	更新時期 ^{※2}	23年以内	年積立必要額 ^{※3}	18,986,087円
市民1人当たり更新コスト	6,380円/人	市民1人当たり年積立必要額	277円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		20,197	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	4,989,077
		国費		-		修繕料	870,195	
		県費		-		火災保険料	-	
		その他		-		維持管理委託料	21,000	
		市費(一般財源)		17,692,205		敷地借上料	-	
	合計		17,712,402	工事請負費		530,950		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		6,411,222		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		5,979,376		
			光熱水費	474,941				
			その他委託料	2,681,298				
			その他運営費(事業費)	2,165,565				
			小計	11,301,180				
			合計(①+②)	17,712,402				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		259円/人 ^{※9}		14,602円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		258円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	535円/人	(市民1人当たり年積立必要額277円/人+市民1人当たり管理運営負担額258円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	79 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	0 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	258 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	14,602 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	どんぐり学園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	65
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町長田16番地8	敷地面積	1,931 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	どんぐり学園				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和51年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	272 m ²	経過年数	38年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	89,760,000円	更新時期 ^{※2}	22年以内	年積立必要額 ^{※3}	4,080,000円
市民1人当たり更新コスト	1,311円/人	市民1人当たり年積立必要額	60円/人		

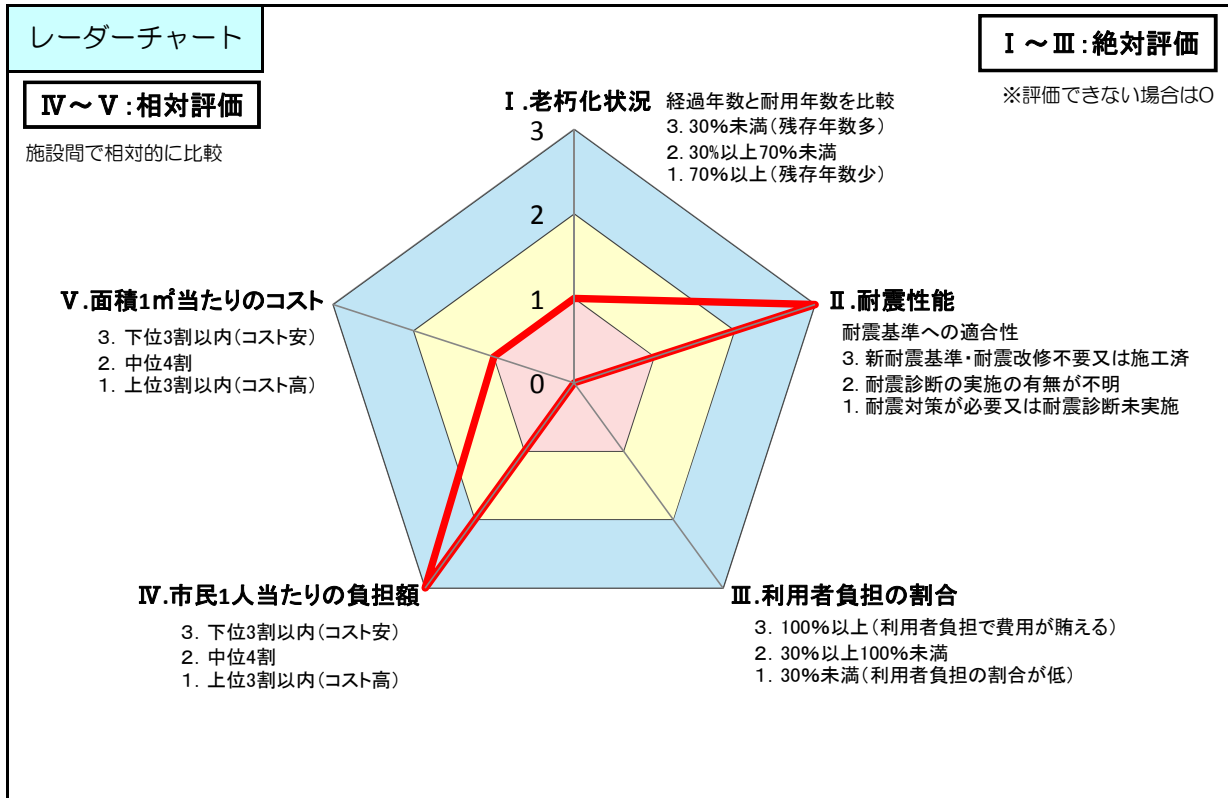
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,475,067
		国費		-		修繕料	337,825	
		県費		-		火災保険料	3,222	
		その他		-		維持管理委託料	269,519	
		市費(一般財源)		29,946,600		敷地借上料	-	
	合計			29,946,600		工事請負費	378,700	
						その他維持費	-	
						小計	2,464,333	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	26,761,600
				光熱水費		359,637		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	361,030			
				小計	27,482,267			
				合計(①+②)	29,946,600			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		438円/人 ^{※9}		110,098円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		438円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	498円/人	(市民1人当たり年積立必要額60円/人+市民1人当たり管理運営負担額438円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	81（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV.市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	438（円/㎡）
V.面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	110,098（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	二村児童館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	66
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町横井4番地13	敷地面積	1,085 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

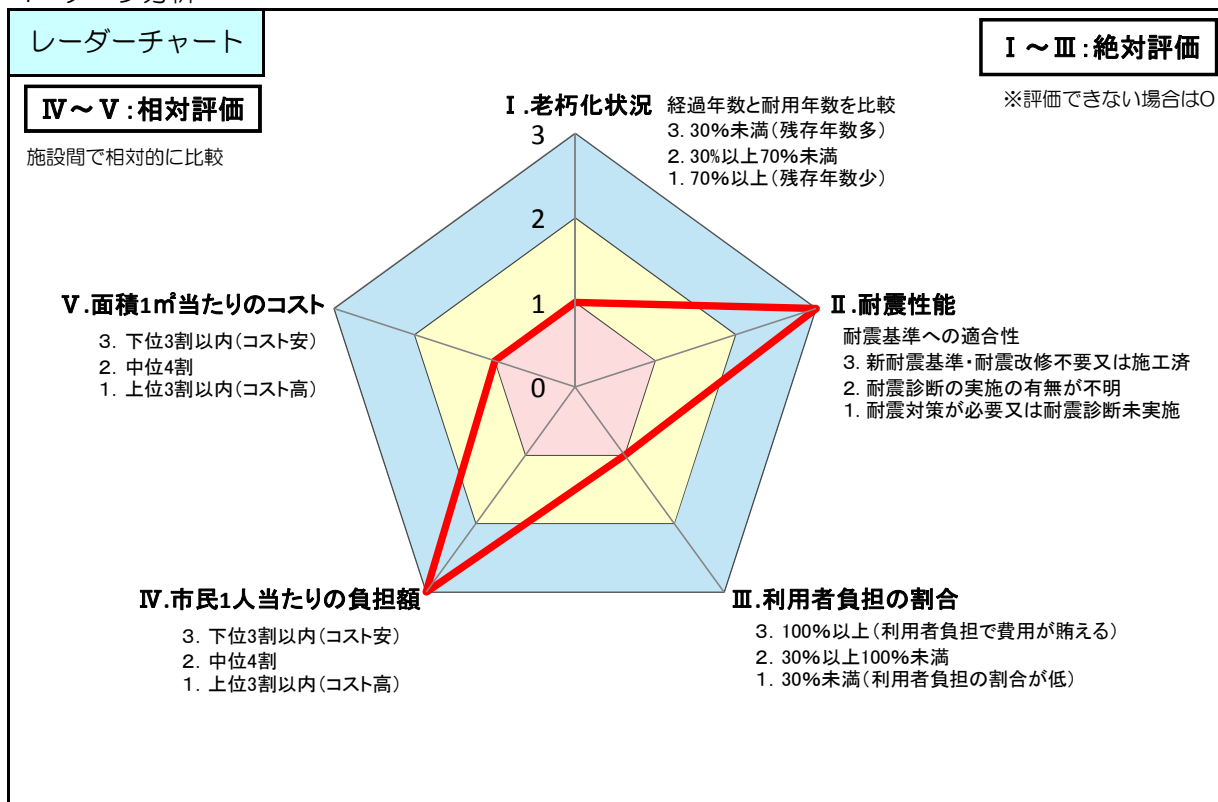
構成施設	二村児童館				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和55年度	
建物構造	鉄骨造	延床面積	228 m ²	経過年数	34年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	75,240,000円	更新時期 ^{※2}	26年以内	年積立必要額 ^{※3}	2,893,846円
市民1人当たり更新コスト	1,099円/人	市民1人当たり年積立必要額	42円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		259,333	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	293,900
		国費		-		修繕料	153,328	
		県費		-		火災保険料	8,906	
		その他		-		維持管理委託料	269,519	
		市費(一般財源)		19,961,712		敷地借上料	-	
	合計		20,221,045	工事請負費		489,531		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		1,215,184		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		18,508,767		
光熱水費			399,329					
その他委託料			-					
その他運営費(事業費)			97,765					
小計			小計	19,005,861				
合計(①+②)			合計(①+②)	20,221,045				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		295円/人 ^{※9}		88,689円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		292円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	334円/人	(市民1人当たり年積立必要額42円/人+市民1人当たり管理運営負担額292円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	100 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	1 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	292 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	88,689 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	南部児童館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	67
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町山ノ田112番地	敷地面積	667 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

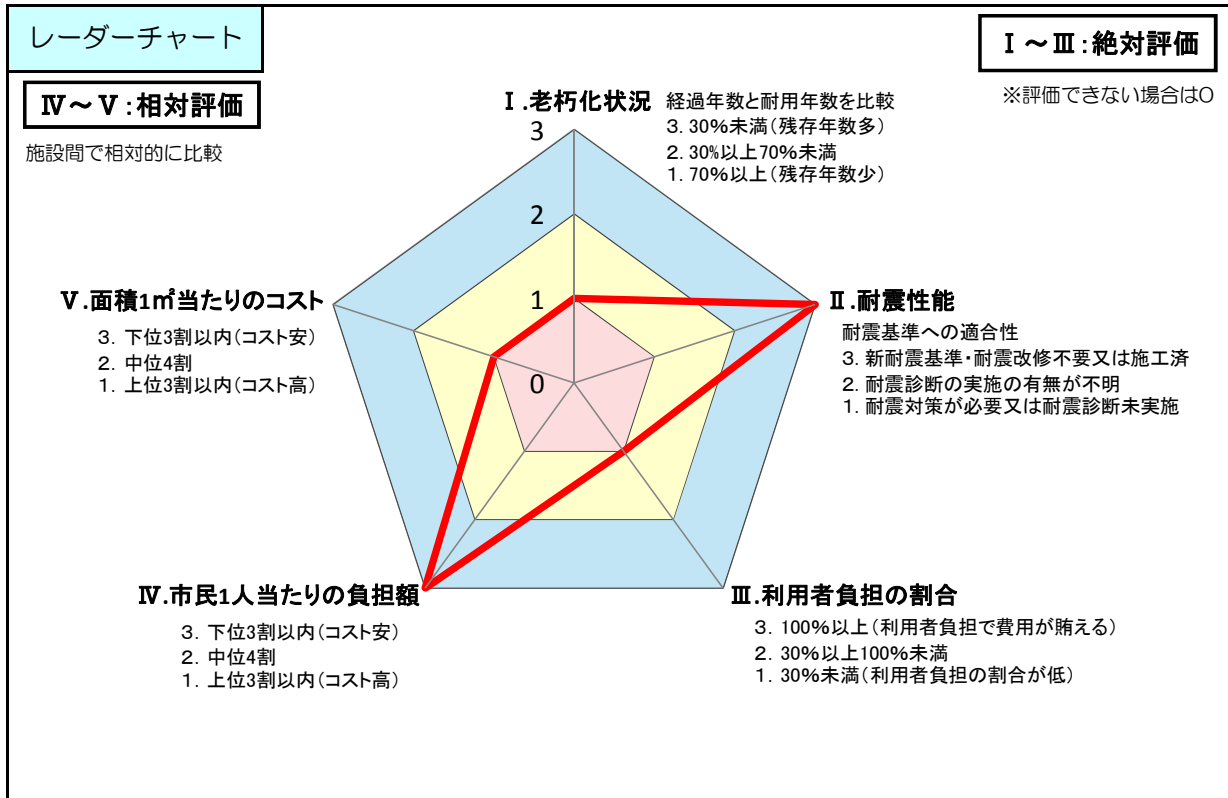
構成施設	南部児童館				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和57年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	197 m ²	経過年数	32年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	65,010,000円	更新時期 ^{※2}	28年以内	年積立必要額 ^{※3}	2,321,786円
市民1人当たり更新コスト	950円/人	市民1人当たり年積立必要額	34円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		270,333	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	293,900
		国費		-		修繕料	49,787	
		県費		-		火災保険料	4,507	
		その他		-		維持管理委託料	179,919	
		市費(一般財源)		12,588,529		敷地借上料	-	
	合計		12,858,862	工事請負費		411,131		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		939,244		
	②施設運営コスト			②施設運営コスト		人件費(賃金含)	11,295,433	
			光熱水費	263,155				
			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	361,030				
			小計	11,919,618				
			合計(①+②)	12,858,862				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		188円/人 ^{※9}	65,273円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		184円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	218円/人	(市民1人当たり年積立必要額34円/人+市民1人当たり管理運営負担額184円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	94 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	2 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	184 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	65,273 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	ひまわり児童館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	68
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町上姥子3番地213	敷地面積	1,335 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	1,335 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

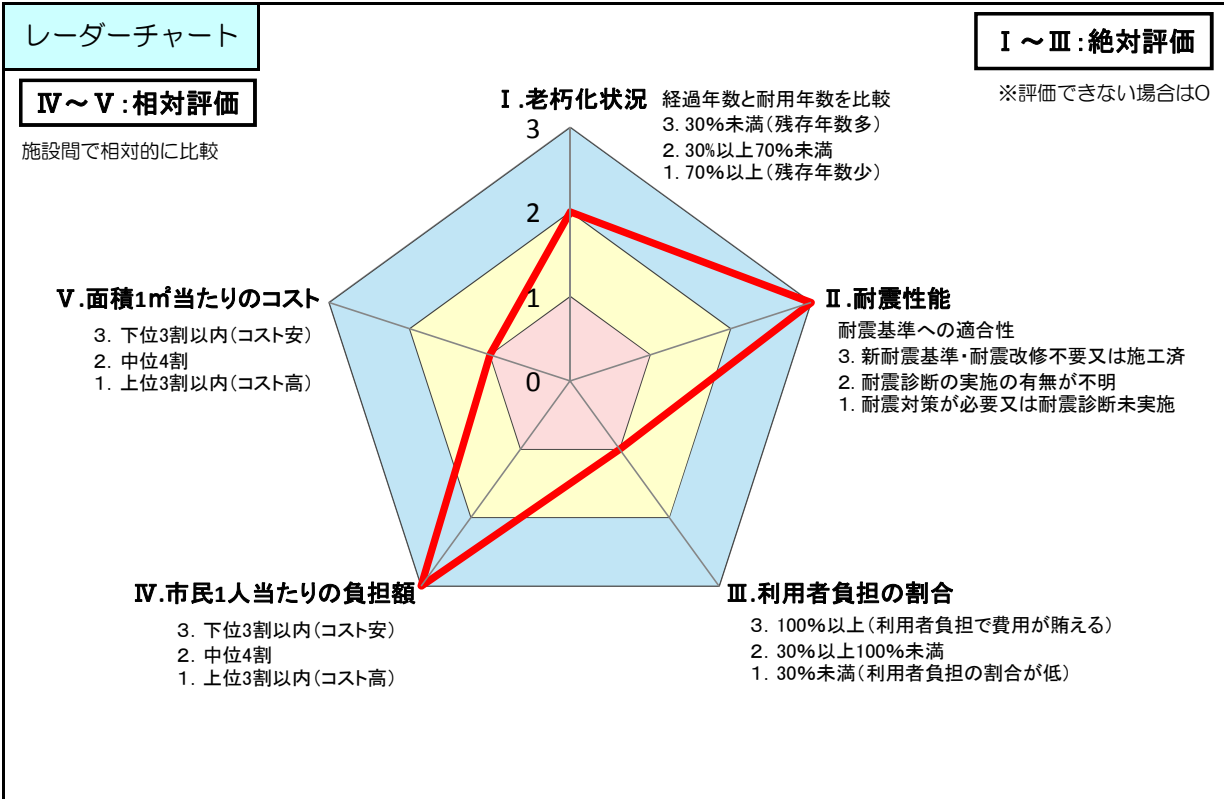
構成施設	ひまわり児童館				
複合・併設施設	-			建築年度	平成7年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	750 m ²	経過年数	19年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	247,500,000円	更新時期 ^{※2}	41年以内	年積立必要額 ^{※3}	6,036,585円
市民1人当たり更新コスト	3,616円/人	市民1人当たり年積立必要額	88円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		794,667	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	293,900
		国費		-		修繕料	251,022	
		県費		-		火災保険料	4,925	
		その他		-		維持管理委託料	269,519	
		市費(一般財源)		42,062,964		敷地借上料	-	
	合計		42,857,631	工事請負費		898,265		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		1,717,631		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		40,200,100		
小計			光熱水費	578,884				
合計(①+②)			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	361,016				
			小計	41,140,000				
			合計(①+②)	42,857,631				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		626円/人 ^{※9}	57,144円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		615円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	703円/人	(市民1人当たり年積立必要額88円/人+市民1人当たり管理運営負担額615円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	40（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	2（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	615（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	57,144（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	中央児童館		
従たる施設の場合、主たる施設名	豊明市福祉体育館(31)		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	69
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町笹原26番地1	敷地面積	-	m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	-	m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

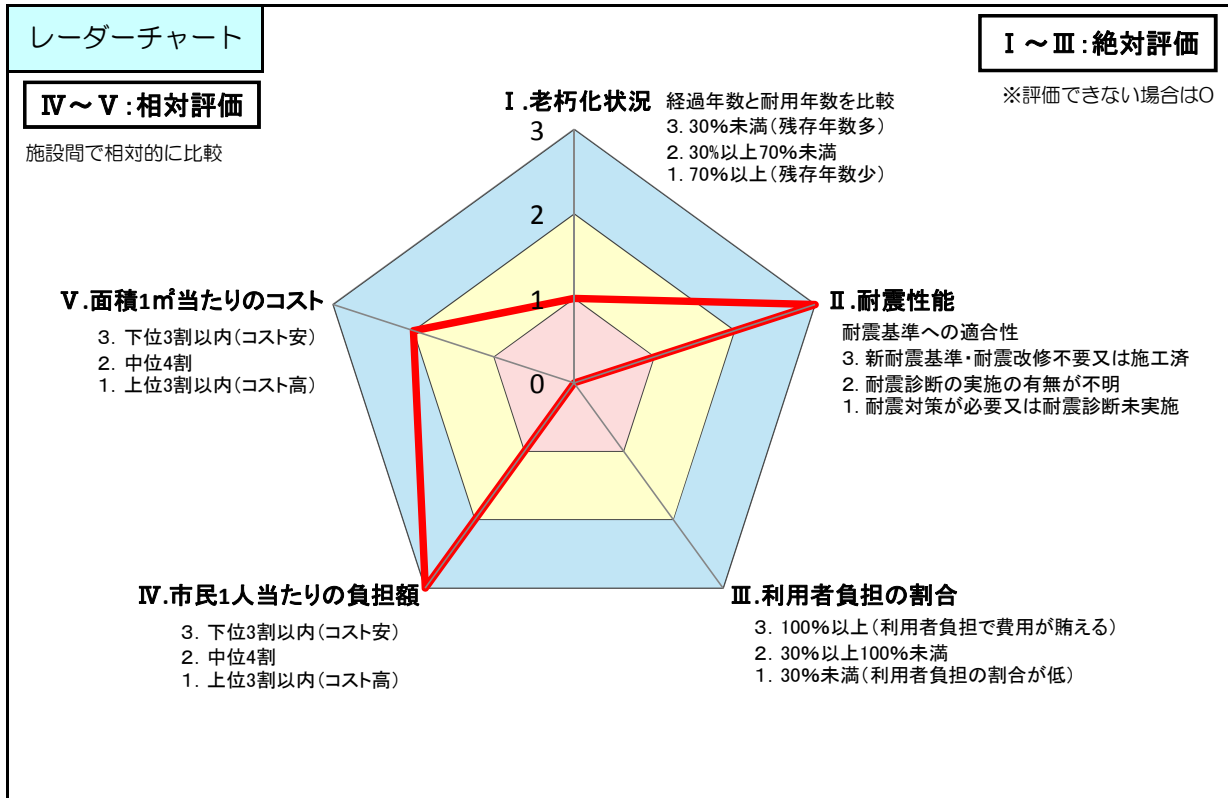
構成施設	中央児童館				
複合・併設施設	福祉体育館(032), 老人センター(033)		建築年度	昭和52年度	
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	333 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	109,890,000円	更新時期 ^{※2}	23年以内	年積立必要額 ^{※3}	4,777,826円
市民1人当たり更新コスト	1,605円/人	市民1人当たり年積立必要額	70円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	293,900
		国費		-		修繕料	149,208	
		県費		-		火災保険料	-	
		その他		-		維持管理委託料	269,519	
		市費(一般財源)		12,951,228		敷地借上料	-	
	合計		12,951,228	工事請負費		675,220		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		1,387,847		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		11,367,433		
小計			光熱水費	-				
合計(①+②)			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	195,948				
			小計	11,563,381				
			合計(①+②)	12,951,228				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		189円/人 ^{※9}	38,893円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		189円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	259円/人	(市民1人当たり年積立必要額70円/人+市民1人当たり管理運営負担額189円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	79 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	189 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	38,893 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	北部児童館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	70
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町泉153番地4	敷地面積	876 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

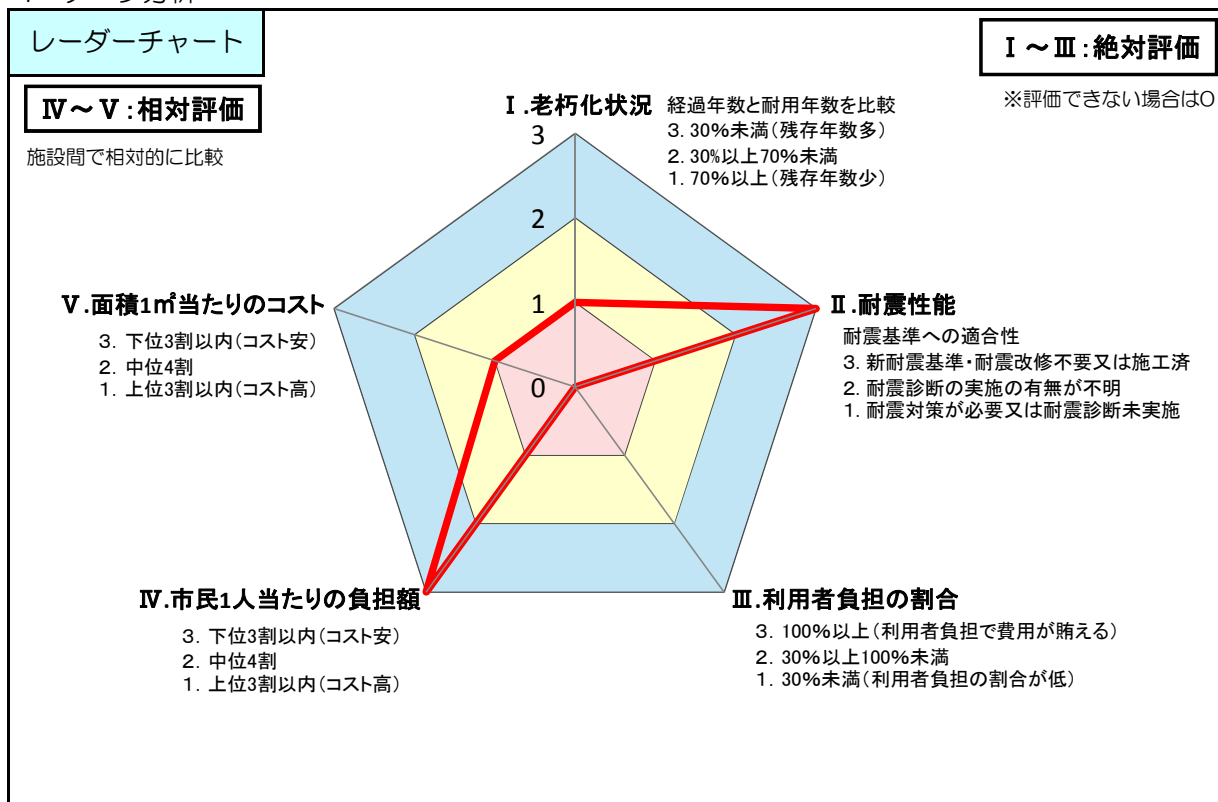
構成施設	北部児童館				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和59年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	209 m ²	経過年数	30年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	68,970,000円	更新時期 ^{※2}	30年以内	年積立必要額 ^{※3}	2,299,000円
市民1人当たり更新コスト	1,008円/人	市民1人当たり年積立必要額	34円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	293,900
		国費		-		修繕料	87,500	
		県費		-		火災保険料	4,492	
		その他		-		維持管理委託料	269,519	
		市費(一般財源)		15,719,802		敷地借上料	-	
	合計		15,719,802	工事請負費		400,141		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	1,055,552	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	13,965,433
				光熱水費		337,787		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	361,030			
				小計	14,664,250			
				合計(①+②)	15,719,802			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		230円/人 ^{※9}		75,214円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		230円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	264円/人	(市民1人当たり年積立必要額34円/人+市民1人当たり管理運営負担額230円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	88 (%)
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV.市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	230 (円/㎡)
V.面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	75,214 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	北部児童館分室		
従たる施設の場合、主たる施設名	豊明市立沓掛小学校(17)		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	71
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町一之御前16番地	敷地面積	-	m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	-	m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

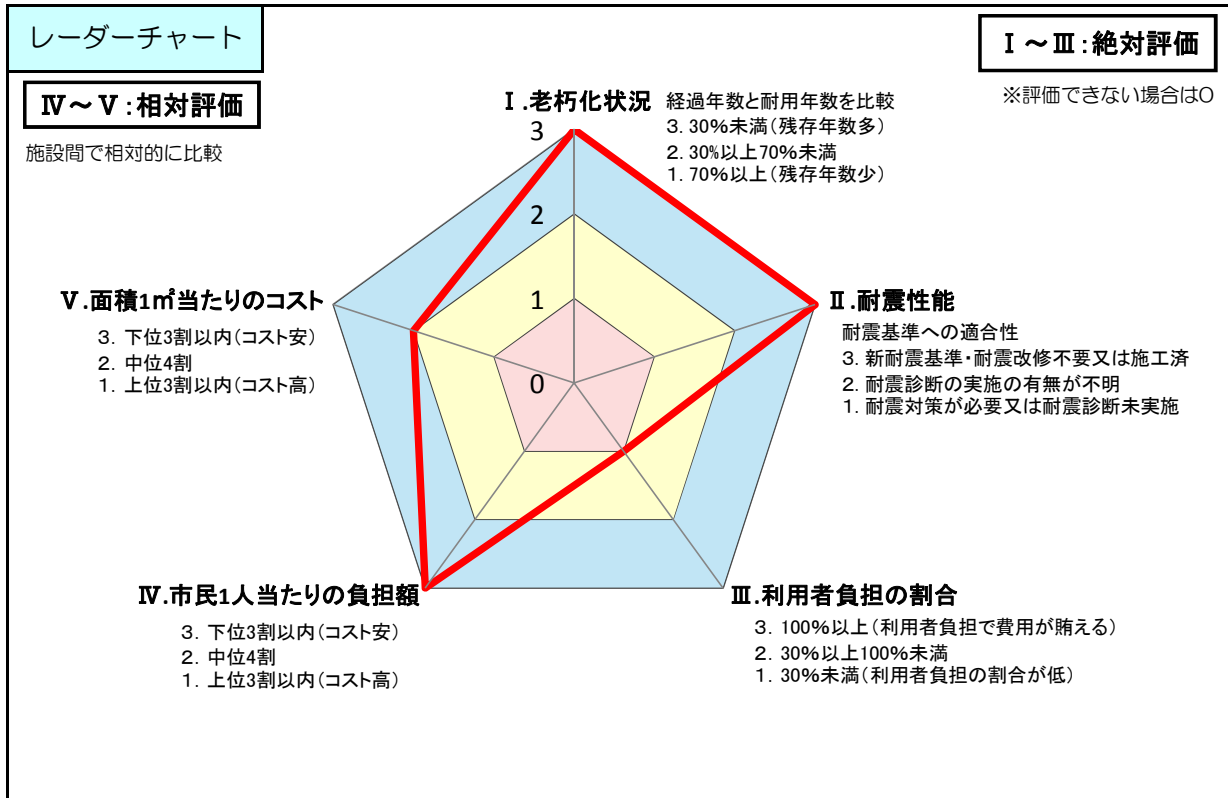
構成施設	校舎24内					
複合・併設施設	沓掛小学校(018)			建築年度	平成20年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	304	m ²	経過年数	6年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-	階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	100,320,000円	更新時期 ^{※2}	54年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,857,778円	
市民1人当たり更新コスト	1,466円/人	市民1人当たり年積立必要額	27円/人			

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		567,000	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	293,900
		国費		-		修繕料	94,993	
		県費		-		火災保険料	2,283	
		その他		-		維持管理委託料	269,519	
		市費(一般財源)		11,378,376		敷地借上料	-	
	合計		11,945,376	工事請負費		510,370		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		1,171,065		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		10,305,433		
			光熱水費	107,848				
			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	361,030				
			小計	10,774,311				
			合計(①+②)	11,945,376				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		175円/人 ^{※9}		39,294円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		166円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	193円/人	(市民1人当たり年積立必要額27円/人+市民1人当たり管理運営負担額166円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率 ^{*13} を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	13 (%)
II. 耐震性能	建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準 ^{*14} で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。	5 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	166 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	39,294 (円/㎡)
総合評価	経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	西部児童館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	72
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町南館316番地2	敷地面積	795 m ²
	(館小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

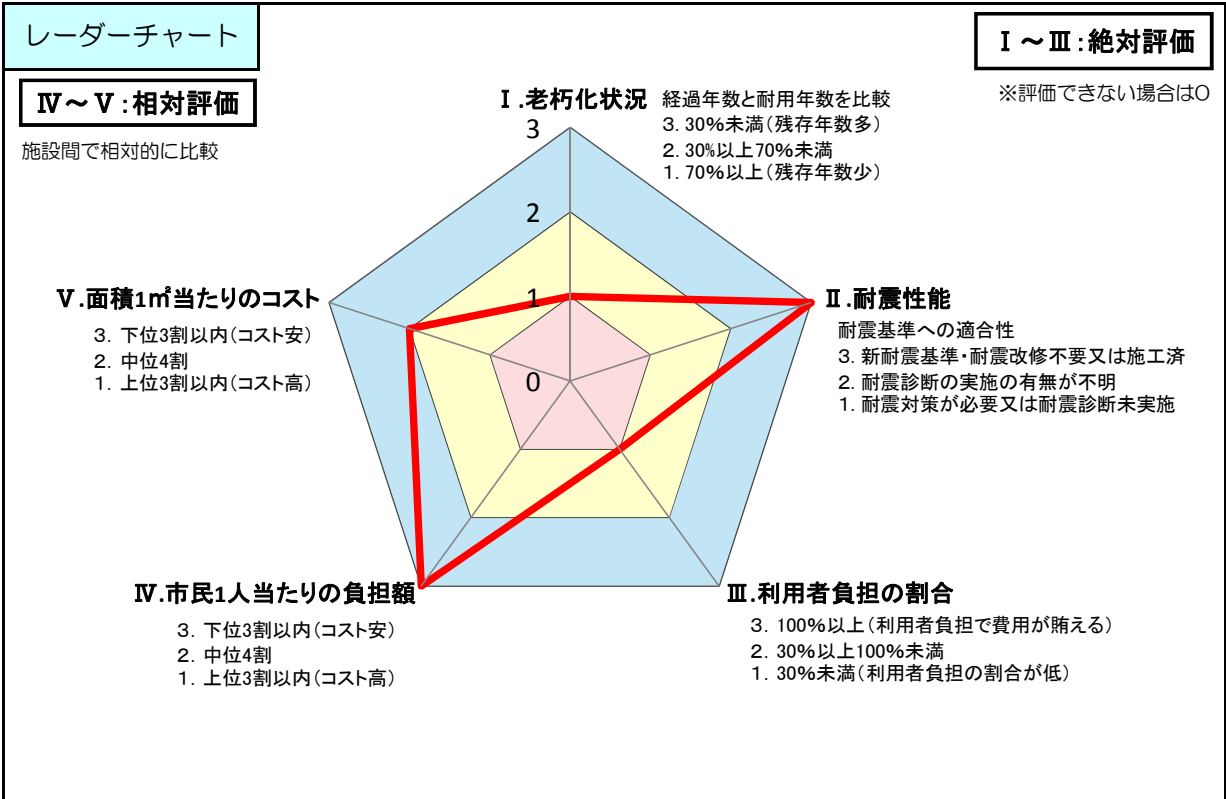
構成施設	西部児童館				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和61年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	319 m ²	経過年数	28年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	105,270,000円	更新時期 ^{※2}	32年以内	年積立必要額 ^{※3}	3,289,688円
市民1人当たり更新コスト	1,538円/人	市民1人当たり年積立必要額	48円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態				
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営			
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)			
	収 入	利用料等		345,333	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	293,900	
		国費		-		修繕料	131,145		
		県費		-		火災保険料	9,094		
		その他		-		維持管理委託料	269,519		
		市費(一般財源)		13,970,656		敷地借上料	-		
	合計		14,315,989	工事請負費		521,031			
	施設外観					その他維持費	-	小計	1,224,689
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	12,439,433	
						光熱水費	290,837	その他委託料	-
				その他運営費(事業費)		361,030	小計	13,091,300	
				合計(①+②)		14,315,989			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		209円/人 ^{※9}		44,878円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		204円/人 ^{※12}						

市民1人当たり負担額計	252円/人	(市民1人当たり年積立必要額48円/人+市民1人当たり管理運営負担額204円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	82（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	2（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	204（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	44,878（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	大宮児童館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	73
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	前後町宮前1487番地9	敷地面積	450 m ²
	(大宮小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	大宮児童館				
複合・併設施設	-			建築年度	平成13年度
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	270 m ²	経過年数	13年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	89,100,000円	更新時期 ^{※2}	47年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,895,745円
市民1人当たり更新コスト	1,302円/人	市民1人当たり年積立必要額	28円/人		

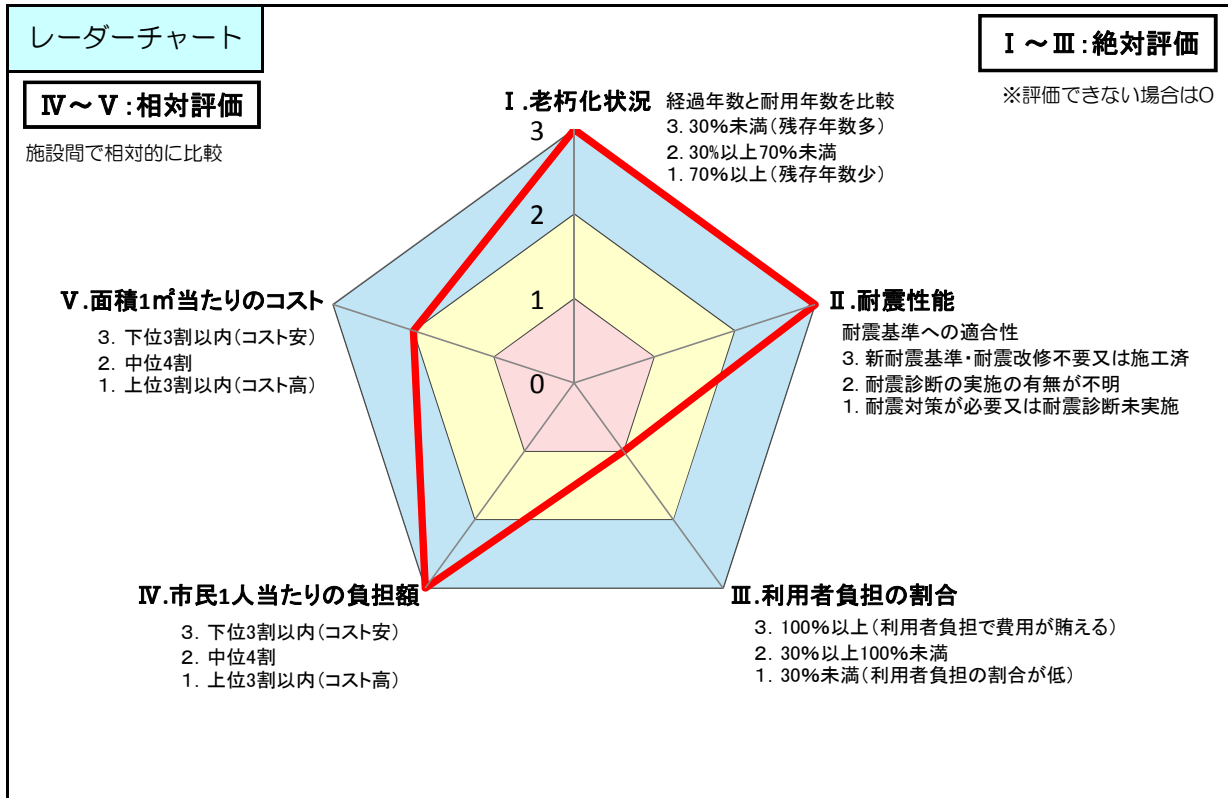
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		327,333	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	293,900
		国費		-		修繕料	221,550	
		県費		-		火災保険料	13,811	
		その他		-		維持管理委託料	269,519	
		市費(一般財源)		13,362,203		敷地借上料	399,724	
	合計		13,689,536	工事請負費		553,931		
						その他維持費	-	
						小計	1,752,435	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	11,049,433
						光熱水費	526,638	
					その他委託料	-		
					その他運営費(事業費)	361,030		
					小計	11,937,101		
				合計(①+②)		13,689,536		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		200円/人 ^{※9}		50,702円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		195円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	223円/人	(市民1人当たり年積立必要額28円/人+市民1人当たり管理運営負担額195円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	28 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	2 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	195 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	50,702 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	コスモス児童館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	74
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町南山82番地	敷地面積	1,774 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

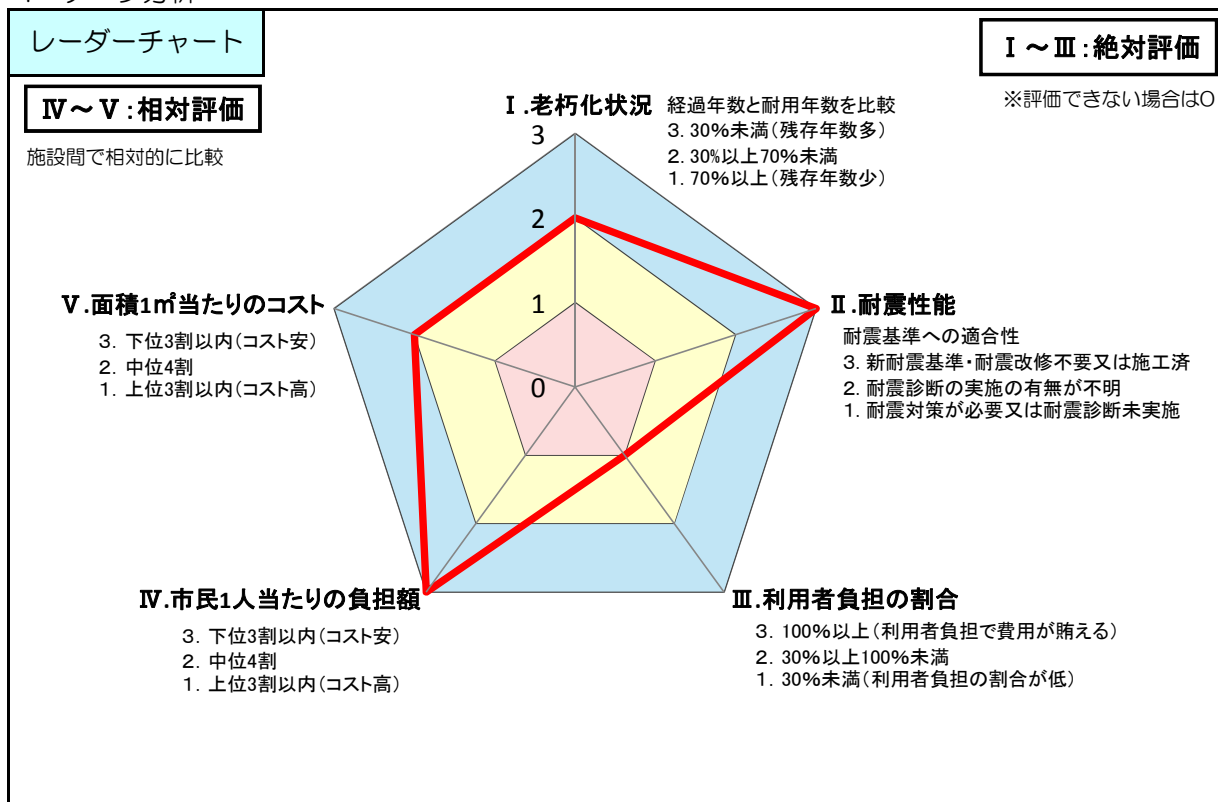
構成施設	コスモス児童館				
複合・併設施設	-			建築年度	平成11年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	556 m ²	経過年数	15年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	183,480,000円	更新時期 ^{※2}	45年以内	年積立必要額 ^{※3}	4,077,333円
市民1人当たり更新コスト	2,681円/人	市民1人当たり年積立必要額	60円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		721,667	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	293,900
		国費		-		修繕料	32,945	
		県費		-		火災保険料	21,993	
		その他		-		維持管理委託料	269,519	
		市費(一般財源)		14,330,745		敷地借上料	-	
	合計		15,052,412	工事請負費		826,931		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		1,445,288		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		12,560,433		
小計			光熱水費	685,661				
			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	361,030				
			小計	13,607,124				
			合計(①+②)	15,052,412				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		220円/人 ^{※9}		27,073円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		209円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	269円/人	(市民1人当たり年積立必要額60円/人+市民1人当たり管理運営負担額209円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	44 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	5 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	209 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	27,073 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	沓掛保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	75
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町森元4番地 (沓掛小学校)	敷地面積	2,396 m ²
		うち借地面積	677 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

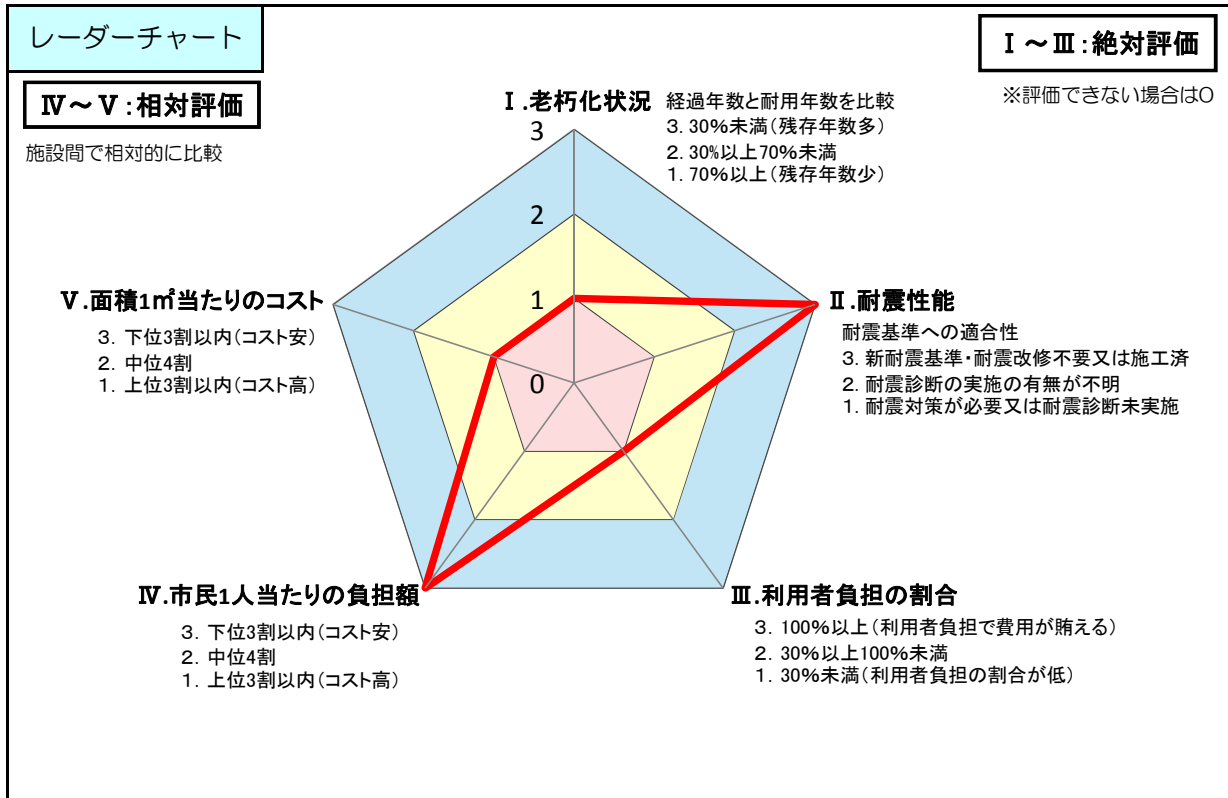
構成施設	沓掛保育園				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和29年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,135 m ²	経過年数	60年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	374,550,000円	更新時期 ^{※2}	年以内	年積立必要額 ^{※3}	円
市民1人当たり更新コスト	5,472円/人	市民1人当たり年積立必要額	円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		-人	-人	-人	-人	直営	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)	
	収	利用料等	23,160,583	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費	-		修繕料	2,408,367	
		県費	-		火災保険料	55,705	
		その他	-		維持管理委託料	734,716	
		市費(一般財源)	80,630,974		敷地借上料	609,511	
	合計	103,791,557	工事請負費	3,094,703			
	施設外観			その他維持費	-		
	小計		小計	12,193,202			
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)	80,282,825		
光熱水費			3,355,924				
その他委託料			-				
その他運営費(事業費)			7,959,606				
小計			91,598,355				
合計(①+②)			103,791,557				
コスト計算	利用者1人当たり	市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}	1,516円/人 ^{※9}	91,446円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}	1,178円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	円/人	
-------------	-----	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	128（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	22（％）
IV.市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	1,178（円/㎡）
V.面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	91,446（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	青い鳥保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	76
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	三崎町高鴨1番地1	敷地面積	3,080 m ²
	(三崎小学校地区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

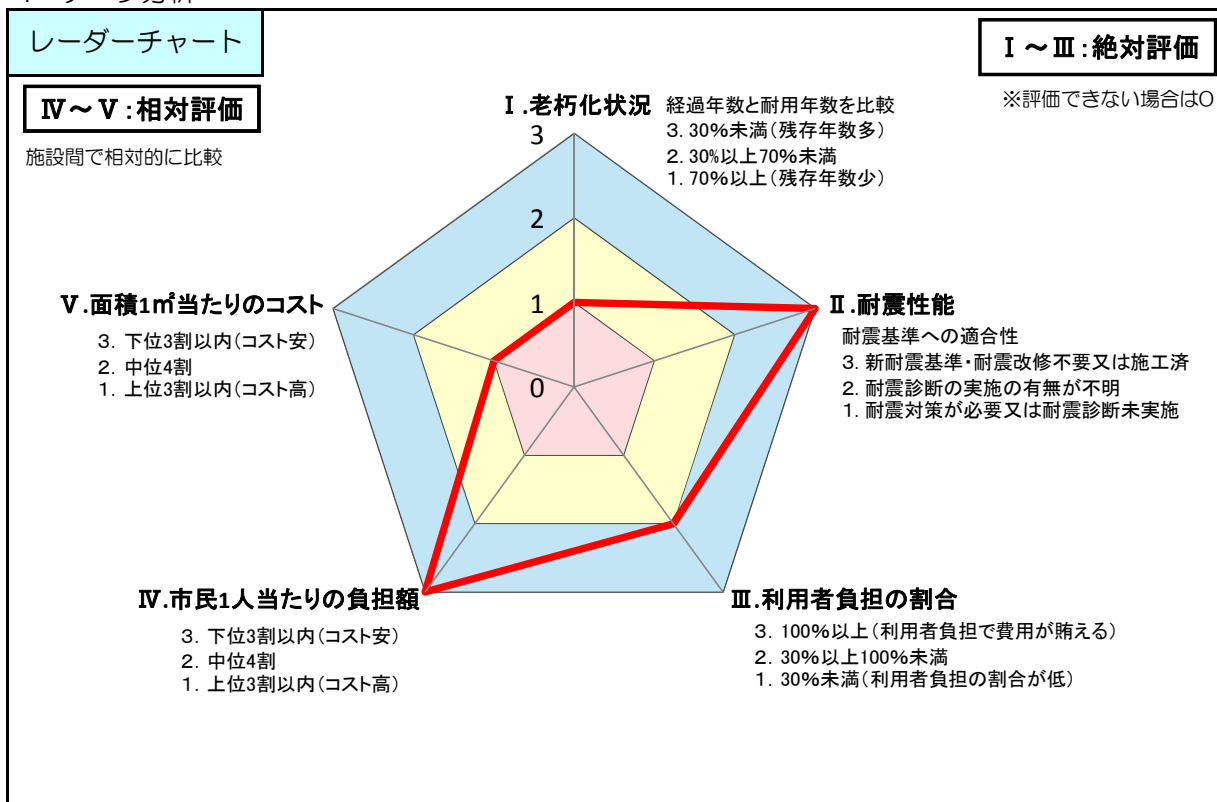
構成施設	青い鳥保育園				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和46年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,253 m ²	経過年数	43年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	413,490,000円	更新時期 ^{※2}	17年以内	年積立必要額 ^{※3}	24,322,941円
市民1人当たり更新コスト	6,041円/人	市民1人当たり年積立必要額	355円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		36,569,341	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費		-		修繕料	2,587,768	
		県費		-		火災保険料	18,881	
		その他		-		維持管理委託料	445,380	
		市費(一般財源)		76,753,017		敷地借上料	-	
	合計		113,322,358	工事請負費		2,454,918		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		10,797,147		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		86,840,071		
			光熱水費	3,129,667				
			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	12,555,473				
			小計	102,525,211				
			合計(①+②)	113,322,358				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,656円/人 ^{※9}		90,441円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		1,121円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	1,476円/人	(市民1人当たり年積立必要額355円/人+市民1人当たり管理運営負担額1121円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	91 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	32 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,121 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	90,441 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは一部対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	二村台保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	77
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	二村台三丁目1番地1	敷地面積	1,918 m ²
	(双峰小学校)	うち借地面積	1,918 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

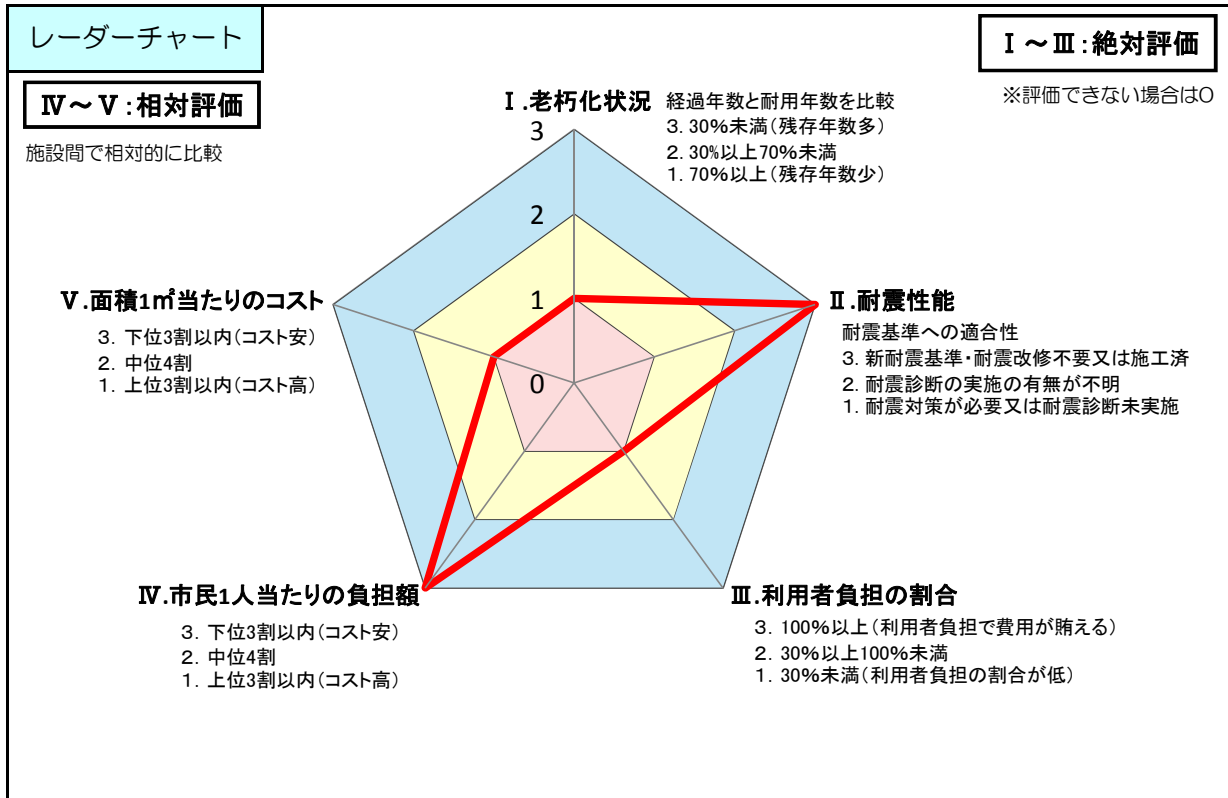
構成施設	二村台保育園				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和47年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,224 m ²	経過年数	42年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	403,920,000円	更新時期 ^{※2}	18年以内	年積立必要額 ^{※3}	22,440,000円
市民1人当たり更新コスト	5,901円/人	市民1人当たり年積立必要額	328円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		36,569,341	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費		-		修繕料	2,418,852	
		県費		-		火災保険料	7,126	
		その他		-		維持管理委託料	514,365	
		市費(一般財源)		93,838,690		敷地借上料	-	
	合計		130,408,031	工事請負費		6,320,318		
	施設外観			その他維持費		-		
				小計		14,550,861		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	99,640,943	
			光熱水費	3,660,754				
			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	12,555,473				
			小計	115,857,170				
			合計(①+②)	130,408,031				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,905円/人 ^{※9}	106,543円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		1,371円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	1,699円/人	(市民1人当たり年積立必要額328円/人+市民1人当たり管理運営負担額1371円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	89（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	28（％）
IV.市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	1,371（円/㎡）
V.面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	106,543（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	館保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	78
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町西大根30番地273	敷地面積	2,790 m ²
	(館小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	館保育園				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和47年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,050 m ²	経過年数	42年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	346,500,000円	更新時期 ^{※2}	18年以内	年積立必要額 ^{※3}	19,250,000円
市民1人当たり更新コスト	5,062円/人	市民1人当たり年積立必要額	281円/人		

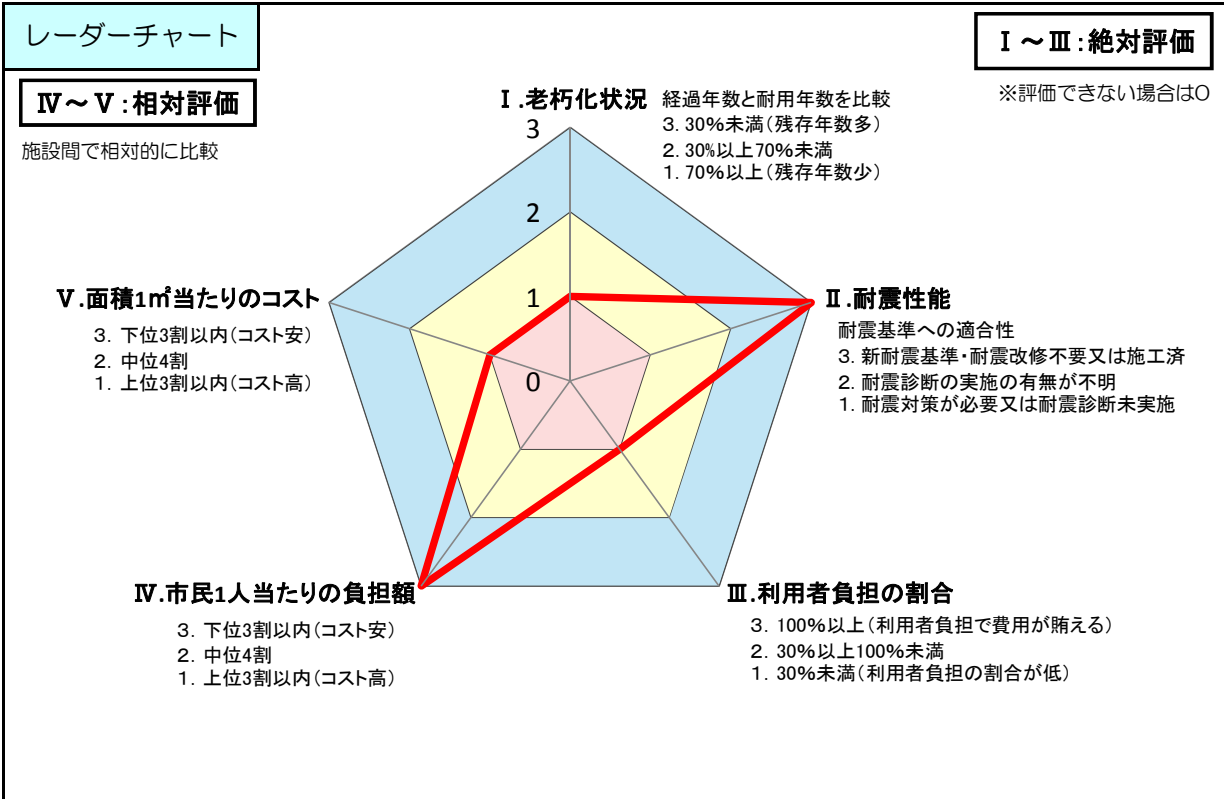
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		29,255,473	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費		-		修繕料	2,657,859	
		県費		-		火災保険料	7,372	
		その他		-		維持管理委託料	482,360	
		市費(一般財源)		104,965,251		敷地借上料	-	
	合計		134,220,724	工事請負費		1,963,935		
						その他維持費	-	
						小計	10,401,726	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	110,372,873
						光熱水費	3,392,938	
					その他委託料	-		
					その他運営費(事業費)	10,053,187		
					小計	123,818,998		
				合計(①+②)		134,220,724		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,961円/人 ^{※9}		127,829円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		1,534円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	1,815円/人	(市民1人当たり年積立必要額281円/人+市民1人当たり管理運営負担額1534円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	89（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	22（％）
IV.市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	1,534（円/㎡）
V.面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	127,829（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	中部保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	79
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町門先10番地10	敷地面積	2,012 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

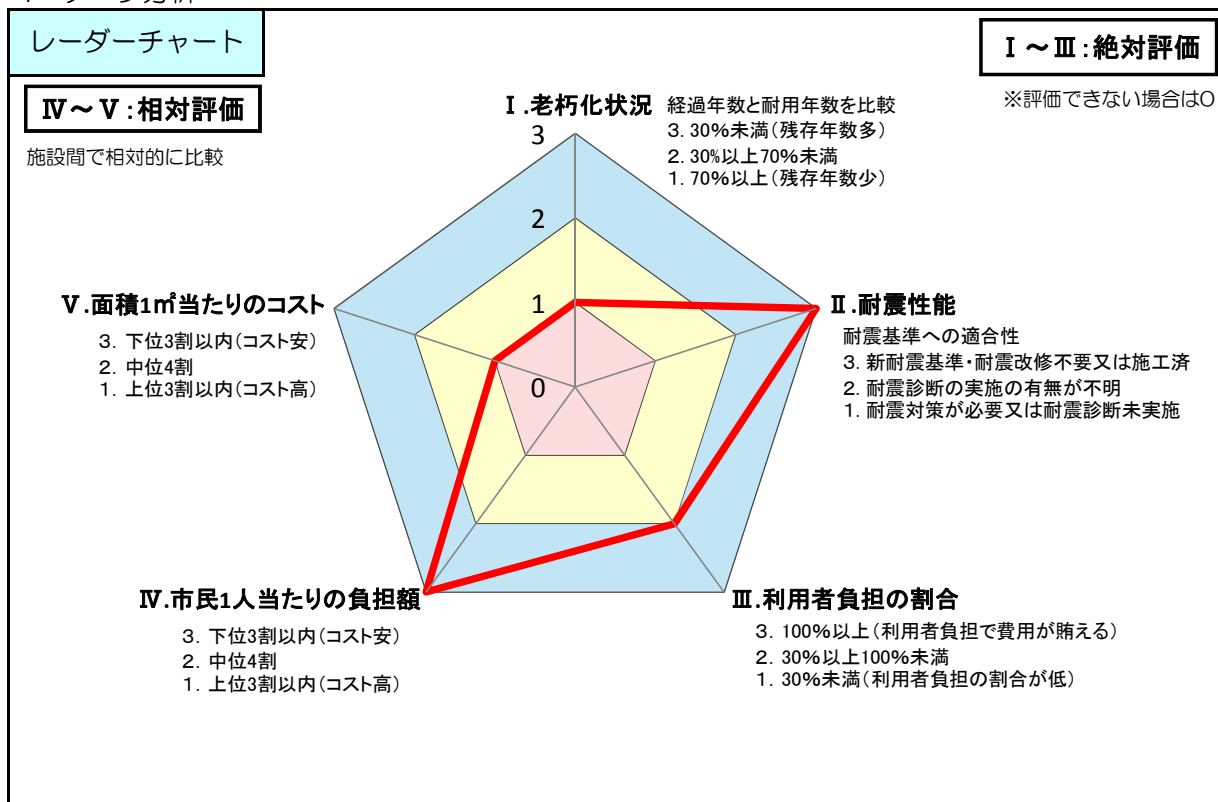
構成施設	中部保育園				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和48年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,315 m ²	経過年数	41年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	433,950,000円	更新時期 ^{※2}	19年以内	年積立必要額 ^{※3}	22,839,474円
市民1人当たり更新コスト	6,340円/人	市民1人当たり年積立必要額	334円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		47,540,143	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費		-		修繕料	2,500,189	
		県費		-		火災保険料	8,700	
		その他		-		維持管理委託料	573,230	
		市費(一般財源)		74,016,043		敷地借上料	-	
	合計		121,556,186	工事請負費		1,489,363		
	施設外観			その他維持費		-		
				小計		9,861,682		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	91,960,420	
			光熱水費	3,400,156				
			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	16,333,928				
			小計	111,694,504				
			合計(①+②)	121,556,186				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,776円/人 ^{※9}		92,438円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		1,081円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	1,415円/人	(市民1人当たり年積立必要額334円/人+市民1人当たり管理運営負担額1081円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	87 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	39 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,081 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	92,438 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは一部対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	内山保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	80
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町内山67番地5	敷地面積	2,223 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

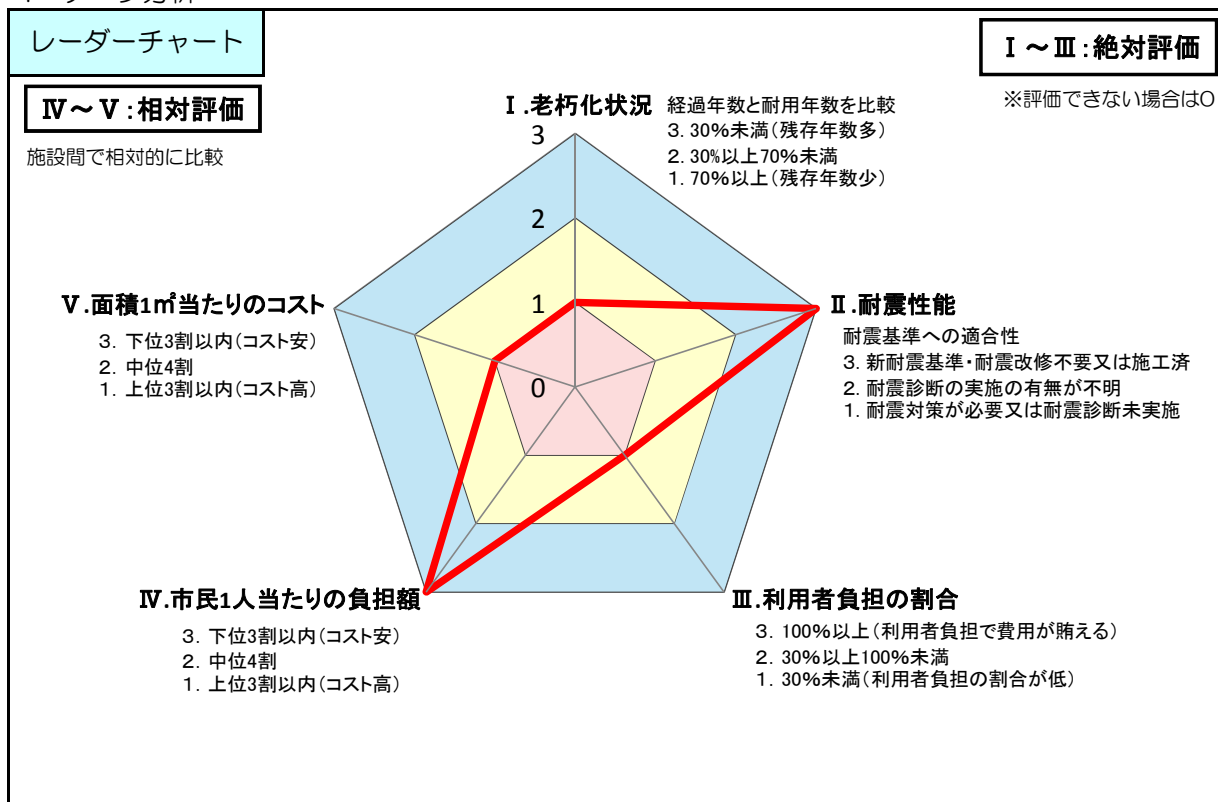
構成施設	内山保育園				
複合・併設施設	豊明市子育て支援センター、ファミサポ(081)		建築年度	昭和48年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	855 m ²	経過年数	41年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	282,150,000円	更新時期 ^{※2}	19年以内	年積立必要額 ^{※3}	14,850,000円
市民1人当たり更新コスト	4,122円/人	市民1人当たり年積立必要額	217円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		-人	-人	-人	-人	直営	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)	
	収 入	利用料等	14,627,736	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費	-		修繕料	2,541,329	
		県費	-		火災保険料	8,525	
		その他	-		維持管理委託料	576,169	
		市費(一般財源)	55,132,518		敷地借上料	342,448	
	合計	69,760,254	工事請負費	458,266			
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	9,216,937		
				②施設運営コスト	人件費(賃金含)	53,008,968	
			光熱水費	2,505,757			
			その他委託料	-			
			その他運営費(事業費)	5,028,592			
			小 計	60,543,317			
			合計(①+②)	69,760,254			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,019円/人 ^{※9}		81,591円/m ² ^{※10}		
負担額	-円/人 ^{※11}		805円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	1,022円/人	(市民1人当たり年積立必要額217円/人+市民1人当たり管理運営負担額805円/人)
-------------	----------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	87 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	21 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	805 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	81,591 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	東部保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	81
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町柿ノ木3番地	敷地面積	2,314 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	東部保育園				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和50年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	923 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	304,590,000円	更新時期 ^{※2}	21年以内	年積立必要額 ^{※3}	14,504,286円
市民1人当たり更新コスト	4,450円/人	市民1人当たり年積立必要額	212円/人		

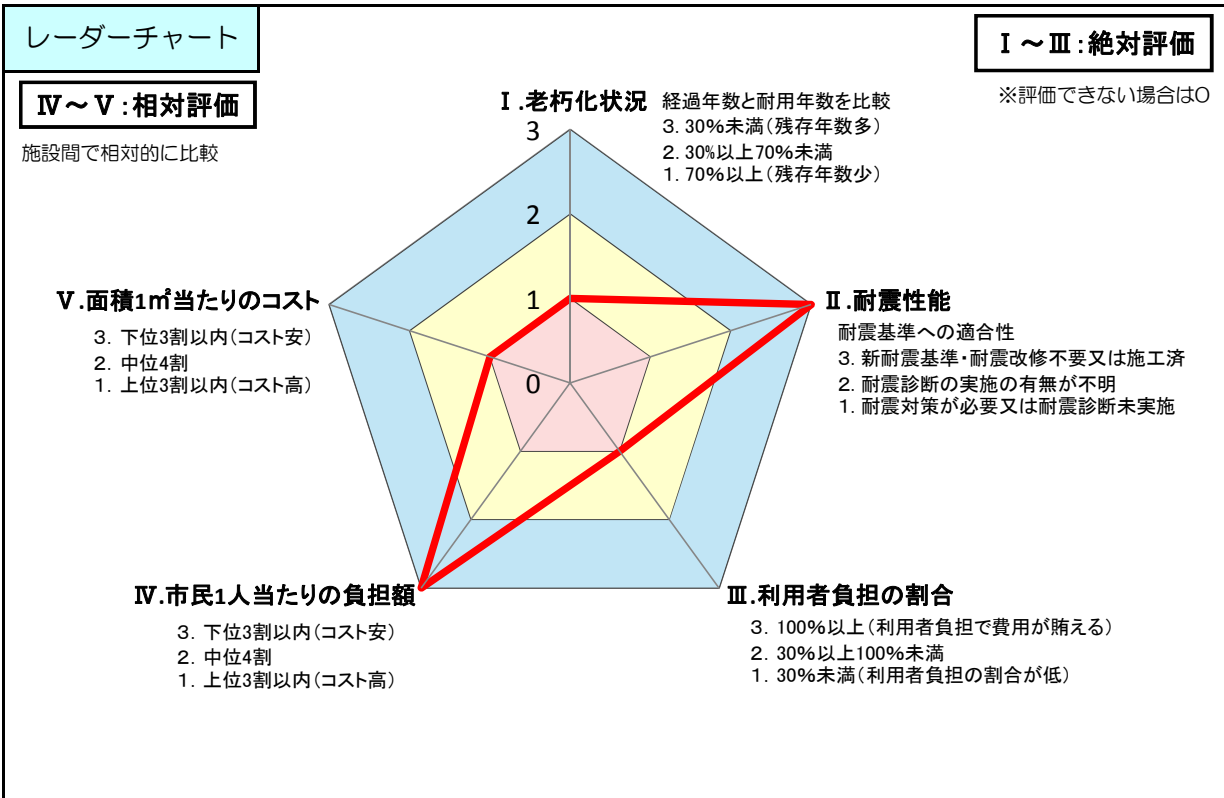
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		14,627,736	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費		-		修繕料	2,291,711	
		県費		-		火災保険料	6,816	
		その他		-		維持管理委託料	445,140	
		市費(一般財源)		46,180,587		敷地借上料	489,000	
	合計		60,808,323	工事請負費		1,954,550		
						その他維持費	-	
						小計	10,477,417	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	42,522,654
						光熱水費	2,779,561	
					その他委託料	-		
					その他運営費(事業費)	5,028,691		
					小計	50,330,906		
				合計(①+②)		60,808,323		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		888円/人 ^{※9}		65,881円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		675円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	887円/人	(市民1人当たり年積立必要額212円/人+市民1人当たり管理運営負担額675円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	83（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	24（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	675（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	65,881（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	栄保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	82
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新栄町二丁目333番地	敷地面積	2,910 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	栄保育園				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和50年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,084 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	357,720,000円	更新時期 ^{※2}	21年以内	年積立必要額 ^{※3}	17,034,286円
市民1人当たり更新コスト	5,226円/人	市民1人当たり年積立必要額	249円/人		

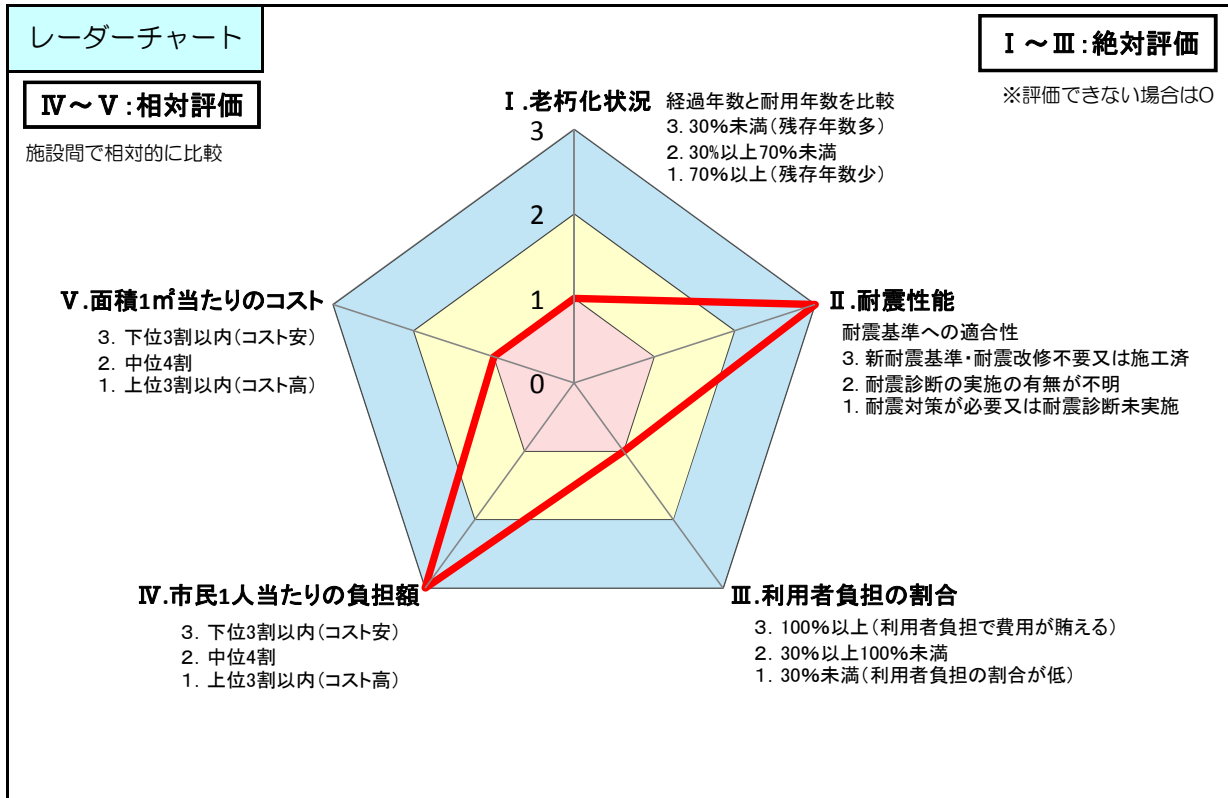
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		31,693,429	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費		-		修繕料	2,405,778	
		県費		-		火災保険料	11,466	
		その他		-		維持管理委託料	522,274	
		市費(一般財源)		80,311,959		敷地借上料	479,385	
	合計		112,005,388	工事請負費		2,127,596		
						その他維持費	-	
						小計	10,836,699	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	86,928,877
						光熱水費	3,349,194	
					その他委託料	-		
					その他運営費(事業費)	10,890,618		
					小計	101,168,689		
				合計(①+②)		112,005,388		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		1,636 円/人 ^{※9}		103,326 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		1,173 円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	1,422 円/人	(市民1人当たり年積立必要額249円/人+市民1人当たり管理運営負担額1173円/人)
-------------	-----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	83 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	28 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,173 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	103,326 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	南部保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	83
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町坂畑100番地	敷地面積	2,526 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

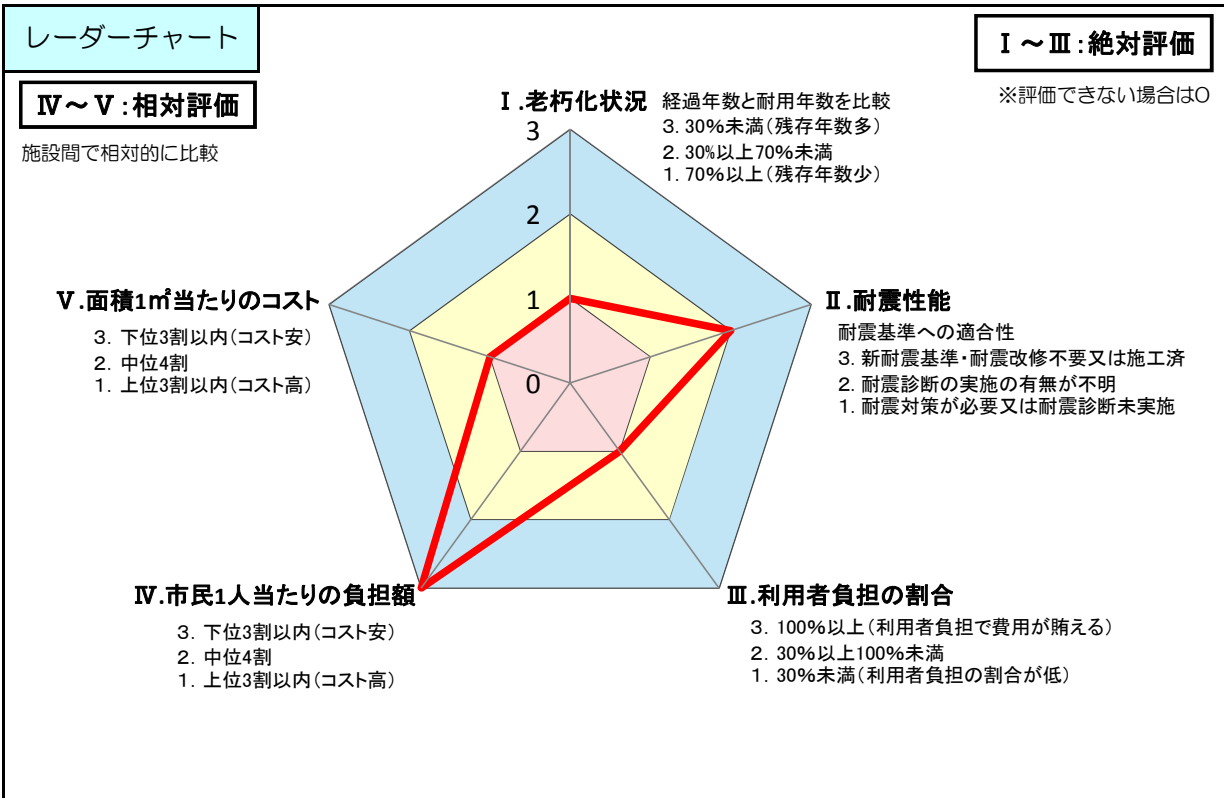
構成施設	南部保育園				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和52年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	897 m ²	経過年数	37年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	296,010,000円	更新時期 ^{※2}	23年以内	年積立必要額 ^{※3}	12,870,000円
市民1人当たり更新コスト	4,325円/人	市民1人当たり年積立必要額	188円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		19,503,649	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費		-		修繕料	2,420,174	
		県費		-		火災保険料	5,482	
		その他		-		維持管理委託料	444,286	
		市費(一般財源)		77,734,339		敷地借上料	-	
	合計		97,237,988	工事請負費		2,543,721		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		10,703,863		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		77,043,405		
			光熱水費	2,787,263				
			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	6,703,457				
			小計	86,534,125				
			合計(①+②)	97,237,988				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,421円/人 ^{※9}	108,404円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		1,136円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	1,324円/人	(市民1人当たり年積立必要額188円/人+市民1人当たり管理運営負担額1136円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	79（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	20（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	1,136（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	108,404（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	西部保育園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼稚園・保育園・こども園	施設番号	84
-----	---------	-----	--------------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	間米町鶴根1212番地66	敷地面積	2,717 m ²
	(大宮小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

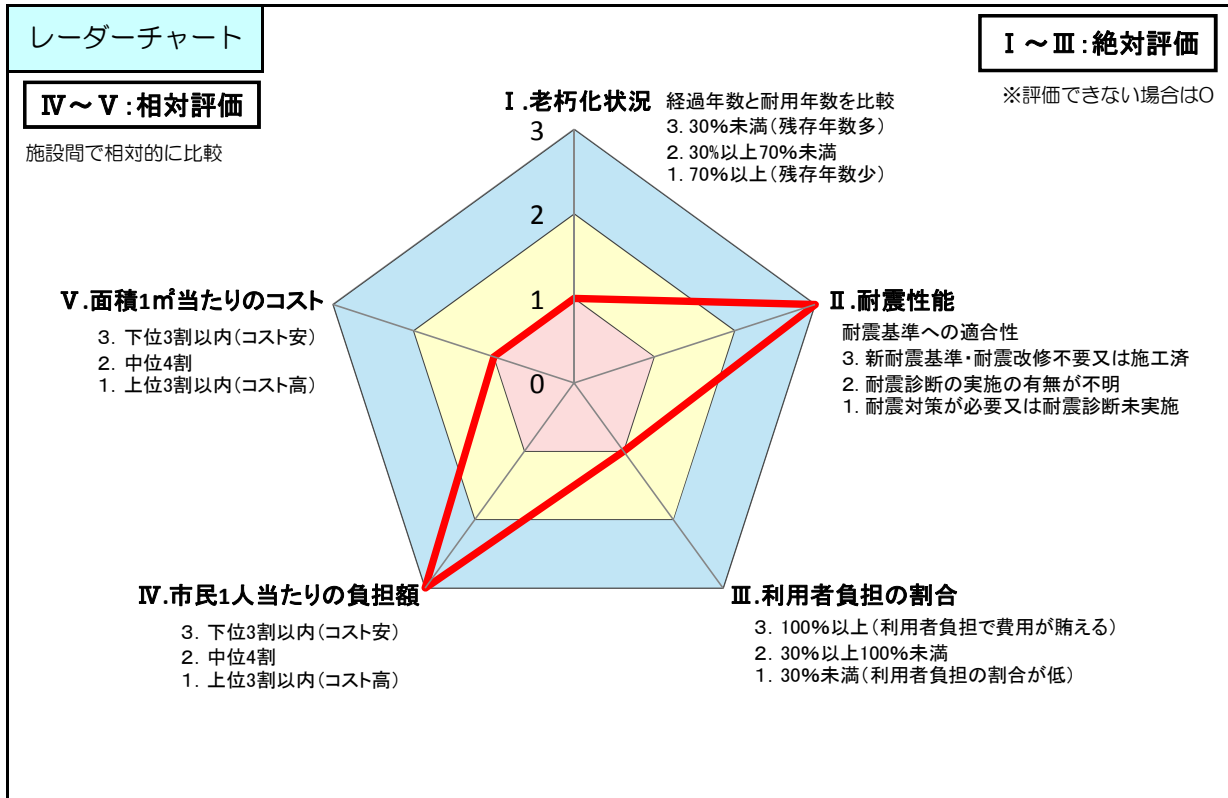
構成施設	西部保育園				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和54年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	906 m ²	経過年数	35年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	298,980,000円	更新時期 ^{※2}	25年以内	年積立必要額 ^{※3}	11,959,200円
市民1人当たり更新コスト	4,368円/人	市民1人当たり年積立必要額	175円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		19,503,649	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	3,526,800
		国費		-		修繕料	2,497,137	
		県費		-		火災保険料	5,494	
		その他		-		維持管理委託料	566,108	
		市費(一般財源)		82,971,507		敷地借上料	-	
	合 計			102,475,156		工事請負費	2,543,721	
	施設外観					その他維持費	-	
						小 計	9,139,260	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	83,671,136
				光熱水費		3,004,990		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	6,659,770			
				小 計	93,335,896			
				合 計(①+②)	102,475,156			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		1,497 円/人 ^{※9}		113,107 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		1,212 円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	1,387 円/人	(市民1人当たり年積立必要額175円/人+市民1人当たり管理運営負担額1212円/人)
-------------	-----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	74（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	19（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	1,212（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	113,107（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立子育て支援センター、ファミリーサポートセンター		
従たる施設の場合、主たる施設名	内山保育園（80）		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	85
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部課	児童福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町内山67番地5	敷地面積	-	m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	-	m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

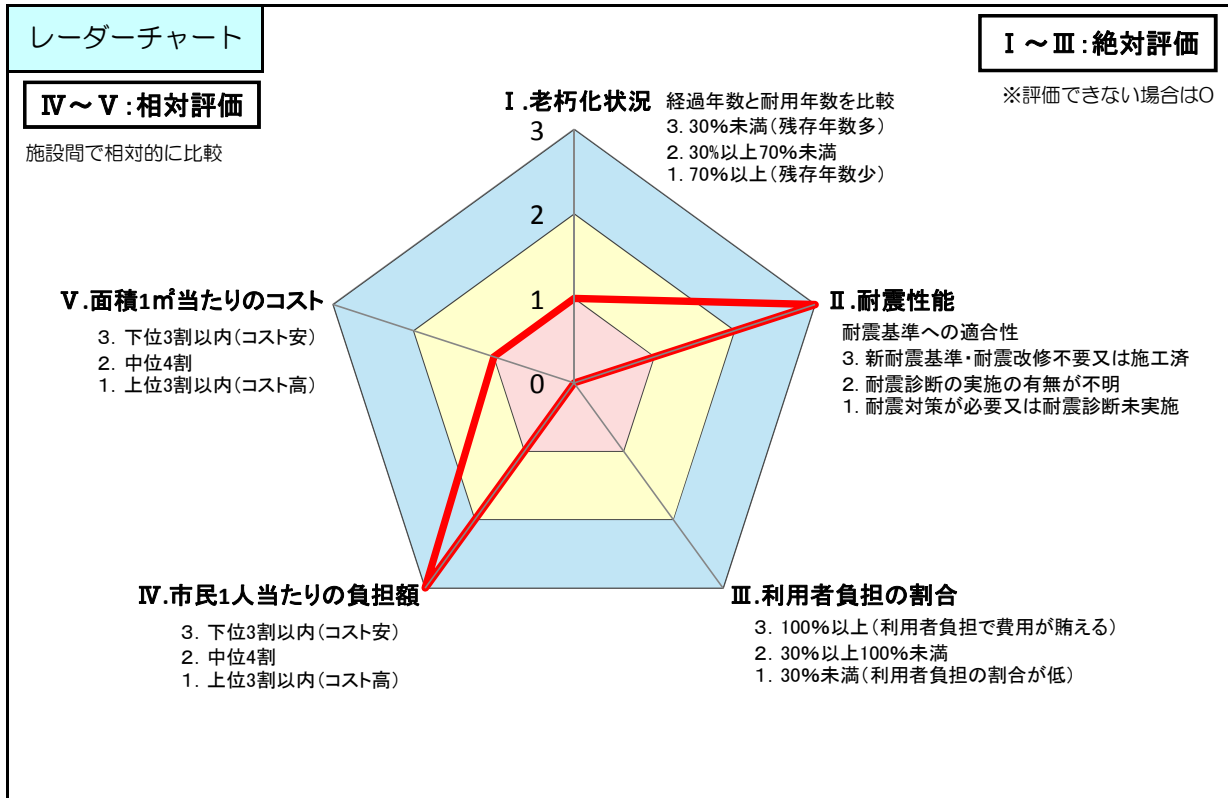
構成施設	子育て支援センター				
複合・併設施設	内山保育園(080)		建築年度	昭和48年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	183 m ²	経過年数	41年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	60,390,000円	更新時期 ^{※2}	19年以内	年積立必要額 ^{※3}	3,178,421円
市民1人当たり更新コスト	882円/人	市民1人当たり年積立必要額	46円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	5,290,200
		国費		-		修繕料	94,150	
		県費		-		火災保険料	55,705	
		その他		-		維持管理委託料	370,674	
		市費(一般財源)		42,114,315		敷地借上料	2,024,800	
	合計		42,114,315	工事請負費		13,823,600		
				その他維持費		-		
				小計		21,659,129		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	19,428,332	
				光熱水費		-		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	1,026,854			
				小計	20,455,186			
				合計(①+②)	42,114,315			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	-円/人 ^{※8}		615円/人 ^{※9}	230,133円/m ² ^{※10}				
負担額	-円/人 ^{※11}		615円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	661円/人	(市民1人当たり年積立必要額46円/人+市民1人当たり管理運営負担額615円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	87 (%)
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV.市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	615 (円/㎡)
V.面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	230,133 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市清掃事務所		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	行政系施設	中分類	その他行政系施設	施設番号	86
-----	-------	-----	----------	------	----

所管部課	環境課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町勅使1番地13	敷地面積	3,318 m ²
	(沓掛小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	事務所、車庫、倉庫				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和58年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	596 m ²	経過年数	31年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	238,400,000円	更新時期 ^{※2}	29年以内	年積立必要額 ^{※3}	8,220,690円
市民1人当たり更新コスト	3,483円/人	市民1人当たり年積立必要額	120円/人		

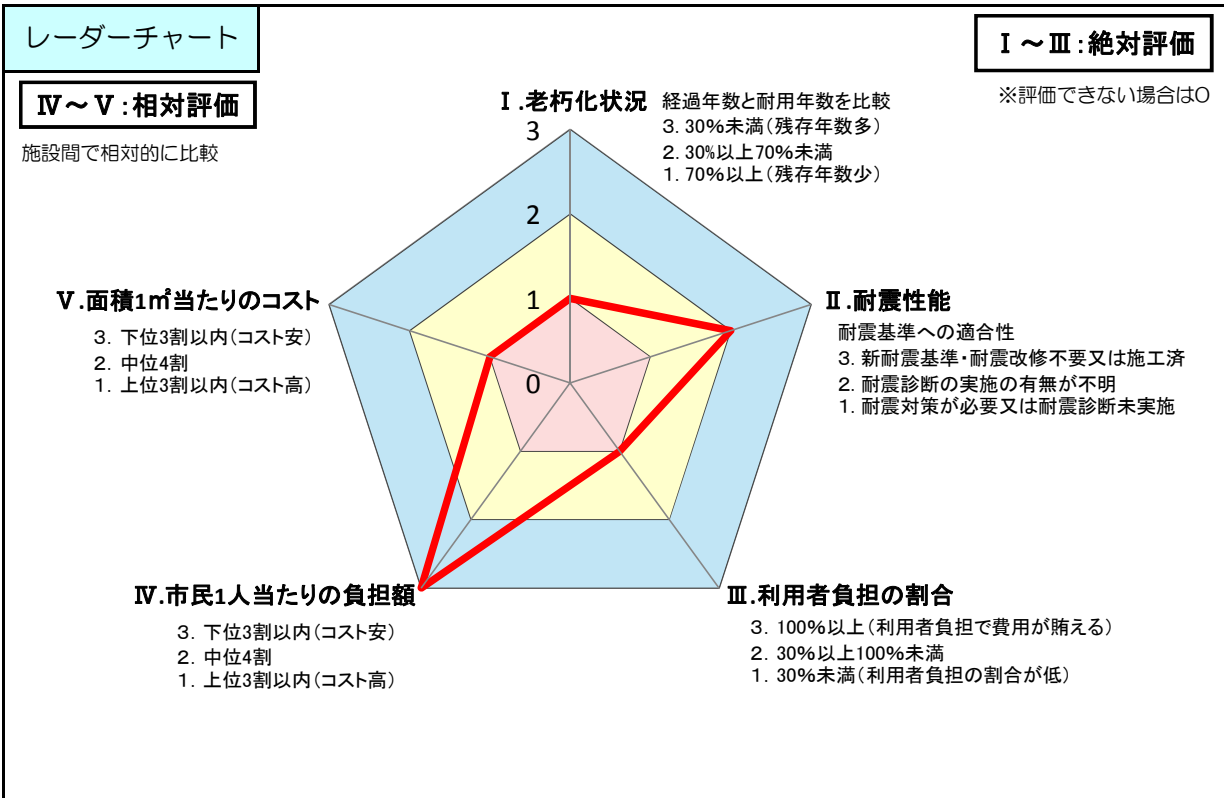
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		3,838,000	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	7,499,143
		国費		-		修繕料	1,950,247	
		県費		-		火災保険料	9,954	
		その他		26,027,713		維持管理委託料	67,203	
		市費(一般財源)		565,925,819		敷地借上料	-	
	合計		595,791,532	工事請負費		66,583		
						その他維持費	-	
						小計	9,593,130	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	39,116,856
						光熱水費	553,132	
					その他委託料	227,836,383		
					その他運営費(事業費)	318,692,031		
					小計	586,198,402		
				合計(①+②)	595,791,532			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		8,704円/人 ^{※9}		999,650円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		8,268円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	8,388円/人	(市民1人当たり年積立必要額120円/人+市民1人当たり管理運営負担額8268円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	82（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	1（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	8,268（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	999,650（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市保健センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	保健施設	施設番号	87
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	健康推進課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町島原11番地14	敷地面積	2,881 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

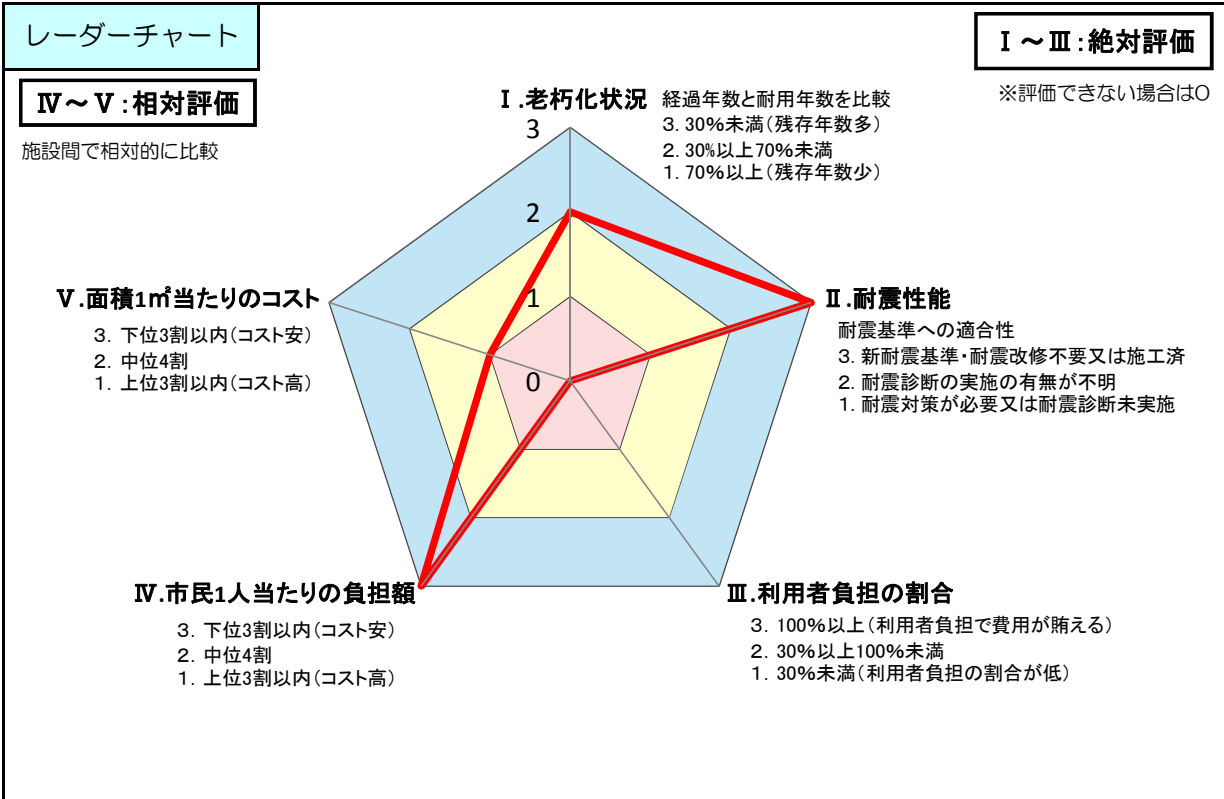
構成施設	豊明市保健センター				
複合・併設施設	豊明市休日診療所(088)		建築年度	昭和60年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,745 m ²	経過年数	29年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	628,200,000円	更新時期 ^{※2}	31年以内	年積立必要額 ^{※3}	20,264,516円
市民1人当たり更新コスト	9,178円/人	市民1人当たり年積立必要額	296円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト)	内訳		金額(円)	内訳				
	収	利用料等		-	支	人件費(賃金含)	2,155,267	
		国費		-		①施設維持コスト	修繕料	384,209
		県費		-		火災保険料	20,256	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)	110,788,318			敷地借上料	-	
	合計	110,788,318		工事請負費		23,645,000		
	施設外観					その他維持費	-	
	①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費					小計	26,204,732	
	+ ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費					②施設運営コスト	人件費(賃金含)	72,690,200
						光熱水費	2,448,641	
					その他委託料	6,454,083		
					その他運営費(事業費)	2,990,662		
					小計	84,583,586		
					合計(①+②)	110,788,318		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1,619円/人 ^{※9}		63,489円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		1,619円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	1,915円/人	(市民1人当たり年積立必要額296円/人+市民1人当たり管理運営負担額1619円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	58（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV.市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	1,619（円/㎡）
V.面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	63,489（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市休日診療所		
従たる施設の場合、主たる施設名	豊明市保健センター（87）		

大分類	医療施設	中分類	医療施設	施設番号	88
-----	------	-----	------	------	----

所管部課	健康推進課
------	-------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町島原11番地14	敷地面積	-	m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	-	m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

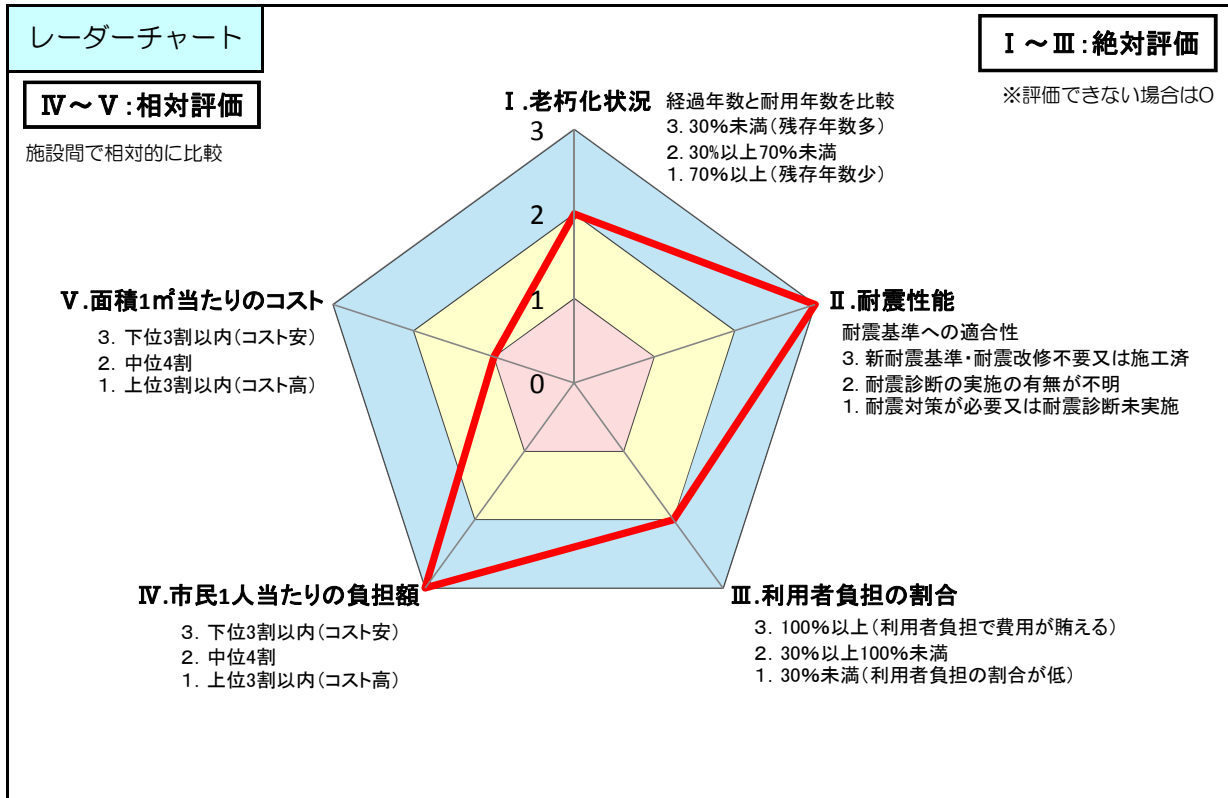
構成施設	豊明市休日診療所				
複合・併設施設	豊明市保健センター(087)		建築年度	昭和60年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	341 m ²	経過年数	29年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	136,400,000円	更新時期 ^{※2}	31年以内	年積立必要額 ^{※3}	4,400,000円
市民1人当たり更新コスト	1,993円/人	市民1人当たり年積立必要額	64円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
	2,185人	1,963人	2,114人	2,087人	直営			
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)		内訳	金額(円)		
	収 入	利用料等	15,639,975		支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国費	-			修繕料	-	
		県費	-			火災保険料	3,958	
		その他	-			維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)	4,318,903			敷地借上料	-	
	合計	19,958,878		工事請負費	-			
	施設外観			その他維持費	-			
				小計	3,958			
				②施設運営コスト	人件費(賃金含)	16,017,792		
				光熱水費	-			
				その他委託料	500,000			
				その他運営費(事業費)	3,437,128			
				小計	19,954,920			
				合計(①+②)	19,958,878			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	9,563円/人 ^{※8}		292円/人 ^{※9}		58,530円/m ² ^{※10}			
負担額	7,494円/人 ^{※11}		63円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	127円/人	(市民1人当たり年積立必要額64円/人+市民1人当たり管理運営負担額63円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	58（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	78（％）
IV.市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	63（円/㎡）
V.面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	58,530（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは一部対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市総合福祉会館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	その他社会福祉施設	施設番号	89
-----	---------	-----	-----------	------	----

所管部課	社会福祉課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町吉池18番地3	敷地面積	3,532 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	豊明市総合福祉会館				
複合・併設施設	-		建築年度	平成1年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,772 m ²	経過年数	25年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所
概算更新コスト ^{※1}	637,920,000円	更新時期 ^{※2}	35年以内	年積立必要額 ^{※3}	18,226,286円
市民1人当たり更新コスト	9,320円/人	市民1人当たり年積立必要額	266円/人		

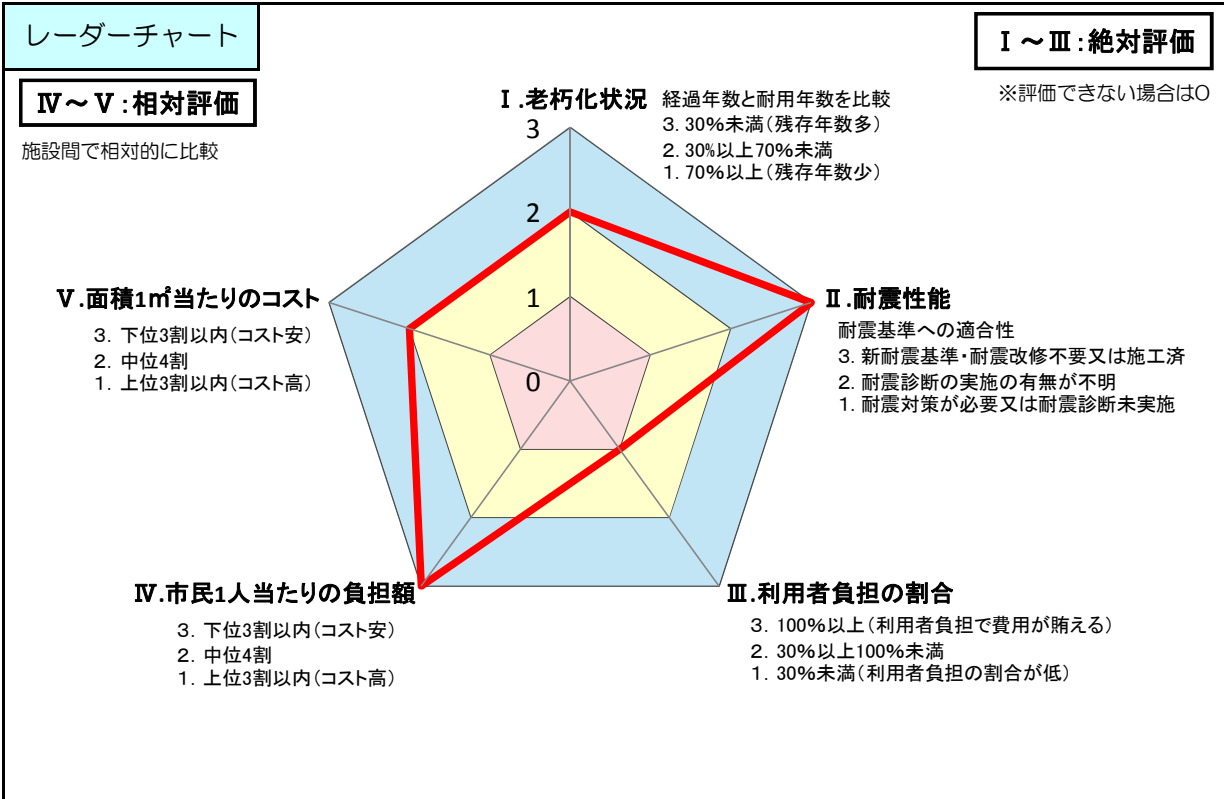
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		16,139人	15,411人	16,304人	15,951人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		548,136	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	587,800
		国費		-		修繕料	566,382	
		県費		-		火災保険料	19,793	
		その他		-		維持管理委託料	1,835,866	
		市費(一般財源)		79,791,414		敷地借上料	847,400	
	合計		80,339,550	工事請負費		3,700,667		
				その他維持費		-		
				小計		7,557,908		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	587,800	
				光熱水費		2,438,022		
				その他委託料	789,403			
				その他運営費(事業費)	68,966,417			
				小計	72,781,642			
				合計(①+②)	80,339,550			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	5,037円/人 ^{※8}		1,174円/人 ^{※9}		45,338円/m ² ^{※10}			
負担額	34円/人 ^{※11}		1,166円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	1,432円/人	(市民1人当たり年積立必要額266円/人+市民1人当たり管理運営負担額1166円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	50（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	1（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	1,166（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	45,338（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立南部公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	90
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	前後町善江1737番地	敷地面積	856 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

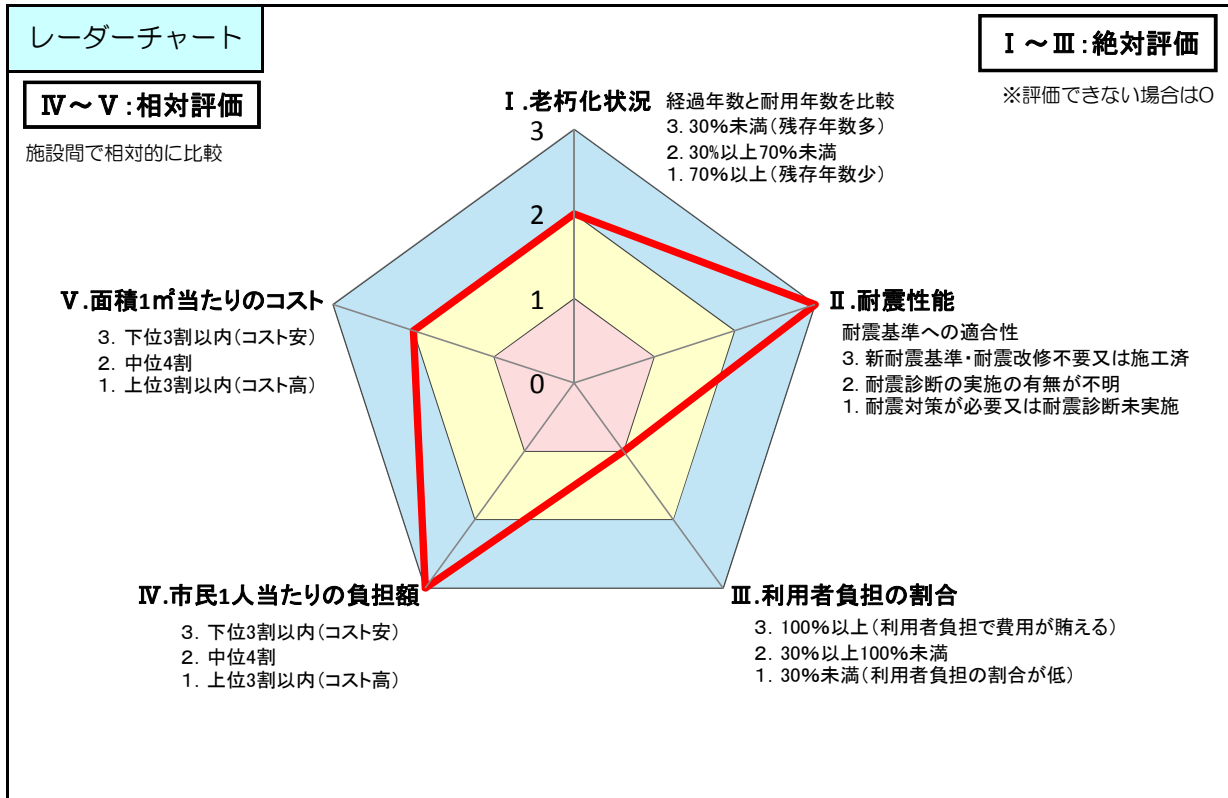
構成施設	南部公民館				
複合・併設施設	前後パルネス2号館		建築年度	昭和63年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	856 m ²	経過年数	26年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	342,400,000円	更新時期 ^{※2}	34年以内	年積立必要額 ^{※3}	10,070,588円
市民1人当たり更新コスト	5,002円/人	市民1人当たり年積立必要額	147円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		17,636人	17,487人	15,933人	17,019人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		1,473,887	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,363,310
		国費		-		修繕料	117,417	
		県費		-		火災保険料	7,823	
		その他		-		維持管理委託料	2,922,567	
		市費(一般財源)		20,854,070		敷地借上料	-	
	合計		22,327,957	工事請負費		789,777		
	施設外観			その他維持費		-		
	小計			小計		5,200,894		
	②施設運営コスト			人件費(賃金含)		9,444,490		
小計			光熱水費	1,218,483				
合計(①+②)			その他委託料	2,515,005				
			その他運営費(事業費)	3,949,085				
			小計	17,127,063				
			合計(①+②)	22,327,957				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	1,312円/人 ^{※8}		326円/人 ^{※9}		26,084円/m ² ^{※10}			
負担額	87円/人 ^{※11}		305円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	452円/人	(市民1人当たり年積立必要額147円/人+市民1人当たり管理運営負担額305円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	52 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	7 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	305 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	26,084 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明勤労会館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	産業系施設	中分類	産業系施設	施設番号	91
-----	-------	-----	-------	------	----

所管部課	産業振興課
------	-------


1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町吉池18番地8	敷地面積	2,701 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

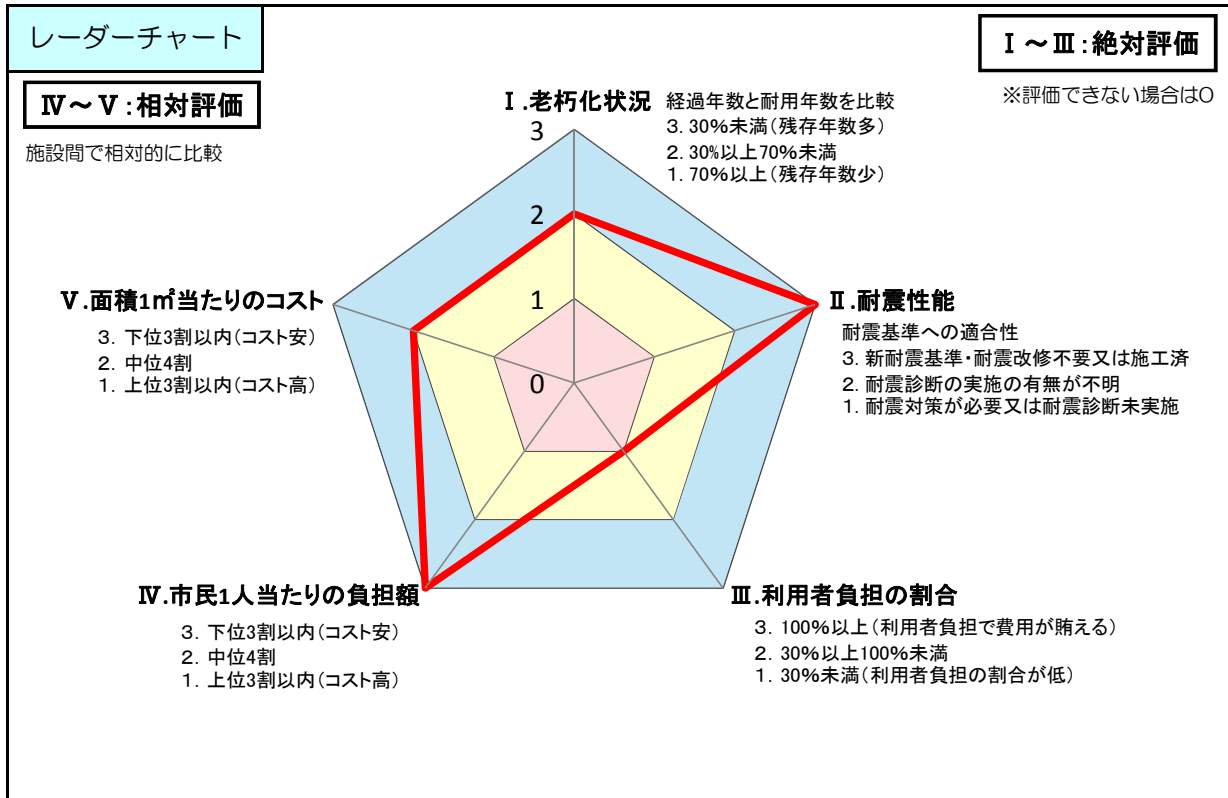
構成施設	豊明勤労会館				
複合・併設施設	-			建築年度	平成2年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,173 m ²	経過年数	24年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	469,200,000円	更新時期 ^{※2}	36年以内	年積立必要額 ^{※3}	13,033,333円
市民1人当たり更新コスト	6,855円/人	市民1人当たり年積立必要額	190円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
	36,703人	36,472人	40,296人	37,824人	直営			
ファシリティコスト^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ① 施設維持コスト^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ② 施設運営コスト^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等	3,834,545		支 出	① 施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,763,400
		国費	-			修繕料	360,622	
		県費	-			火災保険料	12,609	
		その他	2,800			維持管理委託料	1,118,251	
		市費(一般財源)	13,544,101			敷地借上料	1,463,710	
	合計	17,381,446		工事請負費		2,995,333		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	7,713,925	
						② 施設運営コスト	人件費(賃金含)	4,012,033
				光熱水費		2,541,960		
				その他委託料	2,494,734			
				その他運営費(事業費)	618,794			
				小計	9,667,521			
				合計(①+②)	17,381,446			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	460円/人 ^{※8}		254円/人 ^{※9}		14,818円/m ² ^{※10}			
負担額	101円/人 ^{※11}		198円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	388円/人	(市民1人当たり年積立必要額190円/人+市民1人当たり管理運営負担額198円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	48 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	22 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	198 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	14,818 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市文化会館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	文化施設	施設番号	92
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	西川町広原28番地1	敷地面積	12,325 m ²
	(三崎小学校)	うち借地面積	9,337 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	ホール・ギャラリー棟、茶室「櫻庵」				
複合・併設施設	-		建築年度	平成5年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	5,222 m ²	経過年数	21年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	2,088,800,000円	更新時期 ^{※2}	39年以内	年積立必要額 ^{※3}	53,558,974円
市民1人当たり更新コスト	30,517円/人	市民1人当たり年積立必要額	782円/人		

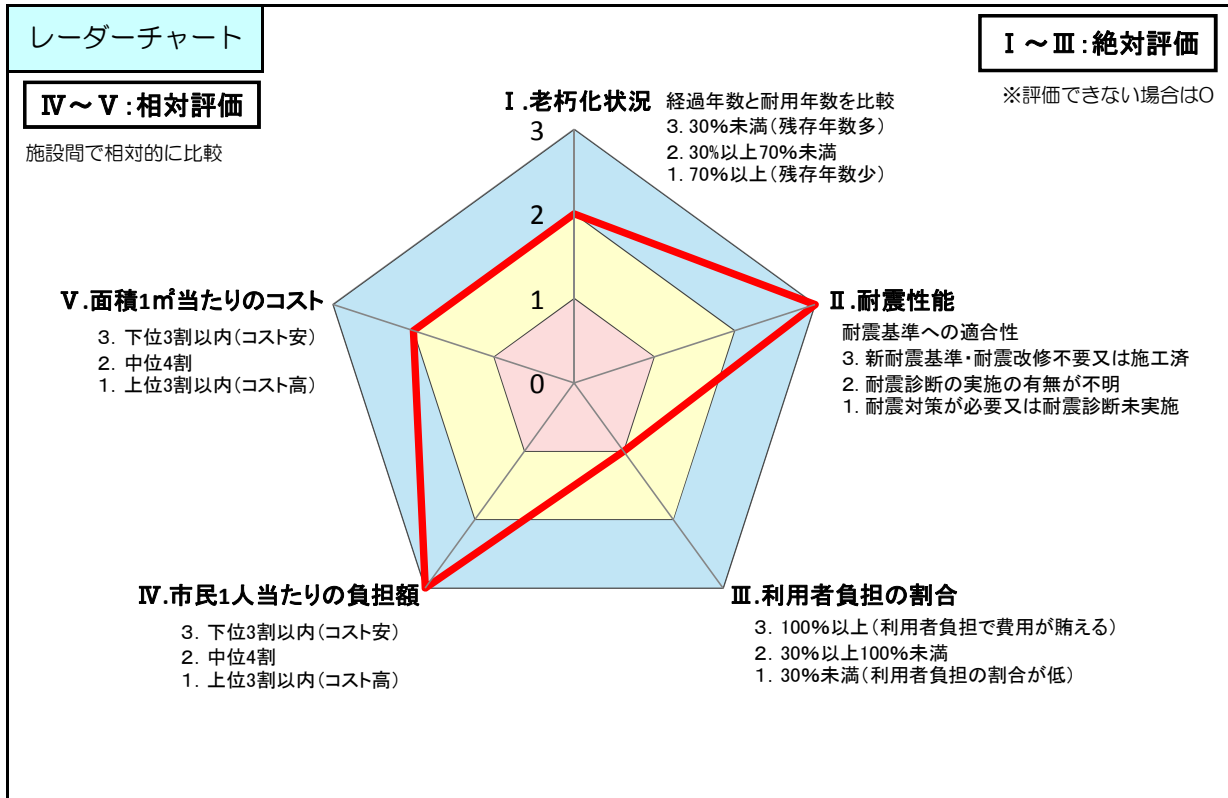
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		128,650人	150,486人	140,012人	139,716人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		19,299,670	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	11,756,000
		国費		-		修繕料	3,300,657	
		県費		-		火災保険料	-	
		その他		8,104,152		維持管理委託料	61,694,835	
		市費(一般財源)		134,142,385		敷地借上料	12,406,254	
	合計		161,546,207	工事請負費		34,375,372		
						その他維持費	670,915	
						小計	124,204,033	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	14,202,097
						光熱水費	20,015,943	
					その他委託料	-		
					その他運営費(事業費)	3,124,134		
					小計	37,342,174		
				合計(①+②)		161,546,207		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	1,156円/人 ^{※8}		2,360円/人 ^{※9}		30,936円/m ² ^{※10}			
負担額	138円/人 ^{※11}		1,960円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	2,742円/人	(市民1人当たり年積立必要額782円/人+市民1人当たり管理運営負担額1960円/人)
-------------	----------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	42 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	12 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1,960 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	30,936 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市歴史民俗資料室		
従たる施設の場合、主たる施設名	豊明市立唐竹小学校(21)		

大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等	施設番号	93
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	二村台一丁目27番地	敷地面積	-	m ²
	(唐竹小学校)	うち借地面積	-	m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

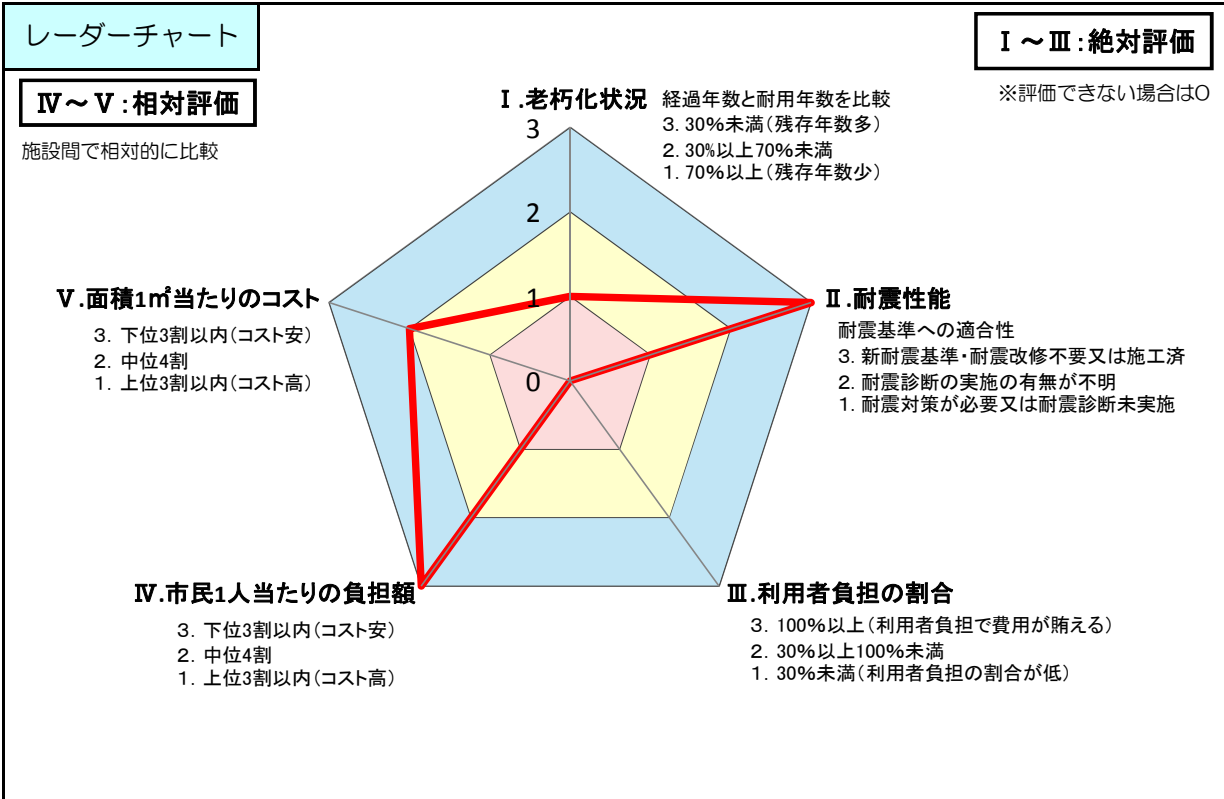
構成施設	校舎1-1					
複合・併設施設	-			建築年度	昭和50年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	262	m ²	経過年数	39年
階数(地上)	4階	階数(地下)	-	階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	104,800,000円	更新時期 ^{※2}	21年以内	年積立必要額 ^{※3}	4,990,476円	
市民1人当たり更新コスト	1,531円/人	市民1人当たり年積立必要額	73円/人			

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト)	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	587,800
		国費		-		修繕料	-	
		県費		-		火災保険料	-	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		2,142,740		敷地借上料	-	
	合計			2,142,740		工事請負費	-	
	施設外観					その他維持費	-	
	①施設維持コスト ^{※6}					小計	587,800	
	建物を良好に保つために要する経費					②施設運営コスト	人件費(賃金含)	956,640
+				光熱水費		-		
②施設運営コスト ^{※7}				その他委託料	598,300			
公共サービスを提供するために要する経費				その他運営費(事業費)	-			
				小計	1,554,940			
				合計(①+②)	2,142,740			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		31円/人 ^{※9}		8,178円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		31円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	104円/人	(市民1人当たり年積立必要額73円/人+市民1人当たり管理運営負担額31円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	83（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	-（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	31（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	8,178（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	歴史民族資料収蔵庫		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	94
-----	-----	-----	-----	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	阿野町北上ノ山10番地1	敷地面積	457 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

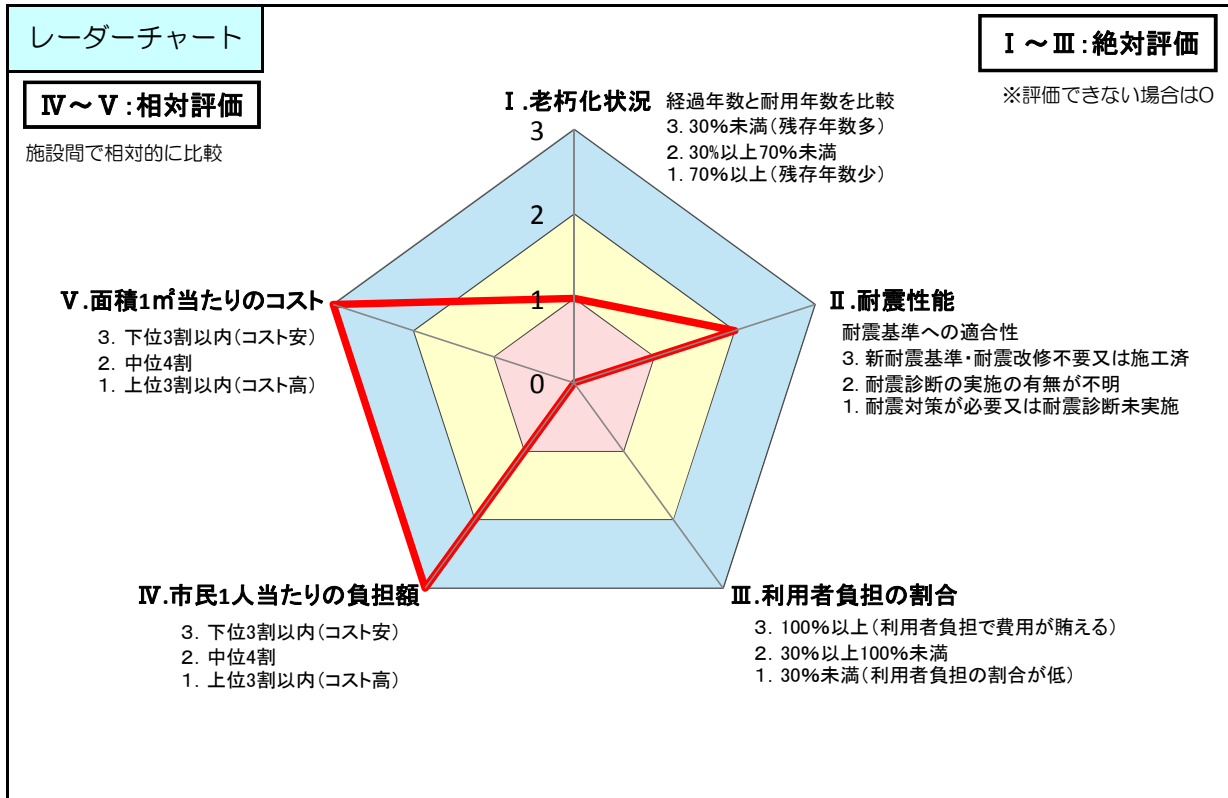
構成施設	歴史民族資料収蔵庫				
複合・併設施設	-		建築年度	大正14年度	
建物構造	木造	延床面積	127 m ²	経過年数	89年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	45,720,000円	更新時期 ^{※2}	1年以内	年積立必要額 ^{※3}	45,720,000円
市民1人当たり更新コスト	668円/人	市民1人当たり年積立必要額	668円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人				
ファシリティコスト^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ① 施設維持コスト^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ② 施設運営コスト^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国費		-		修繕料	-	
		県費		-		火災保険料	-	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		5,829		敷地借上料	-	
	合計		5,829	工事請負費		-		
	施設外観			その他維持費		3,720		
				小計		3,720		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	-	
			光熱水費	2,109				
			その他委託料	-				
			その他運営費(事業費)	-				
			小計	2,109				
			合計(①+②)	5,829				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		円/人 ^{※9}		46円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	668円/人	(市民1人当たり年積立必要額668円/人+市民1人当たり管理運営負担額0円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	228（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	（円/㎡）
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	46（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市大蔵池陶芸の館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等	施設番号	95
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新栄町三丁目460番地	敷地面積	400 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

構成施設	豊明市大蔵池陶芸の館				
複合・併設施設	-		建築年度	平成7年度	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	243 m ²	経過年数	19年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	97,200,000円	更新時期 ^{※2}	41年以内	年積立必要額 ^{※3}	2,370,732円
市民1人当たり更新コスト	1,420円/人	市民1人当たり年積立必要額	35円/人		

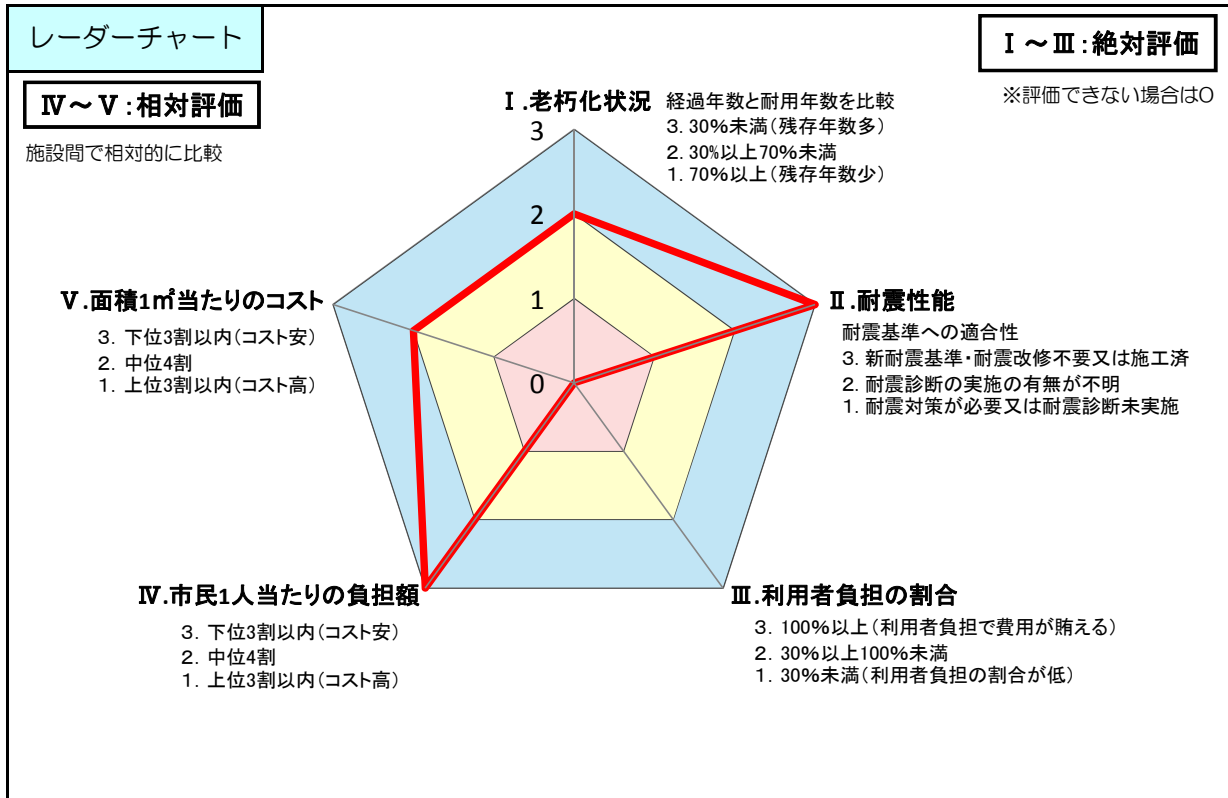
3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	587,800
		国費		-		修繕料	115,502	
		県費		-		火災保険料	2,671	
		その他		341,967		維持管理委託料	454,257	
		市費(一般財源)		5,690,807		敷地借上料	-	
	合計		6,032,774	工事請負費		-		
						その他維持費	-	
						小 計	1,160,230	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	2,939,000
						光熱水費	416,550	
					その他委託料	1,310,638		
					その他運営費(事業費)	206,356		
					小 計	4,872,544		
				合計(①+②)	6,032,774			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		88 円/人 ^{※9}		24,826 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		83 円/人 ^{※12}					



市民1人当たり負担額計	118 円/人	(市民1人当たり年積立必要額35円/人+市民1人当たり管理運営負担額83円/人)
-------------	---------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	38（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） <small>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	－（％）
IV. 市民1人 当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費（一般財源）÷人口（68,448人） <small>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	83（円/㎡）
V. 面積1㎡ 当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 <small>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	24,826（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは評価できない（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	防災倉庫		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	96
-----	-----	-----	-----	------	----

所管部課	総務防災課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町阿野町長根84番地3外5筆	敷地面積	707 m ²
	(豊明小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

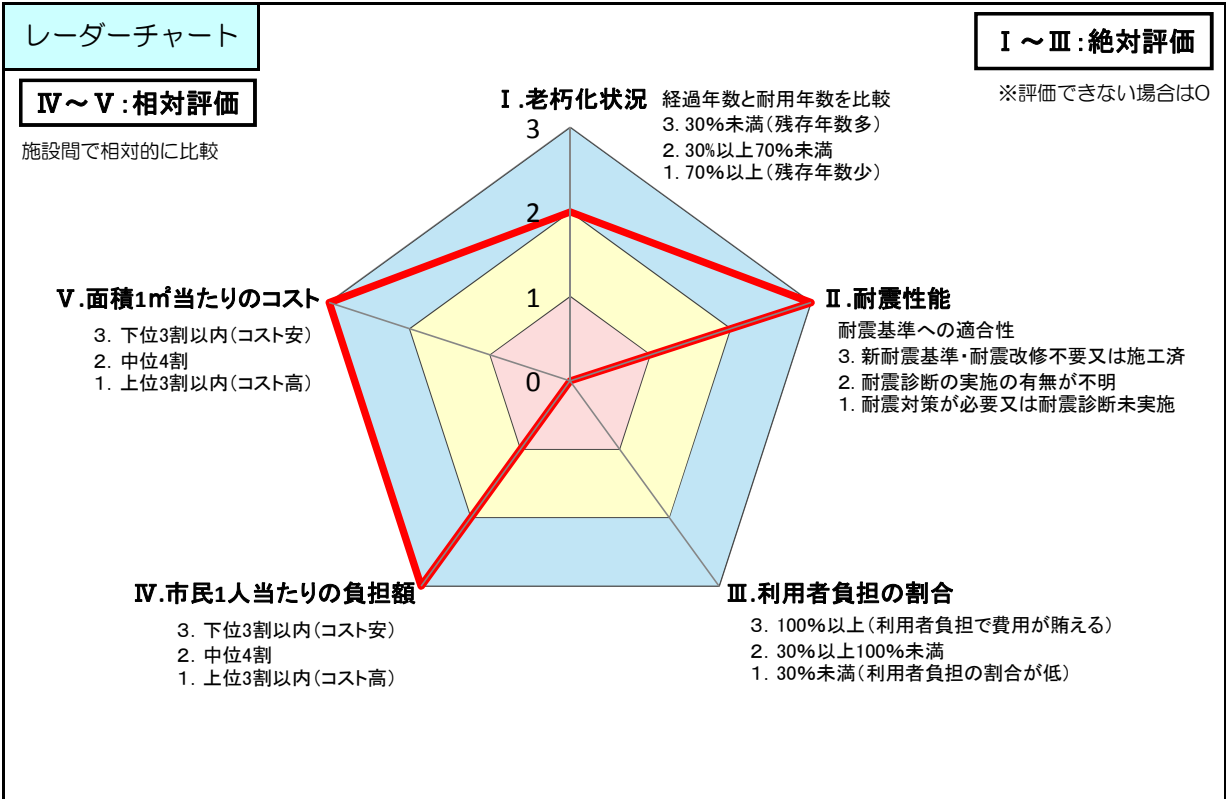
構成施設	防災倉庫				
複合・併設施設	-		建築年度	平成9年度	
建物構造	鉄骨造	延床面積	153 m ²	経過年数	17年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	55,080,000円	更新時期 ^{※2}	43年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,280,930円
市民1人当たり更新コスト	805円/人	市民1人当たり年積立必要額	19円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収	利用料等		-	支	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国費		-		修繕料	-	
		県費		-		火災保険料	1,656	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		10,136		敷地借上料	-	
	合計			10,136		工事請負費	-	
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	1,656	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	-
				光熱水費		8,480		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	-			
				小計	8,480			
				合計(①+②)	10,136			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		円/人 ^{※9}		66円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	19円/人	(市民1人当たり年積立必要額19円/人+市民1人当たり管理運営負担額0円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率 ^{※13} を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	55 (%)
II. 耐震性能	建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準 ^{※14} で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。	(円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。	66 (円/㎡)
総合評価	経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	豊明市立野外教育センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	中分類	レクリエーション施設・観光施設	施設番号	97
-----	------------------	-----	-----------------	------	----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	北設楽郡豊根村大字坂宇場字御所平70番地17	敷地面積	11,511 m ²
	(豊根村)	うち借地面積	11,511 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

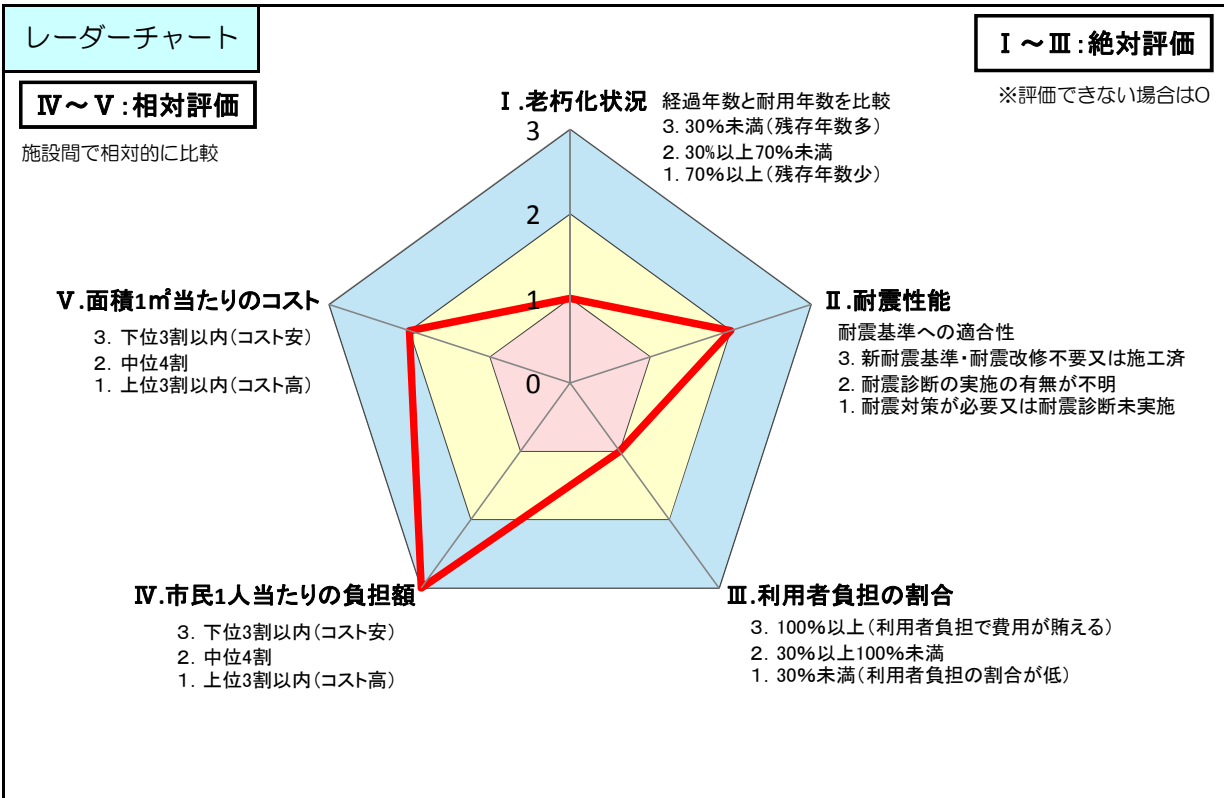
構成施設	野外教育センター				
複合・併設施設	-			建築年度	昭和13年度
建物構造	木造	延床面積	521 m ²	経過年数	76年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	187,560,000円	更新時期 ^{※2}	1年以内	年積立必要額 ^{※3}	187,560,000円
市民1人当たり更新コスト	2,740円/人	市民1人当たり年積立必要額	2,740円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		26,427	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	489,833
		国費		-		修繕料	68,550	
		県費		-		火災保険料	4,812	
		その他		-		維持管理委託料	461,520	
		市費(一般財源)		3,664,949		敷地借上料	740,243	
	合計		3,691,376	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	1,764,958	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	685,767
				光熱水費		132,971		
				その他委託料	182,333			
				その他運営費(事業費)	925,347			
				小計	1,926,418			
				合計(①+②)	3,691,376			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		54円/人 ^{※9}		7,085円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		54円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	2,794円/人	(市民1人当たり年積立必要額2740円/人+市民1人当たり管理運営負担額54円/人)
-------------	----------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	317（％）
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	1（％）
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	54（円/㎡）
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	7,085（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断（I）。耐震性能が不明（II）。</p> <p>バリアフリーは非対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	中京競馬場前駅南有料自転車駐車場		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	98
-----	-----	-----	-----	------	----

所管部課	総務防災課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	栄町館43番地18	敷地面積	830 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

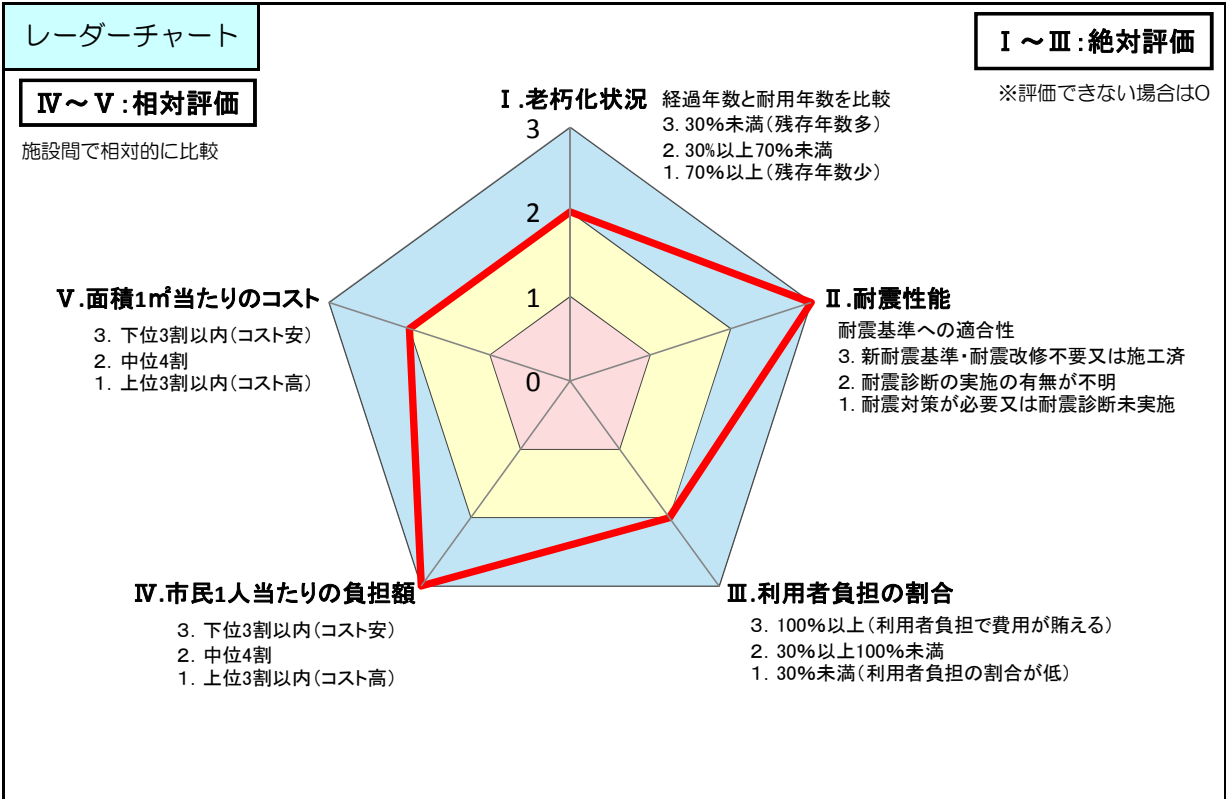
構成施設	中京競馬場前駅駐輪場				
複合・併設施設	-		建築年度	平成13年度	
建物構造	鉄骨造	延床面積	289 m ²	経過年数	13年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	104,040,000円	更新時期 ^{※2}	47年以内	年積立必要額 ^{※3}	2,213,617円
市民1人当たり更新コスト	1,520円/人	市民1人当たり年積立必要額	32円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		1,898,053	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国費		-		修繕料	6,230	
		県費		-		火災保険料	6,420	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		2,275,817		敷地借上料	-	
	合計		4,173,870	工事請負費		257,400		
	施設外観			その他維持費		-		
				小計		270,050		
				②施設運営コスト		人件費(賃金含)	-	
			光熱水費	287,691				
			その他委託料	3,529,265				
			その他運営費(事業費)	86,864				
			小計	3,903,820				
			合計(①+②)	4,173,870				
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		61円/人 ^{※9}		14,442円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		33円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	65円/人	(市民1人当たり年積立必要額32円/人+市民1人当たり管理運営負担額33円/人)
-------------	-------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I.老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標（％）</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を％表示 <small>（経過年数÷法定耐用年数）複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</small></p>	42（％）
II.耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 <small>耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</small></p>	耐震性能あり
III.利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等（利用者負担の割合）を示す指標</p> <p><small>利用料等÷ファシリティコスト（施設維持コスト＋施設運営コスト） 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</small></p>	45（％）
IV.市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p><small>市費（一般財源）÷人口（68,448人） 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</small></p>	33（円/㎡）
V.面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p><small>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</small></p>	14,442（円/㎡）
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断（I）。耐震性能を有している（II）。</p> <p>バリアフリーは一部対応（III）。市民一人当たりの負担額が小さい（IV）。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的（V）。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	豊明市沓掛堆肥センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	供給処理施設	中分類	供給処理施設	施設番号	99
-----	--------	-----	--------	------	----

所管部課	環境課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町上山106番地2 (沓掛小学校)	敷地面積	4,180 m ²
		うち借地面積	4,180 m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

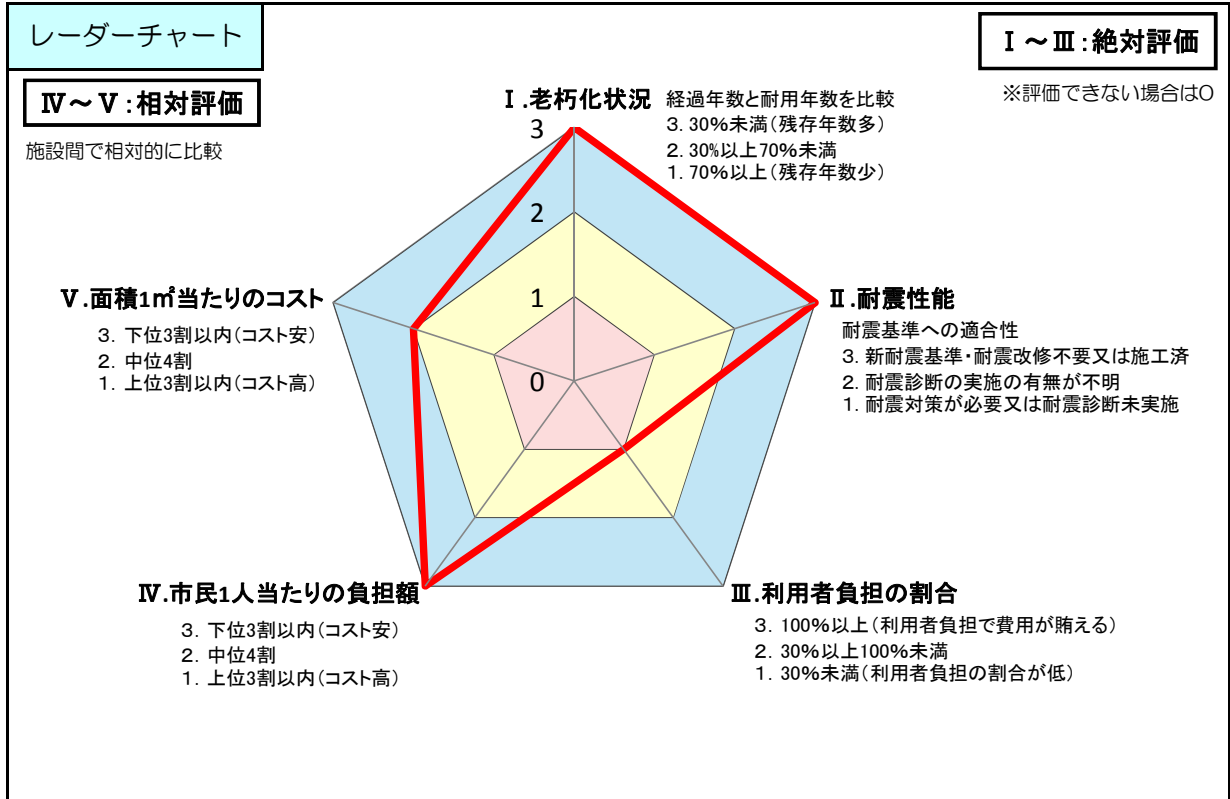
構成施設	豊明市沓掛堆肥センター				
複合・併設施設	-			建築年度	平成18年度
建物構造	鉄骨造	延床面積	1,012 m ²	経過年数	8年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	364,320,000円	更新時期 ^{※2}	52年以内	年積立必要額 ^{※3}	7,006,154円
市民1人当たり更新コスト	5,323円/人	市民1人当たり年積立必要額	102円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	包括委託		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等	1,859,240		支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	587,800
		国費	-			修繕料	559,372	
		県費	-			火災保険料	18,817	
		その他	-			維持管理委託料	61,180	
		市費(一般財源)	34,357,166			敷地借上料	4,163,396	
	合計	36,216,406		工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	1,146,667	
						小計	6,537,232	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	2,939,000
				光熱水費		1,325,352		
				その他委託料	17,141,133			
				その他運営費(事業費)	8,273,689			
				小計	29,679,174			
				合計(①+②)	36,216,406			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		529円/人 ^{※9}		35,787円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		502円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	604円/人	(市民1人当たり年積立必要額102円/人+市民1人当たり管理運営負担額502円/人)
-------------	--------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	21 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	5 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	502 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	35,787 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	水防倉庫		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	100
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	総務防災課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	阿野町登89番地1、91番地1 (豊明小学校)	敷地面積	89 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

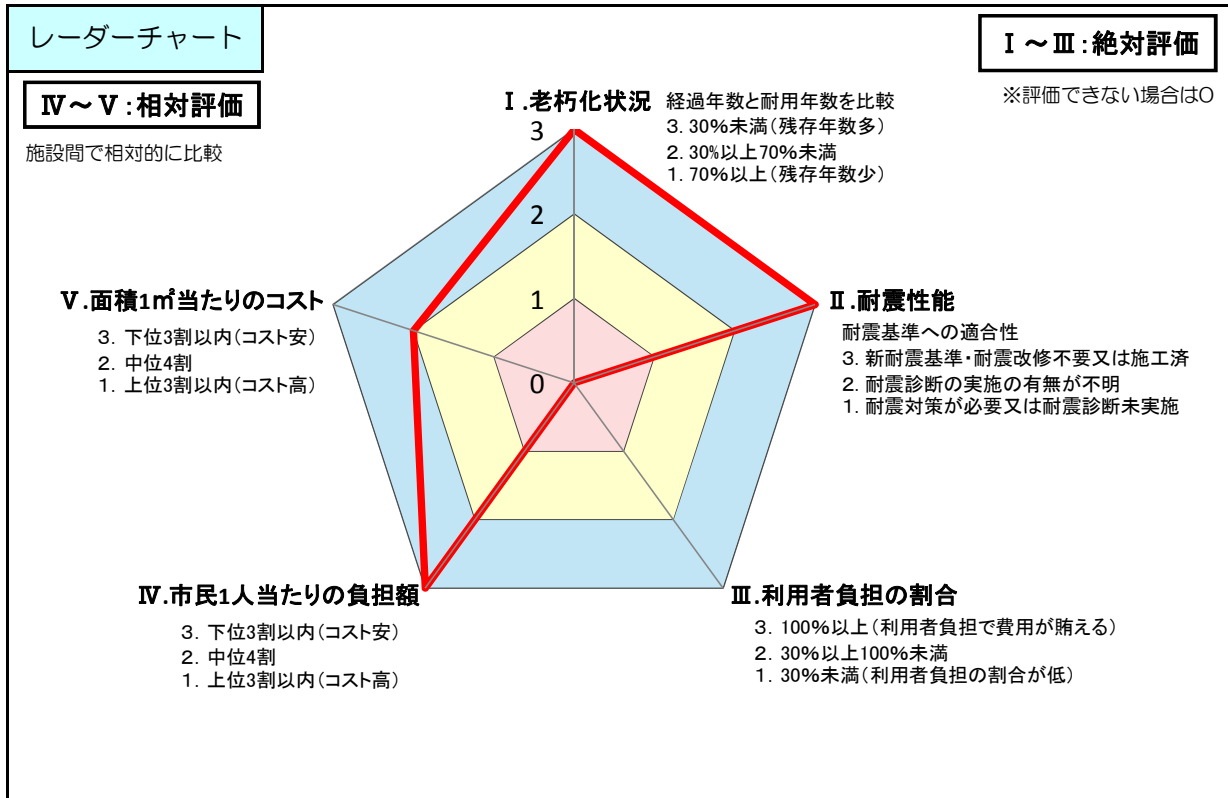
構成施設	水防倉庫				
複合・併設施設	-		建築年度	平成26年度	
建物構造	鉄骨造	延床面積	58 m ²	経過年数	年
階数(地上)	1 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	20,880,000 円	更新時期 ^{※2}	60 年以内	年積立必要額 ^{※3}	348,000 円
市民1人当たり更新コスト	305 円/人	市民1人当たり年積立必要額	5 円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国 費		-		修繕料	-	
		県 費		-		火災保険料	-	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		942,480		敷地借上料	-	
	合 計		942,480	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	-	
						小 計	-	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	940,480
				光熱水費		2,000		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	-			
				小 計	942,480			
				合 計(①+②)	942,480			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人 ^{※8}		14 円/人 ^{※9}		16,250 円/m ² ^{※10}			
負担額	- 円/人 ^{※11}		14 円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	19 円/人	(市民1人当たり年積立必要額5円/人+市民1人当たり管理運営負担額14円/人)
-------------	--------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	(%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標 市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	14 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	16,250 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	バス車庫		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	101
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	総務防災課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	新田町吉池20番地4	敷地面積	591 m ²
	(中央小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

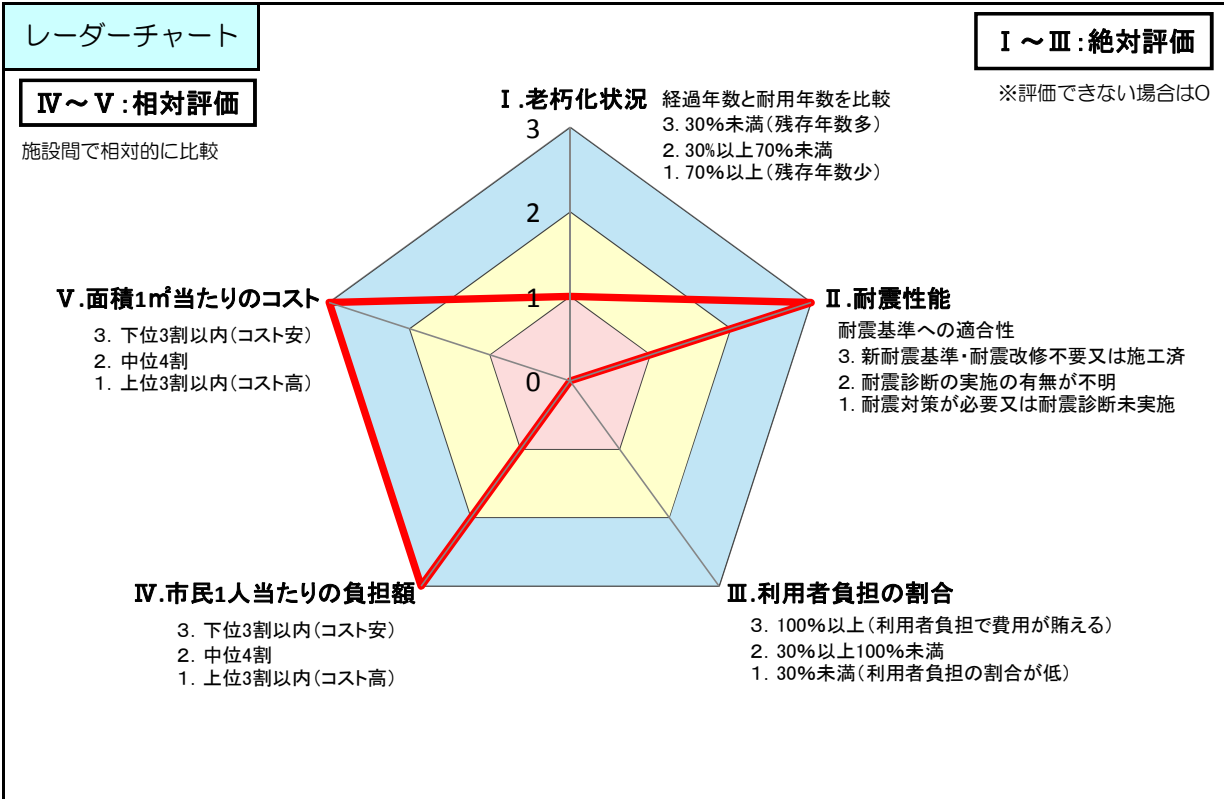
構成施設	バス車庫				
複合・併設施設	-		建築年度	昭和63年度	
建物構造	鉄骨造	延床面積	422 m ²	経過年数	26年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	151,920,000円	更新時期 ^{※2}	34年以内	年積立必要額 ^{※3}	4,468,235円
市民1人当たり更新コスト	2,219円/人	市民1人当たり年積立必要額	65円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態			
		-人	-人	-人	-人	直営		
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)		
	収 入	利用料等		-	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国費		-		修繕料	-	
		県費		-		火災保険料	5,751	
		その他		-		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)		62,857		敷地借上料	-	
	合計		62,857	工事請負費		-		
	施設外観					その他維持費	-	
						小計	5,751	
						②施設運営コスト	人件費(賃金含)	-
				光熱水費		57,106		
				その他委託料	-			
				その他運営費(事業費)	-			
				小計	57,106			
				合計(①+②)	62,857			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人 ^{※8}		1円/人 ^{※9}		149円/m ² ^{※10}			
負担額	-円/人 ^{※11}		1円/人 ^{※12}					

市民1人当たり負担額計	66円/人	(市民1人当たり年積立必要額65円/人+市民1人当たり管理運営負担額1円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I .老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	84 (%)
II .耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III .利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV .市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1 (円/㎡)
V .面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	149 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度 平成26年度

施設名	勅使弓道場		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	スポーツ・レクリエーション系施設	中分類	スポーツ施設	施設番号	102
-----	------------------	-----	--------	------	-----

所管部課	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	沓掛町勅使地内 (沓掛小学校)	敷地面積	218 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

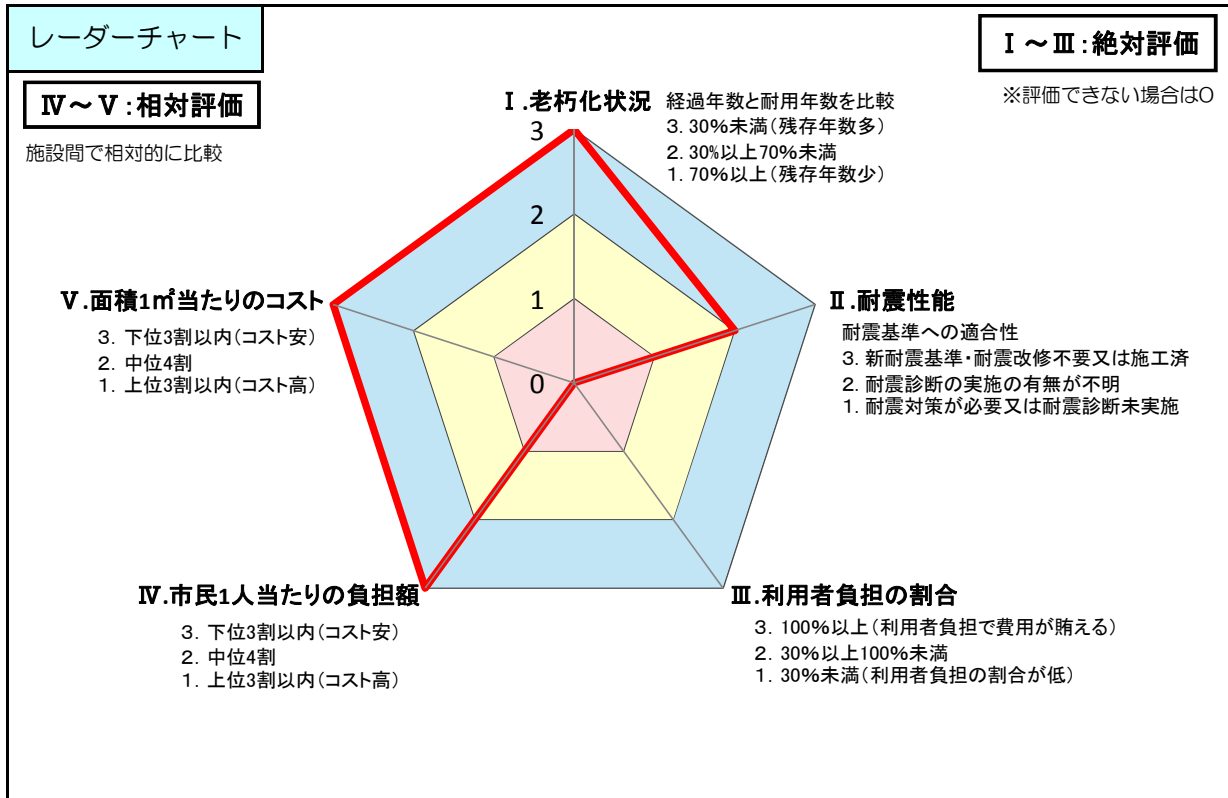
構成施設	勅使弓道場				
複合・併設施設	-			建築年度	平成13年度
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	218 m ²	経過年数	13年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト ^{※1}	78,480,000円	更新時期 ^{※2}	47年以内	年積立必要額 ^{※3}	1,669,787円
市民1人当たり更新コスト	1,147円/人	市民1人当たり年積立必要額	24円/人		

3 管理運営データ

利用状況 ^{※4}	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	指定管理(混合)	
ファシリティコスト ^{※5} (H24~26年度) (施設コスト) ①施設維持コスト ^{※6} 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト ^{※7} 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	-	-	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国費	-	-		修繕料	48,825
		県費	-	-		火災保険料	8,050
		その他	-	-		維持管理委託料	-
		市費(一般財源)	223,533	-		敷地借上料	-
	合計		223,533	-	工事請負費	-	
	施設外観				その他維持費	-	
					小計	56,875	
					②施設運営コスト	人件費(賃金含)	-
				光熱水費		166,658	
				その他委託料		-	
				その他運営費(事業費)		-	
				小計	166,658		
				合計(①+②)	223,533		
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり		
単位コスト	-円/人 ^{※8}		3円/人 ^{※9}		1,025円/m ² ^{※10}		
負担額	-円/人 ^{※11}		3円/人 ^{※12}				

市民1人当たり負担額計	27円/人	(市民1人当たり年積立必要額24円/人+市民1人当たり管理運営負担額3円/人)
-------------	-------	---

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{※13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	28 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{※14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	一部不明
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	3 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	1,025 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能が不明(II)。 バリアフリーは評価できない(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

豊明市公共施設白書2014 施設別カルテ

調査年度	平成26年度
------	--------

施設名	前後駅南地下駐車場		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	103
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	都市計画課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	前後町大代1673番地	敷地面積	1,807 m ²
	(栄小学校)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。)

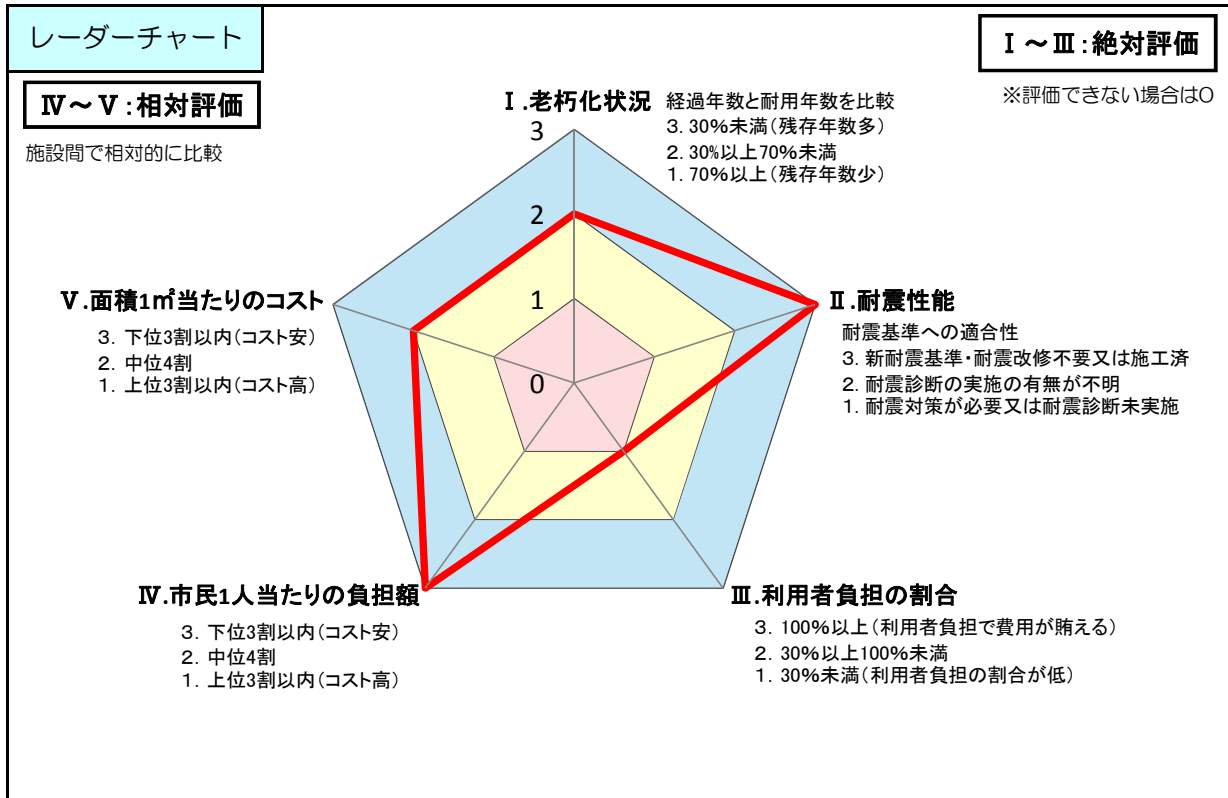
構成施設	前後駅南地下駐車場				
複合・併設施設	-		建築年度	平成12年度	
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	1,812 m ²	経過年数	14年
階数(地上)	- 階	階数(地下)	1 階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト※1	650,520,000 円	更新時期※2	46 年以内	年積立必要額※3	14,141,739 円
市民1人当たり更新コスト	9,504 円/人	市民1人当たり年積立必要額	207 円/人		

3 管理運営データ

利用状況※4	H23年度	H24年度	H25年度	平均利用者数	管理形態		
		- 人	- 人	- 人	- 人	直営	
ファシリティコスト※5 (H24~26年度) (施設コスト)	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	10,052,467	支 出	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	1,175,600
		国 費	-		修繕料	126,447	
		県 費	-		火災保険料	123,434	
		その他	-		維持管理委託料	809,183	
		市費(一般財源)	46,657,072		敷地借上料	-	
	合計	56,709,539	工事請負費	1,248,250			
	①施設維持コスト※6	施設外観		その他維持費	-		
	建物を良好に保つために要する経費			小 計	3,482,914		
	+			②施設運営コスト	人件費(賃金含)	1,763,400	
②施設運営コスト※7	公共サービスを提供するために要する経費		光熱水費	1,245,271			
			その他委託料	5,636,309			
			その他運営費(事業費)	44,581,645			
			小 計	53,226,625			
			合計(①+②)	56,709,539			
コスト計算	利用者1人当たり		市民1人当たり	延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人※8		829 円/人※9	31,297 円/m ² ※10			
負担額	- 円/人※11		682 円/人※12				

市民1人当たり負担額計	889 円/人	(市民1人当たり年積立必要額207円/人+市民1人当たり管理運営負担額682円/人)
-------------	---------	--

4 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率^{*13}を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	37 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準^{*14}で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持コスト+施設運営コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	18 (%)
IV. 市民1人当たりの負担額	<p>市民1人当たりの施設の維持・運営にかかる負担額を示す指標</p> <p>市費(一般財源)÷人口(68,448人) 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	682 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持・運営にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	31,297 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>バリアフリーは非対応(III)。市民一人当たりの負担額が小さい(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	